

# <sup>デジタルカメラ</sup> **D5500** 活用ガイド



Jp

お使いになる前に、使用説明書と活用ガイド(本書)をよくお読みにな り、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった 後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽し むためにお役立てください。

#### 本文中のマークについて

本書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたい ことを記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

#### 表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SD カード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- 本書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。

### ☆安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されてい ます。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくはロxii〜xviiiを ご覧ください。

# 目 次

安全上のご注意	<u>.</u>		xii
ご確認く	、ださい		xix
Wi-Fi (	無線 LAN)	機能について	xxii

# お使いになる前に

うの準備をする	26
タッチパネルの使い方	
メニューの使い方	
マルチセレクターの使い方	
各部の名称	1

# 撮影前の準備をする

# かんたんに静止画 / 動画を撮影する

# (20 オート/③ 発光禁止オート)

ファインダーをのぞいて静止画を撮影する	
撮影した画像を再生する(1 コマ表示モード)	41
画像を削除する	42
液晶モニターを見ながら静止画を撮影する	
(ライブビュー撮影)	45
撮影した画像を再生する(1 コマ表示モード)	48
画像を削除する	49
動画を撮影する	50
撮影した動画を再生する	52
動画を削除する	53

1

37

### 被写体や状況に合わせて撮影する

### (シーンモード)

#### \* 5 **.** ۳ 0\* 2 <u>الا</u> <u>:</u> -0 £ Ψ٩

54

61

### 特殊効果をつけて撮影する

# (スペシャルエフェクトモード)

#### (ナイトビジョン) 62 10 DUD Ø 66 ð Â [HA Lo

レリーズモードを選ぶ
連続撮影する
静音撮影する
セルフタイマーを使って撮影する77
ファインダー撮影時にオートフォーカスでピントを
合わせる
ピントの合わせ方を選ぶ(フォーカスモード)
フォーカスポイントの選び方を決める
(AF エリアモード)83
フォーカスポイントを自分で選ぶ
フォーカスロックしてピントを固定する
マニュアルフォーカスでピントを合わせる
画質や画像のサイズを変更する
画質モードを設定する
画像サイズを設定する
内蔵フラッシュを使う
内蔵フラッシュが自動的に上がる撮影モードの
場合
内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モードの場合 96
ISO 感度を設定する 100
設定した間隔で撮影する(インターバルタイマー撮影) 101
リモコン撮影する106
別売のリモコン ML-L3 を使って撮影する
最初の設定に戻す (ツーボタンリセット)

撮影モード P、S、A、M を使う112
<b>P</b> :プログラムオート114
<b>S</b> :シャッター優先オート115
A:絞り優先オート116
M:マニュアル117
長時間露出で撮影する(撮影モードMのみ)119
被写体の露出(明るさ)を設定する
明るさを測る方法を設定する(測光モード)
AE ロックして露出を固定する(AE ロック撮影) 125
画像の明るさを調整する(露出補正)
フラッシュの発光量を調整する
(フラッシュ調光補正)129
白とびや黒つぶれを抑えて撮影する
アクティブ D- ライティング 131
HDR(ハイダイナミックレンジ)合成を行う 133
ホワイトバランスを合わせる136
ホワイトバランスを微調整する
プリセットマニュアルを使う
明るさ、ホワイトバランス、アクティブ D- ライティング
を変えながら撮影する(オートブラケティング撮影) 147
画像の仕上がりを設定したり、思い通りに調整する
(ピクチャーコントロール)152
ピクチャーコントロールを選ぶ152
ピクチャーコントロールを調整する
カスタムピクチャーコントロールを登録する
SD カードを使ってピクチャーコントロールを
対応ソフトウェアと共用する

# ライブビュー撮影(静止画)

### (液晶モニターを見ながら撮影する)

# 

# ライブビュー撮影時のピントの合わせ方を選ぶ

- (フォーカスモード)...... 166
- マニュアルフォーカスでピントを合わせる.......167
- ライブビュー撮影時のフォーカスポイントの

### ライブビュー撮影(動画)と動画の再生 175

ライブビューで動画を撮影する1	75
動画の設定1	80
動画を再生する	84
動画の編集	86
動画の必要な部分を残す1	86
動画の1フレームを JPEG 画像として保存する1	89

### 画像の再生と削除

191
-----

163

画像を再生する	
画像を1コマずつ再生する(1コマ表示モ-	-ド) 191
複数の画像を一覧表示する	
(サムネイル表示モード)	
撮影した日付ごとに画像を表示する	
(カレンダー表示モード)	
画像情報を表示する	
画像を拡大表示する	204
画像を保護する(プロテクト)	
画像にレーティング(重要度)を設定する	
表示中の画像にレーティングを設定する	207
複数の画像にレーティングを設定する	

画像を削除する	209
表示中の画像を削除する	209
複数の画像をまとめて削除する	210
スライドショーで再生する	212

# パソコン、プリンター、テレビとの接続 215

ViewNX 2 をインストールする	. 215
ViewNX 2 を使う	. 216
パソコンに画像を取り込む	. 216
プリンターで印刷する(ダイレクトプリント)	. 219
カメラとプリンターを接続する	. 219
1 コマだけプリントする	. 220
複数の画像をプリントする	. 222
プリントしたい画像を指定する(プリント指定)	. 224
テレビで見る	. 226
AV ケーブルを使ってテレビと接続する	. 226
HDMI ケーブルを使ってハイビジョンテレビと	
接続する	. 227

### Wi-Fi を使う

### 230

Wi-Fi を使ってできること	230
カメラとスマートデバイスを接続する	231
WPS プッシュボタン接続でスマートデバイスと	
接続する(Android OS のみ)	232
スマートデバイスの PIN コードをカメラに	
入力して接続する(Android OS のみ)	233
カメラの SSID をスマートデバイスで選んで	
接続する(Android OS/iOS)	235
スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで	
送信指定する	238
表示中の画像を送信指定する	238
複数の画像をまとめて送信指定する	239

# メニュー項目

▶ 再生メニュー:再生で使える便利な機能	240
再生メニュー項目一覧	240
再生フォルダー設定	241
再生画面設定	241
撮影直後の画像確認	242
縦横位置情報の記録	242
縦位置自動回転	243
✿ 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能	244
撮影メニュー項目一覧	244
撮影メニューのリセット	246
記録フォルダー設定	246
ファイル名設定	249
RAW 記録	249
ISO 感度設定	250
色空間	252
長秒時ノイズ低減	253
高感度ノイズ低減	253
ヴィネットコントロール	254
自動ゆがみ補正	254
🖋 カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定	256
カスタムメニュー項目一覧	257
カスタムメニューのリセット	258
a:オートフォーカス	258
a1:AF-C モード時の優先	. 258
a2:AF 点数切り換え	.258
a3:内蔵 AF 補助光の照射設定	.259
a4:フォーカスエイドインジケーター	.260
b:露出	261
b1:露出設定ステップ幅	.261
b2:ISO 感度表示	.261

	с:АЕ ロック・タイマー	261
	c1:半押し AE ロック	
	c2:パワーオフ時間	
	c3:セルフタイマー	
	c4:リモコン待機時間(ML-L3)	
	d:撮影・記録・表示	263
	d1:露出ディレーモード	
	d2:連番モード	
	d3:ファインダー内格子線表示	
	d4:日付写し込み設定	
	d5:インジケーターの+ / -方向	
	e:フラッシュ・BKT 撮影	268
	e1:内蔵フラッシュ発光 /	
	外付けフラッシュ発光	
	e2:オートブラケティングのセット	
	f:操作	274
	f1:Fn ボタンの機能	
	f2:AE/AF ロックボタンの機能	
	f3:タッチ Fn の機能	
	f4:コマンドダイヤル回転方向の変更	
りセ	ットアップメニュー:カメラを使いやすくする	
基	基本設定	280
	セットアップメニュー項目一覧	280
	カードの初期化(フォーマット)	282
	画像コメント	283
	著作権情報	284
	地域と日時	285
	言語(Language)	286
	電子音	286
	タッチ操作	286
	モニターの明るさ	286
	インフォ画面デザイン	287
	インフォ画面の自動表示	288

	インフォ画面の自動消灯	288
	イメージダストオフデータ取得	289
	フリッカー低減	291
	カードなし時レリーズ	291
	ビデオ出力	292
	アクセサリーターミナル	292
	Eye-Fi 送信機能	294
	認証マークの表示	296
	ファームウェアバージョン	296
🛃 画像	象編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能	297
	画像編集メニュー項目一覧	297
	画像編集の操作方法	298
	RAW 現像(パソコンを使わずに RAW 画像を	
	JPEG 画像に変換する)	300
	トリミング	302
	リサイズ	303
	D- ライティング	305
	簡単レタッチ	306
	赤目補正	306
	傾き補正	307
	ゆがみ補正	308
	アオリ効果	309
	魚眼効果	310
	フィルター効果	311
	モノトーン	312
	画像合成	313
	塗り絵	316
	フォトイラスト	316
	カラースケッチ	317
	ミニチュア効果	318
	セレクトカラー	319
	絵画調	321
	編集前後の画像表示	322

目 最近設定した項目 / □ マイメニュー	. 324
🗐 最近設定したメニューをたどる	

- 団 よく使うメニューを登録する (マイメニュー)… 325

# 329

使用できるレンズ	329
使用できる非 CPU レンズ	338
外付けのスピードライトについて(別売フラッシュ)	340
ニコンクリエイティブライティングシステム対応	
スピードライトについて	340
ニコンクリエイティブライティングシステム対応	
スピードライトとの組み合わせで使用できる	
機能	342
使用できるアクセサリー	348
推奨 SD カード	352
カメラとパワーコネクター、AC アダプターの	
接続方法	353
カメラのお手入れについて	355
保管について	355
クリーニングについて	355
カメラ内部のお手入れについて	356
カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意	361
カメラの使用上のご注意	361
バッテリーの使用上のご注意	364
チャージャーの使用上のご注意	365
撮影モードによって設定に制限がある機能一覧	366

資料

困ったときは	368
電源・表示関連	368
撮影関連(全撮影モード共通)	369
撮影関連(撮影モード P、S、A、M)	373
再生関連	374
Wi-Fi(無線 LAN)関連	376
その他	376
警告メッセージ	377
主な仕様	385
AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II 3	397
AF-S DX NIKKOR 18–140mm	
f/3.5-5.6G ED VR	398
AF-S DX NIKKOR 55–200mm	
f/4–5.6G ED VR II	399
記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数	410
電池寿命について	411
索引	413
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内	424
アフターサービスについて	425

# 安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危 害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みに なった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。 表示と意味は、次のようになっています。

<u> 危険</u>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡また は重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
▲ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡ま たは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
<u> 注意</u>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を 負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定さ れる内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



	4	⚠ 警告 (カメラとレンズについて)
	分解禁止	<b>分解したり修理や改造をしないこと</b> 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
8	接触禁止 すぐに修理依頼を	落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に 手を触れないこと 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してく ださい。
¢ 0	電池を取る すぐに修理依頼を	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに 電池を取り出すこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
$\otimes$	水かけ禁止	<b>水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない</b> 感電や発火などの事故や故障の原因になります。
$\Diamond$	使用禁止	<b>引火・爆発のおそれのある場所では使わない</b> プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガス や粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因にな ります。
$\bigcirc$	使用禁止	レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと 失明や視力障害の原因となります。
$\bigcirc$	発光禁止	<b>車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと</b> 事故の原因となります。
$\Diamond$	発光禁止	フラッシュを人の目に近づけて発光しない 視力障害の原因になります。 撮影時には、1m以上離れてください。 特に乳幼児の撮影には注意してください。
A	保管注意	<b>幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない</b> 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。
Ŵ	警告	ストラップが首に巻き付かないようにする 特に幼児・児童の首にストラップをかけない 首に巻き付くと窒息の原因になります。

	<b>金 警告</b> (カメラとレンズについて)
● 使用禁止	ACアダブター使用時に雷が鳴り出したら、電源ブラグに触 れないこと 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
<u> </u>	<b>指定の電源(電池、ACアダブター)を使う</b> 指定以外のものを使用すると、事故や故障の原因になります。
	▲注意 (カメラとレンズについて)
人感電注意	<b>ぬれた手でさわらない</b> 感電の原因になることがあります。
全世界注意	カメラの電源がONの状態で、長時間直接触れないこと 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因にな ることがあります。
全國	<b>製品は幼児の手の届くところに置かない</b> ケガの原因になることがあります。
人。使用注意	逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと 太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることが あります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因にな ることがあります。
全國	使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光の あたらない所に保管すること 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。
使用注意	航空機内での使用については、航空会社の指示に従う 病院内での使用については、病院の指示に従う

		⚠ 注意 (カメラとレンズについて)
		長期間使用しないときは電源(電池やACアダプター)を外
<b>企</b> 電池	しを取る	電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となる。 スニトがあります
75	ラグを抜く	ることがのります。 ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、 その後電源プラグをコンヤントから抜いてください。火災の
		原因となることがあります。
		内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光さ
公発为	<b>光禁止</b>	<b>せないこと</b> やけどや発火の原因になることがあります。
	E	<b>布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと</b> 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
		窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異
	該任	常に温度か高くなる場所に放直しない 故障や火災の原因になることがあります。
	£	付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすこと があります。
	$\Lambda$	危険(専用リチウムイオン充電池について)
	÷	電池を火に入れたり、加熱しないこと
		液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	<b>弊止</b>	電池を分解しない
		液もれ、発熱、破裂の原因となります。
▲ 倍隙	£	電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
	~	液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

 危険
 専用の充電器を使用すること

 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

$\wedge$	危険(専用リチウムイオン充電池について)
<u>^</u> 危険	ネックレス、ヘアビンなどの金属製のものと一緒に持ち運ん だり、保管したりしない ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、端 子力バーをつけて絶縁してください。
○ 使用禁止	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL14aに対応して いない機器には使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。 Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL14aは、D5500に 対応しています。
<u>危険</u>	電池からもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、 医師の治療を受けること そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。
$\wedge$	警告 (専用リチウムイオン充電池について)
<b>人</b> 保管注意	電池は、幼児の手の届くところに置かない 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
🔇 水かけ禁止	<b>水につけたり、ぬらさないこと</b> 液もれ、発熱の原因となります。
	変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたとき は、使用しないこと 液もれ、発熱・破裂の原因となります。
<u>  警告</u>	充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること 液もれ、発熱・破裂の原因となります。
	電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはビ ニールテーブなどで接点部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となりま す。ニコンサービス機関やリサイクル協力店にご持参くださ るか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
<u> 警告</u>	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれ いな水で洗うこと そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

# ▲ 注意 (専用リチウムイオン充電池について)

<u>使用注意</u>

**充電中の電池に長時間直接触れないこと** 充電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因にな ることがあります。

		▲警告 (チャージャーについて)
	分解禁止	<b>分解したり修理や改造をしないこと</b> 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
® •	接触禁止 すぐに修理依頼を	<b>落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に 手を触れないこと</b> 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 チャージャーをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関 に修理を依頼してください。
6 0	ブラグを抜く すぐに修理依頼を	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに チャージャーをコンセントから抜くこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 チャージャーをコンセントから抜く際、やけどに充分注意 してください。ニコンサービス機関に修理を依頼してくだ さい。
$\otimes$	水かけ禁止	<b>水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない</b> 感電や発火などの事故や故障の原因になります。
$\bigcirc$	使用禁止	<b>引火・爆発のおそれのある場所では使わない</b> プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガス や粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因にな ります。
À	警告	電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場 合は、乾いた布で拭き取ること そのまま使用すると火災の原因になります。
$\bigcirc$	使用禁止	<b>雷が鳴り出したらチャージャーに触れないこと</b> 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
Â	感電注意	ぬれた手でチャージャーをコンセントから抜き差ししない こと 感電の原因になることがあります。

# ▲ 警告 (チャージャーについて)



チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコン バーター)やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使 わないこと

発熱、故障、火災の原因となります。

# ▲ 注意 (チャージャーについて)

感電注意	<b>ぬれた手でさわらない</b> 感電の原因になることがあります。
使用注意	通電中のチャージャーに長時間直接触れないこと 通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因にな ることがあります。
放置注意	製品は幼児の手の届くところに置かない
	クカの原因になることがのります。

# <u>ご確認ください</u>

#### ● 保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買 い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご 購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」を お受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになりま す。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

#### ● カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

#### https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

#### ● カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

#### http://www.nikon-image.com/support/

#### ● 大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常 に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害 (撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等)についての補償はご容赦 願います。

#### ● 本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(レンズ、スピードライト、バッテリー、チャー ジャー、ACアダプターなど)に適合するように作られておりますので、当社製品 との組み合わせでお使いください。

 Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14aには、ニコン純正 品であることを示すホログラムシールが貼られています。



- ・模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が 発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発 火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能
   性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

#### ● 使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお 断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。

使用説明書および活用ガイドの内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書および活用ガイドのPDFファイルをダウンロードできます。

#### http://www.nikon-image.com/support/manual/

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

#### ● 著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利 者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人とし て楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意く ださい。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で 使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

#### ● カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全 には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使って データが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。SDカード 内のデータはお客様の責任において管理してください。

- SDカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、SDカードがいっぱいになるまで空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。なお、ホワイトバランスのプリセットマニュアル画像(□141)も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。
- Wi-Fi接続設定は、セットアップメニュー [Wi-Fi] → [接続設定] → [接続設定 のリセット] で工場出荷時の設定にリセットしてください (□236)。

#### ● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用すること を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使 用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

#### AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。 (i)AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます)

(ii)個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされた AVC ビデオ、または AVC ビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手し たAVC ビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾 されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.com をご参照ください。

#### ▼ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、当社製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめしま す。他社製アクセサリーは、カメラの故障や不具合の原因となることがありま す。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象と なりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセ サリーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご 確認ください(ロxix)。

# <u>Wi-Fi(無線LAN)機能について</u>

#### ● 電波に係わるご注意

本製品はWi-Fi(無線LAN)機能を搭載しています。国や地域によって、法律によりWi-Fi(無線LAN)機能が使用できない場合があります。ご購入された国以外での使用については、本書の裏表紙に記載のニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● Wi-Fi (無線LAN) 機能のご注意



#### Wi-Fi(無線LAN)機能: 2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯、変調方式は DSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。

以下の行為は法令で罰せられることがあります。

- 本製品の分解/改造
- 本製品から証明ラベルをはがす
- •本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
  - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
  - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
    - ① 構内無線局(免許を要する無線局)
    - ② 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
  - アマチュア無線局(免許を要する無線局)

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信 の途絶が双方に生じることがあります。

•本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。

- 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiア クセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局 に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、 本書の裏表紙に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合 わせください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
   データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の 発生源の周辺で使わないでください。
  - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
  - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

#### ● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi(無線LAN)機器としてお使いください。 Wi-Fi機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求 される用途には使わないでください。
- Wi-Fi機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

#### ● セキュリティーについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続 が可能であるという利点がありますが、セキュリティーに関する設定を行ってい ない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 情報の漏洩:悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードなどの 個人情報が漏洩する可能性があります。
  - 不正アクセス:悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なり すまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品に セキュリティーを設定したにもかかわらず、無線LANの仕様上、特殊な方法 によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上ご使用く ださい。
- セキュリティー設定は、専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」(ロ230) を使って行うことができます。
- 液晶モニターやスマートデバイスに使用権限のないネットワークが表示されて
   も、接続しようとしないでください。接続しようとすると、不正アクセスとみな
   される恐れがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

#### ● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制(EAR)を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸 出規制国(キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア)への輸出や持ち出し には、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制 国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせ ください。

#### ● 個人情報の管理および免責事項

- ・使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi(無線 LAN)接続設定 等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他 の取り扱いで変化、消失する場合があります。 必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。 当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害 および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー [Wi-Fi]
   → [接続設定] → [接続設定のリセット] で工場出荷時の設定にリセットしてください(□236)。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は 一切の責任を負いません。

# お使いになる前に

# 各部の名称

# <u>カメラ本体</u>

	19 19 19 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	8 9 9 10 11 12 13 15
1	AF補助光ランプ 82、259 11	<b>Fn</b> ボタン
	セルフタイマーランプ 77 12	レンズ着脱指標 29
	赤目軽減ランプ 95、97 13	レンズ取り外しボタン
2	電源スイッチ 31 14	🖳 (🖄/â) ボタン
3	シャッターボタン 39、43	
4	☑ (֎) ボタン… 118、127、129 15	ミラー 358
5	動画撮影ボタン 50、176 <b>16</b>	レンズマウント
6	ライブビュースイッチ 17	レンズ信号接点
		ML-L3用リモコン受光部
7	撮影モードダイヤル4	(前面) 106
8	内蔵フラッシュ	ボディーキャップ
9	<b>\$</b> (22) ボタン 94、96、129	
10	ストラップ取り付け部	
	(吊り金具)	



#### ▶ 端子カバーについて

使用しない場合は、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミなどが入ると、誤 作動の原因となることがあります。

#### 🚺 スピーカーについてのご注意

スピーカーに磁気カードなどの磁気製品を近づけると、記録内容が壊れること があります。スピーカーに磁気製品を近づけないでください。

2 お使いになる前に



34	ファインダー接眼窓5、32	44	<b>9≅ (?</b> ) ボタン 13、193、204
35	視度調節ダイヤル	45	♥ ボタン 193、204
36	▶ ボタン 41、191	46	三脚ネジ穴
37	<b>i</b> ボタン 10、177、192	47	バリアングル液晶モニター
38	マルチセレクター11、13		
39		48	接眼目当て78
40	●削除ボタン42、209	49	HDMI端子カバー
41	SDカードアクセスランプ	50	SDカードカバー
		51	パワーコネクターカバー 353
42	バッテリー室カバー開閉ノブ	52	バッテリーロックレバー
43	バッテリー室カバー		

# 撮影モードダイヤル

撮影モードダイヤルを回すと、次の各モード に切り換えられます。



### P、S、A、Mモード

 P:プログラムオート(□114)
 A:絞り優先オート(□116)

 S:シャッター優先オート(□115)
 M:マニュアル(□117)



ファインダー (説明のため、全ての表示を点灯させています)



	1 2		
3- 4_ 5- 6-		8 	9 10 11 12 1314 15 
1	構図用格子線	12	オートブラケティングマーク… 147
	(カスタムメニュー d3 [ <b>ファイ</b>	13	記録可能コマ数 33
	ンダー内格子線表示]を[す		連続撮影可能コマ数
	る]に設定している場合のみ表		ホワイトバランスプリセット
	示されます)		マニュアルデータ取得
2	フォーカスポイント表示		モード表示141
3	AFエリアフレーム		露出補正値127
4	バッテリー警告表示		フラッシュ調光補正値129
5	白黒マーク(撮影モードが図の場		ISO感度100、261
	合、ピクチャーコントロールが		PCカメラモード表示
	[ <b>モノクローム</b> ] の場合または	14	1000コマ以上補助表示 33
	[ <b>モノクローム</b> ] を元にした力	15	レディーライト
	スタムピクチャーコントロール	16	プログラムシフトマーク 114
	の場合にのみ表示されます)	17	インジケーター
			露出118
6	カードなしマーク		露出補正127
7	ピント表示		フォーカスエイド 260
8	AEロックマーク125	18	フラッシュ調光補正マーク 129
9	シャッタースピード 113	19	露出補正マーク127
10	絞り値 113	20	ISO AUTOマーク 251
11	スペシャルエフェクト	21	警告表示
	モード表示61		

# <u>液晶モニター</u>

このカメラの液晶モニターは、向きや角度を変えて使えます。



#### 通常の撮影

通常の撮影では、モニター画面を外 側にしてカメラ本体に収納した状態 でお使いください。



ローアングル撮影 ライブビュー撮影時にモニター画面 を上に向けると、カメラを低い位置 に構えて撮影できます。

ハイアングル撮影 ライブビュー撮影時にモニター画面 を下に向けると、カメラを高い位置 に構えて撮影できます。

#### セルフポートレート撮影

- ライブビュー撮影でのセルフポートレートの撮影に便利です。
- 液晶モニターには鏡に映ったよう な状態(鏡像)で表示されますが、 画像はカメラから見た状態(正像) で記録されます。













#### ☑ 液晶モニター取り扱い上のご注意

- 液晶モニターを回転させる場合は、回転範囲内でゆっくりと回してください。
   無理な力がかかると、カメラ本体や液晶モニターの破損の原因となります。
- 液晶モニターを使用しないときは、傷や汚れを防ぐためにモニター画面を内側 にしてカメラ本体に収納することをおすすめします。
- 液晶モニター部分をつかんで、カメラを持ち上げたりしないでください。カメ ラが破損するおそれがあります。

# <u>インフォ画面</u>

(説明のため、全ての表示を点灯させています) ■ ボタンを押すと、液晶モニターに次のよう なインフォ画面が表示されます。





0	フラッシュ発光方式マーク	268
	スピードライト調光補正	
	マーク	345
1	バッテリー残量表示	33
2	ISO感度	100
	ISO感度イメージ100、	250
		251



#### 🖉 液晶モニター(インフォ画面)を消灯するには

シャッターボタンを半押しする

• インフォ画面の表示中に、 
「「ホタンを押す

操作を行わないまま約8秒経過したとき(液晶モニターが消灯するまでの時間 は、カスタムメニュー c2 [**パワーオフ時間**](□262)で変更できます)、ファ インダーをのぞくなどしてアイセンサーが反応したときも、インフォ画面は消 灯します。

#### 🖉 インフォ画面の自動消灯について

撮影時、半押しタイマーがオンのときにファインダーに顔を近づけると、アイ センサーが反応してインフォ画面が自動で消灯します。ファインダーから顔を 離すと、インフォ画面が点灯します。セットアップメニューの [インフォ画面 の自動消灯](<sup>(1288)</sup>でインフォ画面が自動で消灯しないように変更できます。 ただし、[インフォ画面の自動消灯]の設定にかかわらず、半押しタイマーが切 れるとインフォ画面は消灯します。

9

# ■ 撮影時の設定を変更する

ファインダー撮影時に**え**ボタンを押すと、イン フォ画面下部に表示されている撮影時の設定 を変更できる画面に切り替わります。マルチ セレクターでカーソルを動かし、項目を選ん で®ボタンを押すと、選んだ項目の設定画面 が表示されます。



• ライブビュー表示中も*i*ボタンを押して設 定の変更ができます(ロ173、177)。


# マルチセレクターの使い方

マルチセレクターは、上下左右を押したり、 ®ボタンを押して操作します。この説明書では、マルチセレクターを上下左右に押す動作を ③ ● ③ ④ ① ⑦ で表しています。



# メニューの使い方

再生や撮影、カメラの基本的な設定をすると きは、主にメニュー画面を使います。 MENUボタンを押すと、液晶モニターに次のよ うなメニュー画面(例:セットアップメ ニュー)を表示します。



MENUボタン

### \_ メニュー切り換えタブ \_\_\_\_

次の各メニューのアイコンのタブを選ぶと、選んだメニュー画面が表示され ます。

►	再生メニュー(□□240)			
Ď	撮影メニュー(□244)			
	カスタムメニュー (□256	)		
Y	セットアップメニュー (🕮	280)		
	画像編集メニュー(🕮 297	)		
1	最近設定した項目/包マイメ	ニュー	(🖽 32	4) *
* どち	5らかに設定できます。初期詞	没定は	[最近設)	<b>定した項目</b> ]です。
♪ 画 整 地 言 電 タ モ	セットアップメニュー ・の初期化(フォーマット) 「復二X」 「存置情報 」はと日時 語(Language) ご子音 ッチ操作 ニターの明るさ	 OFF OFF  。 同 ON ON ON ON		各項目の現在の設定を アイコンで表示します
			<b>メニ</b> : タブで	<b>ュー項目</b>
ヘルフ	<b>プあり表示</b> (□13)		設定項	目を一覧表示します

## メニュー項目の設定



メニューの操作には、マルチセレクターと®ボタンを使います。

## ■ メニュー項目の設定方法



MENUボタン

### 🖉 😧 (ヘルプあり表示)

ヘルブがある場合に**9≅(?)**ボタンを押すと、その項目のヘルプ(説明)を表示します。

- 説明が2ページ以上ある場合は、マルチセレクターの⊕を押して、次のページ を表示してください。
- もう一度 😪 (?) ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。



🗣 (?) ボタン



## 3 メニューを切り換える

●または
 ●を押して、メニューのタブを切り換えます。



- 4 選んだメニューに入る
  - ・
     ・
     を押して、選んだメ
     ニューに入ります。



۲	再生メニュー	
	削除	5
	再生フォルダー設定	ALL
-	再生画面設定	
1	撮影直後の画像確認	ON
	縦横位置情報の記録	ON
	縦位置自動回転	ON
	スライドショー	
?	プリント指定(DPOF)	8
_		

## 5 メニュー項目を選ぶ

・③または
 ・で項目を選びます。



121		
0	削除	ធ
	再生フォルダー設定	ALL
5	再生画面設定	
1	撮影直後の画像確認	ON
	縦横位置情報の記録	ON
ш	縦位置自動回転	ON
	スライドショー	
?	プリント指定(DPOF)	8

## 6 設定内容を表示する

 ・
 ・
 を押して設定内容を表示
 します。





## 7 設定内容を選ぶ

・③または
 ・で設定内容を選びます。





## 8 決定する

- ・ ボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル(中止)するには、MENUボタンを押してください。



 メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し (ロ43)してください。

▼ メニュー項目の設定について

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。
   この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- ●ボタンの代わりに ●を押しても決定できますが、画像の削除やSDカードの 初期化などの重要な設定項目については、 ● ボタンしか使えないことがあり ます。

# タッチパネルの使い方

このカメラの液晶モニターはタッチパネルに なっており、指で画面にタッチして操作でき ます。操作方法は次の通りです。

### フリック

タッチパネルを指で上下左右に払う操作です。

### スライド

タッチパネルに触れたまま指を上下左右に動 かす操作です。



### 広げる/つまむ

タッチパネルに2本の指を触れたまま、指の間 隔を広げたり、つまむように狭めたりする操 作です。





### 🔽 タッチパネルについてのご注意

- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

### 🚺 タッチパネル操作時のご注意

- タッチパネルに指が触れたまま、別の指でタッチすると、適切に動作しないことがあります。
- スライド/広げる/つまむ操作時に以下の操作をすると、適切に動作しないこと があります。
  - タッチパネルをはじく
  - 指を動かす距離が短すぎる
  - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
  - 指を動かす速度が速すぎる
  - 広げるとき/つまむときに、2本の指のタイミングの差が大きい

### 🖉 タッチ操作の有効/無効について

セットアップメニュー [**タッチ操作**] (□286) で、タッチ操作の有効/無効を 切り換えられます。[**有効**] に設定すると、撮影画面、再生画面およびメニュー 画面でタッチ操作ができます。[**再生時のみ有効**] に設定すると、再生画面での みタッチ操作ができます。

## 撮影画面でタッチパネルを使う

撮影画面では、液晶モニターに表示されたアイコンにタッチしてカメラ の設定を変更したり、ライブビュー表示中に液晶モニターをタッチして 撮影したりすることができます。

タッチでは操作できないアイコンもあります。

### ■ ファインダー撮影時

#### 撮影モードを変更する

撮影モードがシーンモード(□54)またはスペシャルエフェクトモード(□61)の場合、撮影モードアイコンをタッチすると、撮影モードの設定画面に切り替わります。◆または▶にタッチすると撮影モードを変更できます。撮影モードのアイコンにタッチすると、決定して前の画面に戻ります。



### シャッタースピードと絞りを変更する

撮影モードがS、A、Mの場合、シャッタースピードイメージまたは絞り イメージの右下に表示される↓ をタッチすると、画面に ↓ か表示さ れます。↓または ↓ にタッチすると値を変更できます。 つにタッチする と前の画面に戻ります。



### 撮影時の設定を変更する

画面右下の ■にタッチすると、撮影時の設定を変更できる画面(□10) が表示されます。各項目のアイコンにタッチすると、タッチした項目の 設定画面が表示されます。設定したいアイコンにタッチすると、決定し て前の画面に戻ります。



 設定画面に▲▼が表示される場合、▲また は▼をタッチして数値を変更し、数値また は図にタッチすると、決定して前の画面に 戻ります。



画面をタッチしたときの機能を切り換えられ ます。

タッチした位置にピントを合わせ、指を放す とシャッターがきれます。タッチしている間

 動画撮影中は常に喇喱で動作し、タッチした 位置にピントが合います。アイコンは表示さ れません。

đ	タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行い、
	指を放すとシャッターがきれます。
rið off	タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行い
	ます。
	● AFエリアモードがターゲット追尾 AF(□168)の場合、追尾中に画
	面をタッチすると、追尾している被写体にピント合わせを行います。

### ▶ タッチ操作で撮影するときのご注意

- フォーカスモード(CD 79)が「MF](マニュアルフォーカス)の場合は、タッ チレてもピント合わせを行いません。
- タッチするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がブレる(手ブレす) る) ことがあります。
- ・ 「「に設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- タッチシャッターでは動画撮影中に静止画の撮影(□176)はできません。
- ●レリーズモードを「□」(低速連続撮影)または「□Ⅱ(高速連続撮影)に 設定していても、1コマレか撮影されません。連続撮影するには、シャッター ボタンを押して撮影してください。
- セルフタイマー(ロ77)設定時は、画面の被写体をタッチするとピントが固 定され、指を放してから約10秒後にシャッターがきれます。また、セルフタ イマーの撮影コマ数を1コマ以外に設定した場合、連続で撮影します。 セルフ タイマーの作動時間と撮影コマ数は、カスタムメニュー c3 [セルフタイマー] で変更できます(四262)。

## ■ ライブビュー撮影時

静止画を撮影する(タッチシャッター)

撮影画面で右図のアイコンにタッチすると、



### 撮影モードを変更する

撮影モードがシーンモード(□54)またはスペシャルエフェクトモード(□61)の場合、撮影モードアイコンをタッチすると、撮影モードの設定画面に切り替わります。 ◆または ▶ にタッチすると撮影モードを変更できます。撮影モードのアイコンにタッチすると決定して前の画面に戻ります。



### シャッタースピードと絞りを変更する

撮影モードがS、A、Mの場合、シャッタースピードまたは絞りのアイコンをタッチすると、画面に ◀ ▶ が表示されます。 ◀ または ▶ にタッチ すると値を変更できます。 つにタッチすると前の画面に戻ります。



### 撮影時の設定を変更する

ライブビュー表示中に↓ボタンを押すか画面の■をタッチすると、インフォ画面が表示されます(□173、177)。各項目のアイコンにタッチ すると、タッチした項目の設定画面が表示されます。設定したいアイコンにタッチすると、決定して前の画面に戻ります。





- 設定画面に▲▼が表示される場合、▲または▼をタッチして数値を変更し、数値または図にタッチすると決定して前の画面に戻ります。

## 再生画面で使う

再生画面(□41、191)では次の操作ができます。

### 前後の画像を表示する

左右にフリックすると、前後の画像を表示します。

### 拡大表示する(静止画のみ)

1コマ表示中に広げる操作をすると、拡大表示 (皿204)します。

- さらに広げる操作をすると、拡大率が上がります。
- つまむ操作をすると、拡大率が下がります。
- 画面をスライドすると表示範囲を移動します。

### サムネイル表示する

1コマ表示中につまむ操作をすると、サムネイル表示(ロ193)します。

 広げる/つまむ操作をすると、表示コマ数 (4コマ/12コマ/80コマ)が切り替わります。







### 動画を再生する

帰が表示されている画像で、操作ガイドに タッチすると再生します。

- 再生中に画面をタッチすると一時停止します。もう一度タッチすると再生を再開します。
- 再生中につにタッチすると、再生を終了して1コマ表示モードに戻ります。
- タッチでは操作できない操作ガイドもあります。



操作ガイド



## メニュー画面で使う

メニュー画面(□12)では次の操作ができます。

### メニューをスクロールする

上下にスライドすると、メニュー画面をスク ロールします。

### メニューを切り換える

画面左端のアイコンにタッチすると、選んだ アイコンのメニュー画面が表示されます。

### メニュー項目を選ぶ/設定する

メニュー項目にタッチして選択します。

- アイコンやスライドバーにタッチして項 目や数値を選びます。
- の画面に戻ります。



ALL

0N

ON ON A



服の記録

指定(DPOF)







# 撮影前の準備をする

次の1~8の手順で撮影前の準備を行ってください。

**1** カメラにストラップを取り付ける(2カ所)



2 バッテリーをバッテリーチャージャーで充電する

フル充電するには約1時間50分かかります(残量のないバッテリーの場合)。



▶ バッテリーとチャージャーの使用上のご注意

お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□□xii~xviii)、「カメラとバッテ リーの取り扱い上のご注意」(□□361~365)をお読みになり、記載事項をお守 りください。

- ▼ チャージャーの「CHARGE」ランプが速く(1秒間に8回)点滅する 場合
- バッテリーのセットミス: チャージャーをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、チャージャーにセットし直してください。
- 指定温度外での使用:チャージャーを指定温度範囲内(0℃~40℃)でお使い ください。
- さらに不具合が続く場合は、ただちにチャージャーをコンセントから抜いて、 充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーお よびバッテリーをお持ちください。

## 3 カメラにバッテリーとSDカードを入れる

- バッテリーやSDカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源スイッチがOFFの位置にあることを確認してください。
- バッテリーとSDカードは、図のように正しい向きで入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しな がら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーが バッテリーに掛かって固定されます。







バッテリーロックレバー

• SDカードは、カチッと音がするまで挿入してください。



#### 🖉 時計用電池について

カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラに バッテリーを入れると、時計用電池が充電されます。フル充電するには約3日 間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。液晶 モニターに[日時未設定]と表示された場合は、内蔵時計の設定が初期化され ているため、撮影日時が正しく記録されません。もう一度日時設定を行ってく ださい。

## 4 レンズを取り付ける

•ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。



• 撮影する前に、レンズキャップを取り外してください。

## 5 液晶モニターを開く

•液晶モニターは、無理な力を加えずにゆっくりと回してください。



## 7日付と時刻を設定する

- ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付 と時刻を設定する画面が表示されます。日時の設定が完了するま で、撮影や他の設定はできません。
- マルチセレクターの③また
   は⑦を押して、選択中の項
   目の数値を合わせ、③また
   は⑦で項目を移動します。
- 日付と時刻の設定を完了 したら、 (※ボタンを押し ます。



### 📝 電源スイッチ

電源スイッチを矢印の方向に回して「ON」のマークを指標に合わ せると、カメラの電源がONになります。

電源スイッチを矢印の方向に回して「OFF」のマークを指標に合わせると、カメラの電源がOFFになります。

### 💋 ズームリングボタンの付いたレンズをお使いの場合

ズームリングボタンを押しながら(①)、ズームリングを矢印の方向に回してく ださい(②)。ズームリングのロックが解除され、レンズが繰り出します。



レンズを収納した状態では撮影できません。レンズを繰り出さずに電源をONにして警告メッセージが表示された場合、撮影できる位置までズームリングを回すと、警告メッセージが消えます。













 ファインダーで構図を決め ながら撮影する場合は、あ らかじめ、ファインダー内 がはっきり見えるように視 度調節ダイヤルを向して調節し



度調節ダイヤルを回して調節してください。

- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。
- レンズキャップを取り外し、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、AFエリアフレームが最もはっきり見えるように調節してください。



撮影前の準備が完了しました。すぐに撮影する場合は、四37へ進みます。

### ■ バッテリー残量と記録可能コマ数

■ボタンを押すと、バッテリーの残量とSD カードの記録可能コマ数(これから撮影で きる枚数)をインフォ画面(□18)で確認 できます。



infoボタン

バッテリー残量



記録可能コマ数

バッテリー残量について

液晶モニター	ファインダー	意味
		残量は充分に残っています。
	—	残量が減り始めました。
	4	残量は残りわずかです。
		残量がなくなりました。バッテリーを充電して
(点滅)	(点滅)	ください。

- バッテリー残量が少なくなると、ファインダーにバッテリー警告が表示されます。

### 記録可能コマ数について

記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マー クが点灯します。

## ■ バッテリーとSDカードの取り出し方

### バッテリーを取り出すには

電源をOFFにしてから、バッテリー室カバー を開けてください。バッテリーロックレバー を矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛 び出しますので、引き抜いて取り出してくだ さい。



SDカードカバーを開ける前に、SDカードアク セスランプの消灯を確認して、電源をOFFに してください。SDカードカバーを開けて、SD カードを奥に押し込むと(①)、カードが押し 出されるので、引き抜いて取り出してくださ い(②)。





### 🔽 SDカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際は ご注意ください。
- SDカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やSDカードの故障の原因となります。
  - SDカードの着脱をしないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- •曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- •熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

### 🖉 SDカードの書き込み禁止スイッチについて

 SDカードには、書き込み禁止スイッ チが付いています。このスイッチを 「LOCK」の位置にすると、データの 書き込みや削除が禁止され、カード 内の画像を保護できます。



書き込み禁止 スイッチ

 「LOCK」したSDカードをカメラに入 スイッチ れてシャッターをきろうとすると、
 警告音が鳴り、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは「LOCK」
 を解除してください。

## ■ レンズの取り外し方

カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面 のレンズ取り外しボタンを押しながら(①)、 レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し (②)、引き抜いてください。

 レンズを取り外した後は、カメラのボディー キャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り 付けてください。



### 🖉 レンズのフォーカスモードと手ブレ補正機能について

 レンズのフォーカスモード(皿88)が 切り換えられる場合は、オートフォー カス(A、M/A、またはA/M)に設定し てください(使用できるレンズについ ては、皿329をご覧ください)。



 ● 手ブレ補正機能(□□401)を使うと きは、手ブレ補正スイッチをONにし てください。



### 🖉 ズームリングボタンの付いたレンズの収納方法

カメラを使わないときは、レンズを収納してコンパクトにすることができます。レンズを収納するには、ズームリングボタンを押しながら(①)、ズームリングを矢印の方向に回してください(②)。ズームリング上の指標を「凵(ロック)の位置に合わせると、ズームリングがロックされてレンズが収納されます。



- レンズの着脱時にズームリングボタンを押さないようご注意ください。
- レンズを取り外す前にレンズを収納してください。

# かんたんに静止画/動画を撮影 する (習ォート/④発光禁止オート)

撮影モード (オート) と③(発光禁止オート)を 使うと、カメラまかせの簡単な操作で静止画撮影と 動画撮影を楽しむことができます。 留の場合は、必 要に応じてフラッシュが光ります。フラッシュを光 らせずに撮影したいときは、③で撮影してください。



カメラの電源をONにし て、カメラ上面の撮影 モードダイヤルを留ま たは③に合わせます。 撮影モードダイヤル



ファインダーをのぞいて撮影する(ファインダー撮影)



液晶モニターを見ながら撮影する(ライブビュー撮影)



かんたんに静止画/動画を撮影する(習オート/③発光禁止オート) 37

# ファインダーをのぞいて静止画を 撮影する

### **1** カメラを構える

 脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっか りと持ち、左手でレンズを支えます。





 人物などを縦位置で撮影する場合は、 カメラを縦位置に構えます。



### ズームレンズの使い方 被写体を大きく写したいときはズームリングを望 遠側(焦点距離目盛の大きい数値側)に、広い範 囲を写したいときはズームリングを広角側(焦点 距離目盛の小さい数値側)に回してください。

望遠側



広角側

 ズームリングボタンの付いたレンズの場合 (□31)は、ズームリングボタンを押しながら、 右図の警告メッセージが表示されなくなるまで ズームリングを回してロックを解除してから、 ズーム操作を行ってください。



38 かんたんに静止画/動画を撮影する(習オート/③発光禁止オート)



**3** シャッターボタンを軽く 押して(半押しして)、 ピントを合わせる

- 暗い場所などでは、AF補助 光が光ったり内蔵フラッシュ が上がることがあります。
- ピントが合うと、ピピッと いう電子音が鳴り、ファイ ンダー内のピント表示(●)

25 r55

AFエリアフレーム

ピント表示

連続撮影 可能コマ数

が点灯します(被写体が動いているときは、電子音が鳴らない場合があります)。

ファインダー内ピント表示	意味
● (点灯)	被写体にピントが合っています。
●(点滅)	オートフォーカスでのピント合わせができ ません(「オートフォーカスの苦手な被写 体」(□□81)をご覧ください)。

• ピントが合った位置には、フォーカスポイントが表示されます。

4 シャッターボタンを半押 ししたまま、さらに 深く押し込んで(全押し して)撮影する

> SDカードアクセスランプが 点灯している間は、画像を 記録しています。SDカード やバッテリーを取り出さな いでください。



 撮影した画像が液晶モニターに数秒間 表示されます。



### 40 かんたんに静止画/動画を撮影する(習オート/③発光禁止オート)

## <u>撮影した画像を再生する(1コマ表示モード)</u>

▶ボタンを押すと、撮影した画像が表示され Eます。



■ボタン



マルチセレクターの ④ または ④ を押すと、
 他の画像を表示できます。



## 画像を削除する

表示中の画像を削除します。**削除した画像は元には戻せないのでご注意** ください。



## 3 もう一度面ボタンを押す

•表示中の画像が削除されます。



42 かんたんに静止画/動画を撮影する(習オート/・多発光禁止オート)

### 🖉 シャッターボタンの半押し

シャッターボタンは、2段階に押し込むようになっています。まず、シャッター ボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、 「シャッターボタンを半押しする」といいます。次に、そのまま深く押し込む(こ れを「シャッターボタンを全押しする」といいます)と、シャッターがきれます。



ピントを合わせる

撮影する

再生中にシャッターボタンを半押しすると、すぐに次の撮影ができます。

### ☑ ファインダー撮影時の半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイ マー|という機能があります。シャッターボタンを半押しすると、 半押しタイマーがオンになります。何も操作が行われないまま約 8秒経過すると半押しタイマーがオフになり、ファインダー内表示 が消灯します。もう一度シャッターボタンを半押しすると、半押



しタイマーがオンになり、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、 カスタムメニュー c2 「パワーオフ時間」(ロ262) で変更できます。



### 🖉 内蔵フラッシュについて

撮影モード智では、シャッターボタンを半押し すると必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが 上がります(ロ94)。

- ファインダー内にく(レディーライト)が点灯しているとき:シャッターボタンを全押しすると、内蔵フラッシュが発光します。
- 内蔵フラッシュが上がっている状態でもか点 灯していないとき:フラッシュが充電中のため、撮影できません。

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音 がするまで手で軽く押し下げます。フラッシュ を使わないときは常に収納してください。





# 液晶モニターを見ながら静止画を 撮影する(ライブビュー撮影)

## 1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。



## **2** カメラを構える

 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手 でレンズを支えます。



 人物などを縦位置で撮影する場合は、 カメラを縦位置に構えます。







 フォーカスポイントは、 オートフォーカス作動中は 緑色で点滅し、ピントが合



フォーカスポイント

うと緑色で点灯します。ピントが合わないと赤色で点滅します。

4 シャッターボタンを半押 ししたまま、さらに深く 押し込んで(全押しして) 撮影する



 撮影時は液晶モニターが消 灯します。

SDカードアクセスランプ

- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。SDカードやバッテリーを取り出さないでください。
- 撮影後は、撮影した画像が液晶モニターに数秒間表示されます。
- ライブビューを終了する場合は、ライ ブビュースイッチを回します。


#### 🖉 おまかせシーン

撮影モードダイヤルが響または③のときにライブビューに切り換えると、オートフォーカスに設定している状態では、「おまかせシーン」になります。

- おまかせシーンでは、カメラが撮影シーンや被写体に合わせて最適な撮影モードを決定します。
- 液晶モニターの左上に、カメラが選んだ撮影
   モードのアイコンが表示されます。



ĩ	ポートレート	人物を認識した場合
	風景	自然の風景や街並みを認識した場合
۳.	クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
<u>.</u>	夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
AUTO	オート	上記のシーンを認識しなかった場合
٦	発光禁止オート	響または3に適したシーンの場合

#### 🖉 ライブビュー撮影について

ライブビュー撮影時のご注意や、撮影時に設定できる機能の説明については、 「ライブビュー撮影(液晶モニターを見ながら撮影する)」(ロ163)をご覧くだ さい。

## <u>撮影した画像を再生する(1コマ表示モード)</u>

▶ボタンを押すと、撮影した画像が表示され 目ます。



▶ボタン



マルチセレクターの ③ または ④ を押すと、
 他の画像を表示できます。



48 かんたんに静止画/動画を撮影する(習オート/③発光禁止オート)

## 画像を削除する

表示中の画像を削除します。**削除した画像は元には戻せないのでご注意** ください。



## 3 もう一度面ボタンを押す

•表示中の画像が削除されます。



かんたんに静止画/動画を撮影する(習オート/③発光禁止オート) 49

## 動画を撮影する

ライブビューにすると動画を撮影できます。

1 ライブビュースイッチを回す 液晶モニターに被写体が表示されます。 ライブビュースイッチ

## 2 カメラを構える

 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手 でレンズを支えます。



3 シャッターボタンを軽く 押して(半押しして)、 ピントを合わせる



フォーカスポイント

((12)

50 かんたんに静止画/動画を撮影する(習オート/の発光禁止オート)

#### 4 動画撮影ボタンを押して、撮影を 始める



残り時間

 録画中は録画中マークが液晶モニター に表示されます。SDカードに記録でき る残り時間の目安も液晶モニターで確 認できます。

150A 100 [ 1.8 k

録画中マーク

5 もう一度動画撮影ボタンを押して、 撮影を終了する

 ライブビューを終了する場合は、ライ ブビュースイッチを回します。



## 撮影した動画を再生する

▶ボタンを押して、**県**マークが表示されている画像を表示します(1コマ表示モード)。





 ● ボタンを押して動画を再生します。マル チセレクターの●または●ボタンを押す と、動画再生を終了します。動画再生時の詳 しい操作については、「動画を再生する」
 (□184)をご覧ください。



#### 🖉 動画撮影について

動画撮影時のご注意や、撮影時に設定できる機能の説明については、「ライブ ビューで動画を撮影する」(◯ 175)をご覧ください。

52 かんたんに静止画/動画を撮影する(習オート/③発光禁止オート)

## 動画を削除する

表示中の動画を削除します。**削除した動画は元には戻せないのでご注意** ください。



#### 2 面ボタンを押す



面ボタン



## 3 もう一度面ボタンを押す

•表示中の動画が削除されます。



## 被写体や状況に合わせて撮影 する (シーンモード)

撮影するシーンが決まっているときは、シーンに合わせて撮影モードを 選ぶだけで、美しく撮影できます。

#### ■ シーンモードの設定方法

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせた後、コマンドダイヤルを回して 設定を変更します。







撮影モード ダイヤル

コマンドダイヤル

液晶モニター

次のシーンモードから設定できます。

ž	ポートレート	<b>]/8</b>	海·雪
	風景		夕焼け
2	こどもスナップ	÷	トワイライト
Ŷ	スポーツ	**	ペット
۲	クローズアップ	4	キャンドルライト
*۵	夜景ポートレート	٩	桜
<b>.</b>	夜景	Ģ	紅葉
X	パーティー	۳٩	料理

#### ■ 各シーンモードの特徴

🌠 (ポートレート)



人物を美しく撮影したいときに使いま す。人物の肌をなめらかで自然な感じに 仕上げます。

 被写体と背景が離れているときや、望 遠レンズを使って撮影したときは、背 景がぼけて立体感のある画像になり ます。





自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影 したいときに使います。

#### ▼ ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。





子供の撮影に向いています。肌の色を美 しく表現すると同時に、服装や背景も鮮 やかに仕上げます。





運動会などスポーツ写真の撮影に向い ています。動きのある被写体の一瞬の動 きを鮮明にとらえ、躍動感のある画像に 仕上げます。

#### V ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。





草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、大きく写したいときに使います。

マイクロレンズを使用すると、より被
 写体に近づいて撮影することができます。



#### (夜景ポートレート)



タ景や夜景をバックに、人物を撮影したいときに使います。人物と背景の両方を 美しく表現します。



#### (夜景)



夜景の撮影に適しています。ノイズや不 自然な発色を抑え、外灯やネオンなどの 光を鮮やかにして夜景の雰囲気を表現 します。

#### ☑ ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。





パーティーなどでの撮影に適していま す。パーティー会場の光の雰囲気も表現 します。





晴天の海や湖、砂浜、雪景色などの撮影 に適しています。

#### ✓ ご注意 内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。





夕焼けや朝焼けの撮影に適しています。

#### ✔ ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。





夜明け前や日没後の風景の撮影に適し ています。わずかな自然光での風景をき れいに表現します。

#### ✔ ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。





動き回るペットなどの撮影に適してい ます。

✓ ご注意 AF補助光は照射しません。

0 (キャンドルライト)



キャンドルライトでの撮影に適してい ます。

✔ ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。





桜、花畑などの花がたくさん咲いている 風景の撮影に適しています。

#### ☑ ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。





紅葉の撮影に適しています。 紅葉の赤色 や黄色を鮮やかに表現します。

✓ ご注意 内蔵フラッシュは発光しません。

## ₩ (料理)



料理の撮影に適しています。料理を鮮や かに表現します。

#### ✔ ご注意

★ (図2) ボタンを押して内蔵フラッシュを上げて、フラッシュ撮影することもできます (□296)。

#### 🖉 三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

60 被写体や状況に合わせて撮影する(シーンモード)

## 特殊効果をつけて撮影する (スペシャルエフェクトモード)

特殊な効果のついた画像を撮影できます。

### ■ スペシャルエフェクトモードの設定方法

撮影モードダイヤルをEFFECTSに合わせた後、コマンドダイヤルを回して 設定を変更します。







撮影モード ダイヤル

コマンドダイヤル

#### 液晶モニター

次のスペシャルエフェクトモードから設定できます。

76	ナイトビジョン	🕼 ミニチュア効果	
٧I	極彩色	🖋 セレクトカラー	
POP	ポップ	▲ シルエット	
D	フォトイラスト	□□ ハイキー	
<b>D</b> TOY	トイカメラ風		

## ■ 各スペシャルエフェクトモードの特徴

## (ナイトビジョン)



意図的に高感度で撮影して、モノトーン (白黒)で表現します。暗闇での撮影に 適しています。

#### ✔ ご注意

- オートフォーカスはライブビュー撮影時のみ使えます。
- オートフォーカスでピントが合いにくい場合は、フォーカスモードを [MF] (マニュアルフォーカス) に設定してください (凹79, 166)。
- 撮影した画像にノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生する場合があります。
- 内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。

## **↓** (極彩色)



画像全体の色を強調し、コントラストが はっきりした写真にします。

### **POP** (ポップ)



画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲 気にします。

😡 (フォトイラスト)



輪郭を強調し、色数を減らすことでイラ スト風に表現します。

#### 🔽 ご注意

- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- 動画撮影の場合は、コマ送りのような動画として記録されます。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。

## 鼠 (トイカメラ風)



- 色の濃さと周辺減光量を調整し、トイカ メラで撮影したように表現します。
- ライブビュー表示にすると、県(トイ カメラ風)の効果を設定できます (印68)。

(ミニチュア効果)



ミニチュア (模型)を接写したように表 現します。高いところから見下ろして撮 影する場合に適しています。

 ライブビュー表示にすると、()(ミニ チュア効果)の効果を設定できます (□(069)。

#### 🔽 ご注意

- 内蔵フラッシュとAF補助光は発光しません。
- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- 動画撮影の場合は、早送り動画として記録されます。
- 動画撮影の場合は音声は記録されません。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。

### 🖉 (セレクトカラー)



選んだ色のみをカラーで残し、それ以外 の色をモノトーン(白黒)で表現します。 ・ライブビュー表示にすると、♪(セレ クトカラー)の効果を設定できます

 $(\Box 71)_{\circ}$ 

✓ ご注意 内蔵フラッシュは発光しません。



## 🛣 (シルエット)



背景が明るいシーンで、被写体を意図的 にシルエットで表現します。

🔽 ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。





全体的に明るめの被写体の撮影に適し ています。画像全体を意図的に明るい トーンで表現します。光に満ちた華やい だ雰囲気になります。

#### ▼ ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。





全体的に暗めの被写体の撮影に適して います。画像全体を意図的に暗いトーン で表現します。深く落ち着き、ハイライ ト部分が引き立った雰囲気になります。

#### ▼ ご注意

内蔵フラッシュは発光しません。

#### ✓ 三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

#### 🖉 スペシャルエフェクトモードについて

- 撮影モード囚、VI、POP、Q、Q、協またはよの場合に画質モード [RAW] で 撮影すると、画質モードFINEで画像が記録されます。RAWとJPEGを同時に記 録した場合は、JPEG画像のみが記録されます。
- 撮影モードがなまたはゆのときにレリーズモードを「马L」(低速連続撮影) または「马H」(高速連続撮影)に設定した場合、連続撮影速度が遅くなります。
- 撮影モードがひまたは頃のときは、ライブビュー時の表示の更新は遅くなります。

## 💵 🔛(フォトイラスト)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードでひを選んだ後、効果を設定します。

#### 1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。



# 2 ®ボタンを押す ・フォトイラストの設定画面が表示されます。



## 3 線の太さを設定する ・マルチセレクターの ・マルチセレクターの

り、③を押すと太くなります。



## 4 決定する

- 感ボタンを押すと、効果が決定します。
- ファインダー撮影をする場合は、ライブビュースイッチを回して ライブビューを終了します。ファインダー撮影時も、設定した効 果は維持されます。

## ■ 🖁 (トイカメラ風)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで息を選んだ後、効果を設定します。

#### 1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。



## 2 <br /> ⑥ボタンを押す<br /> ・トイカメラ風の設定画面が表示されます。



#### 3 色の濃さと周辺減光を設定する

- マルチセレクターの
   または
   を押して、設定したい項目を選びます。
- [色の濃さ]: ③を押すと色が濃くなり、
   ③を押すと薄くなります。
- ・[周辺減光]:
   ・
   を押すと減光効果が強くなり、
   ・
   を押すと弱くなります。
   ・



## 4 決定する

- ● ボタンを押すと、効果が決定します。
- ファインダー撮影をする場合は、ライブビュースイッチを回して ライブビューを終了します。ファインダー撮影時も、設定した効 果は維持されます。

## ■ 🏟 (ミニチュア効果)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで峰を選んだ後、効果を設定します。

#### 1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。



#### 2 フォーカスポイントを被写体に重ねる

 マルチセレクターで、ぼかさないで はっきりと見せたい部分にフォーカス ポイントを移動します。



- シャッターボタンを半押しして、ピントが合う部分を確認します。
- ♥ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、ピントを細部まで確認できます。♥≅(?)ボタンを押すと画像を縮小表示します。
- 拡大表示中は効果が一時解除されます。

## 3 ◎ ボタンを押す

ミニチュア効果の設定画面が表示されます。



#### 4 効果をかける方向と幅を設定する

- ③または
   ⑥を押すと、効果をかける 方向を縦と横から選べます。
- ・ ③または ③を押すと、効果をかける 幅を設定できます。



## 5 決定する

- ●ボタンを押すと、効果が決定します。
- ファインダー撮影をする場合は、ライブビュースイッチを回して ライブビューを終了します。ファインダー撮影時も、設定した効 果は維持されます。

**ℤ ミニチュア効果での動画撮影について** 動画の記録時間は撮影にかかる時間よりも短くなります。たとえば、撮影メ ニュー [動画の設定]の [画像サイズ/フレームレート]が1920 × 1080、30p の場合 (□180)、約3分の動画ファイルを作成するためには、約45分の撮影時 間が必要です。

70 特殊効果をつけて撮影する(スペシャルエフェクトモード)

## ■ 🖋(セレクトカラー)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで、を選んだ後、効果を設定します。

### 1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。



## **2** ®ボタンを押す

セレクトカラーの設定画面が表示されます。



## 3残したい色を抽出する

- カメラを動かして画面中央の枠を残したい色の被写体に重ねます。
- ≪「ボタンを押すと、被写体が拡大表示 され、残したい色を細部まで確認でき ます。

   ※「「ボタンを押すと画像を 縮小表示します。



- マルチセレクターの●を押すと、画面中央の枠に重ねた被写体の 色が抽出され、色の枠に表示されます。
- 抽出した色以外の色は、モノトーン(白黒)で表示されます。

#### 4 抽出する色の感度を設定する

● 急または ●を押して、抽出する色の感度を[1]~[7]から設定します。数値が大きいほど抽出する色の色相が広くなり、小さいほど狭くなります。



特殊効果をつけて撮影する(スペシャルエフェクトモード) 71

## 5 抽出する色を追加する

- コマンドダイヤルを回して 別の色の枠を選び、手順3
   ~4と同じ手順で色を抽出し、色の感度を設定します。
- •最大3色まで設定できます。
- 抽出した色を選んで面ボタンを押すと、抽出した色をリセットします。
- ・抽出した全ての色を削除したい場合は、 ●ボタンを押し続けます。確認画面で [はい] を選んで ●ボタンを押すと、全ての色をリセットします。

#### 6 決定する

- ● ボタンを押すと、効果が決定します。
- ファインダー撮影をする場合は、ライブビュースイッチを回して ライブビューを終了します。ファインダー撮影時も、設定した効 果は維持されます。

#### ▼ セレクトカラー設定時のご注意

- 残したい色の彩度によっては、抽出しにくい場合があります。彩度の高い色の 抽出をおすすめします。
- 色の感度を高く設定しすぎると、選択した色に近い色相の色も抽出されます。
- 72 特殊効果をつけて撮影する(スペシャルエフェクトモード)

## 撮影機能を使いこなす

## レリーズモードを選ぶ

□ (心/i) ボタンを押すと、シャッターをきる(レリーズする)ときの動作(レリーズモード)の選択画面が表示されます。マルチセレクターでカーソルを動かし、∞ボタンを押して決定します。



🖳 (🕐/i̇́) ボタン



S	1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマ ずつ撮影できます。	—
٩L	低速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、低速 連続撮影します。	CD 74
맥	高速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、高速 連続撮影します。	<b>\$</b> 74
Q	静音撮影	1コマ撮影に比べて静かに撮影できます。	四76
છ	セルフタイマー	セルフタイマー撮影ができます。	CII 77
â 2s	2秒リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押す と、2秒後にシャッターがきれます。	□106
Î	瞬時リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押す と、すぐにシャッターがきれます。	□106

#### 🖉 コマンドダイヤルで変更する

□ (心/â) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回しても、レリーズモードを変更できます。□ (心/â) ボタンを放すと決定してインフォ画面に戻ります。

## 連続撮影する

シャッターボタンを深く押し込んで(全押しして)、そのまま押し続けている間、連続撮影できます。[**马**L](低速連続撮影)と、[**马**H](高速連続撮影)から選べます。







・ 「ボタンを押して設定します。



3構図を決め、ピントを合わせる



#### **4** シャッターボタンを全押しして連続 撮影する

 シャッターボタンを深く押し込んで (全押しして)、そのまま押し続けてい る間、連続撮影します。



#### ▶ 連続撮影についてのご注意

- 内蔵フラッシュが発光するときは、連続撮影はできません。連続撮影するに は、撮影モードを③(発光禁止オート)(□37)にするか、フラッシュモー ド(ロ95、97)を「③](発光禁止)にしてください。
- バッテリー残量が減ると、連続撮影速度が遅くなることがあります。撮影中に バッテリーの残量がなくなった場合は、連続撮影は中止され、撮影済みの画像 データがSDカードに記録されます。

#### ✓ 連続撮影速度について

「リ」(低速連続撮影)と「リー川(高速連続撮影)設定時の連続撮影速度につ いては、四387ページをご覧ください。

#### 🦉 連続撮影可能コマ数の表示

 シャッターボタンを押している間、 撮影可能コマ数(連続撮影速度を維持したま ま続けて撮影できるおおよそのコマ数)が、ファインダー内に表示されます。



- 連続撮影は最大 100 コマまでできます。ただし、撮影モードがSまたは Mで シャッタースピードが4秒以上の場合は、連続撮影のコマ数は制限されません。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、撮影条件によって増減することがありま す。「**┍**□□ と表示されたときは、連続撮影速度が低下します。

## 静音撮影する

1コマ撮影に比べて静かに撮影するため、できるだけ音を立てたくない ときに便利です。ピントが合ったときの電子音は鳴りません。



3 シャッターボタンを全押しして撮影 する



## セルフタイマーを使って撮影する

セルフタイマーによる撮影は、記念写真など、撮影者自身も一緒に写り たいときなどに便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚などを使って カメラを固定してください。





🖳 (ů/i̇́) ボタン

レリーズモード



・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<



 ピントが合っていないときなど、カメ ラのシャッターがきれない状態ではセ ルフタイマーは作動しません。

#### 4 セルフタイマー撮影を開始する

 シャッターボタンを全押しすると、約 10秒後にシャッターがきれます。タイ マーが作動している間は、電子音が鳴 り、セルフタイマーランプが点滅しま す。撮影約2秒前になると、点滅から点 灯に変わり、電子音が鳴る間隔が短く なります。



1:5

S QuL





#### 🖉 ファインダーから顔を離して撮影するときは

ファインダーから入った光が適正露出や画像に影響を与えることを防ぐため、 手などでファインダー接眼部をおおうか、別売のアイピースキャップ(ロ350) を取り付けることをおすすめします。アイピースキャップは、接眼目当てを取 り外し(①)、図のように取り付けます(②)。



#### 🖉 セルフタイマー撮影時のフラッシュについて

内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モード(□196)でフラッシュを使って撮影 したいときは、撮影を開始する前に\$(1922)ボタンを押して内蔵フラッシュを 上げ、ファインダー内の\$(フラッシュアイコン)が点灯するまでお待ちくださ い。セルフタイマーの作動中にフラッシュを上げると、撮影は中止されます。

#### 🖉 セルフタイマー撮影の解除について

作動中のタイマーを解除するには、電源をOFFにしてください。

#### 🖉 カスタムメニュー c3 [セルフタイマー]

カスタムメニュー c3 [**セルフタイマー**] では、セルフタイマーの作動時間や連 続撮影コマ数を変更できます(ロ262)。

## ファインダー撮影時にオート フォーカスでピントを合わせる

ファインダーをのぞいて撮影するときの、オートフォーカスでのピントの合わせ方について説明します。

## ピントの合わせ方を選ぶ(フォーカスモード)

AF-A	AFサーボモード 自動切り換え	被写体が静止しているときは [AF-S]、動いていると きは [AF-C] に自動的に切り替わります。ピントが 合っていないときはシャッターはきれません。
AF-S	シングル AFサーボ ※	静止している被写体の撮影に適しています。シャッ ターボタンを半押しすると、ピントが合った時点で フォーカスがロックされます。ピントが合っていない ときはシャッターはきれません。
AF-C	コンティニュアス AFサーボ ※	スポーツなど動きのある被写体の撮影に適していま す。ピントが合ってもフォーカスロックはされず、 シャッターをきるまでピントを合わせ続けるモード です。 • 初期設定では、ピントが合うまでシャッターをきれ ませんが、カスタムメニューa1 [AF-Cモード時の 優先](□258)で、ピント状態に関係なくシャッ ターがきれるように変更できます。
MF	マニュアル フォーカス	手動でピントを合わせます(四88)。

※撮影モードP、S、A、Mで選べます。

## 1 [フォーカスモード] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。



 マルチセレクターで [フォーカスモー ド] を選んで®ボタンを押します。



インフォ画面





#### 🖉 予測駆動フォーカスについて

ファインダー撮影時のAFモードが [AF-C] のときや、[AF-A] に設定していて 自動的に [AF-C] に切り替わったときは、シャッターボタンの半押し時に被写 体が近づいてくるのをカメラが認識すると、自動的に予測駆動フォーカスに切 り替わります。予測駆動フォーカスが作動すると、シャッターがきれる時点で の到達位置を予測しながらピントを合わせ続けます。

#### ✓ [AF-C] コンティニュアスAFサーボについてのご注意

カスタムメニュー a1 [AF-Cモード時の優先] を [フォーカス] (□258) に設定 している場合、[AF-C] はシャッターチャンスを逃さないために、[AF-S] より もシャッターのきれるピントの範囲が広くなっています。このため、ファイン ダー内のピント表示(●) が点灯する前にシャッターがきれることがあります。 [AF-A] に設定していて自動的に [AF-C] に切り替わった場合でも、同様の動 作をします。

#### 🖉 オートフォーカスの苦手な被写体

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができず、シャッ ターがきれないことや、ピントが合っていなくても電子音が鳴ってピント表示 (●)が点灯し、シャッターがきれることがあります。このような場合は、マ ニュアルフォーカス(□288)でピントを合わせるか、フォーカスロック(□286) を利用してください。

被写体の明暗差がはっきりしない場合 (白壁や背景と同色の服をきている人物など)

フォーカスポイント内に遠くのもの と近くのものが混在する被写体 (オリの中の動物など)



**連続した繰り返しパターンの被写体** (ビルの窓やブラインドなど)



被写体の明暗差が極端に異なる場合

(太陽を背景にした日陰の人物など)



背景に対してメインの被写体が 小さい場合(遠くの建物を背景に近く の人物を撮影する場合など)



**絵柄が細かい場合**(一面の花畑など)



#### 🖉 AF補助光について

- 被写体が暗い場合などにシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのために、AF補助光を自動的に照射します(撮影モードや設定によっては、AF補助光を照射しないことがあります(ロ371))。
- AF補助光ランプを連続して使うと、保護機能が 働いて一時的に照射が制限されます。少し時間

あおくとすび照射するようになります。また、短時間に何回も使うと、AF補 助光ランプが熱くなることがあるのでご注意ください。


# <u>フォーカスポイントの選び方を決める</u> (AFエリアモード)

[1]	シングルポイント AF	静止している被写体の撮影に適しています。選んだ フォーカスポイントだけを使ってピント合わせをし ます。
©]9 ©]21 ©]39	ダイナミックAF (9点) * ダイナミックAF (21点) * ダイナミックAF (39点) *	<ul> <li>不規則な動きをする被写体の撮影に効果的です。選んだフォーカスポイントから被写体が一時的に外れてしまった場合でも、周辺のフォーカスポイントからのピント情報を使ってピントを合わせます。</li> <li>ダイナミックAF(9点):構図を決めて撮影するときや、被写体の動く方向が予測でき、フォーカスポイントで被写体をとらえやすい撮影に適しています(例:陸上競技やモータースポーツ)。</li> <li>ダイナミックAF(21点):動きがランダムで予測しにくい被写体の撮影に適しています(例:フィールドスポーツ)。</li> <li>ダイナミックAF(39点):被写体の動きが速く、選択したフォーカスポイントで被写体をとらえにくい場合の撮影に適しています(例:野鳥撮影)。</li> </ul>
[3D]	3D-トラッキング*	左右に動く被写体を自由な構図で撮影するのに適し ています(例:テニス)。選んだフォーカスポイント で被写体にピントを合わせると、シャッターボタン を半押ししている間、構図の変化に合わせて、フォー カスポイントを自動的に切り換えてピントを合わせ 続けます。
(==)	オートエリアAF	カメラが自動的に、全てのフォーカスポイントから 被写体を判別してピントを合わせます。

※フォーカスモードが [AF-S] のときは選べません。

# **1** [AFエリアモード] を選ぶ

•*i*ボタンを押します



 マルチセレクターで [AFエリアモー ド] を選んで®ボタンを押します。



インフォ画面

## **2** 設定したいAFエリアモードを選ぶ

・ (W)ボタンを押して設定します。



#### AFエリアモードの設定について

P、S、A、M以外の撮影モードで設定したAFエリアモードは、撮影モードを切り換えると、リセットされます。

#### 🖉 3D-トラッキングについて

- [30](3D-トラッキング)では、半押ししていったんピントが合ったときに 選択したフォーカスポイント周辺の色を背景の色も含めて記憶します。そのた め、被写体の色が周囲の色と似ていると、うまく作動しない場合があります。
- 素早い動きをする被写体などの場合、カメラが途中で被写体を見失ってしまうときがあります。その場合、いったんシャッターボタンを放して、もうー度被写体にフォーカスポイントを合わせてください。

# <u>フォーカスポイントを自分で選ぶ</u>

このカメラには、39点のフォーカスポイント(自動でピント合わせを行う領域)があります。フォーカスポイントを自分で選ぶことで、構図を 自由に変えられます。



 84ページの手順でAFエリアモードを 選びます。



2 iボタンを押して撮影画面に戻る



## **3** ファインダーをのぞきながらマルチセ レクターでフォーカスポイントを選ぶ

- 半押しタイマー作動中にマルチセレク ターを操作すると、ファインダー内で フォーカスポイントが移動します。
- 選んだフォーカスポイントは、イン フォ画面でも確認できます。



フォーカスポイント



# <u>フォーカスロックしてピントを固定する</u>

ピントを合わせたい被写体がいずれのフォーカスポイントにも入らな い場合や、オートフォーカスが苦手な被写体(皿81)を撮影する場合 には、ピントを固定(フォーカスロック)して撮影すると効果的です。 フォーカスロックを行う前に、AFエリアモード(皿83)を[**■**](オー トエリアAF)以外に設定することをおすすめします。



**2** ピントを固定する フォーカスモード(ロ79)が [AF-A] または [AF-C] のとき: ・シャッターボタンを半押ししたまま シャッターボタン

 (①)、粃(On)ボタンを押すと
 (②)、ピントが固定されます。
 粃(On)ボタンを押している間は、 シャッターボタンから指を放しても、
 ピントが固定されます(この状態を フォーカスロックといいます)。



#### フォーカスモードが [AF-S] のとき:

シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます。
 (On)ボタンでフォーカスロックを行うこともできます。

**3** フォーカスロックを行ったままで構図を変え、 シャッターボタンを全押しして撮影する





スロック後に被写体との距離が変化した場合は、いったんフォー カスロックを解除し、ピントを合わせ直してください。

#### 🖉 ピントを固定したまま繰り返し撮影したいときは

- シャッターボタンの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターをきった後、シャッターボタンを半押しの状態に戻し、そのままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。
- ・ (L) (On)ボタンでフォーカスロックを行った場合は、(L) (On)ボタンを押したままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。

#### 🖉 AEロックについて

手順2で (A) (A) ボタンを押すと、ボタンを押している間、ピントと同時に露 出も固定されます。これをAEロックといいます。AEロック撮影については、「AE ロックして露出を固定する(AEロック撮影)」(ロ125)をご覧ください。

# マニュアルフォーカスでピントを 合わせる

ピントを手動で合わせたいときや、オートフォーカスが使えない場合、 オートフォーカスの苦手な被写体の場合には、マニュアルフォーカスで ピントを合わせられます。

## レンズ側のフォーカスモードをM(マニュアルフォーカス) にする

A-M切り換えスイッチ



フォーカスモード 切り換えスイッチ



## 2 ピントを合わせる

 レンズのフォーカスリングを回して、 ファインダー内のメインの被写体が はっきり見えるようにピントを合わせ ます。



# ■ フォーカスエイドによるピント合わせ

開放F値がF5.6以上明るいレンズ(絞りの最も 小さい数値がF5.6以下のレンズ)を使ってマ ニュアルフォーカスで撮影するときは、ファ インダー内のピント表示(●)でピントが合っ ているかどうかを確認できます。ピントが 合っているかどうかの基準となるフォーカス ポイントは39カ所から選べます。



- ピントが合うとピント表示(●)が表示されます(□5、39)。
- オートフォーカスの苦手な被写体(□81)では、ピントが合っていなくてもピント表示(●)が点灯することがありますので、ファインダースクリーンの像でピントが合っていることを確認してください。

### 🖉 カメラ側での設定

M/A (マニュアル優先オートフォーカス) また はA/M (オート優先オートフォーカス) モード 機能付きのレンズをお使いの場合は、フォーカ スモード (ロ79) で [**MF**] (マニュアルフォー カス) を選んでもマニュアルフォーカスになり ます。レンズ側のフォーカスモードを切り換え る必要はありません。



#### 🖉 距離基準マーク

距離基準マーク ↔ は撮影距離の基準となる マークで、カメラ内の撮像面の位置を示しま す。レンズ取り付け面(レンズマウント)か ら撮像面までの寸法(フランジバック)は 46.5mmです。



# 画質や画像のサイズを変更する

# <u>画質モードを設定する</u>

画像を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。

画質モード		ファイル形式	説明			
RAW		NEF	撮像素子の生データ(RAW形式)を記録 します。撮影時に設定したホワイトバラ ンスやコントラストなどを、撮影後に変 更できます。			
FINE	高		画像データは約1/4に圧縮されます。			
NORMAL	画質	画質	JPEG	画像データは約1/8に圧縮されます。		
BASIC	低		画像データは約1/16に圧縮されます。			
RAW+FINE RAW+NORMAL			RAWとJPEG (FINE) の2種類の画像を同時に記録します。			
		NEF+JPEG	RAWとJPEG (NORMAL) の2種類の画 像を同時に記録します。			
RAW+BASIC			RAWとJPEG (BASIC) の2種類の画像を 同時に記録します。			

### ☑ RAW画像とJPEG画像の同時記録について

• カメラでの再生時には、JPEG画像だけが表示されます。

• JPEG画像をカメラ上で削除すると、同時記録されたRAW画像も削除されます。

## 1 [画質モード] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。



 マルチセレクターで [画質モード] を 選んで®ボタンを押します。



インフォ画面

# 2 設定したい画質モードを選ぶ

・ (Wボタンを押して設定します。)



### ▼ 「RAW」についてのご注意

- 画質モードをRAWに設定すると [画像サイズ] (印93) は変更できません。
- RAWを含む画質モードに設定すると、次の機能は使用できません。
  - WBブラケティング (ロ147)
  - HDR (🖽 133)
  - カスタムメニュー d4 [日付写し込み設定](□265)

#### 🖉 RAW画像の現像について

画像編集メニューの [**RAW現像**] (□ 300) 、またはViewNX 2 (□ 215) や Capture NX-D (□ 215) などのソフトウェアを使うと、RAW画像を現像でき ます。

# 画像サイズを設定する

画像を記録するときのファイルサイズを設定できます。

画像サイズ		画像の大きさ	プリント時の大きさ※ (出力解像度300dpiの場合)	
🖸 サイズL	ᄎ	6000×4000ピクセル	約50.8×33.9 cm	
🕅 サイズM	サイズ	4496×3000ピクセル	約38.1×25.4 cm	
⑤ サイズS	小	2992×2000ピクセル	約25.3×16.9 cm	

※ピクセル数÷出力解像度(dpi) ×2.54 cmで計算しています。



 マルチセレクターで [画像サイズ] を 選んで®ボタンを押します。

2 設定したい画像サイズを選ぶ





インフォ画面





# 内蔵フラッシュを使う

内蔵フラッシュを使うと、暗い場所や逆光下など、さまざまな場所での 撮影を楽しむことができます。

## <u>内蔵フラッシュが自動的に上がる撮影モード</u> の場合

撮影モード**智、え、る、◇、□、☆、√、VI、POP、**②、幕では、暗い ときや逆光のときなど、必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが上が り、発光します。

### 1 フラッシュモードを設定する

 ◆ (122) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、イン フォ画面のフラッシュモード表示が変わります。





コマンドダイヤル



インフォ画面

- **2** シャッターボタンを半押 しして、ピントを合わせ てから撮影する
  - 必要に応じて自動的に内蔵
     フラッシュが上がり、発光
     します。フラッシュが自動



的に上がらないとき、手で無理に上げないでください。内蔵フ ラッシュが破損するおそれがあります。

### ■ 設定できるフラッシュモード

内蔵フラッシュが自動的に上がる撮影モードで設定できるフラッシュ モードは次の通りです。

フラッシュモード	撮影モード
<b>↓AUTO 通常発光オート(自動発光)</b> :暗いときや逆光のと きに必要に応じて発光します。	留、 <i>2、 条、</i> ♥、 淡、 ☞、 VI、 POP、 ☞、 県
<b>↓ ② AUTO 赤目軽減オート(自動発光)</b> :人物撮影に適し ています。フラッシュが発光する前に、赤目軽減ランプが 点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。	留、 坌、 譥、 ♥、 淡、 ☞、 VI、 POP、 ☞、 県
★② 会UCW 赤目軽減オート(自動発光)+スローシャッ ター:夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。赤目軽減発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	B
<b>4 会UCD 通常発光オート (自動発光) + スローシャッター</b> : 通常発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的に シャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行 われます。	ß
⑦ 発光禁止:内蔵フラッシュは発光しません。	響、 <u>乏、</u>

フラッシュモードの設定について
 フラッシュモードは、インフォ画面でも設定できます(口10)。



# <u>内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モードの</u> <u>場合</u>

撮影モードP、S、A、M、¶では、\$(₫望)ボタンを押して、手動で内 蔵フラッシュを上げます。

1 ↓ (12) ボタンを押して、 内蔵フラッシュを上げる



## 2 フラッシュモードを設定する

 ◆ (四2)ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、イン フォ画面のフラッシュモード表示が変わります。



• ¶の場合、フラッシュモードを設定する必要はありません。

## **3** シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてから 撮影する

内蔵フラッシュを上げているときは、周囲の明るさなどにかかわらず、フラッシュは常に発光します。

## ■ 設定できるフラッシュモード

内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モードで設定できるフラッシュ モードは次の通りです。

フラッシュモード	撮影モード				:
↓ 通常発光:撮影のたびに内蔵フラッシュが発光します。	P.	S,	A.	M.	۳ſ
♀② 赤目軽減発光:人物撮影に適しています。フラッシュが 発光する前に、赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写 る「赤目現象」を軽減します。	P.	S.	A.	М	
<b>☆③SLOW 赤目軽減発光+スローシャッター</b> : 夜景や夕景を バックにした人物撮影などに適しています。赤目軽減発光に加 え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピード を遅くする「スローシャッター」が行われます。	P.	A			
<b>\$SLOW 通常発光+スローシャッター</b> :通常発光に加え、背景 をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くす る「スローシャッター」が行われます。	P.	A			
<b>\$ 影響 後幕発光+スローシャッター</b> :動いている被写体の後 方に流れる光や軌跡などを表現したい場合などに適していま す。後幕発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的に シャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われ ます。	P.	A			
<b>\$REAR 後幕発光</b> : 通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光します(先幕発光)が、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。          ・       ・         ・ <td< td=""><td>S.</td><td>М</td><td></td><td></td><td></td></td<>	S.	М			

#### 🖉 内蔵フラッシュの収納

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音が するまで手で軽く押し下げます。バッテリーの消 耗を防ぐため、フラッシュを使わないときは常に 収納してください。



#### ▶ 内蔵フラッシュについてのご注意

- 内蔵フラッシュを使って撮影するときは、カメラを被写体から0.6m以上離してください。
- 内蔵フラッシュ撮影が可能なレンズについては□335をご覧ください。フ ラッシュの光がさえぎられることがあるので、レンズフードは取り外してくだ さい。また、マクロ付きズームレンズのマクロ領域ではお使いになれません。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するために、一時的に発光が 制限され、シャッターがきれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び 使えるようになります。

#### 🖉 内蔵フラッシュ撮影時のシャッタースピード制限について

内蔵フラッシュ撮影時のシャッタースピードは、次の範囲で制限されます。

🕾、冬、米、淡、安、11、VI、 POP、 🕼、🔒	1/200~1/60秒
ž	1/200~1/30秒
<u>e</u>	1/200~1秒
Ρ. S. A	1/200~30秒
М	1/200~30秒、Bulb、Time

### 🖉 内蔵フラッシュの調光範囲(光の届く範囲)

内蔵フラッシュはISO感度と絞り値によって調光範囲(光の届く範囲)が異なります。下表を参考にしてください。

<b>ISO</b> 感度および絞り値								<b>润米筋田(m)</b>	
100	200	400	800	1600	3200	6400	12800	詞ノし単じ四(111)	
1.4	2	2.8	4	5.6	8	11	16	約1~8.5	
2	2.8	4	5.6	8	11	16	22	約0.7~6.0	
2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	約0.6~4.2	
4	5.6	8	11	16	22	32	_	約0.6~3.0	
5.6	8	11	16	22	32	_	_	約0.6~2.1	
8	11	16	22	32	_	-	_	約0.6~1.5	
11	16	22	32	_	_	-	_	約0.6~1.1	
16	22	32	_	_	_	_	_	約0.6~0.7	
※ 内蔵フラッシュで調光できる最短撮影距離は0.6mです。									

# ISO感度を設定する

撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度(ISO感度)を変更で きます。一般的に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタース ピードで撮影できます(同じ被写体を同じ絞り値で撮影する場合)。 設定できるISO感度は、撮影モードによって異なります。

🎬 、 🕄 、 🗷	AUTO
P、S、A、M	100~25600(1/3段ステップで設定できます)
その他の撮影モード	AUTO、100~25600(1/3段ステップで設定できます)

• [AUTO] ではカメラが自動的に ISO 感度を決めます。撮影メニュー [ISO感度設定] の [感度自動制御] では、撮影モードP、S、A、M で も、ISO感度を自動制御するように設定できます (印250)。

### 1 [ISO感度] を選ぶ

iボタンを押します。

マルチセレクターで [ISO感度] を選んで®ボタンを押します。





インフォ画面



・ ※ボタンを押して設定します。



# 設定した間隔で撮影する (インターバルタイマー撮影)

設定した開始方法(即時または設定時刻)と撮影間隔で自動的に撮影を 行います。



- 2 インターバルタイマー撮影の設定をする
  - ・
     開始方法を選ぶ



[開始方法の設定]を選んで ●を押す



撮影メニュー

台方法の設定

**OFF** 

J

OFF © 0001

を押す

- インターバルタイマー撮影をすぐに開始する場合は、「即時ス タート]を選びます。
- インターバルタイマー撮影の開始日時を設定する場合は、「開始 日時設定〕を選びます。表示される画面で開始日時を設定して のボタンを押します。

• 撮影間隔(インターバル)を設定する



[**撮影間隔**] を選んで<sup>●</sup>を 押す

• 撮影回数を設定する



撮影間隔(時、分、秒)を 設定して∞ボタンを押す



• 露出平滑化をするかどうかを選ぶ





撮影回数を設定して ®ボタンを押す



露出平滑化をするかどうか を選んで®ボタンを押す

- [する] を選ぶと、1コマ前に撮影した静止画と大きく明るさが 変化しないようにカメラが自動で露出を調整します。ただし、 撮影モードMで撮影メニュー [ISO感度設定]の[感度自動制 御]が[しない]の場合、露出の平滑化は行いません。

## 3 [撮影開始] を選んで®ボタンを 押す

 手順2の [開始方法の設定] で [即時ス タート] を選んでいる場合は、約3秒後 に撮影を開始します。



- 手順2の [開始方法の設定] で [開始日
   時設定] を選んでいる場合は、設定した日時に撮影を開始します。
- 設定した撮影間隔と撮影回数で撮影を繰り返します。
- インターバルタイマー撮影中は、SDカードアクセスランプが一 定間隔で点滅します。

## ■ インターバルタイマー撮影の一時停止と再開

インターバルタイマー撮影を一時停止するには撮影待機中に®ボタン を押します。一時停止から撮影を再開する手順は次の通りです。

#### すぐに再開する場合:



®ボタンを押す

再開する日時を設定する場合:



### ■ インターバルタイマー撮影の終了

インターバルタイマー撮影を終了するには、一時停止中に撮影メニュー [インターバルタイマー撮影] で[終了]を選び、<sup>(1)</sup>ボタンを押します。

#### ▼ インターバルタイマー撮影を開始する前に

- 試し撮りをすることをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニューの「地域と日時」(□285)で日時が正確に 設定されていることを確認してください。
- カメラを三脚で固定することをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。
- ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーからの光が適正露 出や画像に影響を与えることを防ぐため、手などでファインダー接眼部をおお うか、別売のアイピースキャップ(四350)を取り付けることをおすすめし ます(四78)。
- 104 撮影機能を使いこなす

#### ▼ インターバルタイマー撮影についてのご注意

- [レリーズモード](ロ73)が[回](静音撮影)の場合は、撮影時の動作音を抑えて撮影します。その他のレリーズモードの場合は、[⑤](1コマ撮影)の設定で撮影します。
- 撮影間隔は、シャッタースピードよりも長い時間を設定してください。実際の インターバルタイマー撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピード やカメラが処理を行う時間が含まれます。撮影間隔が充分な長さに設定されて いない場合は、設定した撮影間隔で撮影できず、その回の撮影がキャンセルさ れることがあります。
- 設定した[開始時刻]が現在時刻後1分以内の場合や[撮影間隔]が[00:00'00"]の場合、シャッタースピードがBulbやTimeの場合など、インターバルタイマー撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- SDカードの残量がない場合、撮影時刻ごとにカウントは進みますが、実際の 撮影は行われません。残量のあるSDカードに交換し、インターバルタイマー 撮影を再開してください(ロ103)。
- インターバルタイマー撮影とオートブラケティング(四147)、[HDR (ハイ ダイナミックレンジ)](四133)は併用できません。
- インターバルタイマー撮影中は、設定の変更はできません。
- 電源をOFFにするか撮影モードダイヤルを回すと、インターバルタイマー撮影 を中止します。
- フォーカスモードが [AF-S]、または [AF-A] で自動的にAF-Sが選ばれている場合は、撮影ごとにピント合わせを行います。被写体にピントが合わないときに撮影開始予定時刻を8秒過ぎると、その回の撮影をキャンセルして次の回の撮影時刻から撮影を再開します。

#### 🖉 液晶モニターの開閉について

インターバルタイマー撮影中に液晶モニターを収納状態にしても、インターバ ルタイマー撮影は継続されます。

# リモコン撮影する

# 別売のリモコンML-L3を使って撮影する

別売のリモコンML-L3(四351)を使って、カメラから離れた場所から 静止画を撮影することができます。記念写真など撮影者自身も一緒に写 りたいときや、シャッターボタンを押すときの手ブレを軽減したいとき などにお使いください。リモコン撮影時は、三脚などを使ってカメラを 固定してください。

## 1 🖳 (心/â) ボタンを押す



**2** [â 2s] (2秒リモコン (ML-L3)) または [â] (瞬時リモコン (ML-L3))を選ぶ

● ボタンを押して設定します。

### 3構図を決め、ピントを合わせる

 オートフォーカスで撮影する場合、撮影を開始する前にカメラのシャッター ボタンを半押しして、ピント合わせを 行ってください。





## 4 ML-L3の送信ボタンを押す

 5m以内の距離から、ML-L3の送信部を カメラのリモコン受光部に向け、送信ボ タンを押してください(リモコン受光部 は、カメラ前面と背面の2カ所にありま す(四1、2))。



- [â 2s] (2秒リモコン (ML-L3))の場合、セルフタイマーランプ が約2秒間点灯してからシャッターがきれます。
- (節)(瞬時リモコン(ML-L3))の場合、すぐにシャッターがきれ、撮影後にセルフタイマーランプが一瞬点灯します。

#### 🖉 リモコンの送信ボタンを押しても撮影できないときは

ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態では撮影 できないことがあります。

#### 🖉 リモコン撮影について

- 別売のリモコンML-L3を初めてお使いになるときは、リモコンにはさんである 透明の絶縁シートを引き抜いてください。
- ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーからの光が適正露 出や画像に影響を与えることを防ぐため、手などでファインダー接眼部をおお うか、別売のアイピースキャップ(四350)を取り付けることをおすすめし ます(四78)。
- レリーズモードが [â 2s] (2秒リモコン (ML-L3)) または [â] (瞬時リモコン (ML-L3)) のときに、カメラや別売のリモートコード、ワイヤレスリモートコントローラーのシャッターボタンを全押しすると、[S] (1コマ撮影) で撮影します。

#### 🖉 リモコンモード設定(ML-L3)の解除について

次の場合、リモコンモードを解除します。

- 撮影を行わないまま、カスタムメニュー c4 [リモコン待機時間(ML-L3)]
   (ロ263)で設定したリモコン待機時間が過ぎた場合
- カメラの電源をOFFにしたとき
- ツーボタンリセットを行った場合(□109)
- [撮影メニューのリセット] を行った場合

#### 🖉 リモコン撮影時のフラッシュについて

- 内蔵フラッシュが自動で上がる撮影モード(ロ94)では、リモコンの受信待 機状態になるとフラッシュの充電が始まり、充電完了後にML-L3の送信ボタンを押すと、必要に応じて内蔵フラッシュが自動的に上がり発光します。フ ラッシュの充電中にML-L3の送信ボタンを押しても、カメラは反応しません。 しばらく待ってから送信ボタンを押してください。
- 内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モード(ロ96)でフラッシュを使って撮影したいときは、撮影を開始する前に\$(192)ボタンを押して内蔵フラッシュを上げ、ファインダー内の\$(フラッシュアイコン)が点灯するまでお待ちください(ロ44)。ML-L3の送信ボタンを押した後にフラッシュを上げると、撮影は中止されます。

#### 🖉 カスタムメニュー c4[リモコン待機時間(ML-L3)]

カスタムメニュー c4 [**リモコン待機時間(ML-L3)**] では、リモコンの受信待 機時間を変更できます(<sup>11</sup>263)。

#### 🖉 別売のワイヤレスリモートコントローラーを使って撮影する

別売のワイヤレスリモートコントローラー WR-R10、WR-T10、およびWR-1 (四351)を組み合わせて使うと、無線での遠隔撮影を行えます。ワイヤレスリ モートコントローラーのシャッターボタンは、カメラのシャッターボタンと同 様に操作して撮影できます。詳しい操作方法については、ワイヤレスリモート コントローラーの使用説明書をご覧ください。

# 最初の設定に戻す(ツーボタンリセット)

MENU ボタンと III ボタン (緑色の ● 印がついています)を同時に約 2秒間押すと、インフォ画面がいっ たん消灯してから再点灯し、次の各 機能が初期設定に戻ります。





MENUボタン

infoボタン

## ■ インフォ画面で設定できる機能

画質モード (□191)	NORMAI	
画像サイズ(□293)	サイズL	
オートブラケティング(印147)		
P、 S、 A、 M	解除 (OFF)	
HDR(ハイダイナミックレンジ)(□133)		
Ρ. S. A. M	しない	
アクティブD-ライティング(🕮 131)		
P、 S、 A、 M	オート	
ホワイトバランス (□136)		
P. S. A. M	オート	
ホワイトバランスの調整値		
P、 S、 A、 M	_	
ISO感度(□100)		
P、 S、 A、 M	100	
P、S、A、M以外の撮影モード	オート	
ピクチャーコントロールの調整値(□□154)※		
Ρ、 S、 A、 M	—	

※ 現在選択中のピクチャーコントロールのみ解除されます。

フォーカスモード				
ファインダー撮影(印79)				
団以外の撮影モード	AFサーボモード 自動切り換え			
ライブビュー /動画撮影(🕮 166)	シングルAFサーボ			
AFエリアモード				
ファインダー撮影(□ 83)				
₩, 2, 11, <u>×</u> , m, <b>b</b>	シングルポイントAF			
₹.¥	ダイナミックAF(39点)			
響、⑨、Ѯ、圖、≦、圖、圖、潔、論、當、當、Q、 ♥、VI、POP、②、急、ダ、P、S、A、M	オートエリアAF			
ライブビュー /動画撮影(🕮 168)				
Ź, A, Ś, 🖾, X, 18, A, 4, 9, 9	顔認識AF			
२、 ■、 ♥、 2、 VI、 POP、 ②、 祭、 ダ、 益、 Ⅲ、 ■、 P、 S、 A、 M	ワイドエリアAF			
🕉 TI	ノーマルエリアAF			
測光モード(□123)				
Ρ. S. A. M	マルチパターン測光			
フラッシュモード(□194)				
🖀 , 💈 , 📽 , 🦋 , VI , POP , 😣	通常発光オート			
5	通常発光オート+			
	スローシャッター			
×	赤目軽減オート			
D	発光禁止			
Ρ. S. A. M	通常発光			
フラッシュ調光補正(□129)				
シーンモード、P、S、A、M	解除(0.0)			
露出補正(□□127)				
シーンモード、🖾、Ρ、Տ、Α、Μ	解除(0.0)			

# ■ その他の撮影関連の機能

RAW記録 (□ 249)	14ビット記録		
露出ディレーモード(□263)	しない		
レリーズモード (皿73)			
*. #	高速連続撮影		
その他の撮影モード	1コマ撮影		
フォーカスポイント(🖽 85)	中央		
AE/AFロックボタンのホールド状態( <sup>[1]</sup> 276)			
習、③以外の	解除		
撮影モード	עאווינע		
プログラムシフト (□114)			
P	解除		
スペシャルエフェクトモードの効果(🕮 61)			
フォトイラスト(□□67)			
線の太さ			
トイカメラ風(□□68)			
色の濃さ	0		
周辺減光	0		
ミニチュア効果(□□69)			
効果をかける方向	横方向		
効果をかける幅	標準		
セレクトカラー(□□71)			
抽出した色	リセット		
色の感度	3		

# P、S、A、Mモードで撮影する

# 撮影モードP、S、A、Mを使う

撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞り値 のそれぞれを自分で設定したり、カメラまかせにし たりすることができます。



Р	プログラムオート (印114)	シャッターチャンスを逃したくないスナップ撮影 などに使います。シャッタースピードと絞り値の 両方をカメラが自動制御します。
S	シャッター優先オート (四115)	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使 います。シャッタースピードを自分で設定し、絞 り値はカメラが自動制御します。
A	絞り優先オート (□□116)	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに 使います。絞り値を自分で設定し、シャッタース ピードはカメラが自動制御します。
M	マニュアル (□117)	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定 します。長時間露出 (バルブ、タイム)撮影も、 このモードで行います。

#### 112 P、S、A、Mモードで撮影する

### 🖉 シャッタースピードと絞り値について

シャッタースピードと絞り値は、ファインダー内とインフォ画面に表示されます。







動きの速い被写体を撮影したいときは、<br />
被写体の動きを強調したいときは、 速いシャッタースピードに設定する 遅いシャッタースピードに設定する (シャッタースピード:1/1600秒)



たいときは、絞りを開く (絞り値:F5.6)



(シャッタースピード:1秒)



メインとなる被写体を浮き立たせ 近くから遠くまでピントの合った写真 を撮影するには、絞りを絞り込む (絞り値:F22)

### P、S、A、Mモードで撮影する 113

# **P:プログラムオート**

シャッターチャンスを逃したくな 撮影モードダイヤル いスナップなど幅広い撮影に適し ています。被写体の明るさに応じ て、露出が適正になるようにカメ ラがシャッタースピードと絞り値 を自動的に決定します。「プログラ ムオート にするには、撮影モー ドをPに合わせます。



#### 💋 プログラムシフトの操作方法

[**プログラムオート**](P)では、カメラがシャッタースピードと絞り値を決めま すが、「プログラムシフト」を行うと、適正露出のまま、シャッタースピードと 絞り値の組み合わせを変えられます。

動きの速い被写体を撮影したいときや、背景を ぼかしたいときは、コマンドダイヤルを右に回 します(シャッタースピードが速くなり、絞り が開きます)。

被写体の動きを強調したいときや、近くから遠 くまでピントの合った写真を撮影したいとき は、コマンドダイヤルを左に回します(シャッ タースピードが遅くなり、絞りが絞り込まれま す)。

- プログラムシフト中はファインダー内とイ ンフォ画面にプログラムシフトマークВ()) が点灯します。
- プログラムシフトを解除するには、プログラ ムシフトマーク層 (PP)が消灯するまでコマ ンドダイヤルを回します。電源をOFFにした ときや、他の撮影モードに切り換えたとき も、プログラムシフトは解除されます。







BCC F6.3

#### 114 P.S.A.Mモードで撮影する

## S:シャッター優先オート

動きを写し止めて撮影したいときや、被写体の動きを強調する撮影に適 しています。シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になる ようにカメラが自動的に絞り値を決定します。



速いシャッタースピードに設定したとき 遅いシャッタースピードに設定したとき (シャッタースピード:1/1600秒)



(シャッタースピード:1秒)

シャッタースピードは次の方法で設定します。

**1** 撮影モードダイヤルをSに 撮影モードダイヤル 合わせる

### 2 シャッタースピードを設定する

 コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、 左に回すとシャッタースピードが遅くなります。



# <u>A:絞り優先オート</u>

背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立たせたい場合や、近くから 遠くまでピントの合った写真を撮影したい場合に適しています。 絞り値 を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッ タースピードを決定します。



絞りを開いたとき (絞り値:F5.6)



絞りを絞り込んだとき (絞り値:F22)

絞り値は次の方法で設定します。

1 撮影モードダイヤルをAIC 撮影モードダイヤル 合わせる

## 2 絞り値を設定する

コマンドダイヤルを左に回すと絞りが開き(絞り値が小さくなり)、右に回すと絞りが絞り込まれ(絞り値が大きくなり)ます。





コマンドダイヤル



## <u>M:マニュアル</u>

シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空な どを長時間露出 (バルブ、タイム)撮影 (四119) で撮影する場合にも この撮影モードを使います。



**2** 露出インジケーター(□118)を確認しながら、シャッ タースピードと絞り値を設定する

#### シャッタースピードの設定:

コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、 左に回すとシャッタースピードが遅くなります。



 ・
 絞り値の設定
 :

☑ (∅) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを左に回すと絞り が開き(絞り値が小さくなり)、右に回すと絞りが絞り込まれ (絞り値が大きくなり)ます。







🖉 露出インジケーターの見方	
----------------	--

適正露出	1/3段アンダー	2段以上オーバー
º.+	<mark>0</mark> . +	- 0 +

 長時間露出(バルブ、タイム)撮影時(四119)と非CPUレンズ使用時(四338) は、露出インジケーターは表示されません。

118 P、S、A、Mモードで撮影する
# <u>長時間露出で撮影する(撮影モードMのみ)</u>

長時間露出撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の2種類があります。花 火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなど に使います。



シャッタースピードを35秒、 絞り値をF25にして撮影した場合の画像

	シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままに
	なり、シャッターボタンを放すとシャッターが閉じます。
ハルノ販影	• リモコン ML-L3 (別売)の送信ボタンを押すと、シャッタース
	ピードをBulbにしていても、タイム撮影になります。
	シャッターボタンを全押しするとシャッターが開いたままにな
ツイム版影	り、もう一度全押しするとシャッターが閉じます。

■ バルブ撮影する

**1 撮影モードダイヤルをMに**撮影モードダイヤル 合わせる



2 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピードをBulbに 設定する



- 3 ピントを合わせて、撮影を開始する
  - シャッターボタンを全押しして撮影を開始します。シャッターボタンは押し続けてください。

### 4 シャッターボタンを放して撮影を終了する

■ タイム撮影する

**1 撮影モードダイヤルをMに**撮影モードダイヤル 合わせる



2 コマンドダイヤルを左に回して、シャッタースピードを Time(ファインダー内表示は--)に設定する



### 3 ピントを合わせて、撮影を開始する

シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開き、撮影を開始します。

4 もう一度シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

#### 別売のリモコンML-L3をお使いの場合

撮影前にレリーズモードをリモコンモード([22](2秒リモコン(ML-L3))または[2](瞬時リモコン(ML-L3))に設定してください(□106)。ML-L3を使って長時間露出撮影をする場合、送信ボタンを押してシャッターを開いた後、30分経つと自動的にシャッターが閉じて撮影を終了します。

### 🖉 長時間露出撮影を開始する前に

- 手ブレを抑えるために三脚や別売のリモコン、ワイヤレスリモートコントローラーまたは、リモートコードなどが必要です(ロ351)。ワイヤレスリモートコントローラーとリモートコードのシャッターボタンは、カメラのシャッターボタンと同様に機能します。
- 適正露出や画像に影響を与える接眼部からの逆入射光を防ぐため、シャッターボタンを押す前に手などでファインダー接眼部をおおうか、別売のアイピースキャップ(ロ350)を取り付けることをおすすめします(ロ78)。
- 露光時間が長くなると、画像にノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生することがあります。
- 撮影メニューの[長秒時ノイズ低減](□253)を[する]に設定すると、画像に発生するむらや輝点が低減されます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

# 被写体の露出(明るさ)を設定する

### <u>明るさを測る方法を設定する(測光モード)</u>

適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法(測光モード)を設定します。

٥	マルチパターン 測光	ほとんどの撮影状況に対応できる測光モードです。画面の 広い領域を測光して、被写体の輝度(明るさ)分布、色、 距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見 た目に近い画像が得られます。
0	中央部重点測光	<ul> <li>画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。画面の中央部分を重点的に測光します。</li> <li>露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。</li> </ul>
·	スポット測光	逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での 露出を基準にして撮影したい場合に適しています。選んだ フォーカスポイントに重なる部分だけを測光します。

1 [測光モード] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。

 マルチセレクターで [測光モード] を 選んで®ボタンを押します。



**i**ボタン



インフォ画面

### 2 設定したい測光モードを選ぶ

・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<



### 🖉 スポット測光について

測光エリアは、フォーカスポイントに連動します。ただし、ファインダー撮影時の[AFエリアモード](□183)が[I=](オートエリアAF)のときは、中央のフォーカスポイントに相当する部分を測光します。

# <u>AEロックして露出を固定する</u> (AEロック撮影)

AEロック撮影とは、被写体の特定の部分を測光して露出を決め、その まま構図を変えて撮影する方法です。露出を合わせたい部分とその周囲 とで、極端に明るさが異なる場合などに効果的です。測光モードは[回] (スポット測光)または [回] (中央部重点測光) に設定してください (凹123)。撮影モード習と③では、AEロックできません。

**1** シャッターボタンを半押 しする



### 2 露出を固定する

 シャッターボタンを半押ししたまま

 (①)、灯(On)ボタンを押すと(②)、 露出が固定されます。灯(On)ボタン
 を押している間は、シャッターボタン から指を放しても、露出が固定されます
 す(この状態をAEロックといいます)。



- **灯**(Om)ボタンを押している間、ファインダー内にはAE-Lマークが点灯します。
- 3 AEロックを行ったままで 構図を変え、シャッター ボタンを全押しして撮影 する



### 🖉 AEロック中のカメラ操作について

• AEロックしている間もコマンドダイヤルで次の操作ができます。

撮影モード	操作
P (プログラムオート)	プログラムシフト(皿114)
<b>S</b> (シャッター優先オート)	シャッタースピードの変更
A(絞り優先オート)	絞り値の変更

• AEロック中は、測光モードは変更できません。

### <u>画像の明るさを調整する(露出補正)</u>

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることで す。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います(□388)。 露出補正を行うときは、測光モード(□123)を[<sup>®</sup>](中央部重点測 光)または [□](スポット測光)にすると効果的です。



-1段補正

露出補正なし

+1段補正

### 露出補正値を変える

 ・図(@)ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ファインダー内とインフォ画面の露出補正値が変わります。



 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補 正します。

### 🖉 露出補正の設定について

露出補正は、インフォ画面でも設定できます (□10)。



#### 🖉 露出補正の解除について

撮影モードP、S、A、Mで露出補正を行った場合、露出補正を解除するには補正 値を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正値の設定は解除さ れません。シーンモードまたは団で露出補正を行った場合、撮影モードを切り 換えるか、カメラの電源をOFFにすると露出補正値の設定は解除されます。

#### // 撮影モードMで露出補正をした場合

露出補正値を0.0以外に設定すると、露出インジケーターの基準値が変わります。

#### 🖉 フラッシュ使用時の露出補正

フラッシュ使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とフラッシュの発光量 の両方に補正が行われます。

#### 🖉 オートブラケティング撮影

露出補正値を変えながら、明るさの異なる画像を続けて撮影できます(□147)。

# <u>フラッシュの発光量を調整する(フラッシュ</u> <u>調光補正)</u>

調光補正とは、フラッシュの発光量を意図的に変えることで、被写体 の明るさを調整したいときなどに使います(ロ389)。発光量を多くし てメインの被写体をより明るく照らしたり、発光量を少なくしてメイ ンの被写体に光が強く当たりすぎないようにできます。

### 調光補正値を変える

 ◆ (四2)ボタンと図(@)ボタンを押しながらコマンドダイヤ ルを回すと、ファインダー内とインフォ画面の調光補正値が変わ ります。



-0.3段補正 +1段補正

 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補 正します。

### 🖉 調光補正の設定について

調光補正は、インフォ画面でも設定できます (口10)。



#### 🖉 調光補正の解除について

撮影モードP、S、A、Mで調光補正を行った場合、調光補正を解除するには補正 値を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正値の設定は解除さ れません。シーンモードで調光補正を行った場合、撮影モードを切り換えるか、 カメラの電源をOFFにすると調光補正値の設定は解除されます。

#### 🖉 別売スピードライト使用時の調光補正

- 別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト (□340)使用時も、調光補正を行うことができます。
- カメラ側とスピードライト側で同時に調光補正を行う場合、両方の補正値を加 算します。

# 白とびや黒つぶれを抑えて撮影する

# <u>アクティブD-ライティング</u>

アクティブD-ライティングを使うと、暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の大きい景色を撮影するのに効果的です。ハイライト部(明るい部分)の白とびを抑え、シャドー部(暗い部分)の黒つぶれを軽減する効果があるため、目で見たコントラストに近い画像に仕上がります。アクティブD-ライティングを設定したときは、M以外の撮影モードで測光モードを[図](マルチパターン測光)に設定して撮影することをおすすめします(□123)。



アクティブD-ライティング [**0FF しない**]



アクティブD-ライティング [**昭A オート**]

- **1** [アクティブD-ライティング] を 選ぶ
  - •*i*ボタンを押します。



 マルチセレクターで [アクティブD-ラ イティング] を選んで®ボタンを押し ます。



インフォ画面

### 2 設定したいアクティブD-ライティン グの効果の度合いを選ぶ(22388)

・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<



### ☑ アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影をするとき、撮影シーンによっては、ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が強調される場合があります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。

# [アクティブD-ライティング]と画像編集メニュー [D-ライティング]の違い

撮影前に[アクティブD-ライティング]を設定すると、撮影シーンに応じてハ イライト部やシャドー部および中間調を適切に調整して画像を記録します。一 方、[D-ライティング]は、撮影した画像に対してシャドー部を明るく補正します。

#### 🜌 オートブラケティング撮影

アクティブD-ライティングを行わない画像と行う画像を2枚続けて撮影できます(四147)。

# HDR(ハイダイナミックレンジ)合成を行う

1回の撮影で露出が異なる画像を2コマ撮影して合成することにより、輝 度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。 明暗差が著しい撮影シーンなどで、暗いところから明るいところまで幅 広く再現された画像になります。HDR (ハイダイナミックレンジ)を設 定したときは、測光モードを図(マルチパターン測光)に設定して撮影 することをおすすめします(ロ123)。



露出暗めで撮影した画像 -▲-



露出明るめで撮影した画像



HDRで合成された画像

### **1** [HDR (ハイダイナミックレンジ)] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。



**i**ボタン

 マルチセレクターで [HDR (ハイダイ ナミックレンジ)] を選んで®ボタンを 押します。



インフォ画面

### 2 HDRの効果の度合いを選ぶ

- [AUT0 オート]、[HIGH より強め]、
   [HIGH 強め]、[NORM 標準]、
   [LOW 弱め]、[OFF しない] に設定できます。
- ・ ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・</<
- [HDR (ハイダイナミックレンジ)]を [OFF しない] 以外に設定すると、ファ インダー内にHdrが表示されます。





### 3構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、2回連続してシャッターがきれます。



•1回撮影すると、HDR撮影が解除されます。

### ☑ HDR撮影時のご注意

- RAWを含む画質モードの場合、HDR撮影はできません。
- 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。三脚をお使いいただくことをおすすめします。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影がでたり、暗い被写体の 周辺が明るくなったりします。また、HDRの効果が出にくい場合があります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 内蔵フラッシュは発光しません。
- レリーズモードを[9](低速連続撮影)または[9]川(高速連続撮影)に 設定していても、連続撮影はできません。
- P、S、A、M以外の撮影モードに変更すると、HDR撮影は解除されます。

# ホワイトバランスを合わせる

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを 「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

通常は、初期設定のAUTO(オート)で撮影してください。撮影した画像の色味を変えたいときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

AUTO	オート	カメラが自動的にホワイトバランスを調節します。ほとんどの撮影状況に適しています。
*	電球	白熱電球下での撮影に適しています。
*	蛍光灯	蛍光灯などの光源(□137)を使った撮影に適しています。
☀	晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
4	フラッシュ	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。
2	曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
₫⊾	晴天日陰	晴天の日陰での撮影に適しています。
PRE	プリセット マニュアル	撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバランスを合わせたり、SDカード内の画像と同じホワイトバランスで撮影したりできます(ロ141)。

### 1 [ホワイトバランス] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。



 マルチセレクターで [ホワイトバラン ス] を選んで®ボタンを押します。



インフォ画面

### 2 設定したいホワイトバランスを選ぶ

● ●ボタンを押して設定します。



#### 🖉 撮影メニュー [ホワイトバランス]

ホワイトバランスは、メニュー操作でも設定でき ます(ロ244)。撮影メニューで[**ホワイトバラン** ス]を選ぶと、ホワイトバランスを微調整したり (ロ139)、ホワイトバランスを自分で取得する (ロ141)ことができます。

	撮影メニュー	
	撮影メニューのリセット	
-	記録フォルダー設定	100
6	ファイル名設定	DSC
Ţ	画質モード	NORM
	画像サイズ	
	RAW記録	14-bit
	1SO感度設定	
?	ホワイトパランス	AUTO

#### 🖉 蛍光灯の種類について

撮影メニュー(ロ244)の [**ホワイトバランス**] で [**※ 蛍光灯**] を選ぶと、細かく蛍光灯の種類を 設定できます。



 ℤ 撮影メニュー [ホワイトバランス] でのタッチ操作について 撮影メニューの [ホワイトバランス] で設定したい項目にタッチしてハイライ トし、もう一度タッチすると決定して撮影メニューに戻ります。[※ 蛍光灯] に タッチすると、蛍光灯の種類を設定する画面が表示されます。

### 🖉 色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の 色を表すと、見る人によって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度 (K:ケルビン)という客観的な数字で表したのが色温度です。色温度が低くな るほど赤みを帯びた光色になり、色温度が高くなるほど青みを帯びた光色にな ります。



#### 🖉 オートブラケティング撮影

ホワイトバランスの設定を変えながら、色温度の異なる画像を一度に撮影できます (ロ147)。

### ホワイトバランスを微調整する

撮影メニューの [**ホワイトバランス**] では、選んだホワイトバランスを さらに微調整することができます。



### 2 微調整値を設定する

- マルチセレクターを操作すると、座標上のA(アンバー)、B(ブルー)、G(グリーン)、M(マゼンタ)の4方向で、各方向6段階まで微調整できます。
- A (アンバー)、B (ブルー) 方向は、色 温度の高さを0.5単位で微調整できま す。1段階は約5ミレッドに相当します。



設定値

G (グリーン)、M (マゼンタ)方向は、色補正用(CC)フィルターと同じような微調整を0.25単位で行えます。1段階は濃度約0.05に相当します。

### 3 決定する

#### 🚺 ホワイトバランスの微調整について

- [PREプリセットマニュアル]の場合、微調整画面は表示されません。
- ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色を表しています。微調整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像にはならない場合があります。たとえば、ホワイトバランスを [\*\*](電球) に設定してB(ブルー)方向に微調整しても、青色が強い画像にはなりません。

### 🖉 タッチ操作で微調整する

撮影メニューの [ホワイトバランス] で調整したい項目にタッチしてハイライトし、操作ガイドの [①調整] にタッチすると微調整画面が表示されます。微調整画面で座標上をタッチするか、▲▼ 4 ▶ にタッチして微調整値を設定します。[07]決定] にタッチすると決定して撮影メニューに戻ります。

#### 🖉 ミレッド (MIRED) について

色温度の逆数を百万(106)倍したものです。色温度は、同じ色温度差でも、色温度の低い場合では色の変化が大きく、色温度の高い場合では、色の変化が小さくなります。たとえば同じ1000ケルビンの違いでも6000ケルビン付近での変化は比較的小さく、3000ケルビン付近では1000ケルビンの違いで光色が大きく変わります。ミレッドは、その変化幅をほぼ同じに表現する尺度であり、色温度変換フィルターの単位としても利用されます。

例) 色温度の差(K:ケルビン):ミレッドの差(M:ミレッド)

4000K-3000K=1000 K : 83 M

7000K-6000K=1000 K : 24 M

### <u>プリセットマニュアルを使う</u>

特殊な照明の下で撮影するときなど、[**AUT0**] (オート)や[余](電球) などの設定では望ましい結果が得られない場合や、SDカード内の画像 と同じホワイトバランスで撮影したいときは、事前に取得したホワイト バランスを使うことができます。

プリセットマニュアルデータは次の方法で取得できます。

取得データ	カメラで取得したホワイトバランスを、プリセットマニュアルデー タとして使います(下記参照)。
撮影データ	SDカード内の画像のホワイトバランスデータをプリセットマニュ アルデータとして使います(ロ145)。撮影済みの画像と同じホワ イトバランスで撮影できます。

### ■ プリセットマニュアルデータをカメラで取得する

1 撮影時に使う照明と、無彩色(白またはグレー)の被写体 を用意する

撮影メニューの [ホワイトバランス] で、[PREプリセットマニュアル] を選んでマルチセレクターの
 ②を押す



### 3 [取得データ] を選ぶ

プリセットマニュアルの設定画面で
 [取得データ]を選んで③を押します。



### 4 [はい] を選ぶ

• [はい] を選んで<sup>®</sup>ボタンを押します。

- プリセットマニュアルデータ取得モー ドに入ります。
- インフォ画面とファインダー内で PRE(P, E)が点滅します。





5 PRE (P-E) の点滅中に、撮影時に使う照明の 下で、用意した無彩色(白またはグレー)の被 写体をファインダーいっぱいにとらえて、



シャッターボタンを全押しする

- ピントが合わなくてもシャッターがきれ、プリセットマニュアル データが取得されます。
- •シャッターボタンを押しても、SDカードに画像は記録されません。

### 6 正常にプリセットマニュアルデー タが取得されたことを確認する

 データが取得されると、インフォ画面に [取得に成功しました]と表示されます。また、ファインダー内のシャッタースピード表示部にしての文字が点滅します。



- 点滅が終了すると、撮影できる状態に
   戻ります。点滅中にシャッターボタンを半押しすれば、すぐに撮影できます。
- インフォ画面に右のように表示された場合(ファインダー内のシャッタース ピード表示部/絞り値表示部に**っの 近** の文字が点滅表示された場合)、デー 夕取得は失敗です。原因として、被写 体が明るすぎる、または暗すぎること が考えられます。もう一度手順5から やり直してください。



#### ▼ データ取得についてのご注意

- プリセットマニュアルデータとして保存できる [取得データ]は1つだけです。 カメラでプリセットマニュアルデータを取得するたびに、以前保存した [取得 データ]は、新しいデータに置き換えられます。
- ホワイトバランスを厳密に合わせたいときは、被写体をグレー(ホワイトバランス取得用の18%標準反射板)にしてプリセットマニュアルデータを取得してください。
- 無彩色(白またはグレー)の被写体を基準にプリセットマニュアルデータを取得するときは、カメラが露出を通常よりも1段オーバーになるように自動的に調整します。撮影モードがMの場合は、露出インジケーターを確認して、適正露出になるよう設定してください(ロ117)。

#### ▼ プリセットマニュアル取得モードの時間制限について

プリセットマニュアル取得モードは、何も操作しないままカスタムメニュー c2 [**パワーオフ時間**](ロ 262)の[**半押しタイマー**]で設定した時間が過ぎると 解除されます。

#### 🖉 プリセットマニュアルデータのその他の取得方法

プリセットマニュアルデータは、メニュー操作で取得する他に次の方法で取得 できます。

- □ 136 に記載されている方法で「ホワイトバランス]を[PRE](プリセットマニュアル)にしてから、
   にしてから、
   ・「「タンを押し続けると、
   プリセットマニュアル 取得モード(□ 142)になります。
- カスタムメニューf1 [Fnボタンの機能] (□274) が [ホワイトバランス設定] になっているときに、[ホワイトバランス] を [PRE] (プリセットマニュアル) にしてからFnボタンを押し続けると、プリセットマニュアル取得モード (□142) になります。

### ■ SDカード内の画像のホワイトバランスデータを 使う

ホワイトバランスのプリセットマニュアルデータは、SDカード内にあ る撮影済み画像(撮影データ)からコピーすることもできます。





### 3 [データを選択] を選ぶ

- [データを選択] を選んで ③を押します。
- [表示画像で設定]を選ぶと、前回設定した表示中の画像のホワイトバランスデータがそのまま使えます。
- **4** 使いたい画像が保存されているフォ ルダーを選ぶ
  - 使いたい画像が保存されているフォル ダーを選んで③を押します。





デークを選択

**OK**決定

D

# 5 ホワイトバランスデータをコピーしたい画像を選ぶ

- マルチセレクターで黄色い枠を移動して画像を選びます。
- 選んだ画像は、 (ペボタンを押している 間、拡大して確認できます。)



### 6 ホワイトバランスデータをコピーする

● ボタンを押してデータをコピーします。

# 明るさ、ホワイトバランス、アクティブ D-ライティングを変えながら撮影する (オートブラケティング撮影)

明るさ(露出)、ホワイトバランス、またはアクティブD-ライティング の設定をカメラが自動的に変えながら撮影します。画像の明るさの調整 が難しい場合や複数の光源が混在していてホワイトバランスを決めに くい場合の撮影に効果的です。

		露出値を変えながら	合計3コマ撮影しる	ます。	
AE	AE ブラケティング	福正なし	一側に補正	日本 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	
WB	WR	1回の撮影でホワイ	トバランス(WB)	を変えた画像を合計	
	ブラケティング	<ul> <li>3 → &lt; 記録しま9。</li> <li>● RAW を含む画質モードの場合 WB ブラケティングは使</li> </ul>			
		用できません。		5555 F 5 5 16 (C	
Б	ADL	アクティブD-ライラ	- ィング (囗131)	を行わない画像とア	
	ブラケティング	クティブD-ライティ	′ ングを行う画像を	2コマ続けて撮影し	
		ます。			

### 1 使用するオートブラケティングの 種類を選ぶ

 カスタムメニュー e2 [オートブラケ ティングのセット] でオートブラケ ティングの種類を選び、 ®ボタンを押 します。

e フラッシュ・BKT	撮影 ち
el内蔵フラッシュ発光	TTL\$
e2オートブラケティングのセット	AE
f1Fnボタンの機能	ISO
f2AE/AFロックボタンの機	能的
📕 f3タッチFnの機能	OFF
f4コマンドダイヤル回転方向の?	変更
うま しづきたこ ひがのおいし	5
e2 オートブラケティングのセット	G
e2オートブラケティングのセット	Ŀ
e2オートブラガティングのセット	Ţ
elt-トブラヴティングのセット     AE AEプラケティング	5
<ul> <li>e2オートブラウティングのセット</li> <li>AE AEブラケティング</li> <li>WB WBブラケティング</li> </ul>	5
<ul> <li>         ・2オートブラケティングのセット         ・         ・         ・</li></ul>	5
<ul> <li>ミレオートブラケティングのセット</li> <li>AE AEプラケティング</li> <li>WB WBプラケティング</li> <li>転 ADLプラケティング</li> </ul>	5

2 [オートブラケティング] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。



- **i**ボタン
- マルチセレクターで [オートブラケティング] を選んで®ボタンを押します。



インフォ画面

### 3 オートブラケティングの設定を 変える

### AEブラケティング撮影の場合:

 補正ステップを [AE0.3] ~ [AE2.0] から設定します。設定した数値が大き いほど、撮影ごとに露出が変わる度合 いが大きくなります。

### WBブラケティング撮影の場合:

 補正ステップを [WB1] ~ [WB3] から設定します。設定した数値が大きい ほど、ホワイトバランスが変わる度合いが大きくなります。

### ADLブラケティング撮影の場合:

• [ADL] を選んでください。







●ボタンを押して設定します。

### 4 構図を決めて撮影する AEブラケティング撮影の場合:



- ・設定した補正ステップで「補正なし」
   →「-(マイナス)側に補正」→
   「+(プラス)側に補正」の順に合計3コマ撮影します。
- シャッタースピードと絞り値は、補正された値が表示されます。

#### WBブラケティング撮影の場合:

 シャッターボタンを1回全押しすると、設定した補正ステップで「補正なし」→「A方向(アンバーを強め)に補正」→「B方向 (ブルーを強め)に補正」の順に撮影されます。

#### ADLブラケティング撮影の場合:

- •「補正なし」→「補正あり」の順に合計2コマ撮影します。
- 「補正あり」は、「アクティブD-ライティング」(□131)で設定している効果の度合いになります。「アクティブD-ライティング」が「しない」のときは、「オート」の設定で撮影します。

### ■ オートブラケティング撮影をやめるには

手順3(□149)の画面で [**OFF**] を選ぶと、オートブラケティング撮 影を解除します。また、ツーボタンリセット(□109)でも解除できます。

### 🖉 ブラケティング表示について

- AE ブラケティング撮影時には、撮影するたびに、インフォ画面のオートブラケティングインジケーターから、コマ数を示す表示が消えます(-,º,+→-,º,+→- º,+)。
- ADL ブラケティング撮影時には、
   インフォ画面で次に撮影するアクティブD-ラ
   イティングの設定が下線表示されます。



🖉 オートブラケティングについて

- レリーズモードを[9L](低速連続撮影)または[9H](高速連続撮影)に 設定している場合でも、オートブラケティング撮影が終了した時点で撮影は いったん停止します。
- 撮影中に電源をOFFにしても、再びONにすれば残りの撮影を再開できます。 いったん電源をOFFにしてSDカードを交換したときも同様です。
- 撮影中にP、S、A、M以外の撮影モードに変更すると、オートブラケティング撮影は終了します。
- AEブラケティングに露出補正(□127)を組み合わせると、露出補正値を基準にしてオートブラケティング撮影ができます。

#### 🖉 AEブラケティング

AEブラケティングでは、撮影モードによって補正される内容(シャッタースピード/絞り値)が異なります。

撮影モード	操作
P (プログラムオート)	シャッタースピードと絞り値
<b>S</b> (シャッター優先オート)	絞り値
A(絞り優先オート)	シャッタースピード
M (マニュアル)	シャッタースピード

撮影メニュー [ISO 感度設定]の [感度自動制御] (□250) が [する] の場合、必要に応じてISO感度も変わることがあります。

# 画像の仕上がりを設定したり、思い通 りに調整する(ピクチャーコントロール)

### ピクチャーコントロールを選ぶ

このカメラには、被写体や撮影シーンに合わせて選ぶことのできる「ピ クチャーコントロール」が搭載されています。

• P、S、A、M以外の撮影モードの場合、それぞれの撮影シーンに適した ピクチャーコントロールが自動的に選ばれます。

⊡SD	スタンダード	ほとんどの撮影状況に適しています。鮮やかでバランスの 取れた標準的な画像になります。
ßNL	ニュートラル	撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。被 写体の豊かな階調や色合いを自然に再現した画像になり ます。
œ۷I	ビビッド	青、赤、緑など、原色の色を強調したいときに適していま す。メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になり ます。
⊠MC	モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になりま す。
ßPT	ポートレート	人物の肌がなめらかで自然な画像になります。
۳LS	風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。
ßFL	フラット	撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適していま す。シャドー部からハイライト部まで幅広く情報を保持し た画像になります。

### 1 [ピクチャーコントロール] を選ぶ

iボタンを押します。



・マルチャレクターで「ピクチャーコン **トロール**]を選んで@ボタンを押し ます。



インフォ画面

2 設定したいピクチャーコントロール を選ぶ

のボタンを押して設定します。



### ℤ カスタムピクチャーコントロールについて

撮影メニューで「**カスタムピクチャーコントロール**]を選ぶと、調整したピク チャーコントロールに名前を付けて登録したり(四158)、SDカードを使って、 登録したピクチャーコントロールに対応するカメラやソフトウェアと共用する (凹161) ことができます。

#### 🖉 撮影メニュー 「ピクチャーコントロール] について

ピクチャーコントロールは撮影メニュー(ロ244)からも選べます。タッチ操 作で選ぶ場合(ロ25)、設定したい項目にタッチしてハイライトし、もう一度 タッチすると決定して撮影メニューに戻ります。

# ピクチャーコントロールを調整する

ピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロール(□158) の設定は、撮影目的や好みに合わせて調整できます。自動的にバランス よく調整できる「クイック調整」と各項目を手動で細かく調整する「手 動調整|があります。

### 1 調整したいピクチャーコントロールを選ぶ

- **ロール**]を選んでマルチャレクターの 金押します。
- 調整したいピクチャーコントロールを 選んで③を押します。



 ●または●で調整する項目(□156) を選びます。④または④を押すと1ス テップ刻みで、コマンドダイヤルを回す と0.25ステップ刻みで値を設定します。



- [**クイック調整**] を選んで①または③を 押すと、各項目のレベルを自動的に調整します(Q156)。

### 3 決定する

- のボタンを押して決定します。
- ピクチャーコントロールを調整する と、アイコンにアスタリスク(\*)が 表示されます。



# 撮影メニューの「ピクチャーコント

154 P.S.A.Mモードで撮影する

撮影メニュー	
ビクチャーコントロール	⊡SD
🎽 カスタムピクチャーコントロール	
。 色空間	sRGB
Ⅰ アクティブD-ライティング	喧A
HDR(ハイダイナミックレンジ)	0FF
■ レリーズモード	S
長秒時ノイズ低減	0FF
? 高感度ノイズ低減	NORM
ビクチャーコントロール	Ð
🕞 🖾SD スタンダード	
図NL ニュートラル	

20-1
#### 🖉 タッチ操作で調整する

撮影メニューの[ビクチャーコントロール] で調 整したい項目にタッチしてハイライトし、操作ガ イドの[①調整] にタッチすると手順2の調整画 面が表示されます。調整したい項目にタッチして ハイライトし、もう一度タッチするとタッチ操作 用の調整画面が表示されます。操作ガイドをタッ チすると値が調整できます。[タッチ操作] が「再



**生時のみ有効**]または[**無効**]の場合は表示されません。

• タッチ操作用の調整画面では、マルチセレクターで操作できません。

#### P、S、A、Mモードで撮影する 155

### ■ ピクチャーコントロール調整時の設定項目

	クイック調整 <sup>※1</sup>	輪郭強調、コントラスト、色の濃さ(彩度)のレベ ルを自動的に調整します。
	輪郭強調	輪郭の強弱を調整できます。[A](オート)を選ぶ と、自動で調整します。
	明瞭度	画像の明瞭度を調整します。[A] (オート)を選ぶ と、自動で調整します*2。明瞭度の設定は、動画 には反映されません。
	コントラスト	画像のコントラストを調整できます。[A](オート) を選ぶと、自動で調整します。
≡動調整	明るさ	白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調 整します。
m	色の濃さ(彩度)**3	画像の彩度(色の鮮やかさ)を調整できます。[A] (オート)を選ぶと、自動で調整します。
	色合い(色相)※3	画像の色合いを調整できます。
	フィルター効果**4	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したと きのような効果が得られます(凹157)。
	調色**4	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を 調整できます(印157)。

- ※1 [ニュートラル]、[モノクローム] または [フラット] はクイック調整できま せん。カスタムピクチャーコントロール(□158)の場合も、クイック調整 できません。手動調整した後にクイック調整を行うと、手動調整で設定した 値は無効になります。
- ※2 設定する強度や撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。
- ※3 [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールや [モノクローム] のときは、表示されません。
- ※4 [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールや [モノクローム] のときのみ表示されます。

#### 156 P、S、A、Mモードで撮影する

ピクチャーコントロールのレベル調整について
 [輪郭強調]、「明瞭度]、「コントラスト]、「色の濃
 さ(彩度)」の場合、ペボタンを押して手動調整と
 [A] (オート)を切り換えられます。



#### ☑ [輪郭強調]、[明瞭度]、[コントラスト]、[色の濃さ(彩度)]の [A](オート)についてのご注意

同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上が り具合は変化します。

#### 🖉 ピクチャーコントロール調整時のΔマークについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示 される▲マークは、調整する前の値を示してい ます。



#### 💋 [モノクローム] の [フィルター効果] について

[フィルター効果]には、次のような効果があります。

Y (黄*)	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明る
<b>0</b> (オレンジ*)	さを抑えたい場合などに使います。 <b>[Y] → [O] → [R</b> ]
<b>R</b> (赤*)	の順にコントラストが強くなります。
G (緑※)	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポート レート撮影などに使います。

※ 市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。[**フィルター効果**] で得られる 効果は、市販の白黒写真用カラーフィルターよりも強くなります。

#### 🖉 [モノクローム] の [調色] について

[調色]の項目([B&W] 以外)を選んでマルチセ レクターの⇔を押すと、さらに色の濃淡を選べま す。④または●を押すか(1ステップ刻み)、コマ ンドダイヤルを回して(0.25ステップ刻み)選ん でください。

	モノクローム	£äλ [⊃
	輪郭強調	3.00
	明瞭度	+1. 00 ^ +
0	コントラスト	0.00
<u> </u>	明るさ	0.00
	フィルター効果	ESSECT
1	調色	
		Sepia, 4. 00
?		個リセット OB決定

カスタムピクチャーコントロールを登録する

カメラに搭載された「ピクチャーコントロール」は、好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。

### ■ カスタムピクチャーコントロールの登録方法

1 撮影メニューの [カスタムピク チャーコントロール]を選び、マル チセレクターの④を押す



2 [編集と登録] を選ぶ
 • [編集と登録] を選んで③を押します。



タムビクチャーコントロール 車・登録対象を選択

○調整 (17)注意

741/0-1

3 元にするピクチャーコントロールを 選ぶ

- ピクチャーコントロールを選んで③を 押します。
- 調整を行わない場合は wボタンを押します(手順5へ)。

4 ピクチャーコントロールを調整する

 「ピクチャーコントロールを調整する」
 (ロ154)に記載されている方法でピク チャーコントロールを調整してから ボタンを押します。

	ビビッド		£ii∧ ⊅
	クイック調整	+1	<del> +</del> - +
	輪郭強調	5. 00	A <u>A9</u>
0	明瞭度	+1. 00	۹ <del>۰۹</del>
1	コントラスト	+0. 50	A - 0 +
	明るさ	0. 00	- 0 +
1	色の濃さ(彩度)	+1. 00	A - 0 +
	色合い(色相)	0. 00	
		同リセット	<b>OK</b> 決定

### 5 登録先を選ぶ

C-1~9(カスタム1~9)の中から登録
 先を選んで③を押します。

	カスタムピクチャーコントロール	Ð
-	登録先の選択	
	四C1 未登録	+
0	四C2 未登録	
1	四03 未登録	
	四C4 未登録	
1	四C5 未登録	
	四06 未登録	
	四C7 未登録	

### 6 登録名を編集する

初期状態では、「(元になったピクチャーコントロール名)-XX」が名前エリアに入力されています。XXには自動的に数値が設定されます。登録名を変更しない場合は、手順7へ進みます。



- •ピクチャーコントロールの登録名は19文字まで入力できます。
- 名前エリアに新しい文字を入力する場合は、マルチセレクターで 入力するキーボードエリアの文字上にカーソルを移動させ、®ボ タンを押します。
- 名前エリアのカーソルを左右に移動する場合は、コマンドダイヤ ルを回します。
- 名前エリアからあふれた文字は削除されます。
- 登録名を1文字削除するには、コマンドダイヤルを回して削除する文字の上にカーソルを移動させ、面ボタンを押します。

### 7 ペボタンを押して登録名の編集を終了する

登録したカスタムピクチャーコント
 ロールは、ピクチャーコントロールの
 一覧画面に表示されます。



#### 🖉 登録名変更について

[カスタムピクチャーコントロール] で [登録名変更] を選ぶと、登録したカス タムピクチャーコントロールの名前を変更できます。

#### 🖉 登録したピクチャーコントロールを削除するには

[カスタムピクチャーコントロール] で [削除] を選ぶと、登録したカスタムピ クチャーコントロールを削除できます。

#### 🖉 元になったピクチャーコントロールの表示について

カスタムピクチャーコントロールの調整画面で は、元になったピクチャーコントロールがアイ コンで表示されます。 元になった ピクチャーコントロール



#### 🖉 カスタム1~9で調整できる項目について

カスタム1~9を選んだ場合は、元になったピクチャーコントロールと同じ項目 が調整できます。

#### 🖉 タッチ操作で文字を入力する

- キーボードエリアの文字をタッチすると文字がハイライトされ、指を放すと名前エリアに入力されます。文字の上で指をスライドすると、ハイライトされる文字が切り替わります。
- 名前エリアにタッチすると、タッチした位置にカーソルが移動します。画面の
   ↓または ▶ をタッチしてカーソルを移動することもできます。

#### 160 P、S、A、Mモードで撮影する

## SDカードを使ってピクチャーコントロールを 対応ソフトウェアと共用する

Picture Control Utility 2を使用すると、作成したカスタムピクチャーコ ントロールをSDカードからカメラに読み込んで登録したり、カメラで 作成したカスタムピクチャーコントロールをSDカードにコピーするこ とができます。また、SDカード内の不要なカスタムピクチャーコント ロールを削除することもできます。Picture Control Utility 2は、 Capture NX-D (□215) やViewNX 2 (□215) から起動できます。

- **1** [カスタムピクチャーコントロール] 画面で [メモリーカードを使用] を 選ぶ
  - 「メモリーカードを使用」を選んでマル チャレクターの③を押します。
- 2 「カメラに登録」、 [メモリーカード から削除] または [メモリーカード にコピー] を選ぶ

[カメラに登録]:

- SDカードにあるカスタムピクチャーコ ントロールをカメラに登録できます。カメラに登録したいカスタ ムピクチャーコントロールと登録先(C-1~9(カスタム1~9)) を選んで名前を付けると、選んだカスタムピクチャーコントロー ルがカメラに登録されます。
- [メモリーカードから削除]:
- SDカードにあるカスタムピクチャーコントロールを選んで削除 できます。



カメラに登録 メモリーカードから削除 メモリーカードにつど

カスタムビクチャーコントロール

[メモリーカードにコピー]:

 カメラにあるカスタムピクチャーコントロールをSDカードにコ ピーできます。SDカードにコピーしたいカスタムピクチャーコ ントロールとコピー先(1~99)を選んで®ボタンを押すと、選 んだカスタムピクチャーコントロールがSDカードにコピーされ ます。

#### 🖉 SDカードへのコピー /SDカードからの削除について

- カメラに搭載されているピクチャーコントロールは、コピーや削除ができません。
- SDカードに保存できるピクチャーコントロールは、99個までです。
- 162 P、S、A、Mモードで撮影する

# ライブビュー撮影(静止画) (液晶モニターを見ながら撮影する)

## ライブビューで静止画を撮影する

### 1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

### 2 フォーカスポイントを被写体に重ねる

- フォーカスポイントはマルチセレク ターで移動できます。
- フォーカスポイントの形状は[AFIJ アモード]によって異なります (□169)。



- フォーカスポイント
- **3** シャッターボタンを半押しして、 ピントを合わせる



- 半押し時のフォーカスポイントは、 オートフォーカス作動中は緑色で点滅
   し、ピントが合うと緑色で点灯します。ピントが合わないと赤色で点滅します。



- 撮影時は液晶モニターが消 灯します。
- SDカードアクセスランプが 点灯している間は、画像を 記録しています。SDカード やバッテリーを取り出さな いでください。



- 撮影後は、撮影した画像が液晶モニターに数秒間表示されます。
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。

#### 🖉 ライブビュー時の拡大表示

ライブビュー中に @ ボタンを押すと、フォーカスポイントを中心にして拡大表示できます(最大約8.3倍)。マルチセレクターを動かすと、フォーカスポイントが移動します。

- ペボタンを押すごとに拡大率が上がり、♀∞(?)
   ボタンを押すごとに拡大率が下がります。
   ボタンを押すと拡大表示を終了します。
- 拡大表示中は、画面の右下に構図のどの部分を 拡大しているかを表すナビゲーションウィンド ウ(グレーの枠)が表示されます。





ナビゲーション ウィンドウ

#### ▼ ライブビュー撮影時のご注意

- ライブビュー表示中は、液晶モニターの表示に次のような現象が発生すること がありますが、実際に記録される画像に影響はありません。
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪んで表示される
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪んで見える
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
  - 輝点が発生する
- ・ 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、ライブビュー表示中に画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」は、セットアップメニューの「フリッカー低減」(ロ291)で低減できますが、設定しているシャッタースピードによっては、撮影した静止画に記録されることがあります。
- 液晶モニターを閉じると(テレビやハイビジョンテレビなどの外部モニターでの表示中は除く)、ライブビュー撮影を終了します。
- ライブビュー表示中は、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

#### 🖉 ライブビュー撮影時の露出について

- ファインダー撮影時とライブビュー撮影時では、シーンによっては、露出が異なる場合があります。ライブビュー撮影時は、ライブビュー表示に適した測光を行うため、液晶モニターに表示された明るさに近い露出で撮影されます。
- 露出補正を行った場合、画面で露出を確認できるのは±3段の範囲に限られます。
- 適正露出や画像に影響を与える接眼部からの逆入射光を防ぐため、シャッターボタンを押す前に手などでファインダー接眼部をおおうか、別売のアイピースキャップ(ロ350)を取り付けることをおすすめします(ロ78)。

#### 🖉 HDMI接続時の撮影について

- HDMI対応機器との接続時には、接続した機器の画面に被写体が表示されます。
- HDMI-CEC対応機器との接続時にライブビュー撮影を行うには、セットアップメニューの[HDMI]の[機器制御]を[しない]に設定してください(□228)。

## <u>ライブビュー撮影時のピントの合わせ方を</u> <u>選ぶ(フォーカスモード)</u>

AF-S	シングルAF サーボ	静止している被写体の撮影に適しています。シャッ ターボタンを半押しすると、ピントが合った時点で フォーカスがロックされます。
AF-F	常時AFサーボ <sup>※</sup>	動いている被写体の撮影に適しています。シャッター ボタンを半押しするまで、カメラは被写体の動きに合 わせてピントを合わせ続けます。半押しすると、ピン トが合った時点でフォーカスがロックされます。
MF	マニュアル フォーカス	手動でピントを合わせます(口167)。

※撮影モードが2、息、蹲のときは、選べません。

1 [フォーカスモード] を選ぶ

ライブビュー表示中に*i*ボタンを押します。



 マルチセレクターで [フォーカスモー ド]を選んで (のボタンを押します。







## <u>マニュアルフォーカスでピントを合わせる</u>

マニュアルフォーカス(四88)で撮影すると きは、レンズのフォーカスリングを回して被 写体にピントを合わせます。



## <u>ライブビュー撮影時のフォーカスポイントの</u> 選び方を決める(AFエリアモード)

ライブビュー撮影時に、ピントを合わせるフォーカスポイントをカメラ がどのように選ぶかを設定します。撮影モード習、③、隣の場合は設 定できません。

[ <b>@</b> ]	顔認識AF	記念写真など、人物の顔にピントを合わせたい場合に 適しています。
E 3 Wide	ワイドエリアAF	風景などを手持ちで撮影する場合に適しています。 フォーカスポイントは任意の位置に移動できます。
[::] Norm	ノーマルエリアAF	画面の任意の位置にピンポイントでピントを合わせ たい場合に適しています。三脚の使用をおすすめし ます。
•	ターゲット追尾AF <sup>※</sup>	指定した被写体に追尾させてフォーカスポイントを 動かしたい場合に適しています。

※撮影モードが図、20、 県、 ダのときは、選べません。

### **1** [AFエリアモード] を選ぶ

- ライブビュー表示中に*i*ボタンを押します。
- マルチセレクターで [AFエリアモー ド] を選んで®ボタンを押します。



**i**ボタン



2 設定したいAFエリアモードを選ぶ
 ・ (のボタンを押して決定します。)



### 3 フォーカスポイントを被写体に重ねる

[AFエリアモード]が「顔認識AF]
 (□168)の場合は、カメラが人物の顔を自動的に認識し、フォーカスポイントが黄色の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で表示します。このとき、マルチセレク



フォーカスポイント

ターで二重枠を移動して、他の顔を選ぶこともできます。途中で 顔が後ろを向くなどしてカメラが顔を認識できなくなると、枠が 消えます。

- [ワイドエリアAF] または [ノーマル エリアAF] (□168)の場合は、マル チセレクターでピントを合わせる被写 体の位置にフォーカスポイントを移動 させます。 ※ボタンを押すと、フォー カスポイントは中央に移動します。
- [ターゲット追尾AF](ロ168)の場合は、フォーカスポイントを被写体に重ねて®ボタンを押すと、被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。もう一度®ボタンを押すと、追尾を終了します。



フォーカスポイント



フォーカスポイント

### **目 ライブビュー撮影中の情報表示**(説明のため、全ての表

示を点灯させています)



1	撮影モード	撮影モードダイヤルで選択中の撮影モードを表 示します。	四37、 54、61、 112
2	動画の マニュアル設定	撮影モードがMで、撮影メニュー [動画の設定] の [動画のマニュアル設定] が [する] のときに 表示されます。	□ 182
3	ライブビュー 残り時間	ライブビューが自動的に終了する30秒前から、 ライブビュー残り時間のカウントダウンを表示 します。	<b>□</b> 174
4	風切り音低減	撮影メニュー [ <b>動画の設定</b> ] の [ <b>風切り音低減</b> ] が [ <b>する</b> ] の場合に表示します。	□ 181
5	マイク感度設定	動画撮影時のマイク感度を表示します。	CI 181
6	音声レベル インジケーター	音声を記録するときの音量レベルを表示します。 インジケーターの色が赤で表示される場合、音量 が大きすぎることを示しています。マイク感度を 調節してください。	□181



Ø	動画の画像 サイズ	動画を記録するときの画像サイズを表示します。	□ 180
8	フォーカス モード	ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示 します。	<b>D</b> 166
9	AFエリア モード	ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示し ます。	<b>1</b> 68
10	動画記録禁止 マーク	動画が撮影できない状態のときに表示します。	_
Ð	動画記録 残り時間	動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間 を表示します。	□ 176
(12)	フォーカス ポイント	枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポ イントの形状は、選んだAFエリアモード (印169)により異なります。	□ 169
13	露出インジ ケーター	自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出 値との差が表示されます(撮影モードが <b>M</b> の場合 のみ)。	□118



#### 🖉 静止画撮影に関する設定の変更について

ライブビュー表示中に**こ**ボタンを押すと、次の静 止画撮影に関する設定を変更できます(情報表示 が「動画情報」の場合は、動画撮影に関する設定 を変更できます(ロ177))。

- ・ 画質モード (皿91)

  ・ 画像サイズ (皿93)

  ・ オートブラケティング (皿147)

  ・ HDR (ハイダイナミックレンジ) (皿133)

  ・ アクティブD-ライティング (皿131)

  ・ ホワイトバランス (皿136)

  ・ ISO感度 (皿100)

  ・ ピクチャーコントロール (皿152)

  ・ フォーカスモード (皿166)

  ・ AFエリアモード (皿168)

  ・ 測光モード (皿123)

  ・ フラッシュモード (皿95、97)

  ・ フラッシュ調光補正 (皿129)
- 露出補正(□127)



**i**ボタン



インフォ画面

#### 🖉 ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

自動的にライブビューを終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウント ダウンを表示します(ロ170)。

- カスタムメニュー c2 [パワーオフ時間](□262)の設定により終了する場合は、終了30秒前から黒字で表示し、終了5秒前から赤字で表示します。
- カメラ内部の温度上昇により終了する場合は、終了30秒前から赤字で表示します。撮影条件によっては、ライブビュー開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。

#### ▼ ライブビュー撮影時のオートフォーカスについてのご注意

- ライブビュー撮影時のオートフォーカスは、通常のオートフォーカスよりピン ト合わせに時間がかかります。また、次の被写体はピントが合わない場合があ りますので、ご注意ください。
  - 画面の長辺側と平行な線の被写体
  - 明暗差の少ない被写体
  - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
  - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被 写体
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が 見える場合
  - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
  - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
  - 連続した繰り返しパターンの被写体(ビルの窓やブラインドなど)
  - 動く被写体
- [ターゲット追尾AF] で次のような被写体を撮影する場合は、追尾動作が正常 に行われないことがありますので、ご注意ください。
  - 色、明るさが背景と似ている場合
  - 大きさ、色、明るさが著しく変わる場合
  - 大きすぎる/小さすぎる/明るすぎる/暗すぎる場合
  - 動きが速すぎる場合
  - 隠れたり、画面から外れた場合
- オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
- フォーカスポイントが緑色に点滅しているとき(オートフォーカス作動中)は、 シャッターはきれません。ただし、赤色に点滅しているとき(ピントがあって いないとカメラが判断したとき)でもシャッターはきれます。
- ピントが合わなくてもピント表示(緑枠)が点灯する場合があります。

# ライブビュー撮影(動画)と 動画の再生

## ライブビューで動画を撮影する

ライブビューにすると、動画を撮影できます。

### 1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。



ライブビュースイッチ

### **2** シャッターボタンを半押しして、 ピントを合わせる



 動画撮影を開始する前に、「ライブ
 ビューで静止画を撮影する」の手順2~3
 (四163)と同じ手順で被写体にピントを合わせます(ピントの 合わせ方については、四166~169をご覧ください)。

### 3 動画撮影ボタンを押して、撮影を 始める

撮影モードがシーンモードまたはP、S、



動画撮影ボタン

- A、図の場合、図(@)ボタンを押しながらコマンドダイヤルを 回すと、1/3段ステップで±3段の範囲で露出補正ができます (□127)。
- 録画中は録画中マークが液晶モニター に表示されます。SDカードに記録でき る残り時間の目安も液晶モニターで確 認できます。
- 内蔵マイク(□2)で音声を記録します。録画中は、マイクを指でふさがないようにしてください。

残り時間



録画中マーク

### 4 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する

#### 🖉 動画撮影中の静止画撮影について

動画撮影中にシャッターがきれるまでシャッターボタンを全押しすると、動画 撮影を終了して静止画撮影し、ライブビュー表示に戻ります。タッチシャッター (□20)では動画撮影中に静止画の撮影はできません。

#### 🖉 動画記録範囲について

ライブビュー表示中に動画が記録される範囲を示すガイドを表示するには、 ボタンを押して情報表示を「動画情報」、「情報表示なし」、「格子線表示」、また は「静止画情報(シンプル表示)」に切り換えます(ロ172)。ただし、撮影メ ニュー [動画の設定]の [画像サイズ/フレームレート]で、解像度が640×424 ピクセルの場合(ロ180)は、ガイドは表示されません。

#### 🖉 動画撮影に関する設定の変更について

ライブビュー表示中に**M**ボタンを押して情報表示を「動画情報」に切り換えてから**i**ボタンを押すと、次の動画撮影に関する設定を変更できます。



\_\_\_\_ **i**ボタン



インフォ画面

- 動画のサイズ/画質(□180)
- 録音設定(□181)
- ホワイトバランス (四136)
- ピクチャーコントロール (□152)
- 風切り音低減(□181)
- フォーカスモード (CD166)
- AFエリアモード (□168)
- 露出補正 (□127) ※
- ※ 撮影モード M で、撮影メニュー [動画の設定]の [動画のマニュアル設定] (□182)が [する]の場合は、[露出補正]の代わりに [ISO感度] (□100) を設定できます。

#### 🖉 動画撮影について

- 使用しているSDカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たない で撮影が自動的に終了する場合があります(四352)。
- 動画撮影時は、[AFエリアモード] が [顔認識 AF] の場合に認識できる人数 が少なくなります。
- 動画撮影時は、内蔵フラッシュと別売のスピードライト(四340)は発光しません。
- ・

   (動画記録禁止)マーク(□171)が表示されているときは、動画撮影できません。
- •1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- 動画撮影時の測光モードは[図](マルチバターン測光)に固定され、カメラ がシャッタースピードやISO感度を決めます(「動画のマニュアル設定]が[する]のときに撮影モードをMにすると、自分で設定したシャッタースピードと ISO感度で動画撮影できます(ロ182))。
- 撮影モードがAまたはMの場合は、ライブビューを開始する前に絞り値を設定します(四116、117)。
- 被写体の明るさによっては、露出補正の効果が反映されないことがあります。

#### 🖉 HDMI対応機器との接続時の撮影について

- HDMI対応機器との接続時には、接続した機器の画面に被写体が表示されます。
- HDMI-CEC対応機器との接続時にライブビュー撮影を行うには、セットアップメニューの[HDMI]の[機器制御]を[しない]に設定してください(ロ228)。

#### 🖉 ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

- 自動的に動画撮影を終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します(ロ170)。
- 撮影条件によっては、動画撮影を開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。
- 動画記録中にカウントダウンが始まった場合は、液晶モニターの右上に表示されている動画残り記録時間にかかわらず、ライブビュー残り時間のカウントダウン時間で動画撮影を自動的に終了します。

▶ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が 発生する(ロ291)
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
  - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーショ ンなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい 横帯が発生する
- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
  - 最長記録時間に達した場合(<sup>1180</sup>)
  - SDカードの残量がなくなった場合
  - 撮影モードダイヤルを回した場合
  - 液晶モニターを閉じた場合(テレビやハイビジョンテレビなどの外部モニ ターでの表示中は除く)
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が 破損するおそれがあります。
- •次の場合は、レンズの動作音が録音されることがあります。
  - オートフォーカス作動中
  - VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)をONにした場合

### 動画の設定

撮影メニューの「動画の設定」では、動画を記録するときの画像サイズ とフレームレート、画質、音声などを設定できます。

### ■ 画像サイズ/フレームレート、動画の画質

[画像サイズ/フレームレート] では、動画を記録するときの画像サイズ (ピクセル) /フレームレートを設定します。[動画の画質] では、動画 の画質を高画質と標準から選べます。

	画像サイズ/フレームレート		最長記録時間
	解像度	フレーム	([動画の画質] *3の設定:
	(ピクセル)	レート*1,2	★高画質/標準) ※4
1080 P* / 1080 P	1920×1080	60p	104/204
1080 P* / 1080 P	1920×1080	50p	10)]/20)]
1080 P* / 1080 P	1920×1080	30p	
1080 P* / 1080 P	1920×1080	25p	20121
1080 PX / 1080 P	1920×1080	24p	20分7/
720 <sup>P.*</sup> /720 <sup>P</sup>	1280× 720	60p	29713949
720 pt / 720 p	1280× 720	50p	•
424 ED / 424 ED	640× 424	30p	29分59秒/
424 PX / 424 P	640× 424	25p	29分59秒

※1 60p:59.94コマ/秒 (fps)、50p:50コマ/秒、30p:29.97コマ/秒、25p: 25コマ/秒、24p:23.976コマ/秒

※2 60p/30p は、セットアップメニューの[ビデオ出力](ロ292)が[NTSC]の場合に選べます。50p/25pは、[ビデオ出力]が[PAL]の場合に選べます。

※3 [動画の画質] が高画質の場合は、アイコンに★が表示されます。

※4 瞬の場合、最長記録時間は3分です。

### ■ 録音設定

内蔵マイクまたは別売のステレオマイクロホン(□□350)の感度の程度 を設定します。

マイク感度 オート	カメラが自動的にマイク感度を調整します。
マイク感度 マニュアル	マイク感度を手動調整します。[1] ~ [20] の調整ができ ます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなり ます。
録音しない	音声は記録しません。

### ■ 風切り音低減

[する] を選ぶと、ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以外の音も聞こえにくくなることがあります。

 別売のステレオマイクロホンをお使いの場合は、カメラ側で [風切り 音低減]で [する] を選んでいても風切り音は低減されません。ステ レオマイクロホン側で設定してください。

#### 🜌 別売ステレオマイクロホンについて

別売ステレオマイクロホンを外部マイク入力端子に接続すると、動画撮影中に オートフォーカスでピント合わせをしたときに生じるレンズの振動ノイズが録 音されるのを低減できます。

### ■動画のマニュアル設定(撮影モードMのみ)

[する] を選ぶと、撮影モードがMの場合に、動画撮影時のシャッター スピードとISO感度を変更できます。

シャッタースピードは、動画のフレームレート(印180)によって次の範囲に制限されます。ライブビュー開始前の数値が次の範囲でない場合、ライブビュー開始後に自動的に次の範囲内に設定が変更されます。変更後の数値は、ライブビューを終了しても保持されます。

フレームレート	シャッタースピード
24p、25p、30p	1/4000~1/30秒
50p	1/4000~1/50秒
60p	1/4000~1/60秒

撮影メニューの[ISO感度設定]で[感度自動制御](ロ250)を[する]に設定しても、自動制御は動作しません。

### ■ 動画の設定を変更する







## 3 設定したい内容を選ぶ

・ のボタンを押して設定します。

	動画の設定 画像サイズ/フレームレート	C
1 -c 🔪	翌2  加1920×1080 60p   週2  1920×1080 30p   週2  1920×1080 24p	
-	辺論 1280× 720 60p 亚語 640× 424 30p	

## 動画を再生する

1コマ表示モード(凹191)で**県**マークが表示されている画像が動画で す。 のボタンを押して動画を再生します(プログレスバーで再生中の 位置の目安を確認できます)。



### 動画再生時の操作方法

一時停止する	マルチセレクターの��を押すと、一時停止し ます。
再生を再開する	ー時停止中または早送り/早戻し中に ∞ ボタン を押すと、動画再生を再開します。
早戻しする/ 早送りする	<ul> <li>再生中に③を押すと早戻し、④を押すと早送 りします。同じ方向のボタンを押すごとに、早 戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に 切り替わります。</li> <li>④を押し続けると、最初のコマに移動し、④ を押し続けると、最後のコマに移動します。</li> <li>先頭フレームには▶アイコンが、最終フレー ムには➡アイコンが、画面右上に表示され ます。</li> </ul>
コマ戻しする/ コマ送りする	<ul> <li>一時停止中に④または●を押すと、コマ戻し/ コマ送りします。</li> <li>④または④を押し続けると連続でコマ戻し/ コマ送りします。</li> </ul>

10秒進める/ 10秒戻す		コマンドダイヤルを1クリック回すと、10秒前 または後ろに移動します。
音量を調節する	<b>⊕</b> ∕ <b>ବ୍≅</b> ( <b>?</b> )	<ul> <li>              ≪ ボタンを押すと音量が大きくなり、          </li> <li>             ボタンを押すと小さくなります。         </li> </ul>
再生を終了する		▶ボタンまたは●を押すと、1コマ表示モード に戻ります。

## 動画の編集

撮影した動画を編集できます。

<u>1</u>	始点/終点の設定	動画の前半、後半、または前後両端を切り取って、 選択した範囲だけを残します。
Û	選択フレームの保存	選択した1フレームを切り出して、JPEG画像とし て保存します。

### 動画の必要な部分を残す

### 1 1コマ表示モード(□191)で編集したい動画を表示する

- 2 切り取りたい位置で動画を一時停止 する
  - ●ボタンを押すと、動画が再生されます。再生中にマルチセレクターの●を 押すと、一時停止します。



### 3 [始点/終点の設定] を選ぶ

*i*ボタンを押して、[始点/終点の設定]
 を選んで③を押します。



**i**ボタン





• [始点] を選んで ® ボタンを押すと、 選んだ始点より後ろの部分が残ります。





 
 ・
 「終点]を選んで
 ・
 ・
 ぼタンを押すと、選んだ終点より前の部分が 残ります。
 ・



5 手順4で選んだ始点、または手順4で 選んだ終点の位置を調整する

- ・③または
   ●を押して、切り取りたい位置を調整します。
- コマンドダイヤルを1クリック回すと、 10秒前または後ろに移動します。



### 6 ●を押して決定する

### 7 保存する動画を確認する

 [プレビュー]を選んで®ボタンを押 すと、編集後の動画のプレビューが再 生されます(プレビューを終了するに は
 は
 なた押します)。



 [キャンセル]を選んで®ボタンを押 すと、手順5の画面に戻ります。

### 8 動画ファイルの保存方法を選ぶ

• [新規保存] を選ぶと、編集前の動画 とは別に、新しい動画として保存しま す。[上書き保存] を選ぶと、編集前 の画像が上書きされます。



### 9 動画ファイルを保存する

・ (W)ボタンを押して決定します。

#### ▶ 動画編集時のご注意

- SDカードに充分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- [始点/終点の設定] では、2秒未満の動画は編集できません。
- 動画編集で作成した動画の日時情報は、撮影時の日時になります。

#### 🜌 動画の前後を切り取るには

手順5の画面で、【】(Om)ボタンを押すと、▼(始点)または▼(終点)を切り 換えられ、一度の操作で動画の前後を切り取ることができます。



## 動画の1フレームをJPEG画像として保存する

1 保存したい位置で動画を一時停止 する

動画の再生中にマルチセレクターの

 を押すと、一時停止します。



2 [選択フレームの保存] を選ぶ

• *i*ボタンを押して、[**選択フレームの保** 存]を選んで③を押します。



**i**ボタン



**3** JPEG画像として保存したいフレー ムを決める

保存したいフレームを選んで
 を押します。

### 4 JPEG画像を保存する

• [はい] を選んで ® ボタンを押すと、 JPEGの画像として保存します。





### ☑ [選択フレームの保存] で作成した画像について

- 画質モード [**FINE**] (ロ91) のJPEG画像を作成します。
- 画像編集はできません。
- 再生時の画像情報(□195)で表示されない項目があります。


## 画像を再生する

## <u>画像を1コマずつ再生する</u> <u>(1コマ表示モード)</u>

▶ボタンを押すと、最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます。





トボタン

### ■ 1コマ表示モードでの操作方法

前後の画像を 見る		マルチセレクターの  の を 押すと前の 画像が、   の を 押すと 、の 画像が 表示 されます。			
画像情報を 切り換える		画像情報の切り換えができます(四195)。			
撮影に戻る		撮影画面に切り替わります。			
動画を再生する	<b>動画を再生する</b> マークが表示されている画像の場合、動 再生します (凹 184)。				

#### 🖉 iボタン

1コマ表示モード、サムネイル表示モード (□193)、カレンダー表示モード (□194)で ボタンを押すと、次の機能を使用できます。項目 を選んでマルチセレクターの④を押すと、選んだ 項目の設定画面が表示されます。

- レーティング(重要度)(□207)
- 画像編集(静止画の場合)(□297)/
   動画編集(動画の場合)(□186)
- •スマートデバイスへの送信指定/解除(□238)



**i**ボタン



## <u>複数の画像を一覧表示する(サムネイル</u> <u>表示モード)</u>

1コマ表示モードのときに**9≊(?**)ボタンを押すと、複数の縮小画像 (サムネイル画像)を表示する「サムネイル表示モード」に切り替わり ます。



モード

サムネイル表示モード (4、12、80コマ表示)

### ■ サムネイル表示モードでの操作方法

画像を選ぶ	マルチセレクターで黄色の枠(カーソル)を動 かして画像を選びます。 マルチセレクターの代わりにコマンドダイヤル を使うこともできます。
1コマ表示する	サムネイル表示モードを終了して、1 コマ表示 モードに戻ります。
撮影に戻る	撮影画面に切り替わります。

カレンダー 表示モード

## <u>撮影した日付ごとに画像を表示する</u> (カレンダー表示モード)

80コマ表示時(ロ193)に**92**(?)ボタンを押すと、撮影した日付ご とに縮小画像を表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。



### ■ カレンダー表示モードでの操作方法

表示を 切り換える		<ul> <li>カレンダー表示時に Q∞ (?) ボタンまたは ∞ボタンを押すと、黄色い枠が撮影日サムネイル表示に 移動し、選択中の日付に撮影した画像が選べます。</li> <li>撮影日サムネイル表示時に Q∞ (?) ボタンを押す と、カレンダー表示に戻り、日付を選べます。</li> </ul>
80コマ表示		• カレンダー表示時は80コマ表示に切り替わります。
に戻る/画像	e,	• 撮影日サムネイル表示時は、 <b>Q</b> ボタンを押してい
を拡大する		る間、拡大表示をします。
日付を選ぶ/ 画像を選ぶ		<ul> <li>カレンダー表示時は、マルチセレクターで黄色の枠 (カーソル)を動かして撮影した日付を選びます。</li> <li>撮影日サムネイル表示時は、◆または◆を押して 画像を選びます。</li> </ul>
1コマ表示 する		撮影日サムネイル表示時に®ボタンを押すと、選択 した画像を1コマ表示します。
撮影に戻る		撮影画面に切り替わります。

## 画像情報を表示する

1コマ表示モードでは、画像についての詳しい情報を見ることができま す。マルチセレクターの会または令を押すと、次のように撮影情報の 表示が切り替わります。



※1 再生メニュー [再生画面設定] (□241) で設定している場合のみ表示します。
※2 別売のGPSユニットGP-1またはGP-1Aを使って、撮影時に位置情報(□293)
を記録した画像の場合のみ表示します。





1	プロテクト設定の有無 206	7	画像サイズ	93
2	画像編集の有無	8	撮影時刻	285
3	送信指定の有無	9	撮影日付	285
4	コマ番号/フォルダー内全画像数	10	フォルダー名	246
5	ファイル名249	11	レーティング設定	207
6	画質モード 01			

### ■ハイライト表示※



※ ハイライトとは、画像の中の非常に明るい部分です。露出補正などで画像の明 るさを調整する際に、点滅しているハイライト部分を目安にしてください。

### ■ RGBヒストグラム



- 1 RGBのヒストグラム
- 2 赤色 (R) のヒストグラム
- 3 緑色(G)のヒストグラム
- 4 青色(B)のヒストグラム

5 ホワイトバランス...... 136 ホワイトバランス微調整...... 139 プリセットマニュアル...... 141

#### ✓ 拡大ヒストグラム表示について

RGB ヒストグラム表示で ♥ ボタンを押すと、ヒス トグラム表示のまま拡大画面になります。拡大ヒ ストグラム表示では、拡大領域のヒストグラムを 表示することができます。また、拡大表示中にマ ルチセレクターを操作すると、画面をスクロール して見たい部分に移動できます。 ♥☎ (?) ボタン を押すと画像を縮小表示します。



#### 💋 カメラのヒストグラム表示機能について

ヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと 異なることがあります。目安としてお使いください。

#### 🖉 ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、画像の明るさ(輝度)の分布を表すグラフのことです。横 軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセル数を示しています。

- いろいろな明るさの被写体が 与っている画像では、グラフの山 が全体的に分布したヒストグラ ムになります。
- 暗い画像はヒストグラムの分布 が左側に寄った形になります。
- 明るい画像はヒストグラムの分 布が右側に寄った形になります。



露出補正を+側にすれば山が右側に寄り、-側にすれば山が左側に寄ります。 屋外などで周りが明るすぎて液晶モニターでは画像の明るさが確認しにくいと きでも、ヒストグラムから画像全体の露出傾向を確認することができます。

### ■ 撮影情報

撮影時の設定の詳細を表示します。



- ※1 感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。
- ※2 設定した機能、装着したレンズやアクセサリーにより表示されない場合があります。



※ 設定したピクチャーコントロールにより、表示される内容が異なります。



14	高感度ノイズ低減 253	18	画像編集メニュー(印297)で行
	長秒時ノイズ低減		われた画像編集の内容が一覧表示
15	アクティブD-ライティング… 131		されます。
16	HDR(ハイダイナミックレンジ)		複数の画像編集が行われた場合
			は、順番に表示されます。
17	ヴィネットコントロール 254	19	画像コメント



■ 統合表示

15	123 4 123 4 123 500 56 13 20 5 5 6 13 20 5 7 14 13 12 11 10	1 28 27	617 18 19 20 21 21 3 27 5 6 20 5 5 5 6 20 5 5 5 6 20 5 5 5 6 20 5 5 5 6 20 5 5 5 6 20 5 5 5 6 5 5 5 5 6 5 5 5 5 6 5 5 5 5 5
1	コマ番号/フォルダー内全画像数	15	レーティング設定 207
2	送信指定の有無	16	測光モード123
3	プロテクト設定の有無 206	17	撮影モード 37、54、61、112
4	カメラ名	18	シャッタースピード 113
5	画像編集の有無 298	19	絞り値 113
6	画像コメントの有無 283	20	ISO感度*1 100
7	位置情報の有無 293	21	焦点距離 332
8	画像のヒストグラム(罒198)	22	アクティブD-ライティング… 131
	を表示します。横軸は明るさ、	23	ピクチャーコントロール 152
	縦軸は明るさごとのピクセル数	24	色空間 252
0	を表します。	25	フラッシュモード
9 10	回員モート	26	ホワイトバランス136
10	回家リイス		ホワイトバランス微調整 139
12-	ノア1ル白249 坦影味剤 20 205		ブリセットマニュアル
12	1000000000000000000000000000000000000	27	フラッシュ調光補正値129   フランダーエードの右知*3 - 273
13	<b>康影日</b> 11	20	コマンダーモードの有無*2 2/3   売いばてた
14	フォルダー名	28	蕗出佣止値 127

※1 感度自動制御された画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

※2 設定した機能や装着したアクセサリーにより表示されない場合があります。

### ■ 位置情報表示

別売のGPSユニットGP-1またはGP-1Aを使って、撮影時に位置情報 (□293)を記録した画像の場合に表示します\*。



## 画像を拡大表示する

1コマ表示モードのときに<sup>®</sup>ボタンを押すと、拡大表示されます。拡大 できる最大の大きさ(長さ比)は、画像サイズが[**L**](サイズL)の 場合は約33倍、[**M**](サイズM)では約25倍、[**S**](サイズS)では 約13倍です。拡大表示中に人物の顔を認識した場合、顔を白枠で囲ん で表示します。

#### ■ 拡大表示中の操作方法

拡大率を 上げる	æ	ボタンを押すごと に拡大率が上がり ます。	
拡大率を 下げる	<b>ର୍</b> ଛ ( <b>?</b> )	ボタンを押すごと に拡大率が下がり ます。	拡大表示中に拡大率を操作す ると、画面の右下にナビゲー
画面を スクロール (移動) させる		画面をスクロール させて、見たい部分 に移動できます。マ ルチセレクターを 押し続けると、高速 で移動します。	ションワインドワが表示され、拡大表示中の部分が黄色 い枠で囲んで示されます。ナ ビゲーションウィンドウの下 には拡大率を示すバーが表示 され、拡大率が100%の場合、 バーの色が緑で表示されま す。ナビゲーションウィンド ウは数秒すると消えます。

人物の顔へ 移動させる/ 人物の顔の 拡大率を 変更する	i	<ul> <li> ★ボタンを押すと、次の操作ができます。もう一度押すと、通常の拡大表示に戻ります。 <ul> <li> マルチセレクターを押すたびに、認識した顔に順次移動します。 <ul> <li> ●ボタンを押すと、人物の顔を拡大表示します。 </li> </ul> </li> </ul></li></ul>	拡大表示中に人物の顔を認識 すると、画面右下のナビゲー ションウィンドウに白い枠が 表示されます。
前後の画像 を見る		コマンドダイヤルを[ 示範囲で、前後の画像 拡大表示を終了します	回すと、そのままの拡大率と表 象を表示します (動画を選ぶと、 す)。
1コマ表示 する		拡大表示を終了して、	. 1コマ表示モードに戻ります。
撮影に戻る		撮影画面に切り替わり	ります。

## 画像を保護する(プロテクト)

大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト(保護)を設定できます。ただし、SDカードを初期化(フォーマットロ282)すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

 マルチセレクターで画像を選んで (A) ボタンを押すと、画像にプロテクトを設定します。



点(On)ボタン

- プロテクトを設定した画像には M アイコンが表示されます。
- 画像のプロテクトを解除するには、解除する画像を表示(選択)して、料(Om)ボタンを押します。



#### 🖉 プロテクトの一括解除について

画像の再生中に、 (M) ( **Om**)ボタンと **a**ボタンを同時に2秒以上押し続けると、 再生メニューの [**再生フォルダー設定**] ( 口241) で設定されているフォルダー 内の全ての画像のプロテクトをまとめて解除できます。

## 画像にレーティング(重要度)を 設定する

選んだ画像にレーティングを設定できます。ただし、プロテクトした画像はレーティングを設定できません。

## 表示中の画像にレーティングを設定する

1 マルチセレクターでレーティングを 設定する画像を選んで*i*ボタンを押す



**i**ボタン

**2** [レーティング] を選んでマルチ セレクターの③を押す



### 3 レーティングを設定する

- ●③または●を押して、★★★★★~
   ★、星なし、6(削除候補)から選びます。
- ・ ※ボタンを押して決定します。



## 複数の画像にレーティングを設定する

再生メニューの [**レーティング**] では、複数の画像にレーティングを設 定できます。





- ①または③を押して、レーティングを 設定したい画像を選びます。
- ●または●を押して、★5~★1、 星なし、
   星なし、
   (削除候補)から選びます。
- ・ 
   ペ ボタンを押している間は、選択中の
   画像が拡大表示されます。



## 画像を削除する

SDカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意ください。ただし、プロテクトを設定した画像は削除できません。

## <u>表示中の画像を削除する</u>

### マルチセレクターで削除する画像を 選んで面ボタンを押す

- 削除確認の画面が表示されます。



面ボタン

### 2 もう一度面ボタンを押す

• 選択した画像が削除されます。



## 複数の画像をまとめて削除する

再生メニューの[**削除**]では、複数の画像をまとめて削除できます。たくさんの画像を削除するときは、時間がかかることがあります。

	選択画像削除	選択した画像を削除します。
DATE	日付選択	選択した日付に撮影した画像をまとめて削除します。
ALL	全画像削除	[ <b>再生フォルダー設定</b> ](ロ241)で設定したフォルダー内 の全ての画像を削除します。

### ■ 選択画像削除

#### 1 削除する画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選び、Q≅
   (?)ボタンを押すと、値アイコンが表示されて削除設定されます。もう一度
   Q≅(?)ボタンを押すと解除されます。
- 削除する画像全てに設定してください。
- **Q**ボタンを押すと、ボタンを押している 間、選んだ画像を拡大表示します。





### 2 画像を削除する

- ・ (※)ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
- ・確認画面で [はい]を選んで ∞ ボタン を押すと、選択した画像が全て削除されます。



∎ 日付選択

## 1日付を選ぶ

- マルチセレクターで日付を選んで●を押 すと、日付の横にチェック ■が入りま す。もう一度
- 削除する日付全てにチェックを入れて ください。



## **2** 画像を削除する

- ・ (※)ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
- ・確認画面で [はい] を選んで ∞ ボタン を押すと、選択した日付の画像が全て 削除されます。



## スライドショーで再生する

再生メニューの[スライドショー]では、[再生フォルダー設定](ロ241) で設定したフォルダー内の画像を記録された順番に1コマずつ連続再生 できます。



	再生メニュー	
	削除	5
	再生フォルダー設定	ALL
6	再生画面設定	
1	撮影直後の画像確認	ON
4	縦横位置情報の記録	ON
ш	縦位置自動回転	ON
	スライドショー	
?	プリント指定(DPOF)	8



•スライドショー再生時には次の操作を行えます。

1コマ進む/ 戻る		●を押すと前の画像が、●を押すと次の画像が表示されます。		
画像情報を 切り換える		画像情報の切り換えができます(囗195)。		
一時停止する		スライドショーが一時停止します。[ <b>再開</b> ] を選んで 🛞 ボタンを押すと、スライド ショーが再開します。		
動画再生中に 音量を調節 する	ଷ୍⁄ସ୍≅ ( <b>?</b> )	♥ ボタンを押すと音量が大きくなり、♀☎ (?) ボタンを押すと小さくなります。		
通常再生に 戻る	Þ	スライドショーを中止して、1コマ表示モード(四191)、サムネイル表示モード(四193)またはカレンダー表示モード(四194)に戻ります。		

再生が終わると、右のような画面が表示されます。[再開]を選んで∞ボタンを押すと、スライドショーが再開します。[終了]を選んで∞ボタンを押すと、スライドショーが終了します。



### ■ 再生画像の種類を設定する

[再生画像の種類]を選ぶと、スライドショーで再生する画像の種類を [静止画と動画]、[静止画のみ]、[動画のみ]、[レーティングの選択] から選べます。

- [レーティングの選択] を選んでマルチセレ クターの③を押すと、選んだレーティング を設定した画像だけを再生できます。
- レーティング項目を選び、③を押して チェックボックスをオン団にします。もう 一度④を押すと、チェックボックスがオフ
   になります。

	スラ	イドショー	[	5
	ν-	ティングの選択		
-		*****		
5		****		
<u> </u>		***		
		**		Ī
1		*		
		なし		
			◎選択 03決	淀

• 🞯 ボタンを押して、設定を完了します。

### ■1コマの静止画を表示する時間(インターバル) を設定する

[インターバル設定]を選ぶと、1コマの静止 画を表示する時間を設定できます。

	スライド	ショー	[	σ
0	インター	バル設定		
1				
Y	2	秒		
mí.		秒		
1		秒		
_	10	秒		
?				

# パソコン、プリンター、 テレビとの接続

## ViewNX 2をインストールする

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有を可能とするソフト ウェアです。ViewNX 2のインストールにはインターネットに接続でき る環境が必要です。ソフトウェアの最新情報、動作環境は、当社ホーム ページ(ロxix)のサポート情報でご確認ください。

- ViewNX 2は、下記のホームページからViewNX 2のインストーラーを ダウンロードし、画面の指示に従ってインストールしてください。 <u>http://nikonimglib.com/nvnx/</u>
- ・画像調整用ソフトウェアCapture NX-Dも下記ホームページからダウンロードしてインストールできます。
   <u>http://nikonimglib.com/ncnxd/</u>

#### 🖉 Capture NX-Dについて

Capture NX-Dを使用すると、カメラで撮影した画像を調整したり、RAW現像 したりできます。また、イメージダストオフ機能を使用してRAW画像からゴミ の写り込みを取り除くこともできます。

#### ✓ 必ず最新バージョンのソフトウェアをお使いください

お使いのカメラに対応していないバージョンのソフトウェアを使用すると、 RAW画像をカメラからパソコンへ正常に転送できないことがあります。必ず最 新バージョンのソフトウェアをお使いください。

## ViewNX 2を使う

## パソコンに画像を取り込む

## 1 パソコンに接続する

 SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSB ケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにし ます。



## **2** ViewNX 2のNikon Transfer 2が起動する

起動するプログラム(ソフトウェア)を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

## 3 画像をパソコンに取り込む

• [転送開始] をクリックすると、記録されている画像がパソコン に取り込まれます(ViewNX 2の初期設定)。



[転送開始]

#### 216 パソコン、プリンター、テレビとの接続

### 4 接続を解除する

・カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

#### 🖉 Windows 7をお使いの場合

図のような画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。



- 1 [画像とビデオのインポート] で使用するプログラムにNikon Transfer 2を 選ぶ
  - 「画像とビデオのインポート」の「プログラムの変更」をクリックすると表示される画面で、「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用」を選んで、「OK」をクリックします。
- 2 [画像ファイルを取り込む] をダブルクリックする

#### 🖉 Windows 8.1をお使いの場合

Windows 8.1の設定によっては、図のようなダイアログが表示されます。この場合は次の手順でNikon Transfer 2を選びます。



- 1 ダイアログをクリックする
- 2 「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2」をクリックする



パソコン、プリンター、テレビとの接続 217

#### 🖉 ViewNX 2の詳しい使い方は

ViewNX 2のヘルプを参照してください。

#### ▼ パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、 まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜い てください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源がOFFになっていることを 確認してください。
- カメラとパソコンを接続するときは、充分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

#### V USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンやプリンターに接続すると、正しく動作しないことがあります。

## プリンターで印刷する (ダイレクトプリント)

PictBridge(ピクトブリッジロ408)対応プリンターをお使いの場合、 パソコンを使わずに、カメラとプリンターを付属のUSBケーブルで直接 接続してSDカード内の画像をプリントできます(ダイレクトプリント)。

## カメラとプリンターを接続する

USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。



カメラとプリンターの電源をONにすると、液晶モニターにPictBridgeのロゴが表示された後、撮影された画像が表示されます。

#### ☑ ダイレクトプリントについてのご注意

- RAW 画像(四91)はダイレクトプリントできません。RAW 画像は画像編集 メニューの [RAW現像](四300)で作成したJPEG画像をプリントしてくだ さい。
- [フチ設定] と [範囲指定] は、接続したプリンターがそれぞれの機能に対応 していない場合は、選べません。なお、[範囲指定] で狭い範囲を大きくプリ ントした場合は、画像が粗くプリントされる場合があります。

#### ☑ [日付写し込み設定] で日時を写し込んだ画像についてのご注意

カスタムメニュー d4 [**日付写し込み設定**](四265)で日時を写し込んだ画像 をプリントするときは、次のことにご注意ください。

- [日付ブリント] を [なし] に設定してください。[あり] にしてプリントする と、日付が二重にプリントされます。
- [**フチ設定**]を [**なし**] にしたときや、範囲指定の設定によっては、日時部分 が用紙に収まらないことがあります。

## <u>1コマだけプリントする</u>

#### 1 プリントしたい画像を選んで®ボタンを押す

- マルチセレクターの③または③を押してプリントしたい画像を選びます。
- 1コマ表示中に ペボタンを押すと、表示中の画像を拡大表示します(□204)。
   ゴボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。
- (2) ボタンを押して8コマ表示に切り換えて、画像を選ぶことができます。
   ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

## 2 プリント設定の項目を設定する

「プリント設定」画面で設定したい項目を選んで ③を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。設定方法については、「プリント設定項目について」(□221)をご覧ください。

### 3 プリントを開始する

- ・
   「フリント実行]を選んで、
   ・
   ・
   ボタンを押すとプリントが始まります。
   ます。
- プリントを中断したいときは、もう一度®ボタンを押してください。

#### 220 パソコン、プリンター、テレビとの接続

### ■ プリント設定項目について

マルチセレクターの♥または●を押して設定したい項目を選んで●を 押すと、それぞれの設定画面が表示されます。

用紙設定	プリントする用紙のサイズを選んで®ボタンを押します。プリン ターが対応する用紙サイズのみが表示されます。
枚数指定	プリントする枚数(1~99枚)を設定して@ボタンを押します。
フチ設定	[あり]を選んで®ボタンを押すと、画像にフチを付けてプリントします。
日付 プリント	[あり]を選んで∞ボタンを押すと、画像に日付をプリントします。
範囲指定	[する]を選んで、③を押すと、[範囲指定] 画面が表示されます。 プリント範囲(黄色の枠)は 😪 (?) ボタンを押すと狭くなり、 ® ボタンを押すと広くなります。マルチセレクターを操作すると プリント範囲が移動します。プリント範囲を決定するには 🕯 ボタ ンを押します。

※ ブリンターの設定を優先したいときは、それぞれの設定時に [プリンターの設 定] を選んでください。

## 複数の画像をプリントする

### 1 カメラとプリンターを接続し(□219)、撮影した画像が 表示されたらMENUボタンを押す

2 プリント方法を選んで、プリントする画像や枚数を設定する

プリント方法を選んでマルチセレクターの③を押します。

プリント 画像選択	プリントする画像と枚数を選んでプリントします。 ● ③または④を押してプリントする画像を選び、●または●を 押して枚数(1~99枚)を設定して、●ボタンを押します。 ● ペボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。 ● プリントしない画像は枚数を0にします。
日付選択	指定した日付に撮影した全ての画像を1枚ずつプリントします。 • プリントする日付を選び、 ③を押して設定します。 • �� (?) ボタンを押すと、選択している日付に撮影した画像 をサムネイル表示します。 • もう一度 �� (?) ボタンを押すと、日付選択画面に戻ります。 • サムネイル表示中に ♥ ボタンを押すと、ボタンを押している 間、選んだ画像を拡大表示します。 • 日付を設定したら、 ∞ ボタンを押します。
DPOF プリント	再生メニューの [プリント指定 (DPOF)] (□224) で設定し た画像をプリントします。プリント指定した画像と枚数を確認 してから®ボタンを押します。
INDEX プリント	<ul> <li>SDカードの中のJPEG画像(ロ91)を一覧できる「インデックス」をプリントします。</li> <li>[INDEXブリント] 画面が表示されたら、@ボタンを押します。</li> <li>インデックスプリントできるのは256コマまでです。SDカード内に257コマ以上の画像がある場合は、印刷されない画像があります(確認画面が表示されます)。</li> <li>用紙サイズによってはプリントできない場合があります(警告メッセージが表示されます)。</li> </ul>

#### 222 パソコン、プリンター、テレビとの接続

## 3 プリント設定の項目を設定する

「フリント設定」画面で設定したい項目を選んで
 ・を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。
 「用紙設定]、
 「フチ設定]、
 [日付プリント]を設定できます。
 設定方法については、
 「プリント
 ト設定項目について」(□221)をご覧ください。

### 4 プリントを開始する

- [**プリント実行**]を選んで**®**ボタンを押すと、プリントが始まります。
- プリントを中断したいときは、もう一度®ボタンを押してください。

## <u>プリントしたい画像を指定する</u> <u>(プリント指定)</u>

SDカードをプリンターのカードスロットに挿入して印刷するときや、 プリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼するとき、またはカメ ラとプリンターを直接接続してダイレクトプリントするとき(皿219) に、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます(プリン ターやプリントサービス店がDPOF規格に対応している必要がありま す)。プリント指定の方法は次の通りです。



2 プリントする画像と枚数を設定する

 ・③または●を押してプリントする画像 を選び、●または●を押して枚数 (1~99枚)を設定して●ボタンを押し ます。



- 設定した画像には、
   日アイコンとプリント枚数が表示されます。
   枚数を0にすると
   日アイコンが消え、
   その画像はプリントされません。
- ペボタンを押している間は、選択中の画像が拡大表示されます。

#### 3 プリント指定の項目を設定する

 指定した画像全てに撮影情報や日付を プリントしたい場合は、[撮影情報]または[日付]を選び、②を押して チェックボックスをオン☑にします。



### 4 🞯 ボタンを押して、プリント指定を終了する

224 パソコン、プリンター、テレビとの接続

#### ▼ プリント指定についてのご注意

- ダイレクトブリント時には、[ブリント指定 (DPOF)]の[撮影情報]、[日 付]の設定は無効になります。ダイレクトプリントで日付をプリントしたい場 合は、ダイレクトプリントの[日付ブリント]を[あり]にしてください。
- SDカードの残量が充分にないときは、プリント指定ができない場合があります。
- RAW画像(□91)は、プリント指定ができません。画像編集メニューの[RAW 現像](□300)で作成したJPEG画像をプリントしてください。
- プリント指定を行ったSDカード内のデータを、このカメラ以外で削除しない でください。正しくプリントできなくなる場合があります。

#### ☑ 設定したプリント指定をまとめて解除したいときは

前ページの手順1の画面で[一括解除]を選ぶと、[ブリント指定 (DPOF)]で 設定した内容を全て解除します。

## テレビで見る

カメラをテレビや録画機器などに接続して、撮影した画像をテレビ画面 に表示したり、録画したりできます。

### AVケーブルを使ってテレビと接続する

カメラをオーディオビデオケーブル(AVケーブル)端子のあるテレビ などと接続できます。接続には付属のオーディオビデオケーブルをお使 いください。AVケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源を OFFにしてください。



ケーブル端子(外部機器側)

- セットアップメニューの[ビデオ出力]を、テレビに合わせます (ロ292)。日本国内では[NTSC]にしてください。
- テレビの入力をビデオ入力に切り換え、カメラの電源をONにして▶
   ボタンを押すと、撮影した画像がテレビの画面に表示されます。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラ側では音量調節できません。

#### 🖉 画像がテレビに映らないとき

AVケーブルでカメラとテレビを正しくつないでも、画像がテレビに映らないときは、セットアップメニューの [ビデオ出力] (ロ292) がお使いのテレビに合っているかを確認してください。

226 パソコン、プリンター、テレビとの接続
# HDMIケーブルを使ってハイビジョンテレビと 接続する

カメラをHDMI端子のあるハイビジョンテレビなどと接続できます。接続には、別売のHDMI端子用ケーブル(ロ350)または市販のHDMI端 子用ケーブル(Type C)が必要です。別途お買い求めください。HDMI ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてくだ さい。



HDMI端子 (カメラ側)

HDMI端子\*(外部機器側)

※使用する外部機器の端子に合わせたケーブルをお使いください。

- テレビの入力をHDMI入力に切り換え、カメラの電源をONにして
   ボタンを押すと、撮影した画像がテレビの画面に表示されます。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラ側では音量調節できません。

#### 🖉 テレビでの画像の再生について

- 画像の再生方法は、液晶モニターで再生するときと同じです。
- テレビ画面では、画像の周辺部が一部ケラレて表示される場合があります。
- テレビでの再生などでカメラを長時間使うときは、ACアダプターをお使いに なることをおすすめします。

パソコン、プリンター、テレビとの接続 227

### **■** HDMI対応機器への出力解像度を変更する

セットアップメニュー(<sup>11280</sup>)の[**HDMI**] の[**出力解像度**]では、HDMI対応機器への出 力解像度を設定できます。

- BNI ( )
   出力解査法
   コンパークション ( )
   1080b ( つゴノッシジフ)
   1080b ( つゴノッシジフ)
   1080b ( つゴノッシジフ)
   576b ( つゴノッシブ)
   480b ( つゴノッシブ)
- [出力解像度] が [オート] の場合、出力先 の映像信号形式を自動的に検出します。

### ■ HDMI-CEC対応テレビのリモコンを使って再生操 作をする

セットアップメニュー(凹280)の[**HDMI**]の[**機器制御**]では、 HDMI-CEC対応テレビのリモコンを使って、1コマ表示とスライド ショー再生のカメラ操作を行えます。

### 1 カメラとHDMI-CEC対応テレビを接続する

### 2 HDMI-CEC対応テレビとカメラの電源をONにする

- [機器制御]が[する]の場合、カメラのマルチセレクターや

   ボタンの代わりにHDMI-CEC対応テレビのリモコンを使ってカメ ラを操作できるようになります。

   (たいの)
- [機器制御] が [しない] の場合は、HDMI-CEC対応テレビのリ モコンでカメラは動作しません。ライブビュー撮影や動画撮影を 行いたいときは、[しない] に設定してください。

#### 🖉 HDMI-CECとは

[HDMI-CEC] とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での 連携動作を可能にします。

#### 🖉 HDMI-CEC対応テレビとの接続時の表示

HDMI-CEC対応テレビとの接続時には、ファインダーの記録可能コマ数表示部にことであったれます。

### 228 パソコン、プリンター、テレビとの接続

#### IDMIケーブル接続時の動画の撮影と再生について

- HDMI対応機器に接続して、撮影メニュー「動画の設定」の「画像サイズ/フレームレート」を[1920×1080 60p]または[1920×1080 50p]に設定して動画を記録すると、HDMIの出力解像度やフレームレートが変わることがあります。
- ・ [画像サイズ/フレームレート] を [1920×1080 60p] または [1920×1080
   50p] にして記録した動画を再生する場合(ロ184)、HDMI対応機器のモニターには再生中の動画のみが表示されます。

#### ▼ [HDMI] の [出力解像度] についてのご注意

このカメラでは、[1920×1080 60p] または [1920×1080 50p] でのHDMI 出力はできません。HDMI対応機器によっては、[出力解像度] を [オート] に 設定すると、HDMI出力できないことがあります。その場合は、[出力解像度] を [1080i (インターレース)] に設定してください。

# Wi-Fiを使う

# Wi-Fiを使ってできること

このカメラは、専用ソフトウェアWireless Mobile UtilityをインストールしたスマートデバイスとWi-Fi (無線LAN) で通信できます (ロ231)。



🖉 スマートデバイスにWireless Mobile Utilityをインストールする

Google PlayサービスまたはApp Storeで「Wireless Mobile Utility」を検索し、 スマートデバイスにインストールしてください。ソフトウェアの検索方法につ いては、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

- Wireless Mobile Utilityの詳しい操作方法は、下記のホームページから使用説明書(PDF形式)をダウンロードしてご覧ください。
  - Android OS : http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/
  - iOS : http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/



Android OS



iOS

# カメラとスマートデバイスを接続する

Wi-Fi (無線LAN) を使う前に、Android OSまたはiOSのスマートデバ イスに専用ソフトウェアWireless Mobile Utilityをインストールしてか ら、スマートデバイスとカメラを接続してください。スマートデバイス とカメラを接続する方法は、お使いのスマートデバイスの種類によって 異なります。

Android OS	WPS ブッシュボタン方式:スマートデバイスがWPS接続に対応 している場合(スマートデバイスの[Wi-Fi設定]に[WPSボタ ン接続]がある場合)、簡単な操作でカメラとスマートデバイスを 接続できます(ロ232)。
	WPS PIN コード方式:スマートデバイスがWPS接続に対応して いる場合、スマートデバイスのPINコードをカメラに入力するこ とで、カメラとスマートデバイスを接続できます(ロ233)。
	SSIDの表示:スマートデバイスがWPS接続に対応していなくて も、カメラに表示されるSSIDをスマートデバイス側で選ぶこと で、カメラとスマートデバイスを接続できます(ロ235)。
iOS	SSIDの表示:カメラに表示されるSSIDをスマートデバイス側で 選ぶことで、カメラとスマートデバイスを接続できます (叩235)。

#### ▼ セキュリティー設定について

初めてカメラとスマートデバイスを接続するときにWPSを使用しない場合、パ スワードなどのセキュリティーは設定されません。セキュリティーの設定は、接 続後にWireless Mobile Utilityを使って行うことができます。設定方法について は、Wireless Mobile Utilityの説明書をご覧ください。

- Wireless Mobile Utilityの使用説明書(PDF)は、下記のホームページからダウンロードしてご覧ください。
  - Android OS : http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/
  - iOS : http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/

# <u>WPSプッシュボタン接続でスマートデバイス</u> と接続する(Android OSのみ)

**1** Wi-Fiの [通信機能] を [有効] にする

- セットアップメニューの [Wi-Fi] を選んでマルチセレクターの③を押します。
- ・[通信機能] を選んで
   ・を避んで
   ・を選んで
   ・が
   ・ボタンを
   押します
   (通信機能
   が有効になるまで、
   数秒間かかります)。



2 カメラ側とスマートデバイス側で同時にWPSボタン接続操作をする

• カメラ側:

- [接続設定] を選んで ③を押します。

- [WPS プッシュボタン方式] を選んで ◆を押すと、カメラが約2分間接続待 機状態になります。



- スマートデバイス側:
  - スマートデバイスの [**Wi-Fi設定**] から [**WPSボタン接続**] を 選びます。

### 3 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

 スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示 されます。

# <u>スマートデバイスのPINコードをカメラに</u> <u>入力して接続する(Android OSのみ)</u>

1 Wi-Fiの [通信機能] を [有効] にする

- セットアップメニューの [Wi-Fi] を選 んでマルチセレクターの●を押します。
- ・[通信機能]を選んで
   ・を押し、
   「有効]
   を選んで
   ・ボタンを押します
   (通信機能
   が有効になるまで、
   数秒間かかります
   )。



### **2** [接続設定] で [WPS PINコード方式] を選ぶ

 ・
 [接続設定]を選んで
 ・
 を押します。

• [WPS PINコード方式] を選んで ③ を 押します。



### 3 スマートデバイスのPINコードを入力する

- ●または●を押して桁を選び、●または●を押して数値を設定し、●ボタンを押します。
- 4 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する
  - スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示 されます。

# <u>カメラのSSIDをスマートデバイスで選んで接 続する(Android OS/iOS)</u>

**1** Wi-Fiの [通信機能] を [有効] にする

- セットアップメニューの [Wi-Fi] を選んでマルチセレクターの③を押します。
- ・[通信機能]を選んで
   ・を 定かて
   ・を 定かれる
   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

   ・

### 2 カメラのSSIDを表示する

 ・
 [接続設定]
 を選んで
 ・
 を押します。

• [SSIDの表示] を選んで ②を押します。







### 3 スマートデバイスのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選ぶ

•スマートデバイスのWi-Fi接続に関連する設定メニューで、カメ ラの液晶モニターに表示されているSSIDを選びます。

### 4 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

 スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示 されます。

### ■ Wi-Fi接続設定をリセットするには

[Wi-Fi]の[接続設定]で[接続設定のリセット]を選んでマルチセレクターの◆を押すと、 確認画面が表示されます。[はい]を選んで∞ ボタンを押すと、接続先などの接続設定が、工 場出荷時の設定にリセットされます。



#### 🖉 Wi-Fi通信表示について

Wi-Fiの [通信機能] を [有効] にすると、イン フォ画面で<sup>(\*)</sup> (Wi-Fi通信表示) が点滅します。ス マートデバイスとカメラの接続が完了し、 Wireless Mobile Utilityで通信している間は、<sup>(\*)</sup>が 点灯します。



#### ▼ Wi-Fi接続についてのご注意

- Wi-Fi (無線LAN) をお使いの前に、「Wi-Fi (無線LAN) 機能について」(ロxxii) をお読みください。
- 電波の出力が禁止されている場所では、[Wi-Fi] の [通信機能] を [無効] に してください。
- カメラのWi-Fi機能は、SDカードを挿入していないと使えません。USBケーブ ルまたはHDMIケーブルを接続しているときも使えません。
- スマートデバイスからWireless Mobile Utilityでカメラと通信している間は、
   半押しタイマーはオフになりません(通信を行わずに約5分経過すると、半
   押しタイマーがオフになります)。
- Wi-Fi接続中は、Eye-Fiカードでデータを送信できません。
- 操作中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。
- 次の場合に、Wi-Fiの通信機能が無効になります。
  - セットアップメニュー [Wi-Fi] の [通信機能] で [無効] を選んだとき
  - カメラの電源をOFFにしたとき
  - 動画撮影を開始したとき

# スマートデバイスに取り込みたい画像 をカメラで送信指定する

スマートデバイスに取り込みたい静止画をあらかじめカメラで選んで 送信指定することができます。動画は送信指定できません。

# 表示中の画像を送信指定する

1マルチセレクターで送信指定する 画像を選んでiボタンを押す



**i**ボタン

2 [スマートデバイスへの送信指定/ 解除] を選んで®ボタンを押す

・ C アイコンが表示されます。



### 送信指定を解除するには 解除したい画像を選び、もう一度 [スマートデバイスへの送信指定/解除]を選んで®ボタンを押します。

238 Wi-Fiを使う

# 複数の画像をまとめて送信指定する

再生メニューの [スマートデバイスへの送信指定] では、複数の画像を まとめて送信指定できます。

1 再生メニューの [スマートデバイス への送信指定] を選んでマルチセレ クターの ③を押す



### 2 画像を選んで送信指定する

- マルチセレクターで画像を選びます。
- (?)ボタンを押して設定します。
   設定するとビジアイコンが表示され、
   もう一度 (?)ボタンを押すと解除
   されます。
- 送信指定する画像全てに設定してくだ さい。
- ・ ペボタンを押すと、ボタンを押している
   問、選んだ画像を拡大表示します。
- 感ボタンを押して、設定を完了します。



🗣 (?) ボタン



# メニュー項目

# ▶ 再生メニュー:再生で使える便利な機能

MENUボタンを押してタブの Pアイコンを選ぶと、再生メニューが表示 されます。



# <u>再生メニュー項目一覧</u>

再生メニューの項目は、次の通りです。

メニュー項目	初期設定	ш
削除	_	210
再生フォルダー設定	全てのフォルダー	241
再生画面設定	_	241
撮影直後の画像確認	する	242
縦横位置情報の記録	する	242
縦位置自動回転	する	243
スライドショー		
再生画像の種類	静止画と動画	212、
インターバル設定	2秒	214
プリント指定(DPOF)	_	224
レーティング	_	208
スマートデバイスへの送信指定	—	238

再生フォルダー設定

MENUボタン → ● 再生メニュ-

画像はSDカード内のフォルダーに保存されます。

画像の再生(□191)時に表示するフォルダーを設定します。

D5500	D5500 で作成された全てのフォルダー内の画像を再生します。
全てのフォルダー	SDカード内の全てのフォルダーの画像を再生します。
記録中のフォルダー	画像の記録に実際に使われているフォルダーの画像を再 生します。 ・ 画像を記録するフォルダーは撮影メニューの[記録フォ ルダー設定](ロ246)で設定できます。

### 再生画面設定

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

1コマ表示時の画像情報に、画像のみ表示、ハ イライト表示、RGBヒストグラム表示、撮影 情報表示、統合表示を追加します。

- 追加したい項目を選び、マルチセレクターの
   を押してチェックボックスをオン団にします。もう一度
   を押すと、チェックボックスがオフロになります。
- 🞯 ボタンを押すと、設定を完了します。



### 撮影直後の画像確認

MENUボタン → ▶ 再生メニュ-

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。

### 縦横位置情報の記録

MENUボタン → ▶ 再生メニュー

撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。



#### ▶ 縦横位置情報記録についてのご注意

カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報 が正しく得られない場合があります。

#### 🖉 [縦位置自動回転] について

[縦位置自動回転](□243)では、[縦横位置情報の記録]を[する]に設定し て縦位置で撮影された画像を、液晶モニターに縦位置で表示するように変更で きます。

#### 242 ▶ 再生メニュー:再生で使える便利な機能

### 縦位置自動回転

MENUボタン → ▶ 再生メニュ-

[する]を選ぶと、縦位置で撮影した画像を自動的に回転して表示します。

▼ 縦位置自動回転についてのご注意

- [縦横位置情報の記録] (□ 242) を [しない] にして撮影した画像は、全て 横位置で表示されます。
- 撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

#### ▶ 再生メニュー:再生で使える便利な機能 243

# 🗅 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能

MENUボタンを押してタブの ● アイコンを選ぶと、撮影メニューが表示 されます。



### 撮影メニュー項目一覧

撮影メニューの項目は、次の通りです。

メニュー項目	初期設定	
撮影メニューのリセット	_	246
記録フォルダー設定	_	246
ファイル名設定	DSC	249
画質モード	NORMAL	91
画像サイズ	サイズL	93
RAW記録	14ビット記録	249
ISO感度設定		
ISO感度		
撮影モードP、S、A、M	100	
その他の撮影モード	オート	100、250
感度自動制御	しない	
ホワイトバランス	オート	136
蛍光灯	白色蛍光灯	137
ピクチャーコントロール	スタンダード	152
カスタムピクチャーコントロール	_	158
色空間	sRGB	252
アクティブD-ライティング	オート	131

メニュー項目	初期設定	
HDR(ハイダイナミックレンジ)	しない	133
レリーズモード		
撮影モードや、😽	高速連続撮影	72
その他の撮影モード	1コマ撮影	75
長秒時ノイズ低減	しない	253
高感度ノイズ低減	標準	253
ヴィネットコントロール	標準	254
自動ゆがみ補正	しない	254
インターバルタイマー撮影		
開始方法の設定	即時スタート	101
撮影間隔	1分	102
撮影回数	1	102
露出平滑化	しない	102
動画の設定		
画像サイズ/フレームレート	_ *	180
動画の画質	標準	180
録音設定	マイク感度 オート	181
風切り音低減	しない	181
動画のマニュアル設定	しない	182

※ 販売地域によって異なります。

#### 🖉 設定できない撮影メニュー項目について

撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。こ の場合、その項目はグレーで表示されて選べません。

### 撮影メニューのリセット

MENUボタン → 凸撮影メニュ-

撮影メニューをリセットして初期設定に戻します(0244)。

### 記録フォルダー設定

MENUボタン → 凸撮影メニュー

記録フォルダーの新規作成や既存フォルダーからの選択を行います。 [フォルダー番号指定]では、フォルダーを新規作成できます。[既存 フォルダーから選択]では、既存フォルダーの一覧から選べます。

#### ■ フォルダー番号指定

記録するフォルダー番号を指定します。フォルダーが存在しない場合は 新しく作成します。

### 1 [フォルダー番号指定] を選ぶ

[フォルダー番号指定]を選んでマルチセレクターの③を押すと、
 [フォルダー番号指定] 画面が表示されます。

### 2 フォルダー番号の桁を選ぶ

●または●を押して、フォルダー番号の変更したい桁を選びます。

### 3 フォルダー番号を変更する

●または●を押して、フォルダー番号の数値を変更します。

### 4 フォルダー番号を設定する

- ●ボタンを押すと、新規フォルダーを作成してメニュー画面に戻ります。
- 次に撮影する画像は、作成した新規フォルダーに保存します。
- 作成済みのフォルダー番号を指定すると、フォルダー番号の左に フォルダーマーク(二、二、二)が表示されます。
   ごまたは二が表示されたフォルダーを選んで®ボタンを押す と、指定したフォルダーを記録フォルダーに設定してメニューに 戻ります。
- キャンセルしたい場合は、MENUボタンを押すとメニューに戻ります。

#### 🜌 フォルダーマークについて

[フォルダー番号指定] 画面では、フォルダー番号の左に、画像の入っていない フォルダーのときは , フォルダー内のファイル数が999 個またはファイル番 号が9999に達しているフォルダーのときは , その他のフォルダーのときは のフォルダーマークが表示されます。 か表示されているフォルダーには、画 像は記録できません。

#### ■ 既存フォルダーから選択

既存のフォルダーから選びます。

- 1 [既存フォルダーから選択] を選ぶ
  - 田存フォルダーから選択]を選んで
     マルチセレクターの③を押すと、
     既
     存フォルダーから選択]画面が表示さ
     れます。



### 2 フォルダーを選ぶ

• 会または 会を押して、画像を記録するフォルダーを選びます。

### 3 画像を記録するフォルダーを設定する

- 66 ボタンを押すと、設定が有効になりメニュー画面に戻ります。
- •次に撮影する画像は、選んだフォルダーに保存します。

#### ▲ 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能 247

#### ☑ フォルダー番号およびファイル番号についてのご注意

フォルダー番号が999に達しているときに、ファイル番号が9999に達するか、 このフォルダー内のファイル数が999個に達した場合は、それ以上フォルダーを 作成できず、シャッターがきれなくなります。ただし、次の場合、SDカードに まだ空き容量があれば、さらに撮影を続けられます。

- フォルダー番号が999以下で、その内のファイル数が999に達していないフォ ルダーを記録フォルダーとして選んだ場合
- フォルダー番号が999以下のフォルダーを新規に作成し、それを記録フォル ダーとして選んだ場合

#### 🖉 大容量のSDカードを使用する場合

すでにたくさんのフォルダーや画像が記録されているSDカードを使用する場合、SDカードを挿入したときや、カメラの電源をONにしたときなどに行われるファイル検索に時間がかかるため、撮影や再生ができるまでに時間がかかることがあります。

### ファイル名設定

#### MENUボタン → 凸撮影メニュ-

このカメラで撮影した画像には、自動的にDSC\_nnnn.xxxというファイ ル名が付きます。[ファイル名設定]では、「DSC」の3文字を任意に変 更できます。ファイル名の設定方法は、「カスタムピクチャーコントロー ルを登録する」の手順6をご覧ください(ロ159)。

#### 🖉 ファイル名について

- 「DSC\_nnnn.xxx」のnnnnには撮影順に0001~9999までの数字が入ります。
   xxxにはファイルの種類によって、次の拡張子が入ります。
  - NEF: 画質モードがRAWの場合
  - JPG:画質モードがFINE/NORMAL/BASICの場合
  - MOV: 動画の場合
  - NDF:イメージダストオフデータの場合(CD289)
- 撮影メニューの〔色空間〕で〔Adobe RGB〕(□252)を選んだ場合は \_DSCnnnn.xxxという名称が付きます。
- 同時記録されたRAW画像とJPEG画像のファイル名は同じですが、拡張子がそれぞれNEF、JPGになります。

### RAW記録

#### MENUボタン → 凸撮影メニュ-

RAW画像の記録ビット数を設定します。

12-bit 12ビット記録	RAW画像を12ビットで記録します。
14-bit 14ビット記録	RAW画像を14ビットで記録します。[ <b>12ビット記録</b> ]の場合よりもさらに豊かな階調表現になります。画像のファイルサイズは [ <b>12ビット記録</b> ]よりも大きくなります。

## ISO感度設定

MENUボタン → ●撮影メニュー

ISO感度(□100)と感度自動制御を設定します。

	1S0感度設定	C
	ISO感度	100 🕨
1	感度自動制御	OFF
1		
?		

#### ■ 感度自動制御

撮影モードP、S、A、Mで使えます。感度自動制御機能は、設定したISO 感度で適正露出が得られない場合に、カメラが自動的にISO感度を変更 する機能です。

• 制御上限感度と低速限界設定を設定してください	) <u> </u>
+ 「バイノル日勤時にしし念皮を友美しより。	
カメラが白動的にISO感度を変更します	

• [する] にしたときは、ISO感度の制御条件を設定してください。

制御上限感度	ISO感度が高くなると、低いときに比べて撮影した画像に 多少ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生する場合があ ります。感度自動制御では、ISO感度が高くなりすぎない ように上限感度(200~25600)を設定できます。ISO感 度の下限は100になります。
低速限界設定	撮影モードPまたはAで感度自動制御が働き始めるシャッ タースピードを1/2000~30秒から設定できます。また、 [オート]に設定すると、レンズの焦点距離に応じてシャッ タースピードの低速限界をカメラが自動で設定します (CPUレンズ装着時のみ)。 • [オート] を選んでマルチセレクターの◆を押して、低 速限界の補正を高速側または低速側に調整できます。 • ISO感度を上欄の[制御上限感度] まで上げても露出不 足になる場合は、適正露出を得るために、低速限界設定 よりもさらにシャッタースピードが低速になります。

#### 250 🗅 撮影メニュー: 撮影で使える便利な機能

[感度自動制御] を [する] にすると、イン フォ画面にISO-A、ファインダー内に ISO AUTOが表示されます。

 ISO AUTOマークが点灯している場合は、 [ISO感度] で設定したISO感度で撮影されます。



ISO AUTOマークが点滅している場合は、
 設定したISO感度では適正露出が得られないため、カメラがISO感度を
 変更していることを示しています。

▶ 感度自動制御についてのご注意

- ISO感度が高くなると、撮影した画像に多少ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が 発生する場合があります。
- [制御上限感度] で設定したISO感度よりも[ISO感度](ロ100)で設定した ISO感度が高い場合、[ISO感度]で設定したISO感度を制御上限感度として撮 影します。
- 内蔵フラッシュ撮影時または別売スピードライト(□340)の装着時にフラッシュモードをスローシャッターに設定していても、背景の明るさがより適正になるように感度自動制御が機能してISO感度が自動的に上がり、シャッタースピードが低速にならないことがあります。
- 内蔵フラッシュまたは別売スピードライトを使って、i-TTL 以外の発光方式で フラッシュ撮影する場合(□268、342)、[感度自動制御]を[する]にして いても、常に[ISO感度]で設定したISO感度で撮影します。
- インフォ画面の制御上限感度と低速限界 設定表示について

[感度自動制御]が[する]の場合、インフォ画 面のISO感度イメージに制御上限感度が、シャッ タースピードイメージに低速限界設定が表示さ れます。



低速限界設定

制御上限感度

### 色空間

MENUボタン → 凸撮影メニュ-

記録する画像の色空間を指定します(色空間とは、モニターやプリン ターで表現できる色の範囲のことです)。[sRGB] 色空間は、再生やプ リントなど、一般的な用途で画像を楽しむのに適しています。[Adobe RGB] 色空間は [sRGB] 色空間に比べて色域が広いため、商業印刷な どの業務用途に適しています。

#### ▶ ●空間についてのご注意

- 動画を撮影するときは、色空間が [sRGB] に固定されます。
- Capture NX-DまたはViewNX 2をお使いになると、正しい色空間での処理が 自動的に行われます。他社製の画像閲覧用または画像編集用ソフトウェアを使 うと、正しく色が表示されないことがあります。

#### ✓ Adobe RGB色空間について

アプリケーション、モニター、プリンターなどの環境がカラーマネージメント 機能に対応している場合に、適切な色が再現できます。

### 長秒時ノイズ低減

MENUボタン → 凸撮影メニュ-

低速シャッタースピードになったときに発生するノイズ(むら、輝点) を低減します。

する	シャッタースピードが1秒より低速になった場合に、 時ノイズの低減処理を行います。	長秒
しない	長秒時ノイズの低減処理を行いません。	

長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われ ます。処理中は、ファインダー内に **Job nr**が表示されます。この表示が消え るまで、撮影はできません。



長秒時ノイズの低減処理を行う場合、画像を記録するまでの時間は、長 秒時ノイズ低減を行わない場合の約2倍になります。

▼ 長秒時ノイズ低減についてのご注意

処理中に電源をOFFにすると、長秒時ノイズ低減処理は行われません。

### 高感度ノイズ低減

MENUボタン → 凸撮影メニュー

感度が高くなるほど発生しやすいノイズ(ざらつき)を低減します。

強め	全てのISO感度で高感度ノイズの低減処理を行います。		
標準	ISO感度が高くなるほど効果的です。		
弱め	<ul> <li>ノイズ低減の効果は、強い順に【強め】、【標準】、【弱め】になります。</li> </ul>		
しない	ノイズが発生しやすい条件で撮影する場合のみ、ノイズ低 減処理を行います。ノイズ低減の効果は <b>[弱め</b> ]よりもさ らに弱くなります。		

#### ▲ 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能 253

### ヴィネットコントロール

#### MENUボタン → 凸撮影メニュ-

ヴィネットコントロールは、レンズの特性による周辺光量の低下をレンズに応じて軽減します。特に開放絞り側で撮影した場合に効果的です。 Gタイプ、Eタイプ、またはDタイプレンズを装着しているときのみ機能します(PCレンズを除く)。

強め		
標準	効果が強い順に、[ <b>強め</b> ]、[ <b>標準</b> ]、[ <b>弱め</b> ]になります。	
弱め		
しない	周辺光量の低下を補正しません。	

#### 🚺 ヴィネットコントロールについてのご注意

- •次のときはヴィネットコントロールの効果が適用されません。
  - FXフォーマット対応レンズ装着時
  - 動画撮影時
- JPEG画像の場合、使用するレンズ、撮影条件や撮影シーンの組み合わせによっては、周辺光量が過剰に補正されて画像周辺部が明るくなることや補正が不足して暗くなること、画像にノイズ(むら)が発生することがあります。また、調整したピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロールを設定している場合も、適切な補正ができない場合があります。試し撮りをして、撮影状況に適した設定を選択することをおすすめします。

### 自動ゆがみ補正

#### MENUボタン → ●撮影メニュー

広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型の ゆがみを補正して撮影したいときは、[**する**]を選びます。

- •ゆがみを大きく補正するほど、画像周辺部は切り取られます。
- 自動ゆがみ補正を行う場合、シャッターをきってから、記録が始まる まで時間がかかることがあります。
- 動画撮影時は、自動ゆがみ補正の効果は適用されません。

#### **254 🗅** 撮影メニュー: 撮影で使える便利な機能

#### ▶ 自動ゆがみ補正の制限について

[自動ゆがみ補正]はGタイプ・Eタイプ・Dタイプレンズを装着した場合のみ機能します。ただし、PCレンズ、フィッシュアイレンズ、その他一部のレンズを装着した場合は機能しません。また、対応レンズ以外を装着した場合については、動作を保証しません。







カメラの各種設定を撮影者の好みに合わせて変更できます。カスタムメ ニュー画面は2つの階層で構成されています。



設定できないカスタムメニュー項目について 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。

256 🌈 カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定

# <u>カスタムメニュー項目一覧</u>

カスタムメニューの項目は、次の通りです。

	カスタムメニュー項目	初期設定	m
	カスタムメニューのリセット		258
а	オートフォーカス		
	a1:AF-Cモード時の優先	フォーカス	258
	a2:AF点数切り換え	39点	258
	a3:内蔵AF補助光の照射設定	する	259
	a4:フォーカスエイドインジケーター	しない	260
b	b 露出		
	b1:露出設定ステップ幅	1/3段	261
	b2:ISO感度表示	しない	261
с	: AEロック・タイマー		
	c1:半押しAEロック	しない	261
	c2:パワーオフ時間	標準	262
	c3:セルフタイマー	時間:10秒、撮影コマ数:1コマ	262
	c4:リモコン待機時間(ML-L3)	1分	263
d	d 撮影・記録・表示		
	d1:露出ディレーモード	しない	263
	d2:連番モード	しない	264
	d3:ファインダー内格子線表示	しない	265
	d4:日付写し込み設定	しない	265
	d5:インジケーターの+/-方向	━₄!ใ!⊾+	267
е	フラッシュ・BKT撮影		
	e1:内蔵フラッシュ発光/外付けフラッ	TTI ∓— K	268
	シュ発光		200
	e2:オートブラケティングのセット	AEブラケティング	273
f	操作		
	f1:Fnボタンの機能	ISO感度設定	274
	f2:AE/AFロックボタンの機能	AE-L/AF-L	276
	f3:タッチFnの機能	ファインダー内格子線表示	277
		露出補正の設定時:□、	
	14:コマンドダイヤル回転方向の変更	シャッタースピード/	279
		絞り値の設定時:□	

● カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定 257

### カスタムメニューのリセット

カスタムメニューをリヤットして初期設定に戻します。

# a:オートフォーカス

### a1:AF-Cモード時の優先

ファインダー撮影時のフォーカスモードが [AF-C] のとき (CI79) に シャッターボタンを全押しした場合の動作を設定できます。

۲	レリーズ	ピント状態に関係なくシャッターをきることができます。
[::::]	フォーカス	シャッターボタンを全押ししても、ピントが合うまで シャッターをきることができません。

### a2:AF点数切り換え

手動で選べるフォーカスポイントの数を設定できます。

AF39 39点	39点全てのフォーカスポ イントを選べます。	
AF11 11点	11点のフォーカスポイン トから選べます。フォーカ スポイントの位置をすば やく動かしたいときに便 利です。	

#### 

a3:内蔵AF補助光の照射設定

暗い場所でもAF補助光を自動的に照射させないように設定できます。

	ファインダー撮影時にオー	AF補助光ランプ
	トフォーカスでピントを合	
	わせる場合、被写体が暗い	
+7	ときに自動的にAF補助光を	
9 ବ	照射します(撮影モードや	
	設定によっては、AF補助光	
	を照射しないことがありま	
	す (皿371))。	
	AF補助光を照射しません。被	写体が暗いときなどは、オー
しない	トフォーカスでのピント合わ	せができなくなる場合があ
	ります。	

● カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定 259



M以外の撮影モードでマニュアルフォーカスで撮影するときに、ピントのズレ具合をファインダーで確認できます。

[する] に設定してフォーカスモードを [MF] (マニュアルフォーカス) (ロ79、88) にすると、ファインダー内の露出インジケーターが、次の ようなフォーカスエイドインジケーターに切り替わります。



#### 🖉 フォーカスエイドインジケーターについて

- 開放F値がF5.6以上明るいレンズで使えます。
- ライブビュー時には使えません。
- オートフォーカスの苦手な被写体(四81)では、適切に作動しないことがあります。

## b:露出

### b1:露出設定ステップ幅

シャッタースピード、絞り値、オートブラケティング補正量、露出補正 量、および調光補正量のステップ幅を設定できます。

### b2:ISO感度表示

ファインダー内の記録可能コマ数表示部に、ISO感度を表示するかどう かを設定できます。

# c:AEロック・タイマー

### c1:半押しAEロック

シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行うかどうかを設定できます。

### c2:パワーオフ時間

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

液晶モニターの表示時間、ライブビューの表示時間、および半押しタイマーがオフになるまでの時間を変更できます。インフォ画面の表示時間 を変更したい場合は、[**半押しタイマー**]の設定を変えてください。

SHORT 短め	• [再生/メニュー表示]: SHORT 20秒、NORM 5分、LONG 10分	
NORM 標準	<ul> <li>「撮影直後の画像確認]:SHORT 4秒、NORM 4秒、LONG 20秒</li> <li>[ライブビュー表示]:SHORT 5分、NORM 10分、LONG 20分</li> <li>[半押しタイマー]:SHORT 4秒、NORM 8秒、LONG 1分</li> </ul>	
LONG 長め		
	[再生/メニュー表示]、[撮影直後の画像確認]、[ライブビュー	
🕑 🖉 カスタマイズ	表示]、[半押しタイマー]の各時間をそれぞれ設定できます。	
	各項目の設定後、 🞯 ボタンを押すと設定が有効になります。	

#### 🖉 パワーオフ時間について

- •パワーオフ時間が長いほど、バッテリーの消耗が早くなります。
- パソコンやPictBridge対応のプリンターを接続しているときは、[パワーオフ時間]の設定にかかわらず、ファインダー内表示や液晶モニターは消灯しません。

### c3:セルフタイマー

セルフタイマー撮影時(ロ77)にシャッターボタンを全押ししてから シャッターがきれるまでの時間と、撮影するコマ数を変更できます。

時間	シャッターがきれるまでの時間を選べます。
	マルチセレクターの🙁または💬を押して、1コマ~9コマの間で
撮影コマ数	設定できます。撮影コマ数を1コマ以外に設定した場合、約4秒間
	隔で連続撮影します。

#### 262 🌈 カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定
### c4: リモコン待機時間 (ML-L3)

ファインダー撮影時に、リモコンモード(四106)に設定してから、 カメラが別売のリモコンML-L3からの信号を待ち受ける時間を設定し ます。

- リモコンモードにしてから、リモコン撮影をしないままで受信待機時間が過ぎると、リモコンモードが解除されます。
- リモコン待機時間を長くすると、カメラのバッテリーの消耗が早くなります。

### d:撮影・記録・表示

#### d1:露出ディレーモード

MENUボタン → ↓ カスタムメニュー

露出ディレーモードにするかどうかを設定できます。

	シャッターボタンを押すと最初にミラーが作動し、約1秒後に
する	シャッターがきれます。顕微鏡撮影時などのカメラブレを最小限
	に抑えることができます。
しない	シャッターボタンを押すと同時にシャッターがきれます。

d2:連番モード

#### 

ファイル名に使われるファイル番号の連番について設定できます。

する	SDカードを交換したり、画像を記録するフォルダーを変更して も、連番でファイル番号を付けます。複数のSDカードを使って撮 影してもファイル番号が重複しないため、撮影後の画像ファイル を管理しやすくなります。
しない	SDカードや画像を記録するフォルダーを変更するたびに、ファイ ル番号が「0001」に戻ります。画像を記録するフォルダー内にす でに画像ファイルがある場合は、次の番号からファイル番号が付 きます。 ・連番モードを [する] から [しない] に変更しても、カメラは ファイル番号を記憶しています。次に [する] に切り換えたと きは、以前記憶した番号からの連番でファイル番号が付きます。
リセット	連番モードを [する] に設定したときのファイル番号をリセット します。リセットした後に撮影を行うと、現在選択中のフォルダー に画像ファイルがない場合は0001から連番で画像が記録されま す。すでにファイルがある場合には、そのファイル番号の次の番 号からファイル番号が付きます。

#### 🖉 フォルダーの自動作成について

- 撮影中に記録フォルダー内に999個のファイルが記録された場合、SDカード内に存在する最大フォルダー番号+1という番号のフォルダーを自動的に作成して、記録フォルダーとしてそのフォルダーを選びます。
- 撮影中にファイル番号が9999となった場合、SDカード内に存在する最大フォ ルダー番号+1の番号のフォルダーを自動的に作成して、記録フォルダーとし てそのフォルダーを選びます。

#### 🖉 ファイル番号について

- ファイル番号が9999に達したときに撮影を行うと、自動的に新規フォルダー が作成され、ファイル番号が0001番に戻ります。
- フォルダー番号が 999 に達しているときにファイル番号が 9999 に達するか、 ファイル数が 999 個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッ ターがきれなくなります。この場合は「連番モード」を「リセット」した後、 SDカードを初期化するか交換してください。

#### 264 🦼 カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定

### d3:ファインダー内格子線表示

ファインダー内に構図用格子線(ロ5)を表示するかしないかを設定で きます。

### d4:日付写し込み設定

#### 

撮影する画像に直接日時を写し込みます。 写し込まれた日時を画像から 消したり、撮影した後で日時を写し込んだりすることはできません。

	しない	日付、時刻のどちらも写し込みません。	
DATE	年・月・日	撮影した画像の右下に、 日付を写し込みます。	2014.10.15
DATE©	年・月・日・時刻	撮影した画像の右下に、 日付と時刻を写し込み ます。	2014.10.15 10:02
:23	<b>誕生日カウンター</b> (印266)	撮影した画像の右下に、 登録した日までの日数を	最影した日付と(誕生日など) 写し込みます。

日付写し込み設定をすると、インフォ画面に 図1000 が表示されます。



#### ▶ 日付写し込みについてのご注意

- •年月日の並びは、[地域と日時](□285)での設定と同じになります。
- RAWを含む画質モード(ロ91)の場合、日時を写し込みできません。
- ●日時を写し込んだ画像を編集する場合(□297)、画像編集機能の種類によっては、写し込んだ日時が切れたり、きれいに表示されないことがあります。

### ■ 誕生日カウンターの使い方

誕生日や結婚式など記念日までの日数をカウ ントダウン形式で入れたり、お子様が産まれ た日からの経過日数を入れたりするときなど に使います。日付は3種類まで登録できます。

### 1 最初の日付を登録する

- [**誕生日カウンター**]を選んでマルチセ レクターの④を押します。
- マルチセレクターで日付を設定してから
   デタンを押すと、日付が登録されます。

### 2日付を追加する

- 最初の日付を登録すると、[日付の登録] 画面が表示されます。
- ●日付を登録したい番号を選んで
   ●を押すと、

   [誕生日設定]画面が表示され、
   続けて日付を登録できます。
- ●[日付の登録]画面で番号を選んで∞ボ タンを押すと、選んだ番号の日付を撮 影に使います。

### 3日付の表示順を選ぶ

- [表示の選択] を選んで ③を押します。
- ●日数の表示形式を選び、 ●ボタンを押します。









### 4 ®ボタンを押して設定を完了する

誕生日カウンターを使って撮影した画像には、次のように日付が写し込まれます。



記念日まであと2日の場合



記念日から2日後の場合



ファインダー内表示、インフォ画面での露出、露出補正、オートブラケ ティングの+と-方向を入れ換えることができます。

+0-	+	インジケーターの+側を左に、	-側を右に表示します。
-0+	–+	インジケーターの-側を左に、	+側を右に表示します。

### e:フラッシュ・BKT撮影

### e1:内蔵フラッシュ発光/外付けフラッシュ発光

撮影モード**P、S、A、M**で使えます。内蔵フラッシュの発光方式を設定で きます。また、別売のスピードライトSB-500、SB-400またはSB-300を 装着してスピードライトの電源をONにすると、メニュー名が [**外付け** フラッシュ発光] に変わり、装着中のスピードライトの発光方式を設定 できます。

TTL\$	TTLモード	フラッシュの光量は、撮影状況に応じて自動的に調節され ます。
M\$	マニュアル 発光モード	選んだ発光量でフラッシュが発光します。 • [Full](フル発光)に設定した場合、内蔵フラッシュのガ イドナンバーは約12(ISO 100・m、20℃)となります。
CMD\$	コマンダー モード	別売のスピードライトSB-500をカメラのアクセサリーシューに装着した場合に設定できます。カメラから離れた他のスピードライトで構成される補助灯(リモート)グループをワイヤレス制御するためのコマンダーとしてSB-500を利用します(ロ269)。

フラッシュ調光補正マークの表示について 「マニュアル発光モード」にすると、フラッシュ使

用時にインフォ画面にMPマークが、ファインダー内にM2マークが点滅します。



#### 🖉 TTLモードについて

CPUレンズをお使いの場合、内蔵フラッシュの発光量は、次の2種類の制御方式 のどちらかで決定されます。通常はi-TTL-BL調光ですが、測光モード(□123) を [□] (スポット測光) にした場合は、スタンダードi-TTL調光になります。

i-TTL-BL調光	2016分割RGBセンサーによる測光情報を元に、メインの 被写体と背景のバランスを考慮して発光量を決定します。
スタンダード	背景の明るさを考慮せず、メインの被写体を基準にして発
i-TTL調光	光量を決定します。

#### ■ コマンダーモード

カメラのアクセサリーシューに装着した別売のスピードライトSB-500 を主灯(マスターフラッシュ)として、カメラから離れた他のスピード ライトで構成される補助灯(リモート)グループをワイヤレス(アドバ ンストワイヤレスライティング、ロ342)で制御するためのモードです。 主灯のSB-500や2つの補助灯グループのスピードライトに、それぞれ発 光モードと調光補正量(または発光量)を設定できます。

[コマンダーモード]を選ぶと、右のような画 面が表示されます。

■ e1外付けフラッシ:	ュ発光	Ð
ニ コマンダーモード		
	発光モ-	ド 補正量
外付フラッシュ	TTL	0
A グループ	TTL	0
B グループ		0
■ チャンネル	1	
		<b>OK</b> 決定

マルチセレクターの③または④で項目を切り換え、④または④で発光 モードや補正量(または発光量)を設定してください。

	発光 モード	内容
	ΤΤL	主灯(マスターフラッシュ)は、i-TTL調光を行います。右 側の[補正量]欄で、主灯の調光補正量を設定(1/3段ス テップで±3段)します。
フラッシュ	М	主灯はマニュアル調光を行います。右側の[補正量]欄で、 主灯の発光量を選びます。
		主灯は発光せず、補助灯だけが発光します(ただし、主灯 はモニター発光 (少光量発光) します)。
Aグループ	ΠL	Aグループの全ての補助灯が、i-TTL調光を行います。右側 の[補正量]欄で、Aグループの補助灯の調光補正量を設定 (1/3段ステップで±3段)します。
	AA*	Aグループの全ての補助灯が、絞り連動外部自動調光を行い ます。右側の[補正量]欄で、Aグループの補助灯の調光補 正量を設定(1/3段ステップで±3段)します。
	М	A グループの全ての補助灯が、マニュアル調光を行います。 右側の[補正量]欄で、Aグループの補助灯の発光量を選び ます。
		Aグループの補助灯は発光しません。
Bグループ	Bグルー	プの補助灯について、Aグループと同様の設定を行います。
チャンネル	補助灯と ます。 全 わせる必	:通信を行うためのチャンネルを、1~4のいずれかに設定し ての補助灯のチャンネルを、ここで設定したチャンネルに合 &要があります。

※ 絞り連動外部自動調光対応スピードライトの場合のみ発光します (□342)。

コマンダーモードでの撮影手順は、次の通りです。

- 1 右の画面で、[外付フラッシュ]の [発光モード]と[補正量]を設定 する
  - 発光モードを[--](非発光)にした場合は、[補正量]が設定できません。
- **2** 同様に [Aグループ] の [発光モー ド] と [補正量] を設定する





5

発光モード 補正量 TTL +0.7

TTL +0.7

N 1/4

1

el外付けフラッシュ発光

コマンダーモード

グループ グループ

ャンネル

- 3 Bグループの補助灯を使用する場合 は、同様に [Bグループ]の [発光 モード] と [補正量]を設定する
- 4 [チャンネル] を設定する



5 ④ボタンを押して設定を有効にする

### 6 構図を決め、SB-500を装着したカメラと補助灯を配置する

•補助灯は下図の範囲内に配置してください。



• 周辺環境により、上図内の距離は多少変化します。

# 7 使用する全ての補助灯の電源をONにし、グループとチャンネルを設定する

- 補助灯の設定方法については、スピードライトの使用説明書をご 覧ください。
- 補助灯のチャンネルは、必ずカメラで設定したものと同じチャンネル(1~4)に設定してください。
- SB-500を補助灯として使用する場合は、チャンネルを [3] に設定してください。

# 8 カメラのファインダー内表示と全ての補助灯でレディーライトが点灯していることを確認し、ピントを合わせて撮影する

主灯(マスターフラッシュ)を発光させない場合の表示について 手順1で「外付フラッシュ」の「発光モード」を[--]にすると、インフォ画面 のフラッシュモード表示からもが消灯します。

#### 272 / カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定

#### 🖉 コマンダーモード時の調光補正と表示について

- コマンダーモード時に、 (図2)ボタンと図(磁)ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して調光補正を行うと、「外付フラッシュ」、「Aグループ」、「Bグループ」のそれぞれの「補正量」に加算されます。
- 「外付フラッシュ」、「Aグループ」、「Bグループ」のいずれかを「TTL」または [AA] にして補正量を0以外に設定すると、ファインダー内表示に322が点灯 します。
- [外付フラッシュ]を [M] に設定すると、ファインダー内表示に120 が点滅します。

#### ☑ コマンダーモードについてのご注意

- 補助灯は、主灯の光がセンサー窓に入る位置(通常はカメラより被写体に近い 位置)に置きます。特に、手持ちで撮影するときは、主灯の光が確実にセン サー窓に入るように、補助灯はカメラより前に構えてください。
- 補助灯の直接光または強い反射光が、カメラの撮影レンズ([TTL] 設定時) や他の補助灯の外部自動調光用受光窓([AA] 設定時)に入らないようにして ください。光が入ると、適正露出が得られません。
- 同時に使用できる補助灯の台数に制限はありません。しかし、センサーに他の 補助灯の強い光が入ると、正常動作できない場合があるため、実用上は3台程 度が限度です。
- ・[外付フラッシュ]の[発光モード]を[--]にした場合でも、補助灯の発光 タイミングを合わせるため、モニター発光とは別に、撮影中に主灯が少光量発 光を行います。近距離撮影を行う場合、この少光量発光が画像に写り込む場合 があります。画像への影響を防ぐには、低いISO感度、または小さい絞り(大 きい絞り値)で撮影するか、影響がなくなるまで主灯のフラッシュヘッドを上 に向けて調節してください。
- 撮影準備と配置が終わったら、必ずテスト撮影を行って、画像を確認してください。

#### e2:オートブラケティングのセット

オートブラケティングの種類を、[AEブラケティング]、[WBブラケティ ング]、[ADL ブラケティング] から選べます。[オートブラケティング のセット] で設定できる項目については、「明るさ、ホワイトバランス、 アクティブD-ライティングを変えながら撮影する(オートブラケティン グ撮影)」をご覧ください(ロ147)。

● カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定 273

### f:操作

### f1:Fnボタンの機能

Fnボタンを押したときの機能を設定できます。



QUAL	画質モード/ 画像サイズ設定	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、画質 モード(凹91)と画像サイズ(凹93)の組み合わせが 切り替わります。
ISO	ISO感度設定	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ISO 感度(□100)が切り替わります。
WB	ホワイト バランス設定	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ホワ イトバランス(四136)が切り替わります(撮影モード P、S、A、Mのみ)。
ej.	アクティブ D-ライティング 設定	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、アクティブD-ライティング(凹131)の効果の度合いが切り替わります(撮影モードP、S、A、Mのみ)。
HDR	HDR設定	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、HDR (ハイダイナミックレンジ)(□133)の効果の度合いが 切り替わります(撮影モードP、S、A、Mのみ)。
+[ <u>RAW]</u>	プラスRAW 記録	画質モードがJPEG (FINE)、JPEG (NORMAL)、JPEG (BASIC) の場合、Fnボタンを押してから、1回の撮影の みRAW画像を同時記録します。シャッターをきるか、も う一度Fnボタンを押すと、[プラスRAW記録] を解除し ます。撮影モードが図、VI、POP、22、Q、43、 ✓のと さは、Fnボタンを押しても [プラスRAW記録] は設定 できません。

274 / カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定

		Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、カス	
		タムメニューe2 [オートブラケティングのセット]	
		(印273)で現在選択されているオートブラケティング	
рит	オート	の設定が切り替わります。[ <b>オートブラケティングの</b>	
DNI	ブラケティング	セット] が [AEブラケティング] または [WBブラケ	
		ティング]の場合は補正ステップの設定が切り替わりま	
		す。[ADLブラケティング]の場合はON/OFFが切り替	
		わります(撮影モードP、S、A、Mのみ)。	
E)	AFエリア	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、AFエ	
[*]	モード設定	リアモード(□183、168)が切り替わります。	
		Fn ボタンを1回押すと、	
		ファインダーに格子線を	
	ファインダー内	表示します。もう一度Fnボ	
Ħ	格子線表示	タンを押すと、格子線表示	
	14 3 49/2013	を終了します。	
		/25 r55 ( 18 <sup>14</sup>	
«т»	Wi-Fi	Fnボタンを押すと、セットアップメニューの [Wi-Fi] 画	
		面(□232)を表示します。	

### f2:AE/AFロックボタンの機能

【【(**○**¬) ボタンを押したときの機能を設定で きます。



(Cm) ボタン

ŝ	AE-L/AF-L	【社(On)ボタンを押すと、AEロック(□125)とフォー カスロック(□186)が同時に行われます。
Å	AE-L	<b>鼪</b> ( <b>〇</b> , ボタンを押すと、AEロックだけが行われます。
ā:	AE-L (ホールド)	【社(Om)ボタンを押すと、カメラの半押しタイマーがオ フになるか、もう一度】 (Om)ボタンを押すまで、AE ロックが維持されます。シャッターをきってもAEロックは 解除されません。
<b>A</b> ∃	AF-L	【出(○n)ボタンを押すと、フォーカスロックだけが行われます。
AFON	AF-ON	(A) (On)ボタンを押すと、オートフォーカスが作動します。この場合、シャッターボタンの半押しではオートフォーカスは作動しません。

### f3:タッチFnの機能

MENUボタン → ↓カスタムメニュー

ファインダーをのぞくなどしてアイセンサーが反応し、液晶モニターが 消灯しているときに、モニター画面をタッチまたは左右にスライドして カメラの設定が変更できます。

 タッチFnの有効領域は、液晶モニターの状態によって図のように異なります。液晶モニターを反転させてカメラの前方に向けている場合、 タッチFnは機能しません。



☑ タッチFnの機能についてのご注意

- 「タッチFnの機能」を有効にするには、次の設定が必要です。
   セットアップメニュー [タッチ操作]を「有効」にする(ロ286)
- セットアップメニュー[インフォ画面の自動消灯]を[する]にする(□288)
   ファインダー撮影で顔の一部などが液晶モニターに触れていると、正しく動作しないことがあります。その場合は図のように液晶モニターを展開して操作してください。

● カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定 277

設定できる機能は次の通りです。

[1]	フォーカス ポイント移動	[AFエリアモード] が [ <b>1</b> ] (オートエリアAF) 以外の
		場合、タッチFn有効領域をスライドすると、フォーカス
		ポイントを移動できます(印85)。
021	ISO咸度設定	タッチFn有効領域をスライドすると、ISO感度(□100)
130	130 Stig Back	が切り替わります。
	アクティブ	タッチFn有効領域をスライドすると、アクティブD-ライ
8 <u>6</u>	D-ライティング	ティング (叩131) の効果の度合いが切り替わります (撮
	設定	影モードP、S、A、Mのみ)。
		タッチFn有効領域をスライドすると、HDR (ハイダイナ
HDR	HDR設定	ミックレンジ)(口133)の効果の度合いが切り替わりま
		す(撮影モードP、S、A、Mのみ)。
		タッチFn有効領域をスライドすると、カスタムメニュー
		e2 [オートブラケティングのセット] (□273) で現在
		選択されているオートブラケティングの設定が切り替わ
пит	オートブラケ ティング	ります。[ <b>オートブラケティングのセット</b> ] が [AEブラ
BUI		<b>ケティング</b> ]または <b>[WBブラケティング</b> ]の場合は補
		正ステップの設定が切り替わります。[ADLブラケティ
		<b>ング</b> ]の場合はON/OFFが切り替わります(撮影モード
		P、S、A、Mのみ)。
r.1	AFエリアモード	タッチFn有効領域をスライドすると、AFエリアモード
[*]	設定	(□□83)が切り替わります。
		タッチFn有効領域をタッ
		チすると、ファインダーに
m	ファインダー内	格子線を表示します。もう
	格子線表示	一度タッチすると、格子線
		表示を終了します。
		125 r5.8   181'
<b>G</b>	絞り設定	タッチFn有効領域をスライドすると絞り (□116、118)
\$		を変更できます(撮影モードA、Mのみ)。
	設定しない	タッチFnは機能しません。

278 / カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定

### f4:コマンドダイヤル回転方向の変更

露出補正や調光補正の設定時([露出補正の設定時])、シャッタースピー ドや絞り値の設定時([シャッタースピード/絞り値の設定時])にコマ ンドダイヤルを操作するときの回転方向を逆方向に変更できます。

 「露出補正の設定時」または「シャッタース ビード/絞り値の設定時」を選び、マルチセレクターの③を押してチェックボックスを オン☑にします。もう一度④を押すと、 チェックボックスがオフ□になります。



• 🞯 ボタンを押すと、設定を完了します。

## **↑** セットアップメニュー: カメラを使いやすくする基本設定

MENUボタンを押してタブの♥アイコンを選ぶと、セットアップメニューが 表示されます。



### セットアップメニュー項目一覧

セットアップメニューの項目は次の通りです。

項目	初期設定	m		
カードの初期化(フォーマット)	_	282		
画像コメント	_	283		
著作権情報	_	284		
地域と日時※1				
夏時間の設定	しない	285		
言語 (Language) *1 -				
電子音				
電子音設定	有効	286		
音の高さ	低音	286		
<b>タッチ操作</b> 有効		286		
<b>モニターの明るさ</b> 0		286		
インフォ画面デザイン				
AUTO/SCENE/EFFECTSモード	グラフィックデザイン	707		
P/S/A/Mモード	グラフィックデザイン	207		
インフォ画面の自動表示	する	288		
インフォ画面の自動消灯	する	288		

280 4 セットアップメニュー:カメラを使いやすくする基本設定

_					
項目	初期設定				
イメージセンサークリーニング					
<b>電源スイッチに連動</b> 電源ONとOFFで実行					
クリーニングミラーアップ <sup>※2</sup>	-	358			
イメージダストオフデータ取得	-	289			
フリッカー低減	オート	291			
カードなし時レリーズ	レリーズ禁止	291			
ビデオ出力*1	-	292			
HDMI					
出力解像度	オート	220			
機器制御	する	220			
アクセサリーターミナル					
リモート操作					
リモート撮影	静止画撮影	292			
Fnボタンの機能	カメラの翻ボタンと同じ	293			
位置情報					
半押しタイマー	有効	293			
衛星による日時合わせ	する	294			
Wi-Fi	·				
通信機能	無効	232			
接続設定	-	232			
Eye-Fi送信機能**3         有効         294					

認証マークの表示 – 296 ファームウェアバージョン – 296

※1 販売地域によって異なります。

※2 バッテリー残量表示が
□以下のときは選べません。

※3 この機能に対応したEye-Fiカードを挿入したときのみ表示されます。

#### 🖉 設定できないセットアップメニュー項目について

カメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、そ の項目はグレーで表示されて選べません。

#### ♥セットアップメニュー:カメラを使いやすくする基本設定 281



MENUボタン → ¥セットアップメニュ-

このカメラに他の機器で使ったSDカードを初めて入れたときは、必ず このカメラで初期化してからお使いください。SDカードを初期化する と、カード内のデータは全て削除されます。必要なデータがある場合 は、初期化する前にパソコンなどに保存してください(ロ216)。

- **1** [カードの初期化(フォーマット)] 画面で[はい]を選ぶ
  - 初期化をキャンセルするには、[いい え]を選びます。

### 2 ⊗ボタンを押す

初期化が完了してセットアップメニュー画面に戻るまで、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。



	セットアップメニュー	
5	カードの初期化(フォーマット)	
	画像コメント	
100	著作権 カードの初期化	
8.6	地域と (フォーマット)中	
뼺	言語(La です。	
1	電子音	
	タッチ操作	

画像コメント

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

あらかじめコメントを登録しておき、撮影する画像に添付できます。添 付されたコメントは、Capture NX-DまたはViewNX 2のメタデータで 確認できます。

### ■ コメント入力

36文字までのコメントを登録できます。[コメント入力]を選んでマル チセレクターの③を押すと、名前の入力画面が表示されます。入力画面 での文字の入力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを 登録する」の手順6をご覧ください(□159)。

#### ■ コメント添付

登録したコメントを画像に添付したいときは、[コメント添付]を選び、③を押してチェックボックスをオン☑にします。∞ボタンを押すと、その後撮影した画像には全てコメントが添付されます。



#### 🖉 画像情報に表示される画像コメントについて

添付された画像コメントは、「撮影情報」の「画像コメント」に表示されます (ロ200)。

著作権情報

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

撮影した画像に著作権情報を添付することができます。添付された著 作権情報は、Capture NX-DまたはViewNX 2のメタデータで確認でき ます。

#### ■ 撮影者名入力、著作権者名入力

36文字までの撮影者名と、54文字までの著作権者名を登録できます。 [撮影者名入力] または [著作権者名入力] を選んでマルチセレクター の③を押すと、名前の入力画面が表示されます。入力画面での文字の入 力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の 手順6をご覧ください(印159)。

#### ■ 著作権情報添付

登録した著作権情報を画像に添付したいときは、[著作権情報添付] 選び、 ③を押して チェックボックスをオン ☑ にします。 ◎ ボ タンを押すと、その後撮影した画像には全て 著作権情報が添付されます。



#### 🚺 著作権情報に関するご注意

- カメラを貸したり譲渡したりする場合は、撮影者名や著作権者名の違法な使用 を防ぐため、[著作権情報添付]の設定を必ず解除してください。また、撮影 者名と著作権者名は空欄にしてください。
- [著作権情報] の使用によって生じたトラブルや損害など、当社は一切責任を 負いません。

#### 🖉 画像情報に表示される著作権情報について

入力・添付された著作権情報は、「撮影情報」に表示されます(ロ201)。

地域と日時

MENUボタン → ↑セットアップメニュー

現在地と日時、	年月日の表示順を設定します。	地域と目時     地域と目時     日前の設定     日前の設定     日付の表示順     ソルの     昼時間の設定     OFF     てはvo. Secuil     UTC+9 2014/10/15 10:00:00     ず
現在地の設定	現在地のタイムゾーンを選びま す。現在地のタイムゾーンを変更 すると、[日時の設定]で設定され た日時が、時差に合わせて自動的 に更新されます。	#在地の設定 でわか。5ceul UTC+9 2014/10/15 10:00:00 図決定
日時の設定	[ <b>現在地の設定</b> ] で選ばれているタ イムゾーンの時刻を設定します。	□ 地域と日時 ○ 日時の設定 年月日時分秒 7 1 2012 10 15 10:00:00 1 1 2012 10 15 10:00:00 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
日付の表示順	液晶モニターに表示される日付の 年、月、日の表示順を、 <b>[年/月/</b> 日]、[ <b>月/日/年</b> ]、[ <b>日/月/年</b> ] か ら選びます。	■ 地域と日時 う 日付の表示順 がいひ年/月/日 町 WINT 月/日/年 ■ WINT 月/日/年 ■ WINT 日/月/年
夏時間の設定	現在地で夏時間(サマータイム制) が実施されている場合は【する】 に、そうでない場合は【しない】 に設定します。【する】にすると、 時刻が1時間進みます。	地域と日時 5   数字のの定   する   する   しない

♥セットアップメニュー:カメラを使いやすくする基本設定 285



MENUボタン → ¥セットアップメニュー

メニュー画面やメッセージの表示言語を選びます。

雷子音

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

#### ■ 電子音設定

電子音を鳴るようにしたり、鳴らないように したりできます。また、[**タッチ音無効**]を選 ぶと、タッチパネル操作時の電子音のみ鳴ら ないようにできます。



### ■ 音の高さ

セルフタイマー撮影時、リモコン撮影時、オートフォーカスでピントが 合ったときの電子音を[高音]または[低音]に設定できます。

タッチ操作

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

[無効]を選ぶと、タッチパネル(□16)を誤って操作しないように、 タッチ操作を無効にできます。また、[再生時のみ有効]を選ぶと、再 生画面でのみタッチ操作ができます。

### モニターの明るさ

MENUボタン → Yセットアップメニュー

液晶モニターの明るさを、マルチセレクターの◆または◆を押して調整できます。+にすると明るく、-にすると暗くなります。

286 4 セットアップメニュー:カメラを使いやすくする基本設定



インフォ画面(四8)のデザインを、次のような「クラシックデザイン」、 「グラフィックデザイン」の2種類から選べます。インフォ画面デザイン は、[AUTO/SCENE/EFFECTSモード] と [P/S/A/Mモード] でそれぞ れ設定できます。



クラシックデザイン



グラフィックデザイン

### ■ インフォ画面デザインの設定方法

1 撮影モードを選ぶ
 ・インフォ画面デザインを変更したい撮

影モードを、[AUTO/SCENE/ EFFECTSモード] と [P/S/A/Mモー ド] から選んでマルチセレクターの を押します。



### 2 背景色を選ぶ

 マルチセレクターで設定したい画面デ ザインを選びます。



### 3 ®ボタンを押して設定を完了する

### インフォ画面の自動表示

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

- [する]の場合、シャッターボタンを半押しして指を放すだけで、液 晶モニターにインフォ画面を表示できます。
- [**しない**] の場合、インフォ画面を表示するには、 **M** ボタンを押して ください。

### インフォ画面の自動消灯

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

- [する]の場合、インフォ画面の表示中にファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応し、インフォ画面を消灯します。
- [しない]の場合、ファインダーに顔を近づけてもインフォ画面は消灯しません。[しない]に設定すると、バッテリーの消耗が早くなります。

### イメージダストオフデータ取得

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

Capture NX-D(口215)の「イメージダストオフ機能」を使うための データを取得します。イメージダストオフとは、カメラの撮像素子前面 に付いたゴミの写り込みをRAW画像から取り除く機能です。イメージ ダストオフ機能については、Capture NX-Dのヘルプをご覧ください。

### ■ イメージダストオフデータ取得の手順

### 1イメージダストオフデータの取得方法を選ぶ

- [開始]を選んで®ボタンを押すと、
   [イメージダストオフデータ取得]画面 が表示されます。
- [イメージセンサークリーニング後開始]を選んで®ボタンを押すと、すぐにイメージセンサークリーニングを実行します。イメージセンサークリーニングの実行後に、[イメージダストオフデータ取得]画面が表示されます。



ファインダー内に右のように表示されます。

188

• データ取得を取り消したいときは、MENUボタンを押してください。

2 レンズ先端から10cm程度離れた、明るく白い無地の被写体 を画面いっぱいにとらえ、シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスのときは、カメラが自動的に無限遠にピントを 合わせます。
- マニュアルフォーカスのときは、手動で無限遠に合わせてください。

### 3 シャッターボタンを全押しして撮影する

被写体が明るすぎ、または暗すぎたために、データが取得できなかった場合は、液晶モニターに右の画面が表示され、手順1の状態に戻ります。被写体の明るさを変えて、もう一度撮影してください。



#### ▶ イメージセンサークリーニングについてのご注意

イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフ データは、クリーニング実行後に撮影した画像とゴミの位置が一致しなくなる ため、Capture NX-Dのイメージダストオフ機能を使用できません。イメージセ ンサークリーニング機能とイメージダストオフ機能を併用する場合は、[イメー ジセンサークリーニング後開始]を選択後に撮影することをおすすめします。

#### 🔽 イメージダストオフデータ取得についてのご注意

- 非CPUレンズをお使いの場合は、「イメージダストオフデータ取得」を選べません。
- お使いになるCPUレンズは、焦点距離が50mm以上のものをおすすめします (□329)。
- ズームレンズは望遠側にしてください。
- 取得したイメージダストオフデータは、データ
   取得後にレンズや絞り値を変更して撮影した画
   像にも適用できます。
- イメージダストオフデータは画像処理ソフト ウェアなどで開けません。
- イメージダストオフデータをカメラで再生する と、右の画面が表示されます。



### フリッカー低減

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

蛍光灯や水銀灯などの光源下で、ライブビュー表示中(□163)や動画 撮影時(□175)に画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」 を低減できます。通常はカメラが自動的に電源周波数を選ぶ[オート] をお使いください。[オート]でフリッカー低減効果が得られない場合 は、お使いの地域の電源周波数に応じて、[50 Hz] と [60 Hz] から 選びます。

🖉 フリッカー低減についてのご注意

- [オート] でもフリッカー低減効果が得られない場合や電源周波数がわからな い場合は、設定を切り換えて試し撮りをすることをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。撮影モードAまたはMで、ライブビュー開始前に絞りを絞り込んで(より大きい数値にして)ください。
- 撮影メニュー [動画の設定]の (動画のマニュアル設定)が (する) で、撮影
   モードがMの場合、フリッカー低減は機能しません (ロ182)。

### カードなし時レリーズ

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

カメラにSDカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。

LOCK	レリーズ禁止	SDカードを入れていないときは、シャッターはきれま せん。
OK	レリーズ許可	SDカードを入れていないときでも、シャッターがきれま す。再生時には[デモモード]と表示され、画像は記録 できません。

ビデオ出力

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

テレビやビデオなどに接続する場合のビデオ出力方式を設定します。

NTSC	NTSC方式のテレビやビデオに接続する場合に使います。通常、 日本国内でお使いの場合は、こちらを選びます。
PAL	PAL方式のテレビやビデオに接続する場合に使います。

### アクセサリーターミナル

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

アクセサリーターミナルに接続する別売アクセサリーの機能を設定で きます。

#### ■ リモート操作

別売のリモートコードまたはワイヤレスリモートコントローラー (四351)のシャッターボタンを押したときの動作を設定できます。

#### リモート撮影

۵	静止画撮影	ワイヤレスリモートコントローラーまたはリモート コードのシャッターボタンを全押しすると、静止画を 撮影します。
<b>*</b>	動画撮影	<ul> <li>ワイヤレスリモートコントローラーまたはリモート コードのシャッターボタンを押して、次の操作を行 います:</li> <li>シャッターボタンを半押しする: ライブビューを 開始します。フォーカスモードが [AF-S] または [AF-F] の場合、ライブビュー中にシャッターボタ ンを半押しするとピント合わせを行います。</li> <li>シャッターボタンを全押しする: 動画撮影を開始 します。もう一度全押しすると、動画撮影を終了 します。</li> <li>ライブビューを終了するには、カメラのライブ ビュースイッチを回してください (凹163)。</li> </ul>

#### Fnボタンの機能

ワイヤレスリモートコントローラーのFnボタンを押したときの機能を 設定できます。

-#	カメラの <sup>圏</sup> ボタン と同じ	カメラの <b>鉛 (Om</b> ) ボタンと同じ機能になります (凹276)。
Lv	ライブビュー	ワイヤレスリモートコントローラーのFnボタンを押す とライブビューを開始し、もう一度Fnボタンを押すと ライブビューを終了します。

#### ■ 位置情報

別売のGPSユニットGP-1またはGP-1A(ロ351)をカメラに接続した ときの設定を変更できます。

#### 半押しタイマー

カメラとGP-1/GP-1Aを接続しているときの半押しタイマーを設定できます。

	カメラを操作していないときは、カスタムメニュー c2 [ <b>パワーオ</b>
	フ時間]→[カスタマイズ]→[半押しタイマー](□262)で設
	定された時間でオフになります。
有効	<ul> <li>カメラのバッテリーの消耗を少なくすることができます。</li> </ul>
	• 電源をONにした直後または半押しタイマーがオンになった直後
	は、カメラが位置情報を取得できるまで半押しタイマーがさらに
	最大1分間延長されます。
無効	GP-1/GP-1Aと接続中は、半押しタイマーがオフになりません。

#### 情報表示

GP-1/GP-1A接続時に取得した緯度、経度、標高、UTC(協定世界時)の情報を表示します。UTC(Coordinated Universal Time=協定世界時)は、GP-1/GP-1Aと接続して取得された世界標準時で、カメラで設定されている時刻とは別に記録されます。

#### 衛星による日時合わせ

[する] の場合、GP-1/GP-1A接続時に取得した日時の情報でカメラの 内蔵時計を合わせます。GP-1/GP-1Aを使用して日時を合わせないとき は、[しない] を選んでください

#### 🖉 GP-1/GP-1Aとの接続について

GP-1/GP-1Aをカメラに接続するには、カメラの電源をOFFにしてから、GP-1/ GP-1Aに付属のケーブルをアクセサリーターミナルに接続します(ロ351)。詳 しくはGP-1/GP-1Aの使用説明書をご覧ください。

#### 🖉 GP-1/GP-1A使用時の表示について

GP-1/GP-1Aとの通信状態は、インフォ画面の衛 星受信状態マーク 参で確認できます。

- 🔏 (点灯): GP-1/GP-1Aとの通信中です。
- ▲ (点滅): GP-1/GP-1Aが取得している情報が 確定していないため、GPSデータは記録されま せん。 ▲が点灯するまでお待ちください。
- 消灯:GP-1/GP-1Aとの通信が2秒以上途絶えると、
   ▲が消灯します。この状態で撮影した画像データには位置情報は記録されません。



### Eye-Fi送信機能

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

このメニューは、市販のEye-Fiカードをカメラに挿入したときのみ、表示されます。

有効	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信 します。
無効	Eye-Fi送信機能を使用しません。

- 電波の状態が悪い場合、[有効]に設定していても送信できないことがあります。
- •電波の出力が禁止されている場所では、設定を[無効]にしてください。

#### 294 ♀セットアップメニュー:カメラを使いやすくする基本設定

#### 🖉 Eye-Fi送信機能が無効のときの警告表示について

[無効] に設定しているときでも、電波が出力される場合があります。液晶モニ ターに警告メッセージ(四379) が表示された場合は、カメラの電源をOFFに してEye-Fiカードを取り出してください。

#### 🖉 Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内のEye-Fiカードの通信状態は、インフォ 画面のEye-Fi通信マークで確認できます。

- : 未送信の画像はありません。
- ・

   :
   エラーが発生しました。

#### 🚺 Eye-Fiカードを使用するときのご注意

- Eye-Fiカードの使用方法はEye-Fiカードの使用説明書をご覧ください。カード に関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。
- Eye-Fi カードを使う場合は、カスタムメニュー c2 [パワーオフ時間] → [カ スタマイズ] → [半押しタイマー] を30秒以上に設定してください (□262)。
- このカメラには Eye-Fi カードの通信機能を ON/OFF する機能がありますが、 Eye-Fiカードの全ての機能を保障するものではありません。
- Eye-Fiカードは、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- Eye-Fiカードの販売の有無は地域によって異なりますので、カードメーカーに お問い合わせください。
- Eye-Fiカードのファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。



### 認証マークの表示

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

### ファームウェアバージョン

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

カメラを制御する「ファームウェア」のバージョンを表示します。

### 」 画像編集メニュー: 撮影した画像に行う編集機能

MENUボタンを押してタブの「アイコンを選ぶと、画像編集メニューが 表示されます。



### 画像編集メニュー項目一覧

画像編集メニューでは、SDカード内の撮影済み画像を編集することが できます。編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてSD カードに記録されます。画像編集メニューの項目は次の通りです。

カメラにSDカードが入っていない場合やSDカードに画像が記録されていない場合は、画像編集メニューはグレーで表示されて選べません。

	メニュー項目			メニュー項目	
RAW +	RAW現像	300		モノトーン	312
×	トリミング	302	e	画像合成	313
	リサイズ	303	58	塗り絵	316
88	D-ライティング	305	D	フォトイラスト	316
迷	簡単レタッチ	306	ন্থ	カラースケッチ	317
۲	赤目補正	306	(i)	ミニチュア効果	318
7	傾き補正	307	at a	セレクトカラー	319
••	ゆがみ補正	308	ġ	絵画調	321
	アオリ効果	309	Ľî:	動画編集	186
¢.	魚眼効果	310	■+□	編集前後の画像表示※	322
0	フィルター効果	311			

※編集前または編集後の画像を1コマ表示して**さ**ボタンを押して、「**画像編集**」を 選んだときのみ表示されます。

### 画像編集の操作方法

- 1 画像編集メニューでメニュー項目を 選ぶ
  - マルチセレクターの
     ●または
     ●でメ
     ニュー項目を選び、③を押します。

### **2** 画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選び、 タンを押します。
- ・

   ・
   マボタンを押している間は、
   選択中の
   ・

   像が拡大表示されます。

### **3** 画像を編集する

- 画像の編集方法については、各項目の説明をご覧ください。
- 画像編集を途中でやめるには、MENUボタンを押してください。画 像編集メニューに戻ります。

### 4 編集した画像を記録する

- 記録されます。
- 画像編集した画像には

   が付きます。

   ただし、1コマ表示モードで「画像の み表示](□195)にしている場合 は、悩は表示されません。



#### 🖉 iボタンを押して画像編集メニューを表示する

1コマ表示モード(四191)で静止画を選んでからえボタンを押して「画像編集] を選ぶと、画像編集メニューが表示され、選んだ画像を編集できます(「画像合 成]を除く)。

▶ ■像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能 298




#### ▶ ■像編集についてのご注意

このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、この カメラでは再生または編集できないことがあります。

#### 🖉 画質モードについて

- 元画像がRAWを含む画質モードで撮影された画像の場合、[画質モード]
   (ロ91)が[FINE]のJPEG画像になります。
- 元画像がJPEGの場合は、元画像と同じ画質モードになります。
- RAWとJPEGを同時に記録した場合(ロ91)は、RAW画像が画像編集の対象 になります。

#### 🖉 画像サイズについて

- 元画像がRAWを含む画質モードで撮影された画像の場合、[画像サイズ]
   (ロ93)が[□](サイズL)のJPEG画像になります。
- ・元画像がJPEGの場合は、元画像と同じ画像サイズになります([トリミング] と[リサイズ]を除く)。

#### 🚺 繰り返し画像編集する場合のご注意

- 画像編集によって作成した画像に、さらに画像編集を行うこともできますが、 画像が粗くなったり、退色したりする場合があります。
- 同じ画像編集を繰り返し行うことはできません(「画像合成]、「動画編集」の 「始点/終点の設定」を除く)。
- 画像編集の組み合わせによっては、繰り返し編集できないものもあります。
- 選択中の画像に使用できない画像編集項目は、画像編集メニューでグレーで表示されて選べません。

### RAW現像(パソコンを使わずにRAW画像を JPEG画像に変換する)

MENUボタン → ▲画像編集メニュー

- 画像編集メニュー画面で [RAW現 像] を選ぶ
  - [RAW現像] を選んでマルチセレク ターの③を押すと、RAW画像がサムネ イル表示されます。

### 2 RAW現像する画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選んで®ボ タンを押します。
- ・ 
   ペボタンを押している間、選択画像を拡 大表示できます。





### 3 表示されている各項目をそれぞれ設定する



-D-ライティング(□305)

回キャンセル 図拡大

### 4 RAW現像する

- [現像] を選んで 図ボタンを押すと、 JPEG 画像を保存します。
- キャンセルして画像編集メニューに戻る ときは、MENUボタンを押してください。



#### ▼ RAW現像についてのご注意

- RAW現像できる画像は、このカメラで撮影したRAW画像だけです。機種の異なるカメラで撮影したRAW画像やRAW以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- [画像合成] (□313) で編集した画像の場合、[ホワイトバランス] と [ヴィ ネットコントロール] を選べません。
- 露出補正で設定できる明るさは目安です。撮影時の露出補正とは効果が異なる 場合があります。

### トリミング

MENUボタン → ▲画像編集メニュー

画像の必要な部分だけを切り抜きます。 編集画面では、トリミング範囲の黄色い枠が 表示され、次の操作ができます。



切り抜く範囲を 狭くする	<b>ର୍ଛ</b> ( <b>?</b> )	<b>9≅(?)</b> ボタンを押すごとにトリミングで切 り抜かれる範囲が狭くなります。
切り抜く範囲を 広くする	æ	<b>Q</b> ボタンを押すごとにトリミングで切り抜か れる範囲が広くなります。
画像のアスペクト比 (縦横比)を変更する		コマンドダイヤルを回すと、アスペクト比を 変更できます。
切り抜く範囲を 移動する		トリミングで切り抜く範囲を移動します。
トリミングを 実行して 画像を保存する		トリミングした画像が記録されます。

#### ▶ トリミングした画像についてのご注意

- 拡大表示できないことがあります。
- トリミングした画像の画像サイズは編集画面の左上に表示されます(トリミン グ時の拡大率とアスペクト比により変わります)。

### ■ 複数の画像を選んで同時にリサイズする

MENUボタンを押して画像編集メニューを選んだ場合、複数の画像を同時 にリサイズして保存できます。

1 画像編集メニュー画面で [リサイズ] を選ぶ

• [**リサイズ**] を選んでマルチセレクター の()を押します。



2 画像サイズを設定する

「画像サイズの設定」を選んで③を押します。
・())または④で画像サイズを選び、())が、())





• [**画像選択**] を選んで ③を押します。



### 4 リサイズしたい画像を選ぶ

- マルチセレクターでリサイズしたい画 像を選びます。
- 拡大表示します。

### 5 設定する

- 9≅(?)ボタンを押して設定します。 設定するとこが表示されます。もう一 度 ♀ (?) ボタンを押すと、 ■が消え ます。
- リサイズする画像全てに設定したら、 のボタンを押します。





**9≅** (?) ボタン



### 6 リサイズした画像を作成する

 確認画面で「はい」を選び、のボタンを 押すと、リサイズ画像が保存されます。



### ▼ リサイズした画像についてのご注意

拡大表示できないことがあります。

D-ライティング

#### MENUボタン → ▲画像編集メニュー

D-ライティングでは、画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔の部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的です。







D-ライティング前

D-ライティング後

D-ライティング後 (人物優先あり)

- 編集画面では、D-ライティング効果の適用前と適用後のプレビュー画像を表示します。
- マルチセレクターの③または③を押して、効果の度合いを選びます。

### ▋ 人物優先

1~3名のポートレート写真に適しています。 背景の明るさの雰囲気を残したまま人物のみ を明るくするため、レフ板を使用して撮影し たときのような効果が得られます。



• [人物優先] を選び、 ③ を押してチェック ボックスをオン ☑ にしてください。

#### 🖉 [人物優先] について

- カメラが自動的に認識した人物に対して補正します。
- ポーズや絵柄によっては、望ましい効果が得られない場合があります。そのときは、「人物優先」のチェックボックスをオフロにしてください。
- •最大3人まで補正できます。
- 再生メニュー [縦横位置情報の記録] (□242) を [しない] にして撮影した 画像の場合は、[人物優先] を設定できません。

簡単レタッチ

カメラがD-ライティングの機能を使って、画像の暗い部分を明るく補正したり、コントラストと彩度(色の鮮やかさ)を高めたりします。

マルチセレクターの③または③を押して、効果の度合いを選びます。



MENUボタン → ▲ 画像編集メニュ-

• 
感ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

### 赤目補正

MENUボタン → ▲ 画像編集メニュー

フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって人物の瞳の部分が赤くなって しまった画像を補正できます。

- •フラッシュを発光しないで撮影した画像は選べません。
- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
- ● ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

#### ▼ 赤目補正についてのご注意

赤目補正を行う場合は、次のことにご注意ください。

• 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。

でくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。
 赤目補正を行う場合は、画像を保存する前に、プレビュー画像で効果をよく確認してください。

### 傾き補正

#### MENUボタン → ▲画像編集メニュー

画像の傾きを±5°の範囲(約0.25°ステップ) で補正できます。

 補正する傾きが大きくなるほど、画像周辺部 は切り取られます。



傾きを補正する	マルチセレクターの③を押すと時計回りに傾 き、④を押すと反時計回りに傾きます。
傾き補正を実行して 画像を保存する	傾き補正した画像が記録されます。

### ゆがみ補正

#### MENUボタン → ★ 画像編集メニュー

広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠 レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正でき ます。[オート]を選ぶと選択した画像のゆが みを自動的に判別して補正しますが、好みに 応じて微調整することもできます。[マニュア ル]を選ぶと自分でゆがみを補正できます。



- [オート]はGタイプ・Eタイプ・Dタイプレンズで撮影した画像のみ 機能します。ただし、PCレンズ、フィッシュアイレンズ、その他一部 のレンズを装着して撮影した画像の場合は機能しません。また、対応 レンズ以外で撮影した画像については、動作を保証しません。
- [自動ゆがみ補正] (□254) を行った画像の場合、[マニュアル] の み選べます。
- 補正するゆがみが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。

ゆがみを補正する	<ul> <li>たる型のゆがみを補正するには、マルチセレクターの③を押します。</li> <li>糸巻き型のゆがみを補正するには、④を押します。</li> </ul>
ゆがみ補正を実行 して画像を保存する	ゆがみ補正した画像が記録されます。

### アオリ効果

MENUボタン → 」 ▲ 画像編集メニュー

高層ビルを見上げて撮影したときなどに生 じる、遠近感による被写体のゆがみを補正し ます。

•アオリ効果が大きくなるほど、画像周辺部は 切り取られます。



アオリ効果を 調節する	マルチセレクターの���� でアオリの効 果を変更できます。
アオリ効果を実行 して画像を保存する	アオリ効果の画像が記録されます。



アオリ効果処理前



アオリ効果処理後

### 魚眼効果

MENUボタン → ▲画像編集メニュー

- フィッシュアイ(魚眼)レンズで撮影したような画像になります。
- 魚眼効果が大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。





### フィルター効果

#### MENUボタン → 」 画像編集メニュー

スカイ ライト	スカイライトフィルターのように、画 像の青みを抑える効果があります。	ZJ17511		
ウォーム トーン	画像を暖色にする効果があります。	- 回キャンセル [3]保存		
クロス スクリーン	クロスフィルターのように、太陽の反 射や街灯などの光源から、放射状に光 のすじが伸びる効果があります。 • [光線の本数]:光線の本数を、3種類 から選べます。 • [クロスの量]:クロスフィルターがか かる光源の量を3段階から選べます。 • [光線の傾き]:光線の傾きを3段階か • [光線の長さ]:放射状に伸びる光の長 • [確認]を選んで@ボタンを押すと、3 に反映します。 @ボタンを押している 大きさで画像を確認できます。保存す ®ボタンを押してください。	9032201-2 光線の本数 24 ) 24 ) 25		
ソフト	ソフトフィルターのように、画像をソ フトな雰囲気に仕上げます。	リフト       効果       回まや2700       回まや2700       回または②を押して、効果       の度合いを選びます。		

• 欧ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

MENUボタン → ▲画像編集メニュー

モノトーンの画像(1種類の色の明暗のみで構成される画像)を作成します。

モノトーン

[モノトーン]を選ぶと、右のメニューが表示 され、色調を選ぶことができます。



白黒	モノクロになります。	
セピア	セピア色(褐色)のモノトーンになります。	
クール	ブルー系のモノトーンになります。	

 [セピア] または [クール] を選 んだ場合は、マルチセレクター で色の濃さを調整できます。
 を押すと色が濃くなり、
 を押 すと色が薄くなります。調整し た色の濃さはプレビュー画像に 反映されます。





・ のボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

### 画像合成

#### MENUボタン → ★ 画像編集メニュー

SDカードに記録されているRAW画像2コマを重ね合わせて1コマの画像に合成できます。RAWデータを使用して合成するため、通常のアプリケーションソフトウェアなどで画像を合成する場合と比べ、階調特性に優れた画像になります。



- 画像編集メニュー画面で [画像合 成] を選ぶ
  - 「画像合成」を選んでマルチセレクターの
     の
     の
     を押します。



### 2 [画像1] を選ぶ

 ・
 「画像1]を選んで
 ・
 ボタンを押すと、
 RAW画像がサムネイル表示されます。



# 3 合成する画像の1コマ目を選ぶ

- マルチセレクターで1コマ目の画像を選びます。
- ・ 
   ペボタンを押している間、選択画像を拡 大表示できます。



### 41コマ目の画像を決定する

目に設定され、「画像1]欄にプレ ビューが表示されます。

### 52コマ日の画像を選ぶ

 ● ● を押して「画像2] を選び、手順2~4 と同じ手順で2コマ目の画像を選びます。

### 6 ゲインを調節する

- プレビュー欄に「画像1]と「画像2] を合成した画像が表示されます。プレ ビュー欄で確認しながら、合成した画 像の明るさが適正になるように、 「画像1]または「画像2]を選んでから ④または⊕を押してゲイン(出力)を設定します。
- ゲインは0.1~2.0の範囲で、0.1ステップで設定できます。
- 各数値は初期設定の1.0(補正なし)を基準にした比率です。た とえば0.5にするとゲインは約半分になります。

### 7 プレビュー欄に移動する

- ④または③を押して、プレビュー欄に 移動します。
- 画像合成結果を確認せずに画像を保存 したいときは、「保存]を選んでのボタ ンを押してください。





x 1.0





### 8 合成した画像の構図を確認する

- [合成] を選び、 <sup>●●</sup>ボタンを押すと、画 像合成結果の確認画面が表示されます。
- ・設定をやり直したいときは、9≅(?) ボタンを押してください。手順6の画面 に戻ります。

### 9 合成した画像を保存する

 もう一度®ボタンを押すと、合成した 画像が保存されます。





#### ▶ 画像合成についてのご注意

- プレビュー画像と実際の合成画像では、色や明るさなどの見え方が異なる場合 があります。
- 合成できる画像は、このカメラで撮影したRAW画像だけです。機種の異なる カメラやRAW以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- 合成した画像の画質モード(四91)と画像サイズ(四93)は、カメラで設定している画質モードと画像サイズになります。画像合成を行う前に、これらの設定をご確認ください。
- 合成した画像をさらに別の画像と合成したいときは、カメラの画質モードを RAWに設定してください。
- [RAW記録](□249)が同じ設定のRAW画像のみ合成できます。
- 合成した画像の撮影データなどは、画像1で選んだ画像の内容を引き継ぎます。
   ただし、著作権情報は引き継ぎません。また、合成された画像には、画像合成時にカメラに設定されている画像コメントが添付されます。

### 塗り絵

MENUボタン → ▲画像編集メニュー

輪郭を抽出して塗り絵の原画風の画像を作成 できます。

● ● ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。
 ●
 ●



塗り絵処理前





塗り絵処理後

フォトイラスト

MENUボタン → ▲画像編集メニュー

輪郭を強調し、色数を減らすことでイラスト 風の画像を作成できます。

- マルチセレクターの ③ を押すと線が細くなり、 ③を押すと太くなります。
- 771145スト



フォトイラスト処理前



フォトイラスト処理後

### 316 🛃 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能

カラースケッチ

MENUボタン → ▲画像編集メニュー

輪郭を抽出して色をつけることで、スケッチ 風の画像を作成できます。



色の濃さを変える	マルチセレクターの会または分で[色の濃さ] を選んだ後、③を押すと色が濃くなり、④を 押すと薄くなります。
線の濃さを変える	◆または◆で「線の濃さ」を選んだ後、◆を 押すと線が濃くなり、◆を押すと薄くなりま す。「線の濃さ」を濃くすると、画像全体の色 も濃くなります。
カラースケッチ画像 を保存する	カラースケッチ画像が記録されます。

### ミニチュア効果

MENUボタン → J 画像編集メニュー

- ミニチュア(模型)を接写したように加工します。ミニチュア効果に は、高いところから見下ろして撮影した画像が適しています。
- [ミニチュア効果]を選ぶと、黄色い枠(ぼかさない範囲)が表示されます。



#### 318 🚽 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能

セレクトカラー

MENUボタン → ▲ 画像編集メニュ-

選択した色のみを残し、それ以外の色をモノトーン(白黒)に加工します。

1 画像編集メニュー画面で [セレクト カラー]を選ぶ

 「セレクトカラー」を選んでマルチセレ クターの③を押します。

### 2 加工する画像を選ぶ

- マルチセレクターで画像を選んで、 のボタンを押します。
- 大表示できます。

### 3 残したい色を抽出する

- マルチャレクターで色取得の枠を画像 上の残したい色に重ねます。
- い色を細部まで確認できます。 ♀■ (?) ボタンを押すと縮小表示します。
- ・
   告(On)ボタンを押すと、
   色の枠に
   抽
   ・
   出した色が表示されます。

国像編集メニュ・









色



69:0

### 4 色の感度の枠を選ぶ • コマンドダイヤルを回して、 色の感度の枠を選びます。

抽出した色以外の色は、モノトーンで表示されます。

### 5 抽出する色の感度を設定する

●または●を押して、抽出する色の感度を[1]~[7]から設定します。数値が大きいほど抽出する色の色相が広くなり、小さいほど狭くなります。

### 6 抽出する色を追加する

- コマンドダイヤルを回して、 別の色の枠と感度の枠を選び、手順3~5と同じ手順で 色を抽出し、色の感度を設定します。
- •最大3色まで設定できます。
- 抽出した色の枠を選んで
   面ボタンを押すと、
   抽出した色をリセットします。
- ・抽出した全ての色を削除したい場合は、 ●ボタンを押し続けます。確認画面で [はい] を選んで ●ボタンを押すと、全ての色をリセットします。

#### 320 🖬 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能







③調整

自合削除

色の感度

6

### 7 決定する



#### ▼ セレクトカラー設定時のご注意

- 残したい色の彩度によっては、抽出しにくい場合があります。彩度の高い色の 抽出をおすすめします。
- 色の感度を高く設定しすぎると、選択した色に近い色相の色も抽出されます。





絵画調処理前



絵画調処理後

### 編集前後の画像表示

画像編集を行った画像を、元画像と並べて表示して、画像編集の効果を 確認できます。このメニュー項目は、編集元または編集後の画像を1コ マ表示してからもボタンを押して、「画像編集」を選んだときのみ表示 されます。

### ■編集前後の画像表示方法

1 1コマ表示モードで画像を選ぶ ●画像編集で作成した画像(→が表示さ れている画像)または画像編集の元画 像を選びます。

### **2** 「画像編集」 を選ぶ

● *i*.ボタンを押し、「**画像編集**]を選んで マルチセレクターの③を押します。



14/14

RÍ



- 3 「編集前後の画像表示」を選ぶ
  - •[編集前後の画像表示]を選んで®ボタ ンを押すと、[編集前後の画像表示] 画 面を表示します。



#### 322 一 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能

### 4 編集前と編集後の画像を比較する

- 編集前の画像を左側、編集後の画像を 右側に表示します。
- ・
   ・
   画像編集の内容は、2つの画像の上に表示されます。
- ③または ④ で、編集前/編集後の画像を 切り換えられます。
- 画像合成の元画像の場合、
   ◆または
   ◆で2枚の元画像を切り換えられます。



- 1枚の元画像から複数の画像編集を行った場合、◆または◆で編 集後の画像を切り換えられます。
- ペボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。
- ●ボタンを押すと、黄色の枠で選択中の画像を1コマ表示モードで再生します。

#### ▼ 編集前後の画像表示についてのご注意

編集時の元画像にプロテクト(凹206)が設定されている場合や、元画像を削除した場合、編集前の画像は表示されません。

## 🗐 最近設定した項目/🖯 マイメニュー

MENUボタンを押してタブの目アイコンを選ぶと、[最近設定した項目] 画面が表示されます。



[このタブの機能変更]でタブの機能を変更することにより、最近設定した メニューと自分で登録したマイメニューの表示を切り換えられます。

a	是近設定した項目	最後に設定したメニュー項目から順番に20項目が自
■ 取加設定した項目		動的に表示されます。
a	マイメニュー	各メニューから、よく使う項目だけを選んで、20項目
		までマイメニューに登録できます。

### ■「最近設定した項目」をマイメニューに変更する

[最近設定した項目] は、[このタブの機能変更] からマイメニューに変 更することもできます。



### 2 [マイメニュー] を選ぶ

- [このタブの機能変更] 画面で [マイメ ニュー] を選び、 (Mボタンを押します。)
- [最近設定した項目] が [マイメニュー] に切り替わります。
- •マイメニューの操作方法は、口325をご覧ください。



このタブの機能変更

5

#### 324 🚦 最近設定した項目/ 🖯 マイメニュー

## 

最後に設定したメニュー項目から順番に最新 の20項目が自動的に表示されます。マルチセ レクターで設定したいメニュー項目を選んで ●を押すと、選択した項目の設定画面が表示 されます。

	最近設定した項目	
	画質モード	NORM
	画像サイズ	
6	1S0感度設定	
1	レリーズモード	S
	このタブの機能変更	目
1		

#### 🖉 最近設定した項目を削除するには

[最近設定した項目] 画面で削除したい項目を選んでもボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度もボタンを押すと、選択した項目を削除します。

### 

再生、撮影、カスタム、セットアップ、画像編集の各メニューから、よ く使う項目だけを選んで、20項目までマイメニューに登録できます。登 録した項目は、削除したり、表示順序を変えたりできます。

### ■ マイメニューを登録する

## マイメニュー] 画面で[マイメ ニュー登録]を選ぶ マイメニュー登録]を選んで③を押し

● [マイメニュー登録] を選んぐ(€を押し ます。

### 2 登録したいメニューを選ぶ

 登録したいメニューを選んで③を押すと、 選んだメニューが一覧表示されます。



### 3マイメニューに登録する項目を選ぶ

- マイメニューに登録する項目を選んで
   ・ボタンを押します。
- 4 登録する項目の表示位置を選ぶ

  - 手順1~4を繰り返して、マイメニュー に表示したい全ての項目を登録してく ださい。

#### 🖉 マイメニュー登録について

- ✓が表示されている項目は、すでにマイメ ニューに登録済みです。
- ・左横に
   び
   あ示
   されている
   項目は、
   マイメ
   ニューに
   登録で
   きません。





(and	71	メニュー登録	þ
2	撮景	ミメニュー	
		撮影メニューのリセット	
4		記録フォルダー設定	
1		ファイル名設定	
		画質モード	
		画像サイズ	
		RAW記録	
			<b>OK</b> 決定

### ■ 登録した項目を削除する

### 1 [マイメニュー] 画面で [登録項目の削除] を選ぶ

• [登録項目の削除] を選んでマルチセレクターの③を押します。

### 2 削除したいメニュー項目を選ぶ

 ・削除したいメニュー項目を選び、②を 押してチェックボックスをオン○にし ます。もう一度
 ●を押すと、チェック ボックスがオフ□になります。



普録項目の削除

削除したい全ての項目に✓を入れます。

### 3 選んだ項目を削除する



### 冒 最近設定した項目/ マイメニュー 327

### ■ 登録した項目の表示順序を変える

### 1 [マイメニュー] 画面で [登録項目の順序変更] を選ぶ

[登録項目の順序変更]を選んでマルチセレクターの③を押します。

### 2 順番を変えたい項目を選ぶ

 ・順番を変えたい項目を選んで®ボタン を押します。

	登録項目の順序変更		Ð
~	RAW記録		14-bit
	画質モード		NORM
0	画像サイズ		
	a1AF-Cモード時の優先		[::::]
1.			
		OK)項目	選択

14-bi

NOR

BIII

経録項目の順序変更

モード時の優先

3 選んだ項目を移動したい位置を選ぶ

- ③または④で移動したい位置を選んで
   ●ボタンを押すと、マイメニューの中で位置が変わります。
- •必要に応じて手順2~3を繰り返します。

### 4 [マイメニュー] 画面に戻る

• MENUボタンを押すと、[マイメニュー] 画面に戻ります。



MENUボタン

	マイメニュー	
1	al AF-Cモード時の優先	[::::]
	RAW記錄	14-bit
6	画質モード	NORM
1	画像サイズ	
	マイメニュー登録	
	登録項目の削除	
	登録項目の順序変更	
?	このタブの機能変更	Ē



このカメラで使えるアクセサリーやカメラの主な仕様など、カメラを使 うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしい ときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明し ています。

### 使用できるレンズ

このカメラでオートフォーカスでピントを合わせるには、AF-SレンズまたはAF-Iレンズが必要です。AF-SまたはAF-Iは、レンズ名の次の部分に 明示されています。

# AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II

レンズ名のこの部分がAF-SまたはAF-Iであることをご確認ください。

このカメラで使用できるCPUレンズとレンズの仕様によるファイン ダー撮影時の制限は次の通りです。

<b>₹</b> −ド	フォーカスモード			撮影モード		測光モード		
	AF (+_L	フォーカス	MF		м	Ø		@/G
דעע	(オード フォーカス)	エイド	(マニュアル フォーカス)	m	以外	3D-RGB	RGB	
AF-Iレンズ、 AF-Sレンズ	0	0	0	0	0	0	×	O*1
Gタイプレンズ、 DタイプのAFレンズ	×	0	0	0	0	0	×	O*1
PC-E NIKKOR シリーズ* <sup>2,3</sup>	×	○*4	0	0	0	0	×	O*1
PCマイクロ 85mm F2.8D*5	×	○*4	0	0	×	0	×	O*1
AF-S/AF-Iテレコン バーター **6	○*7	○*7	0	0	0	0	×	O*1

モード	フォ	撮影モード		測光モード				
	AF (ナート	フォーカス	MF		м			@/L
דעע	(オート フォーカス)	エイド	(マニュアル フォーカス)	IVI	以外	3D-RGB	RGB	
Gタイプ、Eタイプ、 Dタイプ以外の AFレンズ(F3AF用 を除く)	×	○**8	0	0	0	×	0	○*1
AI-Pニッコール	×	○*9	0	0	0	×	0	○*1

- ※1 フォーカスポイントの選択によりスポット測光エリアの移動が可能 (□123)。
- ※2 PC-E NIKKOR 24mm f/3.5D EDを装着してレボルビング操作をすると、レン ズのシフトノブがカメラボディーに接触する場合があります。
- ※3 アオリ操作をしているときは適正露出になりません。
- ※4 アオリ操作をしていない場合のみ可能。
- ※5 アオリ操作をしているとき、または開放絞り以外のときは適正露出になりません。
- ※6 AF-Sレンズ、AF-Iレンズ専用。
- ※7 合成絞り値がF5.6以上明るい場合に使用可能。
- ※8 AF80-200mm f/2.85、AF35-70mm f/2.85、AF28-85mm f/3.5-4.55 (New)、AF28-85mm f/3.5-4.55レンズを使用し、ズームの望遠側かつ至近 距離で撮影した場合、ファインダースクリーンのマット面の像とオート フォーカスのピント表示が合致しない場合があります。このような場合は、マ ニュアルフォーカスによりファインダースクリーンのマット面を利用してピ ントを合わせて撮影してください。
- ※9 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。
- 高感度で動画撮影を行う場合、オートフォーカスの作動中にノイズ(すじ)が発生することがあります。この場合は、マニュアルフォーカスまたはフォーカスロックを利用して撮影してください。

#### ✓ 使用できるレンズについてのご注意

AF-SやAF-I以外のオートフォーカス(AF)レンズを装着しても、このカメラで はオートフォーカス撮影できません。また、IXニッコールレンズは装着できま せん。

#### 330 資料

#### CPUレンズ、Gタイブレンズ、Eタイプレンズ、Dタイプレンズの見 分け方

CPUレンズにはCPU信号接点があります。Gタイプレンズには「G」マークが、 Eタイプレンズには「E」マークが、Dタイプレンズには「D」マークが付いてい ます。GタイプレンズとEタイプレンズには、絞りリングがありません。

 
 СРИРУХ
 G947DVXX/ E947DVXX
 D947DVXX

 ・
 絞りリングのある
 CPU
 レンズを取り付ける場合は、最小
 がり
 (一番大きい数
 値)
 にして、ロックしてください。

#### 🖉 マルチパターン測光について

CPU信号接点

このカメラは2016分割RGBセンサーを搭載しています。Gタイプ、EタイプまたはDタイプレンズ使用時は、このセンサーから得られるさまざまな情報を最大限に利用できる「3D-RGBマルチパターン測光II」という測光方式になります。 その他のCPUレンズをお使いのときは、距離情報を考慮しない「RGBマルチパターン測光II」という測光方式になります。

絞りリング

#### 🖉 レンズの画角と焦点距離について

D5500ではさまざまなニコンー眼レフカメラ用レンズが使えます。ただし、これらのレンズをD5500に装着したときの画角は、レンズに表記されている焦点距離の1.5倍のレンズに相当する画角になります。これは35mm判カメラの撮影 画面サイズ (36x24mm)に対して、D5500の撮影画面 (23.5×15.6mm) が小 さいためです。

例: D5500に24mmのレンズを装着した場合の画角は、35mm判力メラ換算で おおよそ36mmの焦点距離となります。



#### ▼ 赤目軽減モードについてのご注意

レンズの種類によっては、赤目軽減ランプの光がさえぎられ、フラッシュ撮影時に充分な赤目軽減効果が得られない場合があります。

#### ▼ AF補助光撮影(□82)に制限のあるレンズについてのご注意

使用できるAFレンズの焦点距離は18~200mm、AF補助光が届く距離範囲の目安 は約0.5mから3mです。AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。

#### AF補助光を使ってオートフォーカス撮影ができないレンズ

- AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED
- AF-S NIKKOR 28–300mm f/3.5–5.6G ED VR
- AF-S DX NIKKOR 55-300mm f/4.5-5.6G ED VR
- AF-S VR Zoom-Nikkor 70–200mm f/2.8G IF-ED
- AF-S NIKKOR 70–200mm f/2.8G ED VR II
- AF-S Zoom-Nikkor 80–200mm f/2.8D IF-ED
- AF-S NIKKOR 80-400mm f/4.5-5.6G ED VR
- AF-S VR Nikkor 200mm f/2G IF-ED
- AF-S NIKKOR 200mm f/2G ED VR II
- AF-S VR Zoom-Nikkor 200-400mm f/4G IF-ED
- AF-S NIKKOR 200-400mm f/4G ED VR II

#### 次のレンズでは、撮影距離1m以内でAF補助光がレンズによってさえぎられる場 合があります。この場合、AF補助光を使ったオートフォーカス撮影はできません。

- AF-S DX NIKKOR 10-24mm f/3.5-4.5G ED
- AF-S NIKKOR 16-35mm f/4G ED VR
- AF-S Zoom-Nikkor 17–35mm f/2.8D IF-ED
- AF-S DX Zoom-Nikkor 17–55mm f/2.8G IF-ED
- AF-S NIKKOR 18-35mm f/3.5-4.5G ED
- AF-S DX NIKKOR 18-105mm f/3.5-5.6G ED VR
- AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18–200mm f/3.5–5.6G IF-ED
- AF-S DX NIKKOR 18-200mm f/3.5-5.6G ED VR II
- AF-S DX NIKKOR 18-300mm f/3.5-5.6G ED VR
- AF-S DX NIKKOR 18-300mm f/3.5-6.3G ED VR
- AF-S NIKKOR 20mm f/1.8G ED
- AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED
- AF-S VR Zoom-Nikkor 24–120mm f/3.5–5.6G IF-ED
- AF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VR
- AF-S NIKKOR 28mm f/1.8G
- AF-S Zoom-Nikkor 28–70mm f/2.8D IF-ED
- AF-S NIKKOR 35mm f/1.4G
- AF-S NIKKOR 70-200mm f/4G ED
- AF-S NIKKOR 70-200mm f/4G ED VR
- AF-S NIKKOR 85mm f/1.4G
- AF-S NIKKOR 85mm f/1.8G
- AF-S VR Micro-Nikkor 105mm f/2.8G IF-ED
### ▶ 内蔵フラッシュ撮影に制限のあるレンズについてのご注意

内蔵フラッシュ撮影には、焦点距離が18mmから300mmまでのレンズが使 えます。

ケラレ\*を防止するため、レンズフードは取り外して使用してください。
 ※ ケラレとは、内蔵フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に写り込む現象です。





- 撮影距離0.6m未満では使用できません。
- マクロ付きズームレンズはマクロ領域では使用できません。
- 次のCPUレンズではフラッシュの光がさえぎられるため、焦点距離や撮影
   距離に制限があります。

レンズ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
AF-S DX NIKKOR 10–24mm f/3.5–4.5G ED	<ul> <li>・焦点距離24mmでは撮影距離1.5m以上</li> </ul>
AF-S DX Zoom-Nikkor 12–24mm f/4G IF-ED	• 焦点距離24mmでは撮影距離1m以上
AF-S NIKKOR 16–35mm f/4G ED VR	• 焦点距離35mmでは撮影距離1m以上
AF-S DX NIKKOR 16–85mm f/3.5–5.6G ED VR	<ul> <li>焦点距離24mm以上は制約なし</li> </ul>
AF-S Zoom-Nikkor 17–35mm f/2.8D IF-ED	• 焦点距離28mmでは撮影距離1m以上 • 焦点距離35mmでは制約なし
AF-S DX Zoom-Nikkor 17–55mm f/2.8G IF-ED	<ul> <li>・ 焦点距離28mmでは撮影距離1.5m以上</li> <li>・ 焦点距離35mmでは撮影距離1m以上</li> <li>・ 焦点距離45mm以上は制約なし</li> </ul>
AF-S NIKKOR 18–35mm f/3.5–4.5G ED	<ul> <li>・ 焦点距離24mmでは撮影距離1.5m以上</li> <li>・ 焦点距離28mmでは撮影距離1m以上</li> <li>・ 焦点距離35mmでは制約なし</li> </ul>

レンズ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
AF Zoom-Nikkor 18–35mm	• 焦点距離24mmでは撮影距離1m以上
t/3.5-4.5D IF-ED	<ul> <li>焦点距離28mm以上は制約なし</li> </ul>
AF-S DX Zoom-Nikkor	<ul> <li>焦点距離18mmでは撮影距離1m以上</li> </ul>
18–70mm f/3.5–4.5G IF-ED	<ul> <li>焦点距離24mm以上は制約なし</li> </ul>
AF-S DX NIKKOR 18–105mm	<ul> <li>焦点距離18mmでは撮影距離2.5m以上</li> </ul>
f/3.5-5.6G ED VR	<ul> <li>焦点距離24mmでは撮影距離1m以上</li> </ul>
	<ul> <li>焦点距離35mm以上は制約なし</li> </ul>
AF-S DX Zoom-Nikkor	<ul> <li>焦点距離18mmでは撮影距離2m以上</li> </ul>
18-135mm f/3.5-5.6G IF-ED	<ul> <li>         ・ 焦点距離24mm以上は制約なし         </li> </ul>
AF-S DX NIKKOR 18–140mm	<ul> <li>焦点距離24mmでは撮影距離1m以上</li> </ul>
f/3.5-5.6G ED VR	<ul> <li>焦点距離35mm以上は制約なし</li> </ul>
AF-S DX VR Zoom-Nikkor	
18–200mm f/3.5–5.6G IF-ED	• 焦点距離24mmでは撮影距離1m以上
AF-S DX NIKKOR 18–200m	• 焦点距離35mm以上は制約なし
f/3.5–5.6G ED VR II	
AF-S DX NIKKOR 18–300mm	● 隹点距離35mm以上では撮影距離1m以上
t/3.5–5.6G ED VR	
AF-S DX NIKKOR 18–300mm	<ul> <li>・ 焦点距離35mm以上は制約なし。</li> </ul>
f/3.5–6.3G ED VR	
AF-S NIKKOR 20mm f/1.8G ED	• 撮影距離1.5m以上
AF Zoom-Nikkor 20–35mm	• 焦点距離24mmでは撮影距離2.5m以上
f/2.8D IF	<ul> <li>焦点距離28mmでは撮影距離1m以上</li> </ul>
	<ul> <li>焦点距離35mmでは制約なし</li> </ul>
AF-S NIKKOR 24mm	<ul> <li>● 撮影距離1m以上</li> </ul>
t/1.4G ED	
AF-S NIKKOR 24–70mm	<ul> <li>焦点距離35mmでは撮影距離1.5m以上</li> </ul>
f/2.8G ED	• 焦点距離50mm以上は制約なし
AF-S VR Zoom-Nikkor	• 焦点距離24mmでは撮影距離1m以上
24–120mm f/3.5–5.6G IF-ED	• 焦点距離28mm以上は制約なし
AF-S NIKKOR 24–120mm	• 焦点距離24mmでは撮影距離1.5m以上
f/4G ED VR	• 焦点距離28mm以上は制約なし

レンズ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
AF-S Zoom-Nikkor 28–70mm f/2.8D IF-ED	<ul> <li>・ 焦点距離35mmでは撮影距離1.5m以上</li> <li>・ 焦点距離50mm以上は制約なし</li> </ul>
AF-S NIKKOR 28–300mm f/3.5–5.6G ED VR	<ul> <li>・ 焦点距離28mmでは撮影距離1.5m以上</li> <li>・ 焦点距離35mmでは撮影距離1m以上</li> <li>・ 焦点距離50mm以上は制約なし</li> </ul>
AF-S VR Zoom-Nikkor 200–400mm f/4G IF-ED	<ul> <li>         ・ 焦点距離200mmでは撮影距離4m以上         ・         ・         たら距離200mmでは撮影距離2m以上         ・         </li> </ul>
AF-S NIKKOR 200–400mm f/4G ED VR II	<ul> <li>         ・ 焦点距離200mmでは撮影距離2.5m以上         ・         ・         焦点距離300mmでは撮影距離2.5m以上         </li> </ul>
PC-E NIKKOR 24mm f/3.5D ED	<ul> <li>アオリ操作をしていない状態で撮影距離 3m以上</li> </ul>

• AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED使用時は、全ての撮影距離でケラレが 発生します。

# 使用できる非CPUレンズ\*1

₹ <b>-</b> ド	フ	フォーカスモード			E-K
געע	AF (オート フォーカス)	フォーカス エイド	MF (マニュアル フォーカス)	М	M以外
AI-S、AI、シリーズ Eレンズ、 AI改造レンズ	×	○*2	0	○*3	×
メディカル 120mm f/4	×	0	0	○*4	×
レフレックスレンズ	×	×	0	○*3	×
PCニッコール	×	○*5	0	○*3	×
AI-S、AIテレコンバー ター ×		○*6	0	○*3	×
ベローズアタッチ メントPB-6 ** <sup>7</sup>	×	○*2	0	○*3	×
オート接写リング (PK-11A、12、13、 PN-11)	×	○*2	0	○*3	×

- ※1 一部装着不可能なレンズがあります(下記参照)。
- ※2 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。
- ※3 露出インジケーターは使用不可。
- ※4 フラッシュ同調シャッタースピードより1段以上低速のシャッタースピード で使用可。露出インジケーターは使用不可。
- ※5 アオリ操作をしていない場合のみ可能。
- ※6 合成絞り値がF5.6以上明るい場合に使用可能。
- ※7 縦位置にして装着してください(装着後、横位置に戻すことは可能です)。

### V 非CPUレンズについてのご注意

- 非CPUレンズ装着時は、撮影モードMで撮影してください。M以外の撮影モードでは、シャッターがきれません。
- 絞り値の設定や確認はレンズの絞りリングで行ってください。
- カメラの露出計は使えません。
- 測光モードは設定できません。
- i-TTLモードでのフラッシュ撮影などの機能は使えません。

### ☑ 使用できない非CPUレンズ

次の非CPUレンズは使用できません。無理に装着しようとすると、カメラやレ ンズを破損しますのでご注意ください。

- AFテレコンバーター TC-16AS
- AI改造をしていないレンズ (AI方式以前の連動爪を使用するタイプ)
- フォーカシングユニットAU-1を必要とするレンズ(400mm f/4.5、600mm f/5.6、800mm f/8、1200mm f/11)
- フィッシュアイ (6mm f/5.6、7.5mm f/5.6、8mm f/8、OP10mm f/5.6)
- 2.1cm f/4
- K2リング
- ED180-600mm f/8 (製品No.174041~174180)
- ED360-1200mm f/11 (製品No.174031~174127)
- 200-600mm f/9.5 (製品No.280001~300490)
- F3AF用 (AF80mm f/2.8、AF ED200mm f/3.5、テレコンバーター TC-16S)
- PC28mm f/4 (製品No.180900以前の製品)
- PC35mm f/2.8 (製品No.851001~906200)
- 旧PC35mm f/3.5
- 旧レフレックス1000mm f/6.3
- ・レフレックス1000mm f/11 (製品No.142361~143000)
- ・レフレックス2000mm f/11 (製品No.200111~200310)

# 外付けのスピードライトについて (別売フラッシュ)

このカメラは、ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピー ドライトとの組み合わせで、さまざまな機能が利用できます。なお、別 売スピードライト装着時は、内蔵フラッシュは発光しません。

## <u>ニコンクリエイティブライティングシステム</u> <u>対応スピードライトについて</u>

	ガイドナンバー(ISO 100・m、20℃)
SB-910*1	34 (昭射角35mm フタンダード配光時)
SB-900*1	
SB-800	38(照射角35mm時)
SB-700 <sup>*1</sup>	28(照射角35mm、スタンダード配光時)
SB-600	30(照射角35mm時)
SB-500*2	24
SB-400 <sup>**3</sup>	21
SB-300*3	18
SB-R200*4	10

- ※1 カメラのホワイトバランスを AUTO(オート)または ↓ (フラッシュ)に設定し、SB-910、SB-900、またはSB-700用カラーフィルターを装着して撮影すると、カメラが自動的にフィルターを識別し、最適なホワイトバランスを設定します。
- ※2 SB-500のLEDライト機能を使用するときは、カメラのホワイトバランスを AUTOまたは4に設定すると、カメラが自動的に最適なホワイトバランスを設 定します。
- ※3 ワイヤレス機能はありません。
- ※4 リモート発光用スピードライト SB-R200 を使用するには、SB-910、SB-900、 SB-800、SB-700、SB-500、またはワイヤレススピードライトコマンダー SU-800が必要です。

## ■ SU-800について

ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800は、ニコンクリエイ ティブライティングシステム対応カメラに装着すると、ワイヤレス でSB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-R200 を制御するコマンダーです。スピードライトを3つのグループに分 けて制御できます。SU-800には発光機能はありません。

### 🖉 ニコンクリエイティブライティングシステム(CLS)について

ニコンクリエイティブライティングシステム(CLS)は、ニコンのスピードライトとカメラのデータ通信方式を改良したシステムで、スピードライト撮影に新たな可能性を開く、さまざまな機能を提供します。詳細はお使いになる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。

#### 🖉 ガイドナンバーとは

ガイドナンバーが34 (ISO感度100、20℃)のスピードライトの場合、ISO感 度が100で絞り値がF5.6なら、34÷5.6=約6.1mまでフラッシュの光が届くこ とになります。また、実効ガイドナンバーはISO感度が2倍になると約1.4倍 ( $\sqrt{2}$ 倍)になります。たとえば、ISO感度が200の場合、絞り値がF5.6なら 34÷5.6×1.4=約8.6mまで光が届きます。

# <u>ニコンクリエイティブライティングシステム</u> <u>対応スピードライトとの組み合わせで使用で</u> <u>きる機能</u>

				SB-910 SB-900 SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300
			i-TTL-BL調光*1	0	0	0	0	—	—	0	0
		i-TTL	スタンダード i-TTL調光	○*2	0	○ *2	0	_	_	0	0
		AA	絞り連動外部 自動調光	○*3	_	_	_	_	_	_	_
Ļ	7	Α	外部自動調光	○*3	—	_	—	—	—	—	—
-	_	GN	距離優先 マニュアル発光	0	0	_	_	_	_	_	_
		М	マニュアル発光	0	0	0	○ *4	_	_	○ *4	() *4
		RPT	リピーティング フラッシュ	0	_	_	_	_	_	_	_
		リモー 光指示	トフラッシュへの発	0	0	_	○ *4	0	_	_	_
ィング		i-TTL	i-TTL調光	0	0	_	○ *4	_	_	_	_
レスライテ	D	[A : B]	クイック ワイヤレス コントロール	_	0	_	_	() *5	_	_	_
トワイヤ	Ĥ	AA	絞り連動外部 自動調光	○*6	_	_	_	_	_	_	_
Ķ		Α	外部自動調光	0	—	—	—	—	—	—	—
J FUC		М	マニュアル発光	0	0	_	⊖ ∗4	_	_	_	_
		RPT	リピーティング フラッシュ	0	—	—	—	—	—		—

				SB-910 SB-900 SB-800	SB-700	SB-600	SB-500	SU-800	SB-R200	SB-400	SB-300
)Ĵ		i-TTL	i-TTL調光	0	0	0	0	—	0	—	—
ライティン		[A : B]	クイック ワイヤレス コントロール	0	0	0	0	_	0	_	_
イヤレス	補助灯	AA	絞り連動外部 自動調光	○*6	_	_	_	_	_	_	_
Г Г		Α	外部自動調光	0	—	-	—	—	—	—	—
K		М	マニュアル発光	0	0	0	0	—	0	—	—
<i>Σ</i> Γ΄		RPT	リピーティング フラッシュ	0	0	0	0	—	—	—	—
発光色温度情報伝達 (フラッシュ)		0	0	0	0	_	_	0	0		
発光色温度情報伝達 (LEDライト)		_	—	_	0	—	—	—	—		
マルチポイントAF補助光		0	0	0	—	○ *7	—	—	—		
赤目軽減発光		0	0	0	0	—	—	0	—		
カメラからの発光モード設定		—	—	—	0	—	—	0	0		
カン ライ	<う; イト	からの; ファー:	スピード ムアップ	○*8	0	_	0	—	—	—	0

- ※1 スポット測光時は設定できません。
- ※2 スピードライト側でも設定できます。
- ※3 AA モードと A モードの選択は、スピードライトのカスタム設定で行います。 また、非CPUレンズを装着した場合はAモードになります。
- ※4 カメラ側でのみ設定できます(口268)。
- ※5 クローズアップ撮影時のみ設定できます。
- ※6 スピードライトのカスタム設定にかかわらず、非 CPU レンズを装着した場合はAモードになります。
- ※7 コマンダー撮影時のみ設定できます。
- ※8 SB-910とSB-900のみカメラからのスピードライトファームアップが可能です。

### 🖉 ホットシューアダプター AS-15

別売のホットシューアダプター AS-15を装着すると、シンクロターミナルが利 用できます。

### ▼ その他のスピードライトとの組み合わせで利用できる機能

- 撮影モードをSまたはMにして1/200秒より遅いシャッタースピードに設定してから撮影してください。
- 次のスピードライトを使用する場合、外部自動調光(A)あるいはマニュアル 発光撮影となります。装着レンズによって機能が変わることはありません。

	スピート	ドライト	SB-80DX/ SB-28DX	SB-50DX*1	SB-28/ SB-26/ SB-25/ SB-24	SB-30/ SB-27*2/ SB-22S/ SB-22/ SB-20/ SB-16B/ SB-15	SB-23/ SB-29*3/ SB-21B*3/ SB-29S*3
	Α	外部自動調光	0	—	0	0	—
尔	м	マニュアル 発光	0	0	0	0	0
M	555	マルチ フラッシュ	0	_	0	_	_
	REAR*4	後幕シンクロ	0	0	0	0	0

- ※1 撮影モードをP、S、A、Mに設定し、内蔵フラッシュを収納した状態にして 内蔵フラッシュが光らないようにしてください。内蔵フラッシュが自動的 に上がって光ることがあるため、その他の撮影モードは使用しないでくだ さい。
- ※2 このカメラと SB-27 を組み合わせると自動的に TTL モードになりますが、 TTLモードでは使えません。SB-27をAモードに設定し直してください。
- ※3 SB-29・21B・29Sでオートフォーカスができるレンズは、AF-S VR Micro-Nikkor 105mm f/2.8G IF-EDとAF-S Micro NIKKOR 60mm F2.8G EDのみです。
- ※4 カメラ側のフラッシュモードで設定してください。

### 🔽 スピードライト使用時のご注意

- 詳細はお使いになる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応のスピードライトの使用説明書にカメラ分類表が記載されている場合は、ニコンクリエイティブライティングシステム対応デジタル一眼レフに該当する箇所をお読みください。なお、このカメラはSB-80DX、SB-28DX、SB-50DXの使用説明書に記載のデジタルー眼レフカメラには該当しません。
- スピードライト装着時は、内蔵フラッシュは発光しません。
- フラッシュモード(ロ94)のAUTO(オート:自動発光)機能は解除され、常に外付けのスピードライトが発光します。
- スピードライトを使うと ③、 図、 ダを除く全ての撮影モードでフラッシュ撮影できます。
- スピードライトSB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、またはワイヤ レススピードライトコマンダーSU-800装着時に外付けスピードライト側で調 光補正をしたときは、インフォ画面に22マークが点灯します。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト使用時には、 i-TTLや外部自動調光モードにおいて、フル発光でも露出不足になる可能性の ある場合に、発光直後にレディーライトをが約3秒間点滅して露出アンダー警告を行います。その他のスピードライトの場合、充電完了表示と露出アンダー 警告は、スピードライト側で確認してください。詳細はお使いになる各スピー ドライトの使用説明書をご覧ください。
- i-TTLモード時のISO感度連動範囲はISO 100~12800相当です。
- 高感度撮影時に一部のスピードライトを使用するとノイズ(すじ)が発生する ことがあります。この場合、ISO感度を下げて撮影してください。
- ISO感度を12800よりも増感した場合には、距離や絞り値によっては適正な発 光量にならない場合があります。
- スピードライトSB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-500、SB-400の使用時に、フラッシュモードが赤目軽減、赤目軽減スローシャッターの場合は、スピードライト側で赤目軽減発光が行われます。
- i-TTLモード時に、調光コードSC-17、SC-28、SC-29を使用してカメラからス ピードライトを離して撮影する場合、スタンダードi-TTL調光以外では適正露 出を得られない場合があります。この場合は、スタンダードi-TTL調光に切り 換えて撮影してください。また、あらかじめテスト撮影を行ってください。
- i-TTL モード時に、発光面に内蔵パネルまたは付属のバウンスアダプター以外の部材(拡散板など)を装着しないでください。カメラ内の演算に誤差が生じ、適正露出とならない場合があります。

- スピードライトSB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、ワイヤレスス ピードライトコマンダーSU-800の使用時に、AF補助光の発光条件が満たされ ると、スピードライト側のAF補助光を自動的に照射します。
- スピードライトSB-910、SB-900のAF補助光は、17~135mmまでのAFレンズ に対応しています。各焦点距離でオートフォーカス可能なフォーカスポイント は、次の図の通りです。

AFレンズの焦点距離が	AFレンズの焦点距離が	AFレンズの焦点距離が	
17mmから19mmの	20mmから105mmの	106mmから135mm	
場合	場合	の場合	

 スピードライトSB-800、SB-600、ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800のAF補助光は、24~105mmまでのAFレンズに対応しています。各集 点距離でオートフォーカス可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです。

AFレンズの焦点距離が	AFレンズの焦点距離が	AFレンズの焦点距離が
24mmから34mmの	35mmから49mmの	50mmから105mmの
場合	場合	場合

スピードライトSB-700のAF補助光は、24~135mmまでのAFレンズに対応しています。各焦点距離でオートフォーカス可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです。





使用するレンズや撮影シーンによっては、オートフォーカスによるピント合わせができずにシャッターがきれなかったり、ピントが合わなくてもピント表示
 (●)が点灯してシャッターがきれることがあります。

### ▶ 他社製フラッシュについてのご注意

他社製のフラッシュ(カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるものや、アク セサリーシュー部の接点をショートさせてしまうもの)を使用しないでくださ い。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびフラッシュ のシンクロ回路を破損することがあります。

# 使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意され ています。詳しくは最新のカタログや当社のホームページなどでご確認 ください。

	<ul> <li>Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a (□26)</li> <li>ニコンデジタルカメラD5500用のバッテリーです。</li> <li>- EN-EL14aの代わりにEN-EL14も使えます。</li> <li>バッテリーチャージャー MH-24<sup>※1</sup> (□26)</li> <li>Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14aおよびEN-EL14</li> </ul>
	用のチャージャーです。 • パワーコネクター EP-5A、ACアダブター EH-5b <sup>※2</sup> ACアダブターを使用すると、長時間カメラを使用するときに
電源	<ul> <li>マテレンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシンシ</li></ul>
	※1 家庭用電源のAC 100~240 V、50/60 Hzに対応しています。 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを 装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらか じめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。
	※2 日本国内専用電源コード(AC 100V対応)付属。日本国外で お使いになるには、別売の電源コードが必要です。
アクセサリー シューカバー	<ul> <li>アクセサリーシューカバー BS-1</li> <li>スピードライトを取り付けるアクセサリーシューを保護する ためのカバーです。</li> </ul>

### 🖉 使用できるアクセサリーについて

- 国または地域によって、販売していない場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

<ul> <li>ボディー         <ul> <li>レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ミラーや撮像素子、ファインダースクリーンなどへのゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。</li> <li>フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィルターをお使いください。</li> <li>カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター (Polar)は使用できません。円偏光フィルター (C-PL、C-PL II)をお使いください。</li> <li>逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。</li> <li>露出倍数のかかるフィルター (Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL (円偏光フィルター)、ND25、ND45、ND4、ND45、ND8、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用する場合、[測光モード](ロ123)を[回](中央部重点測光)にして撮影することをおすすめします。[図](マルチパターン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。</li> </ul> </li> </ul>		• ボディーキャップBF-1B、BF-1A
<ul> <li>キャップ</li> <li>り、ミラーや撮像素子、ファインダースクリーンなどへのゴ ミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。</li> <li>フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィル ターをお使いください。</li> <li>カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター (Polar) は使 用できません。円偏光フィルター (C-PL、C-PL II) をお使い ください。</li> <li>逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、 フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあ ります。このような場合は、フィルターを外して撮影するこ とをおすすめします。</li> <li>露出倍数のかかるフィルター (Y44、Y48、Y52、O56、R60、 X0、X1、C-PL (円偏光フィルター)、ND25、ND45、ND4、 ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用す る場合、[測光モード](CI123)を[@](中央部重点測光) にして撮影することをおすすめします。EII)(マルチパター ン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳 しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意くだ さい。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>	ボディー	レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることによ
<ul> <li>ミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。</li> <li>フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィルターをお使いください。</li> <li>カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター (Polar) は使用できません。円偏光フィルター (C-PL、C-PL II) をお使いください。</li> <li>逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。</li> <li>露出倍数のかかるフィルター (Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL (円偏光フィルター)、ND25、ND45、ND4、ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用する場合、(測光モード)(ロ123)を [@] (中央部重点測光)にして撮影することをおすすめします。[図] (マルチパターン測光) では、充分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>	キャップ	り、ミラーや撮像素子、ファインダースクリーンなどへのゴ
<ul> <li>フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィルターをお使いください。</li> <li>カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター (Polar) は使用できません。円偏光フィルター (C-PL、C-PL II) をお使いください。</li> <li>逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。</li> <li>露出倍数のかかるフィルター (Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL (円偏光フィルター)、ND25、ND45、ND4、ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用する場合、[測光モード](ロ123)を[@](中央部重点測光)にして撮影することをおすすめします。[@](マルチパターン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		ミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。
<ul> <li>ターをお使いください。</li> <li>カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター (Polar) は使用できません。円偏光フィルター (C-PL、C-PL II) をお使いください。</li> <li>逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。</li> <li>露出倍数のかかるフィルター (Y44、Y48、Y52、O56、R60、X0、X1、C-PL (円偏光フィルター)、ND25、ND45、ND4、ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用する場合、(測光モード)(ロ123)を[@](中央部重点測光)にして撮影することをおすすめします。[@](マルチパターン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		<ul> <li>フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィル</li> </ul>
<ul> <li>カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター (Polar) は使用できません。円偏光フィルター (C-PL、C-PL II) をお使い ください。</li> <li>逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、 フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあ ります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。</li> <li>露出倍数のかかるフィルター (Y44、Y48、Y52、O56、R60、 X0、X1、C-PL (円偏光フィルター)、ND25、ND45、ND4、 ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12) を使用す る場合、[測光モード] (CD123) を [@] (中央部重点測光) にして撮影することをおすすめします。[図] (マルチパター ン測光) では、充分な効果が得られない場合があります。詳 しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意くだ さい。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		ターをお使いください。
<ul> <li>用できません。円偏光フィルター(C-PL、C-PL II)をお使い ください。</li> <li>逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、 フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあ ります。このような場合は、フィルターを外して撮影するこ とをおすすめします。</li> <li>露出倍数のかかるフィルター (Y44、Y48、Y52、O56、R60、 X0、X1、C-PL (円偏光フィルター)、ND25、ND45、ND4、 ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用す る場合、[測光モード](CI123)を[@](中央部重点測光) にして撮影することをおすすめします。[図](マルチパター ン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳 しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意くだ さい。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		• カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター(Polar)は使
<ul> <li>マにとい。</li> <li>逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、 フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあ ります。このような場合は、フィルターを外して撮影することをおすすめします。</li> <li>露出倍数のかかるフィルター (Y44, Y48, Y52, O56, R60, X0, X1, C-PL (円偏光フィルター)、ND25, ND45, ND4, ND85, ND8, ND400, A2, A12, B2, B8, B12)を使用す る場合、[測光モード](ロ123)を[回](中央部重点測光) にして撮影することをおすすめします。[回](中央部重点測光) にして撮影することをおすすめします。[回](マルチパター ン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳 しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意くだ さい。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		用できません。円偏光フィルター(C-PL、C-PL I)をお使い
<ul> <li>・ 逆光撮影や、神度の高い光源を回面に入れて撮影する場合は、 フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあ ります。このような場合は、フィルターを外して撮影するこ とをおすすめします。</li> <li>・ 露出倍数のかかるフィルター (Y44、Y48、Y52、O56、R60、 X0、X1、C-PL (円偏光フィルター)、ND25、ND45、ND4、 ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用す る場合、[測光モード](ロ123)を[@](中央部重点測光) にして撮影することをおすすめします。[@](マルチパター ン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳 しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>・ 特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意くだ さい。</li> <li>・ Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		
<ul> <li>フィルターにようと画家上にユーストが完全するあぞれがあ ります。このような場合は、フィルターを外して撮影するこ とをおすすめします。</li> <li>露出倍数のかかるフィルター(Y44、Y48、Y52、O56、R60、 X0、X1、C-PL(円偏光フィルター)、ND25、ND45、ND4、 ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用す る場合、[測光モード](口123)を[回](中央部重点測光) にして撮影することをおすすめします。[図](マルチパター ン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳 しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意くだ さい。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		<ul> <li>・ 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、</li> <li>・ マーム・によって売ぬしにゴースしば窓佐まるわざま</li> </ul>
<ul> <li>フィルター</li> <li>・露出倍数のかかるフィルター (Y44, Y48, Y52, O56, R60, X0, X1, C-PL (円偏光フィルター)、ND25, ND45, ND4, ND85, ND8, ND400, A2, A12, B2, B8, B12) を使用する場合、(測光モード)(ロ123)を[回](中央部重点測光)にして撮影することをおすすめします。[図](マルチパターン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>・特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> <li>・Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		ノイルターにようて画像上にコーストが発生するのでれかの
<ul> <li>マィルター</li> <li>・露出倍数のかかるフィルター (Y44, Y48, Y52, O56, R60, X0, X1, C-PL (円偏光フィルター)、ND25, ND45, ND4, ND85, ND8, ND400, A2, A12, B2, B8, B12)を使用する場合、(測光モード) (口123)を [回](中央部重点測光) にして撮影することをおすすめします。[回](マルチパターン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>・特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> <li>・Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		リまり。このような場合は、ノイルターを外して撮影することをおすすめします
<ul> <li>・ 諸品におびのからり、パンペートは、「シス・ひろふ、ND4、 X0、X1、C-PL(円偏光フィルター)、ND25、ND4、ND8、ND8、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用する場合、「測光モード」(ロ123)を「回」(中央部重点測光) にして撮影することをおすすめします。「回」(マルチパター ン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳 しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>・特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意くだ さい。</li> <li>・ Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>	フィルター	● 露出倍数のかかるフィルター(Y44 Y48 Y52 ○56 B60
<ul> <li>NC NR CTE (1)協力ション(ND2)(ND2)(ND2)(ND2)(ND2)(ND2)(ND2)(ND2)</li></ul>	24702	X0 X1 C-PI (円偏光フィルター) ND2S ND4S ND4
<ul> <li>(内しな、内と、内と、ひ、して、かと、もの、して、かし、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して、して</li></ul>		NID85 NID8 NID400 42 412 B2 B8 B12) 友佳田す
<ul> <li>はめして「ト」(は)(モート)(は)(モース時間(モース時間)(マルチパター))にして撮影することをおすすめします。[図](マルチパターン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		ス坦今 「測米エード」(□123) 友 [□] (巾中部重占測米)
<ul> <li>ン測光)では、充分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		「こして撮影することをおすすめします」「 <b>図」(アルチパター</b>
<ul> <li>・ ドレスは、フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>・ 特殊フィルターの使用説明書をご覧ください。</li> <li>・ 特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスやフォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> <li>・ Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		<b>ン測光</b> )では 充分な効果が得られない提合があります 詳
<ul> <li>・特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意くだ さい。</li> <li>Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		しくは、フィルターの使用説明書をご覧ください。
<ul> <li>・ マォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意ください。</li> <li>・ Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		<ul> <li>         ・ 性砕フィルターなどを使用する提合け、オートフォーカフや     </li> </ul>
<ul> <li>・ Camera Control Pro 2 パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注音くだ
<ul> <li>Camera Control Pro 2</li> <li>パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。</li> </ul>		さい。
パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、 撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。		Camera Control Pro 2
撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ ントロール用ソフトウェアです。		パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、
ントロール用ソフトウェアです。		撮影した画像を直接パソコンへ保存したりできる、カメラコ
		ントロール用ソフトウェアです。
<ul> <li>・ソフトウェアは、必ず最新版にバージョンアップしてお使い</li> </ul>		• ソフトウェアは、必ず最新版にバージョンアップしてお使い
	ニコノテシタル	ください。ご使用のパソコンがインターネットに接続されて
いる場合、OSログオン後に所定時間を経過すると、Nikon	リメフ専用	いる場合、OSログオン後に所定時間を経過すると、Nikon
Message Center 2はソフトウェアの更新情報などを確認し	))[)]	Message Center 2はソフトウェアの更新情報などを確認し
ます(初期設定)。更新情報がある場合は、「通知の画面」が		ます(初期設定)。更新情報がある場合は、「通知の画面」が
自動的に表示されます。		自動的に表示されます。
• 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報		• 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報

	<ul> <li>アイピースキャップDK-5 (ロ78)</li> </ul>
	カメラの接眼部に取り付けると、適正露出や画像に影響を与
	える接眼部からの逆入射光を防ぎます。
	<ul> <li>接眼補助レンズDK-20C</li> </ul>
	遠視、近視の方のための補助レンズで、接眼部に差し込むだ
	けで簡単に取り換えることができます。-5、-4、-3、
	-2、0、+0.5、+1、+2、+3m-1の9種類が用意されてい
	ますが、いずれもこのカメラの視度調節ダイヤルが基準位置
	(-1m-1)の場合の値です。視度補正は個人差が大きいので
	店頭で実際に取り付けてお選びください。このカメラには視
ファインダー田	度調節機能が付いています(-1.7~+0.5m <sup>-1</sup> )ので、この
ファインタール	範囲外の視度補正が必要なときにお使いください。なお、接
77699-	眼補助レンズを使用している場合は、接眼目当ては使用でき
	ません。
	• マグニファイヤー DG-2 <sup>※1</sup>
	ファインダー中央部の像を拡大します。より厳密なピント合
	わせが必要なときに使用します。
	• アイピースアダプター DK-22 <sup>※2</sup>
	上記DG-2を取り付けるためのアダプターです。
	• 角窓用変倍アングルファインダー DR-6 <sup>※1、2</sup>
	カメラの接眼部に取り付けると、撮影レンズと直角の方向(水
	平方向に向けたカメラの真上など)からファインダー内の画
	像を確認できます。
USB/	• USBケーブルUC-E23、UC-E6 (皿216、219)
オーディオ	USBケーブルUC-E23は、単体では販売しておりません。
ビデオ出力端子	UC-E6をお買い求めください。
	• オーディオビデオケーブルEG-CP16
HDMIケーブル	● HDMIケーブルHC-E1
((() 227)	カメラ側がType C、HDMI機器側がType AのHDMIケーブル
(~~~~~~~~~~ (~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	です。
外部マイク	• ステレオマイクロホンME-1 (□181)

※1 装着時には、カメラのアイセンサーが適切に反応しないため、必要に応じて、 セットアップメニューの[インフォ画面の自動消灯](□288)を[しない] に設定してください。

※2 装着時には、カメラの液晶モニターを回転できません。

アクセサリー ターミナル	<ul> <li>アクセサリーターミナルに次のアクセサリーを接続することができます。</li> <li>ワイヤレスリモートコントローラーWR-R10(□108、292)</li> <li>ワイヤレスリモートコントローラーWR-R1(□108、292)</li> <li>ワイヤレスリモートコントローラーWR-1(□108、292)</li> <li>GPSユニットGP-1/GP-1A(□293)</li> <li>図のようにアクセサリーター</li> <li>ミナルのトマークとコネク</li> <li>ターの </li> <li>マクを合わせて、</li> <li>コネクターをアクセサリー</li> <li>ターミナルに接続します。</li> </ul>
	使用しないときは、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミ等 が入ると、誤作動の原因となることがあります。
リモコン/ ワイヤレス リモートコント ローラー	<ul> <li>リモコンML-L3 (□106) リモコン用電池 (CR2025型3Vリチウム電池)の交換方法</li> <li>①</li> <li>②</li> <li>②</li> <li>③</li> <li>③</li> <li>③</li> <li>③</li> <li>⑤</li> <li>⑤</li> <li>電池室のノブを右側に押しながら(①)、隙間に爪などを差し 込んで手前に引き出して(②)ください。リチウム電池を入 れる際は、「+」と「-」の向きをよくご確認ください(④)。</li> <li>ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10をカメラのアク セサリーターミナルに装着すると、ワイヤレスリモートコント ローラー WR-T10からの操作で無線での遠隔撮影を行えます。</li> <li>ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10を加メラのアク セサリーターミナルに装着すると、ワイヤレスリモートコント ローラー WR-T10からの操作で無線での遠隔撮影を行えます。</li> <li>ワイヤレスリモートコントローラー WR-1(□108、292) WR-1は、他のWR-1やWR-R10またはWR-T10と組み合わせ て、送信機または受信機として使います。たとえば、受信機 に設定したWR-1をカメラのアクセサリーターミナルに取り 付けると、送信機に設定したWR-1からの操作で、遠隔撮影す ることができます。</li> </ul>

# <u>推奨SDカード</u>

次のSDカードの動作を確認しています。

		SD	SDHC	SDXC				
		メモリーカード	<b>、モリーカード メモリーカード*2 メ</b>					
Sa	nDisk製	2 GB*1	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	64 GB、128 GB				
東	芝製	—	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	64 GB				
Panasonic製		2 GB*1	4 GB、6 GB、8 GB、 12 GB、16 GB、 24 GB、32 GB	48 GB、64 GB				
LEXAR MEDIA社製		2 GB*1	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	_				
	プラチナⅡシリーズ	—	8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB				
	プロフェッショナル シリーズ	—	8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB、128 GB、 256 GB				
	フルHDビデオ カードシリーズ	_	4 GB、8 GB、16 GB	_				

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応 している必要があります。

- ※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使い の機器がSDHC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規 格に対応しています。
- ※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなど をお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応 している必要があります。このカメラは、UHS-I規 格に対応しています。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- •SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、SDカード メーカーにご相談ください。その他のメーカー製のSDカードにつきま しては、動作の保証はいたしかねます。
- 352 資料

# <u>カメラとパワーコネクター、ACアダプターの</u> 接続方法

カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する前に、カメラ本体の電源をOFFにしてください。

 カメラのバッテリー室 カバー(①)とパワー コネクターカバー(②) を開ける



**2** パワーコネクター EP-5Aを入れる

- パワーコネクターは、接点の向きに注 意しながら入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバー をパワーコネクター側面で押しながら、 パワーコネクターを奥まで入れてくだ さい。



## 3 カメラのバッテリー室 カバーを閉じる

 パワーコネクターのコード がパワーコネクターカバー を開けた部分から出るよう に注意して、バッテリー室 カバーを閉じます。



## 4 パワーコネクターとACアダプター EH-5bを接続する

- 電源コードのACプラグを、ACアダプターのACプラグ差し込み口 に差し込みます(③)。
- パワーコネクターのDCプラグコネクターにACアダプターのDC プラグを差し込みます(④)。
- ・パワーコネクターとACアダプターの使用時には、液晶モニター 上のバッテリー残量表示が-●に変わります。



# カメラのお手入れについて

# 保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してくだ さい。

カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- •温度が50℃以上、または-10℃以下の場所

## <u>クリーニングについて</u>

カメラ本体	ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭 きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせ た布で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意:カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障 の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となります のでご注意ください。
レンズ・ ミラー・ ファインダー	ガラスは傷つきやすいので、ほこりや糸くすをブロアーで払い ます。スプレー缶タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いく ださい(中の液体が気化されずに吹き出し、レンズ・ミラー・ ファインダーを傷つけることがあります)。指紋や油脂などの汚 れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、ガラスを 傷つけないように注意して拭きます。
液晶モニター	ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れ は、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭 くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意くだ さい。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

# カメラ内部のお手入れについて

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子前面にゴミやほこりが付くと、 画像に影が写り込むことがあります。イメージセンサークリーニングを 作動させると、撮像素子前面のゴミをふるい落とすことができます。 イメージセンサークリーニングは、メニューから操作する方法と、電源 のON/OFF時に自動的に行う方法があります。

## ■ セットアップメニューの【イメージセンサー クリーニング】から操作する

- 効果的にゴミをふるい落とせるように、カメラを正位置(横位置で構えるときの向き) にしてください。
- セットアップメニューの[イメージセン サークリーニング]を選び、[実行]を選ん で®ボタンを押すと、イメージセンサーク リーニングが開始されます。実行中は、ファ インダー内に**占5**岁が点滅し、撮像素子の チェックも行われます。
- イメージセンサークリーニング実行中 は、カメラの操作はできません。バッテ リーやACアダプターを取り外さないでく ださい。
- クリーニングが完了すると、セットアップ メニュー画面に戻ります。





■ 電源ON/OFFのタイミングでイメージセンサー クリーニングする

- **1** [イメージセンサークリーニング] の [電源スイッチに連動] を選ぶ
  - [電源スイッチに連動]を選んでマルチ セレクターの③を押します。



**2** イメージセンサークリーニングの方 法を選ぶ

- 「電源ONで実行」、「電源OFFで実行」、
   「電源ONとOFFで実行」のいずれかを 選ぶと、電源のON/OFFのタイミング でイメージセンサークリーニングが作 動します。
- ・ ボタンを押して設定します。



### ▼ イメージセンサークリーニングについてのご注意

- 完全にゴミを取り除けないことがあります。そのときは、撮像素子前面を市販のブロアーで掃除する(四358)か、ニコンサービス機関にご相談ください。
- 電源スイッチに連動してイメージセンサークリーニングが作動しているとき
   にカメラを操作すると、イメージセンサークリーニングは中断します。
- イメージセンサークリーニングを連続して行うと、内部の回路を保護するため、一時的に作動しなくなる場合があります。少し時間をおくと再び作動するようになります。

## ■ 撮像素子前面をブロアーで掃除する

イメージセンサークリーニング(口356)でゴミやほこりを取りきれないときは、撮像素子前面を次の手順でクリーニングできます。ただし、カメラ内部の撮像素子は非常に傷つきやすいため、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。 クリーニング中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテ

クリーニンク中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテ リーをお使いください。

## 1 カメラの電源をOFFにしてからレンズを取り外す

•レンズを取り外したら、カメラの電源をONにしてください。

## 2 セットアップメニューで [クリーニ ングミラーアップ]を選んでマルチ セレクターの③を押す

 セットアップメニューの[クリーニン グミラーアップ]を選んで、マルチセレクターの③を押します。
 ※バッテリー残量が (二)以下の場合、このメニュー項目は操作できません。

# 3 のボタンを押す

 右のようなメッセージが表示され、ク リーニングミラーアップの待機状態に なります。



クリーニングミラーアップ

開始

### 4 シャッターボタンを全押しする

 ミラーが上がり、シャッターが開いた 状態になります。



## 5 カメラの内部に光が当たるようにカ メラを持ち、ゴミやほこりが付いて いないかどうかを点検する

- ゴミやほこりが付いていない場合は、
   手順7にお進みください。
- 6 撮像素子前面に付いたゴミやほこり をブロアーで払う
  - ブラシの付いていないブロアーをお使いください。ブラシで撮像素子の表面に傷が付くことがあります。



ブロアーで取り除けない汚れがある場合
 は、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。
 絶対に、手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。

**7** カメラの電源をOFFにし、付属のボディーキャップを 付ける

ミラーがダウンしてシャッター幕が閉じます。

### 🔽 クリーニング中のシャッター幕の破損を防ぐために

カメラのシャッター幕は非常に破損しやすい部品です。シャッター幕はカメラ に電源の供給がなくなると、自動的に閉じる構造になっています。クリーニン グ中に不意にシャッター幕が閉じて破損することを防ぐために、次の点にご注 意ください。

- クリーニング中に電源をOFFにしないでください。
- クリーニング中にバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。
- ミラーアップ中にバッテリー残量が少なくなった場合、電子音が鳴り、セルフ タイマーランプが点滅してお知らせします。約2分経過するとシャッター幕が閉 じてミラーがダウンするので、ただちにクリーニング作業を終了してください。

### 資料 359

### 🔽 撮像素子前面に付着するゴミなどについて

撮像素子前面には、カメラからレンズまたはボディーキャップを取り外した際 に外部からカメラ内に入ったゴミや、まれにカメラ内部の潤滑剤や細粉などが 付着することがあり、撮影条件によっては撮像素子前面に付着したゴミや潤滑 剤、細粉などが撮影画像に写り込む場合があります。カメラ内へのゴミの侵入 を防止するため、ほこりの多い場所でのレンズ交換やボディーキャップの着脱 は避け、カメラ本体のマウント部およびレンズのマウント部、ボディーキャッ プのゴミを除去してからカメラに取り付けてください。レンズを外してカメラ を保管するときは、必ず付属のボディーキャップを装着してください。撮像素 子前面に付着したゴミなどをイメージセンサークリーニング(口356)で取り 除ききれないときは、358ページの手順でクリーニングしていただくか、ニコン サービス機関にクリーニングをお申し付けください。なお、ゴミの写り込みは、 画像加工アプリケーションなどで修正できます。

#### ✓ 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1~2年に1度は定期点検を、3~5年に1度はオー バーホールすることをおすすめします(有料)。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども 併せて点検依頼されることをおすすめします。

# カメラとバッテリーの取り扱い上の ご注意

## カメラの使用上のご注意

#### ● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃 や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

#### ● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりする と部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になるこ とがあります。

#### ● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故 障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度にな じませてからお使いください。

#### ● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録 データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないこと があります。

#### ● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでくだ さい。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。ま た、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

#### ● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾 いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たら した柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾 かしてください。

#### ● ミラーやレンズの手入れ方法について

ミラーやレンズは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロ アーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのプロアーの場 合、スプレー缶を傾けずにお使いください(中の液体が気化されずに吹き出し、ミ ラーやレンズを傷つける場合があります)。レンズに万一指紋などが付いてしまっ た場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き 取ってください。

#### ● 撮像素子前面の手入れ方法について

撮像素子前面のクリーニングの方法については四356をご覧ください。

#### ●シャッター幕に触れない

シャッター幕は非常に薄いため、押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹く などは、絶対にしないでください。傷や変形、破損などの原因となります。

#### ● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管して ください。防虫剤があるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車 内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因に なります。

#### ● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護する ために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、 カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただ し、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてくださ い。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤(シリ カゲル)は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラ を長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるの で、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

#### ● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外 すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行 わないでください。

#### ● 液晶モニターについて

- モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効 ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、 常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一部存在することが ありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。 あらかじめご了承ください。
- ・
   を外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、ロに入ったりしないよう、充分ご注意ください。

#### ● モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干渉して起きる現象で、連続するパ ターンのある画像(建物の格子や格子模様、格子状に並んだビルの窓など)や、規 則的に繰り返す細かい模様を持つ被写体(カーテンレースの網目や衣類など)を撮 影したときに発生することがあります。

モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、撮影距離を変える、ズームレンズ をご使用の場合はズーミングして焦点距離を変える、被写体に対する角度を変えて 撮影する、などの方法をおすすめします。

# バッテリーの使用上のご注意

お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(口 xii~xviii)をお読みになり、記載 事項をお守りください。

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
  - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
  - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので 注意する。
  - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
  - 必ず指定のバッテリーを使う。
  - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
  - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下が るのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充 電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性 能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態でカメラから取り外し、涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃~25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する 場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼し いところで保管してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは0℃~40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。
   バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。
- 周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- ・バッテリーの温度が0℃~15℃、45℃~60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。

#### ● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル 充電されていません。

#### ● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域に よってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する 低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意し て暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使え なかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

#### ● バッテリーの残量について

- 電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFF を繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。電池残量が なくなったバッテリーは、充電してお使いください。
- 充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリーをお求めください。

#### ● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

#### ● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るため に、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお 持ちください。



数字の有無と数値は、電池に よって異なります。

## チャージャーの使用上のご注意

- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず 充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- チャージャーを使用しないときは、チャージャーをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャー MH-24に対応していないバッテリーは、バッテリー チャージャー MH-24で充電しないでください。

# 撮影モードによって設定に制限がある 機能一覧

		AUTO	٤	P S A M	22 70 70 71	▲ < ■ % ■ 4 ● 0 ●	26	VI Pop	Ø	Ð	<b>1</b>	67	X Hi Lo
	ISO感度	_	_	~	✔ *1	✔ *1	_	✔ *1	✔ ※1	✔ *1	✔ ※1	✔ *1	✔ *1
	ホワイトバランス	-	-	~	-	-	-	-	-	-	-	-	—
I	ピクチャーコントロール	-	-	~	_	-	-	-	-	-	-	-	-
L I X	アクティブD-ライティング	- *2	- *2	~	- *2	- *2	_	_	- *2	_	_	-	_
謆	HDR(ハイダイナミックレ ンジ)	_	_	r	_	_	_	_	_	-	_	-	_
	長秒時ノイズ低減	~	~	~	~	~	-	V	V	~	~	~	~
	高感度ノイズ低減	~	~	~	~	~	-	~	V	~	~	~	~
	ファインダー撮影時の フォーカスモード	~	~	~	~	~	-	~	~	~	~	~	~
	ファインダー撮影時のAFエ リアモード	~	r	~	~	~	_	~	~	~	_	~	~
运	ライブビュー /動画撮影時の フォーカスモード	~	r	~	~	~	r	~	~	~	~	~	~
夏連の設	ライブビュー /動画撮影時の AFエリアモード	-	-	r	~	~	✔ *3	~	✔ *3	✓ *3	-	✔ *3	~
長期	測光モード	-	-	~	-	-	-	-	-	-	-	-	-
щ.	オートブラケティング	-	-	~	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調光補正	-	-	~	~	~	-	-	-	-	-	-	-
	露出補正	—	-	~	~	~	~	-	-	-	—	-	—
	フラッシュモード	~	-	~	✔ *4	_	-	~	~	~	-	-	_

		AUTO	•	P S A M	22 70 77 77 71		23	VI Pop	Ð	Ð	<b>1</b>	5×9	X Hi Lo
	a3:内蔵AF補助光の 照射設定	~	~	~	✔ *5	✔ *6	-	~	~	~	_	~	~
	e1:内蔵フラッシュ発光/ 外付けフラッシュ発光	-	-	~	-	-	-	_	-	-	_	_	_
カスぐ	e2:オートブラケティング のセット	_	_	~	_	_	_	_	_	_	_	-	_

※1 [感度自動制御] は設定できません。

※2 アクティブD-ライティングは、常に [オート] になります。

※3 ターゲット追尾AFには設定できません。

※4 撮影モードが¶のときは設定できません。

- ※5 撮影モードがいのときは設定できません。
- ※6 撮影モードが ◊、 ♀、 ♀のときのみ設定できます。

### ☑ 撮影モードによって設定に制限がある機能について

上記以外にも、組み合わせによっては設定できない機能があります。

# 困ったときは

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

## 電源・表示関連

● 電源ONの状態で、カメラの操作ができない

- 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
- 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
   電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
   ACアダプター使用時は付け直してください。
  - 記録中であったデータは保存されません。
  - 保存済みのデータはバッテリーや AC アダプターの取り外しでは失われません。

#### ● ファインダー内がはっきり見えない

- ファインダー内の見え方は、視度調節ダイヤルを回して調節できます(□32)。
- 視度調節しても被写体がはっきり見えない場合は、フォーカスモード(ロ79) を [AF-S]、AFエリアモード(ロ83)を [[11] (シングルポイントAF)に 設定します。次に、中央のフォーカスポイントを選んで、コントラストの高 い被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。その状態で被写体が最 もはっきり見えるように調節してください。
- 視度調節ダイヤルの範囲を超える補正が必要な場合は、別売の接眼補助レンズをお使いになることをおすすめします(□350)。

#### ● ファインダー内が暗い

バッテリー残量は充分ですか? バッテリーが入っていない場合や、入っていても残量がない場合は、ファインダー内が暗く表示される場合があります (皿26、28)。

#### ● ファインダー内や液晶モニターの表示が、すぐに消えてしまう

カスタムメニュー c2 [**パワーオフ時間**] で、表示が消えるまでの時間を設定できます(ロ262)。

#### ● インフォ画面が表示されない

- シャッターボタンの半押し中はインフォ画面は表示されません。
- シャッターボタンを半押しして指を放してください。それでもインフォ画面 が表示されない場合は:
  - セットアップメニューの [**インフォ画面の自動表示**] が [**しない**] になって います (<sup>11288</sup>)。
  - バッテリー残量がありません(□26、33)。
  - アイセンサーによるインフォ画面の自動消灯が作動しています(0288)。

● ファインダー内の表示が薄い、表示が遅い 低温や高温のときは液晶表示の濃度が変わったり、応答速度が遅くなることが あります。

●ファインダー内に線や模様が見える 液晶の特性上、フォーカスポイントなどから外側に延びる細い線が見えたり、 フォーカスポイントを照明するときにファインダー内が赤くなることがありま すが、いずれも故障ではありません。

## 撮影関連(全撮影モード共通)

● 電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる SDカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間 がかかる場合があります。

#### シャッターがきれない

- ・残量のあるSDカードが入っていますか?(□28、33)
- SDカードがロックされていませんか? (□35)
- 内蔵フラッシュの充電中はシャッターがきれません (□ 44)。
- ピント表示(●)は点灯していますか?(□39)
- レンズの絞りリングは最小絞り(最も大きい値)になっていますか?(□331)
- CPUレンズが装着されていますか?非CPUレンズは撮影モードM以外ではお 使いになれません(四338)。
- セットアップメニュー [カードなし時レリーズ] が [レリーズ禁止] になっていませんか?(ロ291)

● 連続撮影できない

内蔵フラッシュが発光する場合は、連続撮影できません(ロ75)。

● ファインダーで見た視野と、撮影される画像の範囲が違う このカメラのファインダー視野率は上下左右とも約95%です。このため、ファ インダーで見た視野よりも、やや広い範囲が撮影されます(□386)。

#### ピントが合わない

が細かい

- AF-Sレンズ、AF-Iレンズ以外の場合、オートフォーカス撮影はできません。
- 次のような被写体では、オートフォーカスではピントが合わせづらい場合が あります。マニュアルフォーカス、フォーカスロックを利用して撮影してく ださい(ロ86、88)。
   明暗差がはっきりしない/遠くのものと近くのものが混在する/連続した繰り 返しパターン/輝度差が著しく異なる/背景に対して主要被写体が小さい/絵柄
- フォーカスモードが [MF] (マニュアルフォーカス) になっていませんか? (ロ79、166)

● フォーカスポイントを選べない

- [AFエリアモード] が [[=]] (オートエリアAF) のときは、選べません (□83)。
- 半押しタイマーがオフになっていませんか?フォーカスポイントを選ぶには、シャッターボタンを半押しして半押しタイマーをオンにしてください(<sup>(143)</sup>)。

● AFエリアモードを変更できない

フォーカスモードが [**MF**] (マニュアルフォーカス) になっていませんか? (<sup><sup>1</sup></sup>(<sup>1</sup>)</sup>(<sup>1</sup>), 166)
### ● AF補助光ランプが光らない

- 次の場合、AF補助光を照射しません。
  - ファインダー撮影時の [フォーカスモード] が [AF-C] または [AF-A] で 自動的に [AF-C] が選ばれたとき (ロ79)
  - ライブビュー /動画撮影時
  - オートエリアAF以外のAFエリアモードで中央以外のフォーカスポイントが 選択された場合(ロ83、85)
- カスタムメニューa3 [内蔵AF補助光の照射設定] が [しない] になっていませんか?(ロ259)
- AF補助光ランプを連続して使うと、保護機能が働いて一時的に照射が制限されます。少し時間をおくと再び照射するようになります。また、短時間に何回も使うと、AF補助光ランプが熱くなることがあるのでご注意ください。

● 画像サイズを変更できない 「画質モード」が「RAW」のときは、画像サイズを変更できません(□92)。

● 画像の記録に時間がかかる

- 連続撮影が終了しても、SDカードの性能や撮影条件によっては、最大で1分間 程度、SDカードアクセスランプが点灯し続ける場合があります(□□40)。
- •撮影メニュー [長秒時ノイズ低減] が [する] になっていませんか? (四253)

### ● 画像がざらつく

- ISO感度が高くなっていませんか?撮影メニュー [高感度ノイズ低減]を[強め]、[標準]、[弱め]のいずれかに設定すると、ざらつきを低減できます(ロ253)。
- アクティブ D- ライティングを設定していませんか?撮影シーンによっては、 ざらつきが強調される場合があります(ロ131)。

### ● リモコンの送信ボタンを押しても撮影できない

- リモコンの電池残量はありますか?(□351)
- リモコンモードに設定されていますか?(□106)
- •フラッシュの充電中は、シャッターがきれません(ロ108)。
- 送信ボタンを押す前にカスタムメニューc4 [リモコン待機時間 (ML-L3)] で 設定した時間を過ぎると、リモコンモードはリセットされます(ロ263)。
- 極端な逆光状態などでは、リモコン撮影ができない場合があります。

● レリーズモードが変更できない ファインダーをのぞくなどしてアイセンサーが反応し、液晶モニターが消灯し ているときは、レリーズモードを変更できません(□73)。

- 電子音が鳴らない
  - セットアップメニュー [電子音] の [電子音設定] が [無効] になっていま せんか? (□286)
  - レリーズモードが [回] (静音撮影) になっていませんか? (四76)
  - ファインダー撮影時のフォーカスモードが [AF-C] のとき、または [AF-A] で 自動的に [AF-C] が選ばれたとき、[MF] (マニュアルフォーカス) のときは電 子音は鳴りません (ロ79)。
  - 動画撮影中は電子音は鳴りません(□175)。

### ● 画像にゴミが写り込む

- レンズの前面または背面(マウント側)が汚れていませんか?
- 撮像素子前面にゴミが付着していませんか?イメージセンサークリーニング を行ってください(四356)。

### ● 日付写し込みができない

RAWを含む画質モードに設定されていませんか? (0092、265)

#### ● 動画に音声が録音されない

撮影メニュー [動画の設定]の [録音設定] が [録音しない] になっていませんか? (□181)

#### ● ライブビュー表示中にノイズが発生する

長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生する場合があります。撮影時以外 は、ライブビューを終了してください。

### ● ライブビューが開始されなかったり、自動的に終了する

- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、カメラは自動的に動画撮影を終了することがあります。
  - 撮影時の気温が高い場合
  - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
  - 連続撮影を行った直後など
- カメラが熱くなってライブビューまたは動画撮影を開始できない場合は、カ メラ内部の温度が下がるまでライブビューおよび動画撮影を一時休止してく ださい。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障で はありません。

● ライブビュー表示中や動画撮影時に画面にちらつきや横縞が生じる セットアップメニュー [フリッカー低減]の設定を、カメラをお使いになる地 域の電源周波数に合わせてください(□291)。

● ライブビュー表示中や動画撮影時に横帯状の明るい部分が生じる 撮影している周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミ ネーションなどの点滅する光源がある場合には、画面の一部が明るくなったり、 明るい横帯が発生することがあります。

● 選択または設定できないメニュー項目がある 撮影モードによっては、設定できない機能があります。この場合、その項目は 選べません(□366)。

# 撮影関連(撮影モードP、S、A、M)

シャッターがきれない

- CPUレンズが装着されていますか?非CPUレンズは撮影モードM以外ではお 使いになれません(ロ338)。
- 撮影モードMでシャッタースピードをBulbまたはTimeに設定し、そのまま撮 影モードをSに変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影し てください(ロ115)。
- WBブラケティング撮影時に撮影コマ数が記録可能コマ数より多い場合、ファインダー内の記録可能コマ数表示が点滅し、シャッターがきれません。新しいSDカードに交換してください。

#### ● 設定できるシャッタースピードの範囲が狭い

- フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます(ロ98)。
- 撮影メニュー [動画の設定]の [動画のマニュアル設定]が [する]のときは、フレームレートによってシャッタースピードは制限されます(四182)。

#### ● 設定したい絞り値が選べない

設定できる最小絞り、開放絞りはレンズによって異なります。

### ● 画像の色合いがおかしい

- ホワイトバランスは正しく設定されていますか?(ロ136)
- ピクチャーコントロールは正しく設定されていますか?(ロ152)

● ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない 被写体が明るすぎるか、暗すぎます(□143)。

### ● ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータとして設定できない画像が ある

この機種以外のカメラで撮影した画像は、プリセットマニュアルデータとして 設定することはできません(四145)。

### ● ホワイトバランス(WB) ブラケティング撮影ができない

RAWまたはRAWを含む画質モードの場合、ホワイトバランスブラケティング撮 影はできません(<sup>11</sup>92、147)

### ● [ピクチャーコントロール] の効果が安定しない

[ビクチャーコントロール]、[カスタムピクチャーコントロール]の調整画面で、 [輪郭強調]、[明瞭度]、[コントラスト]、[色の濃さ(彩度)]のいずれかが[A] (オート)に設定されています。ピクチャーコントロールの効果を一定にするに は、これらの項目を[A](オート)以外に設定してください(ロ156)。

### ● 測光モードが変更できない AFロック中は測光モードを変更できません(□125)。

#### ● 露出補正ができない

撮影モードがMの場合、露出補正を行っても、露出インジケーターの基準値が 変わるだけで、シャッタースピードと絞り値は変化しません(四128)。

### ● 画像の一部が赤っぽくなる

シャッタースピードをBulb (バルブ)またはTime (タイム)にした場合など、 長時間露出で撮影すると、画像の一部が赤っぽくなることがあります。この現 象は、撮影メニュー [**長秒時ノイズ低減**]を [**する**] に設定することで低減で きます (<sup>1253</sup>)。

### ● 画像にむらが出る

シャッタースピードをBulb (バルブ)またはTime (タイム)にした場合など、 長時間露出で撮影すると、画像の一部にむらが出ることがあります。この現象 は、撮影メニュー [長秒時ノイズ低減]を [する] に設定することで低減でき ます (ロ253)。

# <u>再生関連</u>

### ● RAW画像が表示されない

[**画質モード**] を [**RAW+FINE**]、[**RAW+NORMAL**]、[**RAW+BASIC**] に して撮影した画像は、JPEG画像しか再生されません(ロ91)。

### ● 他のカメラで撮影した画像が表示されない

この機種以外のカメラで撮影した画像は、正常に表示されないことがあります。

#### ● 全ての画像が表示されない

再生メニュー [再生フォルダー設定] を [全てのフォルダー] にしてください。

- 画像の縦位置・横位置が正しく表示されない
  - 再生メニュー [縦位置自動回転] が [しない] になっていませんか? (□243)
  - 再生メニュー [縦横位置情報の記録] が [しない] になっていませんか?
     (□ 242)
  - 撮影直後の画像確認時は、自動回転しません(□243)。
  - カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります(□242)。

### ● 画像を削除できない

- SDカードがロックされていませんか? (□35)
- 画像にプロテクトが設定されていませんか?(□206)

#### ● 画像が編集できない

このカメラでは編集できない画像です(0299)。

### ● プリント指定ができない

- SDカードがロックされていませんか?(□35)
- SDカードの空き容量が不足していませんか?(□33)

### ● RAW画像をプリントできない

- ・
   ・
   歯像編集メニューの
   [RAW現像]
   などでRAW画像からJPEG画像を作成して
   からプリントしてください
   (□300)。
- RAW 画像はパソコンに転送してから、Capture NX-DまたはViewNX 2などの ソフトウェアを使ってプリントしてください(凹216)。

#### ● 画像がテレビに映らない

セットアップメニュー [ビデオ出力] が正しく設定されていますか? (ロ292)

### ● 画像がHDMI機器で再生できない

HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください(0227)。

### ● HDMI-CEC対応機器のリモコンから制御できない

- セットアップメニューの[HDMI]の[機器制御]が[する]になっているか 確認してください(□228)。
- テレビ側の HDMI-CEC の設定については、テレビの使用説明書などをご覧く ださい。

### ● 画像をパソコンに転送できない

お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送で きないことがあります。カードリーダーなどの機器を使って、SDカードの画像 をパソコンに保存してください。

### ● Capture NX-Dでイメージダストオフ機能が動作しない

次の場合は、イメージセンサークリーニングにより、撮像素子前面のゴミの位 置が変わってしまうため、イメージダストオフ機能を使用できません(ロ290)。

- イメージセンサークリーニングを実行する前に撮影した画像に対して、クリーニング後に取得したイメージダストオフデータを使ってゴミの写り込みを取り除こうとしたとき
- イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフ データを使って、クリーニング後に撮影した画像に対してゴミの写り込みを 取り除こうとしたとき
- [ピクチャーコントロール]、[アクティブD-ライティング]、[ヴィネットコントロール]の効果がパソコンで確認できない RAW画像で記録した場合、当社製ソフトウェア以外では機能しません。RAW画

RAW画像で記録した場合、当社器ソフトウェア以外では機能しません。RAW画像の現像はCapture NX-DまたはViewNX 2をお使いください。

# Wi-Fi(無線LAN)関連

- スマートデバイスにカメラのSSID (ネットワーク名) が表示されない
  - セットアップメニュー [Wi-Fi]の (通信機能) が (有効) になっていること を確認してください (印235)。
  - スマートデバイスのWi-Fi機能をOFFにしてからONにし直してみてください。

# <u>その他</u>

### ● 撮影日時が正しく表示されない

カメラの内蔵時計は合っていますか?カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的 な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめしま す(□30、285)。

### ● 表示されているメニュー項目が選択できない

- SDカードをカメラに挿入していないときは、選択できない項目があります (□28、297)。
- 一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選択できない場合があります(凹15、366)。

# 警告メッセージ

液晶モニターとファインダーに表示される警告メッセージの意味は次 の通りです。

### ✓ 警告表示について

液晶モニターに②、またはファインダー内に図が点滅している場合に♀≈(?) ボタンを押すと、警告の内容を確認することができます。

こんなと	き		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	ш
レンズの絞り リングを最小絞り (一番大きい数字) にしてください。	<b>FE E</b> (点滅)	レンズの絞りリングを最小絞り(最 も大きい値)にしてください。	331
レンズ未装着	F <b></b> /? (点滅)	<ul> <li>レンズを装着してください。</li> <li>非CPUレンズを装着しているときは、撮影モードMで撮影してください。</li> </ul>	29 338
撮影するには ズームリングを 回してレンズを 繰り出して ください。	<b>F</b> (点滅)	レンズが収納されています。ズーム リングボタンを押しながらズーム リングを回して、ロックを解除して ください。	31
撮影できません。 バッテリーを交換 してください。	<b>□</b>	残量のあるバッテリーに交換して ください。	26
このバッテリーは 使用できません。 専用バッテリーに 交換してください。	<b>□</b> (点滅)	専用バッテリーに交換してください。	348

こんなと	き		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	œ
起動エラーが発生 しました。復旧に は電源スイッチを OFFにして再度ON にしてください。	<b>☞■/[Eァァ</b> ] (点滅)	電源を一度OFFにしてから、バッテ リーを入れ直し、もう一度電源を ONにしてください。	28、 31
バッテリーが残り 少なくなりました。 ただちに作業を 終了し、電源 スイッチをOFFに してください。	_	クリーニングを中止し、電源をOFFに してください。	359
日時未設定	_	日時を設定してください。	30、 285
メモリーカード 未挿入	[ <b>- E -</b> ]/ <b>?</b> (点滅)	SDカードを正しく入れてください。	28
メモリーカードが 書き込み禁止に なっています。	<b>〔d</b> (点滅)	SDカードのロックを解除してくだ さい。	35
Eye-Fiカードは 書き込み禁止の 状態では使用でき ません。	<b>【d/(Eァァ</b> ) (点滅)	Eye-Fiカードのロックを解除してく ださい。	35

こんなと	き		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	Ē
		<ul> <li>このカメラで使用できるSDカー ドであるかどうかを確認してくだ さい。</li> </ul>	28、 352
このメモリー		<ul> <li>SDカードを初期化し直してください。状況が改善しない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関にで相談ください。</li> </ul>	282 <b>、</b> 425
カードは壊れて いる可能性がある ため、使用できま	<b>〔d/モヶヶ</b> 〕 (点滅)	<ul> <li>新規フォルダー作成時にこのメッセージが表示された場合は、不要な画像を削除してください。</li> </ul>	209
交換してください。		<ul> <li>新しい SD カードに交換してくだ さい。</li> </ul>	28、 352
		<ul> <li>セットアップメニューの[Eye-Fi 送信機能]を[無効]にしても、</li> <li>電波が出力される場合があります。カメラの電源をOFFにしてからEye-Fiカードを取り出し、SDカードに交換してください。</li> </ul>	294
このメモリー カードは初期化		<ul> <li>SDカードをカメラで初期化して ください。</li> </ul>	282
(フォーマット) されていません。 フォーマットして ください。	(For) (点滅)	<ul> <li>電源をOFFにしてから、正しく初 期化されたSDカードに交換して ください。</li> </ul>	28

こんなと	き		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	Ξ
メモリーカード 空き容量不足	Fut/0/⑦ (点滅)	<ul> <li>SDカードに記録されている画像 を削除して、SDカードに画像ファ イルが保存可能な状態にしてくだ さい。必要な画像はパソコンなど に転送してバックアップしてくだ さい。</li> <li>新しい SD カードに交換してくだ さい。</li> </ul>	209、 216 28
_	● (点滅)	構図を変えるか、マニュアル (手動) でピントを合わせてください。	39、 81、 88
		<ul> <li>ISO感度を低くしてください。</li> <li>シャッタースピードをより高速側 にセットしてください。</li> </ul>	100 115
被写体が 明るすぎます	<b>?</b> (点滅)	<ul> <li>・絞りを絞り込んで(より大きい数 値にして)ください。</li> <li>・市販のND(光量調節用)フィル ターをお使いください。</li> </ul>	116 349
		• 図の場合は、撮影モードを切り換 えてください。	4
		● ISO感度を高くしてください。	100
		<ul> <li>フラッシュをお使いください。</li> </ul>	94
被写体が 暗すぎます	<b>?</b> (点滅)	<ul> <li>シャッタースピードをより低速側</li> <li>にセットしてください。</li> </ul>	115
		<ul> <li>絞りを開いて(より小さい数値にして)ください。</li> </ul>	116

こんなと	き		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	
Sモード時Bulb 制御不可	<b>buとb/?</b> (点滅)	<ul> <li>シャッタースピードを変えてくだ さい。</li> </ul>	115
Sモード時Time 制御不可	/? (点滅)	<ul> <li>● 撮影モードMで撮影してください。</li> </ul>	117
HDRモード時	bułb/?	<ul> <li>シャッタースピードを変えてくだ</li> </ul>	117、
Bulb制御不可	(点滅)	さい。	119
HDRモード時	/?	• HDR(ハイダイナミックレンジ)	133
Time制御不可	(点滅)	を [ <b>0FF しない</b> ] にしてください。	
インターバル 撮影中	_	インターバルタイマー撮影中は、メ ニュー操作や画像の再生を行うこと はできません。インターバルタイ マー撮影を一時停止するには、 ® ボ タンを押してください。	_
_	<b>~</b> (点滅)	フラッシュがフル発光しました。撮 影に必要な光量が不足している可能 性があります。撮影距離、絞り、フ ラッシュ調光範囲、ISO感度などをご 確認ください。	

こんなと	き		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	
	<b>\$</b> /₪ (点滅)	<ul> <li>フラッシュをお使いください。</li> <li>撮影距離、絞り値、調光範囲、ISO 感度などを確認してください。</li> <li>別売スピードライト SB-400 また はSB-300をお使いの場合に、装着 したSB-400、SB-300の位置がバ ウンス位置になっていると、この 警告表示になります。バウンスで 撮影するとさは、そのまま撮影を 続けてください。</li> <li>レンズの焦点距離が18mm より 広角になっています。焦点距離を 18mm以上にしてください。</li> <li>別売スピードライト SB-400 また はSB-300をお使いの場合に、レン ズの焦点距離が短すぎると、この 警告表示になり、画像の周辺が暗 くなることを警告します。この場 合、レンズの焦点距離を長くして ください。</li> </ul>	94 99, 100, 116 —
何らかの異常を 検出しました。 復旧には シャッターボタン をもう一度押して ください。	<b>E -  -</b> (点滅)	もう一度シャッターボタンを押し てください。警告表示が解除されな い場合や、頻繁に警告が表示される 場合は、ニコンサービス機関にご相 談ください。	425
起動エラーが 発生しました。 サービス機関に お問い合わせ ください。	<b>Eァァ</b> (点滅)	ニコンサービス機関にご相談くだ さい。	425

こんなと	き		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	ш
測光機能エラー	<b>Eァァ</b> (点滅)	ニコンサービス機関にご相談くだ さい。	425
ライブビューを 開始できません。 カメラ内部の 温度が下がるまで しばらくお待ち ください。	_	カメラ内部の温度が下がるまで、ラ イブビュー撮影または動画撮影を 一時休止してください。	372
		<ul> <li>画像が記録されている SD カードを 入れてください。</li> </ul>	28
撮影画像か ありません。		<ul> <li>再生メニューの [再生フォルダー 設定] で、表示可能な画像がある フォルダーを選んでください。</li> </ul>	241
このファイルは 表示できません。	_	<ul> <li>パソコンで編集した画像など、 DCF規格の画像ファイルではな いため、再生できません。</li> <li>画像ファイルに異常があるため再 生できません。</li> </ul>	_
このファイルは 選択できません。		このカメラで撮影または編集した 画像しか画像編集できません。	299
この動画は 編集できません。		<ul> <li>このカメラで撮影した動画しか編 集できません。</li> <li>2秒未満の動画は編集できません。</li> </ul>	299 188
処理できる画像が ありません。	_	[ <b>RAW現像</b> ] で画像編集できるのは RAW画像だけです。	300
複数の接続先を検 出したため接続を 中止しました。 しばらくしてから、 接続をやり直して ください。	_	スマートデバイスからの通信信号 を受信中、複数の接続先を検出した ため接続を中止しました。 しばらくしてから、接続をやり直し てください。	_

こんなと	き		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	Ξ
エラーが 発生しました。		セットアップメニュー [Wi-Fi] の [通信機能] を [無効] にしてから、 もう一度 [有効] にしてください。	232
カメラの温度が下 がるまで通信機能 は使えません。	_	カメラの電源をOFFにして、カメラ 内部の温度が下がるまでしばらく 待ってから接続をやり直してくだ さい。	
プリンターの 状態を確認して ください。*	_	インク交換してください。インクに 残量がある場合は、プリンターの状 態を確認してください。	
用紙を確認して ください。*	_	指定したサイズの用紙がセットされ ていません。指定したサイズの用紙 をセットした後、[継続]を選んで <sup>®</sup> ボタンを押して、プリントを再開し てください。	
紙詰まりです。※		用紙が詰まりました。詰まった用紙 を取り除いた後、[ <b>継続</b> ] を選んで ☞ボタンを押して、プリントを再開 してください。	
用紙が ありません。*	_	用紙がセットされていません。指定 したサイズの用紙をセットした後、 [ <b>継続</b> ] を選んで∞ボタンを押して、 プリントを再開してください。	
インクを確認して ください。*	_	インクに異常があります。インクを 確認した後、[継続]を選んで®ボ タンを押して、プリントを再開して ください。	
インクが ありません。*	_	インクがなくなりました。インクを 交換した後、[継続]を選んで®ボ タンを押して、プリントを再開して ください。	_

※ プリンターの使用説明書も併せてご覧ください。

# 主な仕様

# ■ ニコンデジタルカメラD5500

Ŧ	型式	
	型式	レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ
	レンズマウント	ニコンFマウント(AF接点付)
	宇提影両角	ニコンDXフォーマット、焦点距離が約1.5倍のレンズの
	天地於西方	FXフォーマットでの画角に相当
1	有効画素数	
	有効画素数	2416万画素
ł	最像素子	
	方式	23.5×15.6 mmサイズCMOSセンサー
	総画素数	2478万画素
	ダフト任演機能	イメージセンサークリーニング、イメージダストオフ
		データ取得(Capture NX-Dが必要)
	記録形式	
		• 6000×4000ピクセル(サイズL)
	記録画素数	• 4496×3000ピクセル(サイズM)
		• 2992×2000ピクセル(サイズS)
		• RAW 12ビット/14ビット(圧縮)
	画質モード	• JPEG-Baseline準拠、圧縮率(約):FINE (1/4)、
		NORMAL (1/8), BASIC (1/16)
		<ul> <li>RAWとJPEGの同時記録可能</li> </ul>
	ピクチャー	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、
	コントロールシステム	ポートレート、風景、フラット、いずれも調整可能、カ
		スタムピクチャーコントロール登録可能
		SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモ
	記録媒体	リーカード(SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカー
		ドはUHS-I規格に対応)
	対応規格	DCF 2.0、DPOF、Exif 2.3、PictBridge

ファインダー	
ファインダー	アイレベル式ペンタミラー使用一眼レフレックス式 ファインダー
視野率	上下左右とも約95%(対実画面)
倍率	約0.82倍(50mm f/1.4レンズ使用、∞、-1.0 m-1のとき)
アイポイント	接眼レンズ面中央から17mm (-1.0 m-1のとき)
視度調節範囲	$-1.7 \sim +0.5 \text{m}^{-1}$
ファインダー スクリーン	B型クリアマットスクリーン VII
ミラー	クイックリターン式
レンズ絞り	瞬間復元式、電子制御式

レンズ

• オートフォーカス可能レンズ : AF-SおよびAF-Iレンズ
• オートフォーカス不可レンズ : AF-SおよびAF-I以外の
GまたはDタイプレンズ、GまたはDタイプ以外のAF
 レンズ(IX用レンズ、F3AF用レンズは使用不可)、
Pタイプレンズ、非CPUレンズ(撮影モードM(マニュ
アル)で使用可能、ただしカメラで測光は不可)
※ 開放 F 値が F5.6 以上明るいレンズでフォーカスエイ
ド可能

シャッター

型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード	1/4000~30秒 (1/3ステップ、1/2ステップに変更可 能) Rulb Time
	BEAC BUILDA HITTLE
フラッシュ同調シャッ タースピード	X=1/200秒以下の低速シャッタースピードで同調
レリーズ機能	
	• S : 1 コマ撮影、马L: 低速連続撮影、马H: 高速連
	<ul> <li>● S:1 コマ撮影、□L:低速連続撮影、□H:高速連続撮影、□:静音撮影、○:セルフタイマー、</li> </ul>
レリーズモード	<ul> <li>⑤:1 コマ撮影、 山L:低速連続撮影、 山H:高速連続撮影、 回:静音撮影、 Ô:セルフタイマー、</li> <li>â 2s:2秒リモコン(ML-L3)、â:瞬時リモコン(ML-L3)</li> </ul>

l	レリーズ機能	
		• JL:最高約3コマ/秒※
		• 및H:最高約5コマ/秒 (JPEG画像撮影時または、
		12ビットのRAW画像撮影時)または最高約4コマ/秒
		(14ビットのRAW画像撮影時) *
	連続撮影速度	※ フォーカスモードが AF-C で、カスタムメニュー a1
		[AF-Cモード時の優先] が [レリーズ]、撮影モード
		がS(シャッター優先オート)またはM(マニュア
		<b>ル</b> )、1/250秒以上の高速シャッタースピード、その
		他が初期設定時
	セルフタイマー	作動時間:2、5、10、20秒、撮影コマ数:1~9コマ
Endi	露出制御	
	測光方式	2016分割RGBセンサーによるTTL開放測光方式
		• マルチパターン測光: 3D-RGB マルチパターン測光Ⅱ
		(G、E、またはDタイプレンズ使用時)、RGBマルチパ
		ターン測光 II (その他のCPUレンズ使用時)
	測光モード	● 中央部重点測光: 𝔥8 mm相当を測光(中央部重点度)
		約75%)
		<ul> <li>● スポット測光: め35 mm相当(全面面の約2 5%)を</li> </ul>
		測光 フォーカフポイントに連動して測光位置可動
	測光範囲	
	パリノし単じ四	● スパット別ル:21-20 LV (ISO 100、I/1.4レンス使用 時 受担20℃)
	委山計連動	
	路山訂建到	
	撮影モード	□ · オート、④ · 発元宗正オート、F · マルテノロシノ
		ムオート (ノロクフムシノトリ能)、3. シヤッツー俊先
		オート、A・縦り優先オート、M・マニュアル
		● シーンモート・2. ホートレート、■・風景、 ●・ こ
		ともステッノ、マ・スホーツ、マ・クロースアッノ、
		■ ■・海・当、壷・夕焼り、●・トワイフイト、等・ヘッ
		● スペンヤルエノエクトセート・ビー・アイトビンヨン、 いい振動会 DOD・ポルプ たいフォレノニスト 発い。
		VI·極杉巴、VUY·ホツノ、22・ノオトイフスト、器:ト ノカソニ国 Me・トニィーフカ田 M・トークーナ
		1刀×フ風、☞:ミニナユア効果、♂:セレクトカ
		フー、🖾・ジルエット、📖:ハイキー、 🜆:ローキー

露出制御			
露出補正	P、S、A、M、SCENE、図モード時に設定可能、		
	範囲:±5段、補正ステップ:1/3、1/2ステップに変更可能		
AEブラケティング	撮影コマ数:3コマ、補正ステップ:1/3、1/2ステップ		
ホワイトバランス	提影コマ物・2コマー神正フテップ・1フテップ		
ブラケティング	11版シコマ数・3コマ、11エステラン・1ステラン		
アクティブ			
D-ライティング	撮影コマ数:2コマ		
ブラケティング			
AEロック	(On)ボタンによる輝度値ロック方式		
ISO感度	ISO 100~25600(1/3フテップ) 咸度白動判御が可能		
(推奨露光指数)	150100-25000(1/5ステクラ)、窓及日動削岬が可能		
アクティブ	■Aオート、■Hより強め、■H強め、■N標準、		
D-ライティング	<b>暗L</b> 弱め、 <b>OFF</b> しない		
オートフォーカス			
	TTL位相差検出方式:フォーカスポイント39点(うち、		
方式	クロスタイプセンサー 9点)、マルチCAM 4800DXオー		
	トフォーカスセンサーモジュールで検出、AF補助光(約		
	0.5~3 m) 付		
検出範囲	-1~+19 EV (ISO 100、常温 (20℃))		
	• オートフォーカス (AF): シングルAFサーボ (AF-S)、		
	コンティニュアスAFサーボ (AF-C)、AFサーボモード		
レンズサーボ	自動切り換え(AF-A)を選択可能、被写体条件により		
	自動的に予測駆動フォーカスに移行		
	• マニュアルフォーカス (MF): フォーカスエイド可能		
フォーカスポイント	• AF39点設定時:39点のフォーカスポイントから1点を		
	選択		
23 22/1012	• AF11点設定時:11点のフォーカスポイントから1点を		
	選択		
AFエリアモード	シングルポイントAF、ダイナミックAF(9点、21点、		
	39点)、オートエリアAF、3D-トラッキング		
フォーカスロック	【 ( <b>○</b> 〒) ボタン、またはシングルAFサーボ (AF-S) 時		
	にシャッターボタン半押し		

フラッシュ	
	🖀、 Ź、 峯、 郡、 🖾、 💥、 😽、 VI、 POP、 😰、 鼎時:オー
	トポップアップ方式による自動発光
中共	P、S、A、M、『1時:押しボタン操作による手動ポップ
内蔵ノフツシュ	アップ方式
	ガイドナンバー:約12 (マニュアルフル発光時約12)
	(ISO 100 · m、20℃)
	2016分割RGBセンサーによるTTL調光制御: i-TTL-BL
調光方式	調光(マルチパターン測光または中央部重点測光)、ス
	タンダードi-TTL調光(スポット測光)可能
	通常発光オート、赤目軽減オート、通常発光オート+ス
	ローシャッター、赤目軽減オート+スローシャッター、
フラッシュモード	通常発光、赤目軽減発光、通常発光+スローシャッター、
	赤目軽減発光+スローシャッター、後幕発光+スロー
	シャッター、後幕発光、発光禁止
<b>海</b> 业/#正	P、S、A、M、SCENEモード時に設定可能、
詞ノし作用工工	範囲:–3~+1段、補正ステップ:1/3、1/2ステップ
	内蔵フラッシュ、別売スピードライト使用時に充電完了
	で点灯、フル発光による露出警告時は点滅
マクセサリーシュー	ホットシュー(ISO 518)装備:シンクロ接点、通信接
	点、セーフティーロック機構(ロック穴)付
	SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-500を主灯、
	SU-800をコマンダーとしたアドバンストワイヤレスラ
ニコンクリエイティブ	イティングに対応
ライティングシステム	• ニコンクリエイティブライティングシステム対応ス
	ピードライトとの組み合わせで発光色温度情報伝達
	に対応
シンクロターミナル	ホットシューアダプター AS-15(別売)
ホワイトバランス	
	オート、電球、蛍光灯(7種)、晴天、フラッシュ、曇
ホワイトバランス	天、晴天日陰、プリセットマニュアル。プリセットマ
	ニュアル以外はいずれも微調整可能

-	ライブビュー撮影機能		
		• オートフォーカス (AF): シングルAFサーボ (AF-S)、	
	レンズサーボ	常時AFサーボ(AF-F)	
		• マニュアルフォーカス(MF)	
	<b>۸</b> 5ナリアモード	顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、ター	
		ゲット追尾AF	
		コントラストAF方式、全画面の任意の位置でAF可能(顔	
	フォーカス	認識AFまたはターゲット追尾AFのときは、カメラが決	
		めた位置でAF可能)	
	おまかせシーン		
	(シーン自動判別)		
動画機能			
	測光方式	撮像素子によるTTL測光方式	
	測光モード	マルチパターン測光	
		• 1920×1080 : 60p/50p/30p/25p/24p	
	記録画素数/	• 1280× 720 : 60p/50p	
		• 640× 424 : 30p/25p	
		※ 60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、	
		25p:25fps、24p:23.976fps	
		※ 30p/60p は [ビデオ出力] が [NTSC] の場合に選	

- - ※ 25p/50pは[ビデオ出力]が[PAL]の場合に選択可能
     ※ 標準/高画質選択可能

ファイル形式	MOV
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	リニアPCM
绿连花器	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能(ステレオ録
「「「「」「」「」」	音)、マイク感度設定可能
感度	ISO 100~25600

液晶モニター

	3.2型(3:2) TFT液晶モニター(タッチパネル)、約104 万ドット(720×480×3=1.036.800)、パリアング
液晶モニター	ル方式、視野角170°、視野率約100%、明るさ調整可能、 アイセンサーによる自動消灯可能

再生機能			
再生機能	1コマ再生、サムネイル再生(4、12、80分割またはカ レンダーモード)、拡大再生、動画再生、スライドショー (静止画/動画選択再生可能)、ヒストグラム表示、ハイ ライト表示、撮影情報表示、位置情報表示、撮影画像の 縦位置自動回転、レーティング、画像コメント入力可能 (英数字36文字まで)		
インターフェース			
USB	Hi-Speed USB(標準装備されたUSBポートへの接続を 推奨)		
ビデオ出力	NTSC、PAL		
HDMI出力	HDMI端子(Type C)装備		
アクセサリー	<ul> <li>ワイヤレスリモートコントローラー WR-1、WR-R10 (別売)</li> <li>レエートコード: MC PC2 (回生)</li> </ul>		
ターミナル	<ul> <li>リモートコート: MC-DC2 (別売)</li> <li>GPSユニット: GP-1/GP-1A (別売)</li> </ul>		
外部マイク入力	人テレオミニジャック(ゆ3.5mm)装備、ステレオマ イクロホンME-1(別売)使用可能		
Wi-Fi(無線LAN)			
準拠規格	IEEE802.11b、IEEE802.11g		
伝送方式	IEEE802.11D - DSSS/CCK     IEEE802.11g : OFDM		
伝送方式 周波数範囲 (中心周波数)	<ul> <li>IEEE802.11D - DSSS/CCK</li> <li>IEEE802.11g - OFDM</li> <li>2412~2462 MHz (1~11ch)</li> </ul>		
伝送方式 周波数範囲 (中心周波数) 通信距離(見通し)	<ul> <li>IEEE802.11B · DSSS/CCK</li> <li>IEEE802.11g · OFDM</li> <li>2412~2462 MHz (1~11ch)</li> <li>約30 m*</li> <li>※ 電波干渉が無い場合。通信距離は遮蔽物や電波状態 などにより影響されます。</li> </ul>		
伝送方式 周波数範囲 (中心周波数) 通信距離(見通し) データ転送速度 (規格値)	<ul> <li>IEEE802.11B · DSSS/CCK</li> <li>IEEE802.11g · OFDM</li> <li>2412~2462 MHz (1~11ch)</li> <li>約30 m*</li> <li>※ 電波干渉が無い場合。通信距離は遮蔽物や電波状態 などにより影響されます。</li> <li>54 Mbps*</li> <li>※ 表示の数値は、規格の理論上の最大値であり、実際 のデータ転送速度を示すものではありません。</li> </ul>		
伝送方式 周波数範囲 (中心周波数) 通信距離(見通し) データ転送速度 (規格値) セキュリティー	<ul> <li>IEEE802.11B · DSSS/CCK</li> <li>IEEE802.11g · OFDM</li> <li>2412~2462 MHz (1~11ch)</li> <li>約30 m*</li> <li>** 電波干渉が無い場合。通信距離は遮蔽物や電波状態 などにより影響されます。</li> <li>54 Mbps*</li> <li>** 表示の数値は、規格の理論上の最大値であり、実際 のデータ転送速度を示すものではありません。</li> <li>認証方式:オープンシステム、WPA2-PSK 暗号方式: AES</li> </ul>		

アクセス方式

表示言語 表示言語 インフラストラクチャーモード 日本語、英語

_	_		
ша.			
	=		

電線			
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14a(1個使用)		
AC アダプター	ACアダプター EH-5b(パワーコネクター EP-5Aと組み		
	合わせて使用)(別売)		
三脚ネジ穴			
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)		
寸法・質量			
寸法 (W×H×D)	約124×97×70 mm		
	約470g(バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、		
質量	ボディーキャップを除く)		
	約420g(本体のみ)		
動作環境			

<b>湿度</b> 85%以下(結露しないこと)	温度	0℃~40℃
	湿度	85%以下(結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規 格によります。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- •本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

# ■ バッテリーチャージャー MH-24

電源	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
定格入力容量	18 ~ 24 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.9 A
適応電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a
充電時間	EN-EL14a充電時:約1時間50分 ※残量のない状態からの充電時間(周囲温度25℃)
使用温度	0℃~40℃
寸法 (W×H×D)	約70×26×97 mm
質量	約96 g

# ■ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	7.2 V、1230 mAh
使用温度	0°C~40°C
寸法 (W×H×D)	約38×53×14 mm
質量	約49g(端子カバーを除く)

# ■ レンズAF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DX レンズ	
焦点距離	18 mm–55 mm	
最大口径比	1:3.5-5.6	
レンズ構成	8群11枚(非球面レンズ1枚)	
画角	76°–28° 50′	
焦点距離目盛	18、24、35、45、55 mm	
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能	
ズーミング	ズームリングによる回転式	
ピント合わせ	超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアル フォーカス可能	
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式	
最短撮影距離*1	<ul> <li>オートフォーカス時:撮像面から0.28m(ズーム全域)</li> <li>マニュアルフォーカス時:撮像面から0.25m(ズーム 全域)</li> </ul>	
絞り羽根枚数	7枚(円形絞り)	
絞り方式	自動絞り	
絞りの範囲∗²	● 焦点距離18 mm時:f/3.5-22 ● 焦点距離55 mm時:f/5.6-38	
測光方式	開放測光	
アタッチメント サイズ	52 mm (P=0.75 mm)	
寸法	約66 mm(最大径)×59.5 mm(レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時)	
質量	約195 g	

※1 距離基準マーク(□90)は撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合が あります。

# ■ レンズAF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VR

型式	ニコンF マウントCPU 内蔵G タイプ、AF-S DXレンズ		
焦点距離	18 mm–140 mm		
最大口径比	1:3.5–5.6		
レンズ構成	12 群17 枚(ED レンズ1 枚、非球面レンズ1 枚)		
画角	76°– 11° 30′		
焦点距離目盛	18、24、35、50、70、140 mm		
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能		
ズーミング	ズームリングによる回転式		
ピント合わせ	IF (ニコン内焦)方式、超音波モーターによるオートフォー		
	カス、マニュアルフォーカス可能		
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式		
最短撮影距離*1	撮像面から0.45 m(ズーム全域)		
絞り羽根枚数	7枚(円形絞り)		
絞り方式	自動絞り		
絞りの範囲*2	● 焦点距離18 mm時:f/3.5-22		
	● 焦点距離140 mm時:f/5.6−38		
測光方式	開放測光		
アタッチメント	67 mm (P=0.75 mm)		
サイズ			
寸法	約78 mm (最大径) × 97 mm (レンズマウント基準面		
	からレンズ先端まで)		
質量	約490g		

※1距離基準マーク(□90)は撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合が あります。

## ■ レンズAF-S DX NIKKOR 55–200mm f/4–5.6G ED VR II

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DXレンズ	
焦点距離	55 mm–200 mm	
最大口径比	1:4-5.6	
レンズ構成	9群13枚 (ED レンズ1枚)	
画角	28° 50′ – 8°	
焦点距離目盛	55、70、85、105、135、200 mm	
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能	
ズーミング	ズームリングによる回転式	
ピント合わせ	IF (ニコン内焦)方式、超音波モーターによるオートフォー	
	カス、マニュアルフォーカス可能	
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式	
最短撮影距離※	撮像面から1.1m(ズーム全域)	
絞り羽根枚数	7枚(円形絞り)	
絞り方式	自動絞り	
絞りの範囲	● 焦点距離55 mm時:f/4-22	
家の地面	● 焦点距離200 mm時:f/5.6-32	
測光方式	開放測光	
アタッチメント	52 mm (P=0.75 mm)	
サイズ		
寸法	約70.5 mm (最大径) × 83 mm (レンズマウント基準面	
	からレンズ先端まで、沈胴時)	
質量	約300 g	

※距離基準マーク(□90)は撮像面の位置を示します。

• 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

•本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

# AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II

本書では、主にAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR IIのレンズ を使用して説明しています。AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR IIの各部名称は次の通りです。



- AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR IIは、DXフォーマットの ニコンデジタルー眼レフカメラ専用です。
- AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR IIは沈胴機構を採用して います。

# AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VR

AF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VRの各部名称は次の通り です。



AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VRは、DXフォーマットのニコンデジタルー眼レフカメラ専用です。

# AF-S DX NIKKOR 55–200mm f/4–5.6G ED VR II

AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIの各部名称は次の通り です。



- AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIは、DXフォーマットのニコンデジタルー眼レフカメラ専用です。
- AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIは沈胴機構を採用し ています。

### ▼ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- CPU信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズ面の清掃は、ほこりを拭う程度にしてください。指紋がついたときは、 柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール(エタノール)または市販のレンズ クリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から外周へ渦巻き状に、拭きむら、拭 き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NCフィルターをお使いいただけます。
   また、レンズのフードも役立ちます。
- レンズをケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- •フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光の当たるところ、防虫剤のあるところも避けてください。
- レンズを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご 注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。
- AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VR使用時のピント 合わせについて

カメラのフォーカスモードが [AF-S] の場合は、レンズのA-M切り換えスイッ チがAになっていても、オートフォーカスでピントが合った状態でシャッターボ タンを半押ししたままフォーカスリングを手で回転させると、マニュアル フォーカスでピントを調整できます。

- いったんシャッターボタンから指を放し、再度半押しすると、オートフォー カスでピントを合わせます。
- •オートフォーカス作動中は、フォーカスリングを回転させないでください。

# ■ 手ブレ補正機能(VR)を使う

AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II、 AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VR、およびAF-S DX NIKKOR 55–200mm f/4–5.6G ED VR IIで手ブレ補正機能を使うと、 使わないときと比べてシャッタースピードで 約4.0段分\*の手ブレを補正します(DXフォー マット機種使用時。ズームレンズは最も望遠側 で測定)。どのレンズもパンニング(流し撮り) に対応しています。



- ※ CIPAガイドライン準拠。また、手ブレ補正効果は、 撮影者や撮影状況によって異なります。
- 手ブレ補正機能を使うときは、手ブレ補正スイッチを ON にしてください。
- シャッターボタンを半押しすると、手ブレを補正します。このとき ファインダー内の画像のブレも補正するため、ピント合わせが容易 で、構図が決めやすくなります。

### 🚺 手ブレ補正使用時のご注意

- 三脚を使用するときは、手ブレ補正スイッチをOFFにしてください。ただし、三脚を使っても雲台を固定しないときや、一脚を使用するときには、手ブレ補正 スイッチをONにすることをおすすめします。
- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することを おすすめします。
- パンニング(流し撮り)でカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手 ブレ補正は機能しません。たとえば、流し撮りで横方向にパンニングすると、 縦方向の手ブレだけが補正され、流し撮りができます。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターをきるとファインダー像がわずかに動くこと がありますが、異常ではありません。
- 手ブレ補正中にカメラの電源をOFFにしたり、レンズを取り外したりしないでください。
- 内蔵フラッシュ充電中には、手ブレを補正しません。

## ▶ カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

- 撮影距離0.6 m以上で使用してください。
- ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。
- ※ カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさ えぎられて影になり、写真に写り込む現象です。





- AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II、および AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIの場合:

ノレゆく観影しこの黒黒距離し観影距離
全ての焦点距離で、
ケラレは発生しません。

D100/D70の内蔵フラッシュは、20mmレンズの画角をカバーする照射角なので、焦点距離18mmでは周辺が暗くなります。

- AF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VRの場合:

デジタル一眼レフカメラ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
D7100/D7000/ D300シリーズ/ D200/D100	<ul> <li>・ 焦点距離18 mmでは撮影距離1 m以上</li> <li>・ 焦点距離24 mm以上は制約なし</li> </ul>
D90/D80/D50	<ul> <li>・ 焦点距離18 mmでは撮影距離2.5 m以上</li> <li>・ 焦点距離24 mmでは撮影距離1 m以上</li> <li>・ 焦点距離35 mm以上は制約なし</li> </ul>
D5500/D5300/D5200/ D5100/D5000/D3300/ D3200/D3100/D3000/ D70シリーズ/D60/ D40シリーズ	<ul> <li>・ 焦点距離18mm、24mmでは撮影距離1 m 以上</li> <li>・ 焦点距離35mm以上は制約なし</li> </ul>

• D100/D70 の内蔵フラッシュは、20mm レンズの画角をカバーする照射角なので、焦点距離18mmでは周辺が暗くなります。

## 🖉 AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR IIの付属アクセサリー

- 52mmスプリング式レンズキャップ LC-52
- 裏ぶた
- AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR IIで使用できる アクセサリー
- 52mmネジ込み式フィルター
- 裏ぶたLF-4
- ソフトケースCL-0815
- バヨネットフードHB-69

### レンズフードの取り付け方

フード着脱指標(●)とフード取り付け指標(↓)を合わせて(①)、フードを矢印の方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標(一〇)を 合わせてください(②)。





- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標 (▲●) 付近を持って回転させてください。
- フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意く ださい。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

### AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VRの付属アクセ サリー

- 67 mmスプリング式レンズキャップLC-67
- 裏ぶた

### AF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VRで使用できる アクセサリー

- 67 mmネジ込み式フィルター
- 裏ぶたLF-4
- ソフトケースCL-1018
- バヨネットフードHB-32

### レンズフードの取り付け方

フード着脱指標(●)とフード取り付け指標(↓)を合わせて(①)、フードを矢印の方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標(一〇)を 合わせてください(②)。





- フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意く ださい。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

## AF-S DX NIKKOR 55–200mm f/4–5.6G ED VR IIの付属アクセ サリー

- 52 mmスプリング式レンズキャップLC-52
- 裏ぶた

### AF-S DX NIKKOR 55-200mm f/4-5.6G ED VR IIで使用できる アクセサリー

- 52 mmネジ込み式フィルター
- バヨネットフードHB-37
- ソフトケースCL-0915
- 裏ぶたLF-4

### レンズフードの取り付け方

フード着脱指標(●)とフード取り付け指標(↓)を合わせて(①)、フードを矢印の方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標(一〇)を 合わせてください(②)。



- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標 (▲●) 付近を持って回転させてください。
- フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意く ださい。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。着脱の際は、 フードセット指標(―〇)付近を持って回転させてください。
### ☑ 広角・超広角レンズのオートフォーカス撮影について

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないこと があります。このような場合は、マニュアルフォーカスでピントを合わせるか、 フォーカスロックを利用してください。

1 背景に対してメインの被写体が小さい場合 フォーカスポイント内に遠くの建物と近くの人物 が混在する場合は、背景にピントが合い、人物のピ ント精度が低下することがあります。

〈人物〉

#### 2 絵柄が細かい場合

背景に対して被写体が小さい場合や被写体と背景 の明暗差が少ない場合は、オートフォーカスによる ピント合わせができないことがあります。

「オートフォーカスが苦手な被写体」の説明も参照してください(印81)。





### 🖉 このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF) Version 2.0: 各社のデジタル カメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format):デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif Version 2.3: (Exif = Exchangeable image file format for digital still cameras): デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge:デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証 するもので、デジタルカメラの画像を、パソコンを介さずプリンターで直接印 刷するための標準規格です。
- HDMI (High-Definition Multimedia Interface):家庭用電化製品および AV機器用のマルチメディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつな ぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI対応機器に送信できます。

### 🖉 商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IOSの商標は、米国およびその他の国における Cisco のライセンスに基づき使用しています。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLC.の商標または登録商標です。

### нэш

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

#### 🖉 認証マークの表示

セットアップメニューの [**認証マークの表示**] では、このカメラが取得してい る認証マークの一部を確認できます (ロ296)。

## 🖉 認証

Indonesia

36708/SDPPI/2014 4588 36709/SDPPI/2014 4593

- México COFETEL: RCPMULB13-0954 LBWA1U5YR1
- Paraguay
  Número del Registro: 2014-01-I-00028
  Este producto contiene un transmisor aprobado por la CONATEL.



TRC/LPD/2013/141

• الأردن

ER0112542/13 DEALER No:

DA0073692/11



## FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (http://www.freetype.org) のものです。すべての権利はその所有者に帰属し ます。

## MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2014 The HarfBuzz Project (http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz) のものです。すべ ての権利はその所有者に帰属します。

## 記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数

画質モード(凹91)と画像サイズ(凹93)の組み合わせによって、 16 GBのSDカードに記録できるコマ数、および連続撮影できるコマ数 は、次のようになります\*1。ただし、カードの種類や撮影条件によっ て、コマ数は増減することがあります。

画質モード	画像サイズ	1コマあたりの ファイルサイズ	記録可能 コマ数	連続撮影可能 コマ数 <sup>※2</sup>
RAW (14ビット記録)		約24.4 MB	428⊐マ	10コマ
RAW (12ビット記録)	_	約19.7 MB	511コマ	14그マ
	L	約12.3 MB	929コマ	100그マ
FINE	М	約7.9 MB	1500コマ	100그マ
	S	約3.9 MB	2900コマ	100그マ
	L	約6.1 MB	1800コマ	100그マ
NORM	М	約3.9 MB	3000コマ	100그マ
	S	約2.1 MB	5600コマ	100그マ
	L	約2.0 MB	3500コマ	100コマ
BASIC	М	約1.5 MB	5700コマ	100コマ
	S	約1.0 MB	10300コマ	100コマ

- ※1 SanDisk社製16 GBのExtreme Pro SDHC 95MB/s UHS-1メモリーカードを使用した場合。
- ※2 ISO感度がISO 100の場合の、連続撮影速度を維持して撮影できるコマ数です。 次のような場合、連続撮影可能コマ数は減少します。
  - [長秒時ノイズ低減] (□253) を [する] に設定した場合
  - [自動ゆがみ補正] (<sup>112</sup>254) を [する] に設定した場合
  - カスタムメニュー d4 [日付写し込み設定](□265)を [しない] 以外に 設定した場合

## 電池寿命について

充電したLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14a (1230mAh) に よる電池寿命は、次の通りです。

- 撮影可能コマ数(1コマ撮影モード):約820コマ(CIPA基準準拠※1)
- 撮影可能コマ数(連続撮影モード):約3110コマ(当社試験条件※2)
- 動画撮影可能時間:約65分※3
- ※1 初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影レンズを無限遠から至近に1往復フォー カシング動作をさせて1コマ撮影する。ライブビュー撮影なし。1回レリーズ (2回に1回は内蔵フラッシュをフル発光)した後、液晶モニターを点灯させて から消灯するまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II、温度23(±2)℃。
- ※2 レリーズモード GH、フォーカスモード AF-C、画質モード BASIC、画像サイズM、ホワイトバランスAUTO、ISO 100、シャッタースピード1/250 秒、シャッターボタンの半押しを3秒間持続後、撮影レンズを無限遠から至近間を3往復フォーカシング動作させ6回連続レリーズした後、液晶モニターを点灯させてから消灯するまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レンズAF-S DXNIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II (VR機能OFF)、温度20℃。
- ※3 電池寿命測定方法を定めた CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による実撮影 電池寿命です。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II、温 度23 (±2) ℃。カメラは初期設定状態。
  - 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は20分(1080/60pまたは1080/50p) です。
  - 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
  - カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- ※ バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環 境によって電池寿命が異なります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- ライブビュー撮影などで液晶モニターを使用した場合
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- •オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- Wi-Fi (無線LAN) 機能を使用した場合
- GPSユニットを使用した場合
- ワイヤレスリモートコントローラーを使用した場合
- Eye-Fiカードを使用した場合
- VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)機能をONにした場合

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL14aの性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分 な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。
  使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

## 索引

## マーク・英数字

SC	ENE (シーン)	54
AUTO	(オート) 4,	37
٩	(発光禁止オート)4,	37
ź	(ポートレート)	55
	(風景)	55
2	(こどもスナップ)	55
Ľ	(スポーツ)	56
٣	(クローズアップ)	56
2*	(夜景ポートレート)	56
<b></b>	(夜景)	57
X	(パーティー)	57
<b>%</b>	(海・雪)	57
	(夕焼け)	58
÷	(トワイライト)	58
*7	(ペット)	58
٥	(キャンドルライト)	59
Ģ	(桜)	59
Ģ	(紅葉)	59
Ť٩	(料理)	60
EFF	ECTS (スペシャルエフェクト)	61
7	(ナイトビジョン)	62
۷I	(極彩色)	62
POF	<b>り</b> (ポップ)	62
D	(フォトイラスト)	67
<b>D</b> Y	(トイカメラ風)	68
¢,	(ミニチュア効果) 64,	69
Å	(セレクトカラー)	71
1	(シルエット)	65
Hi	(ハイキー)	65
Lo	(ローキー)	65
Р	(プログラムオート)	14
S	(シャッター優先オート) 4,1	15
A	(絞り優先オート)4,1	16

M (マニュアル) 4,117
🖥 (プログラムシフト) 114
WB (ホワイトバランス)136
⑤ (1コマ撮影)
□L (低速連続撮影)
<b>马</b> 出(高速連続撮影)
じ (セルフタイマー)
<b>2s</b> (2秒リモコン (ML-L3)). 73,106
â (瞬時リモコン (ML-L3)) 73,106
④ (静音撮影)
₪ (ライブビュー) 45, 163, 175
[1] (シングルポイントAF) 83
(ダイナミックAF) 83
[3D] (3D-トラッキング) 83
(オートエリアAF)
🕲 (顔認識AF)168
疑 (ワイドエリアAF)168
鼠 (ノーマルエリアAF)168
◎ (マルチパターン測光) 123
◎ (中央部重点測光) 123
● (スポット測光) 123
129 (フラッシュ調光補正) 129
2 (露出補正) 127
AE=BKT (AEブラケティング)147
<b>WB-BKT</b> (WBブラケティング) 147
ADL-BKT (ADLブラケティング) 147
AUTO (フラッシュモード)
REAR (フラッシュモード) 97
SLOW (フラッシュモード) 95,97
<b>i</b> (アイ) ボタン 10,192
Fn (ファンクション) ボタン 274
? (ヘルプ) 13,377
<b>な</b> (レディーライト) 5,44,345
┍ (連続撮影可能コマ数) 75,410

1コマ撮影	73
1コマ表示	191
3D-RGBマルチパターン測光	331
3D-トラッキング	83
ACアダプター 348,	353
ADLブラケティング(オートブラク	Г
ティングのセット)	147
Adobe RGB(色空間)	252
AE/AFロックボタンの機能	276
AEブラケティング(オートブラケ	ティ
ングのセット)	147
AEロック	125
AF-A(AFサーボモード自動切り換 79	え)
AF-C(コンティニュアスAFサーボ 79, 258	:)
AF-Cモード時の優先	258
AF-F (常時AFサーボ)	166
AF-S (シングルAFサーボ) 79,	166
AFエリアモード 83,	168
AFサーボモード自動切り換え	79
AF点数切り換え	258
AF補助光	259
AFロック	86
A-M切り換えスイッチ 36,88,3 398,399	397,
AVケーブル	226
BASIC	91
Bulb (バルブ撮影)	119
Camera Control Pro 2	349
Capture NX-D	215
CEC	228
CPU信号接点	331
CPUレンズ 329,	331
D-ライティング	305
DCF Version 2.0	408
DPOF (Digital Print Order Forma 224, 408	ıt)
DPOFプリント	222

Dタイプレンズ	331
Exif Version 2.3	408
Eye-Fi送信機能	294
Eタイプレンズ	331
FINE	91
Fnボタンの機能	274
GPSユニット 293,	351
Gタイプレンズ	331
HDMI	227
HDMI-CEC	228
HDR(ハイダイナミックレンジ) H.264	133 390
INDEXプリント	222
ISO感度 100,	250
ISO感度設定	250
ISO感度表示	261
i-TTL-BL調光	269
i-TTL調光	342
JPEG	91
L (画像サイズ)	93
M(画像サイズ)	93
MF(マニュアルフォーカス) 79	, 88,
166, 167	
MOV	390
NEF	91
NORMAL	91
NTSC	292
PAL	292
PictBridge(ピクトブリッジ) 408	219,
PINコード	233
PRE(プリセットマニュアル) 141	136,
RAW 91,	300
RAW記録	249
RAW現像	300
RGBヒストグラム表示	241
S (画像サイズ)	93
SDカード 282,	352

sRGB(色空間)	252
SSID	235
USBケーブル	219
ViewNX 2 215,	216
WBブラケティング(オートブラケ	-
ティングのセット)	147
Wi-Fi(無線LAN)機能xxii,	230
Wireless Mobile Utility	230
WPS 232,	234
WPSプッシュボタン接続	232

## ア

アイセンサー
アイピース
アオリ効果
赤目軽減発光(フラッシュモード)95, 97
赤目補正
明るさ(ピクチャーコントロール) 156
アクセサリー(使用できるアクセサ
リー)
アクセサリーターミナル 292, 351
アクティブD-ライティング131
アクティブD-ライティングブラケティ
ング 147
後幕発光(フラッシュモード) 97
位置情報
位置情報表示
イメージセンサークリーニング 356
イメージダストオフデータ取得 289
色合い(色相)(ピクチャーコント
ロール) 156
色温度138
色空間
色の濃さ(彩度)(ピクチャーコント
ロール) 156
印刷 (プリント) 219

インジケーターの+/-方向 267
インターバルタイマー撮影101
インデックスプリント 222
インフォ画面
インフォ画面デザイン
インフォ画面の自動消灯 288
インフォ画面の自動表示 288
ヴィネットコントロール
ウォームトーン (フィルター効果)
311
衛星による日時合わせ 294
液晶モニター
オート (撮影モード)
オート (ホワイトバランス) 136
オートエリアAF 83
オートフォーカス
オートブラケティング 147,273
オートブラケティングのセット 148,
273
オートモード 4,37
おまかせシーン
音量

## カ

91
82
21
50
32
04
91
58
56
58
81
13
83
93

画像情報195,	241
画像ファイル	249
画像編集メニュー	297
傾き補正	307
カメラ内部を自動で掃除する	356
カラースケッチ	317
カレンダー表示	194
簡単レタッチ	306
感度自動制御	250
魚眼効果	310
距離基準マーク	. 90
記録可能コマ数	410
記録フォルダー設定	246
クール (モノトーン)	312
クイック調整(ピクチャーコントロ	]—
ル)	156
クラシックデザイン	287
グラフィックデザイン 8,	287
クリーニングミラーアップ	358
クリエイティブライティングシステ	<del>-</del> Ь.
341	
クロススクリーン(フィルター効果	₹)
311	
蛍光灯(ホワイトバランス)	136
言語 (Language)	286
現在地の設定(地域と日時)	285
高感度ノイズ低減	253
格子線表示172,	265
極彩色 (スペシャルエフェクト)	. 62
コマ送り	184
コマンダーモード	269
コマンドダイヤル回転方向の変更.	279
コンティニュアスAFサーボ 79,	258
コントラスト(ピクチャーコントロ	]—
ル)	156
サ	

-			L
1	Г		Г
	-	,	ľ

最近設定した項目...... 324

サイズ
再生191
再生画面設定
再生フォルダー設定 241
再生メニュー
先幕発光(フラッシュモード)
削除
撮影画面サイズ 332
撮影情報199
撮影直後の画像確認 242
撮影メニュー
撮影メニューのリセット 246
撮影モードダイヤル
撮像素子前面をブロアーで掃除する
358
サマータイム (夏時間) 285
サムネイル 193
シーンモード
自動発光(フラッシュモード) 95
自動ゆがみ補正
視度調節 32,350
絞り値116,117
絞り優先オート 116
シャッタースピード 115, 117
シャッターボタン 39,43
シャッター優先オート115
常時AFサーボ166
焦点距離
焦点距離目盛
初期化 (フォーマット) 282
初期設定一覧 109, 240, 244, 257, 280
シルエット (スペシャルエフェクト) 65
白黒 (モノトーン) 312
シングルAFサーボ 79,166
シングルポイントAF 83
シンクロターミナル
推奨SDカード 352
スカイライト (フィルター効果)… 311

スタンダード(ピクチャーコントロー	ダイレクトプリント
ル)	タッチFnの機能
スタンダードi-TTL調光 269, 342	タッチシャッター
ステレオマイクロホン 181,350	タッチ操作16,286
スピーカー	縦位置自動回転
スピードライト	縦横位置情報の記録
スペシャルエフェクトモード	誕生日カウンター
スポット測光(測光モード)123	地域と日時
スマートデバイス	チャージャー
スマートデバイスへの送信指定 238	着脱指標
スライドショー	中央部重点測光(測光モード) 123
スローシャッター(フラッシュモー	調光範囲
ド)	調光補正129
静音撮影	調色(ピクチャーコントロール) 156,
制御上限感度(感度自動制御) 250	157
晴天 (ホワイトバランス)	長秒時ノイズ低減
晴天日陰(ホワイトバランス) 136	著作権情報
接眼補助レンズ	ツーボタンリセット
接眼目当て	通常発光オート(フラッシュモード)
接続設定のリセット 236	95
セットアップメニュー	低速限界設定(感度自動制御) 250
セピア (モノトーン)	手ブレ補正スイッチ 397, 398, 399,
セルフタイマー 73, 77, 262	401
セルフポートレート撮影	デモモード 291
セレクトカラー	テレビ 226
セレクトカラー(スペシャルエフェク	電球(ホワイトバランス)136
ト)	電子音
全押し(シャッターボタン)	トイカメラ風(スペシャルエフェク
全画像削除 210	ト) 63, 68
選択画像削除 210	動画 50, 175, 180, 184, 186
測光モード123	動画撮影ボタン 51,176
外付けフラッシュ発光	動画の設定 180
ソフト(フィルター効果)	動画の編集186
々	動画のマニュアル設定182
/	統合表示 202
ダイナミックAF 83	登録項目の削除(マイメニュー)… 327
タイマー 77 101 262	登録項目の順序変更(マイメニュー)
	270

3	2	8
J	4	0

タイム撮影 (長時間露出)...... 119,121

#### 時計用電池

## 資料 417

トリミング	302
曇天 (ホワイトバランス)	136

\_\_\_\_\_

# ナ

## Л

日付写し込み設定	265
日付選択(PictBridge)	222
日付と時刻を設定する	285
日付の表示順(地域と日時)	285
日付プリント(PictBridge)	221
ビデオ出力	292
ビビッド(ピクチャーコントロール	))
152	
標準表示	196
ピント表示 89	, 39
ファームウェアバージョン	296
ファイル名設定	249
ファインダー (視度調節)	350
ファインダー内格子線表示	265
ファンクションボタン	274
フィルター効果156,	311
風景(ピクチャーコントロール)…	152
フォーカスエイド	. 89
フォーカスエイドインジケーター.	260
フォーカスポイント 39, 46, 85,	169
フォーカスポイントを選ぶ	. 85
フォーカスモード	166
フォーカスモード切り換えスイッチ	- 88
フォーカスリング 88, 397, 398,	399
フォーカスロック	. 86
フォーマット(カードの初期化)…	282
フォトイラスト	316
フォトイラスト(スペシャルエフェ	ク
F)	, 67
フチ設定(PictBridge)	221
ブラケティング147,	273
プラスRAW記録	274
フラッシュ	340
フラッシュ(ホワイトバランス)…	136
フラッシュ調光補正	129
フラッシュ発光量制御129,	268
フラッシュモード	, 97
フラット(ピクチャーコントロール	)
152	

プリセットマニュアル(ホワイトバラ ンス)
マイク
枚数指定(PictBridge) 221

2
マイメニュー 325
マイメニュー登録 (マイメニュー)
325
マニュアル (露出) 117
マニュアル発光モード(内蔵フラッ
シュ発光) 268
マニュアルフォーカス 79,88,166,167
マルチセレクター 3, 11, 13
マルチパターン測光(測光モード)
123
マルチプログラムオート 114,387
ミニチュア効果

ミニチュア効果(スペシャルエフェク
F)
ミラー 1,358
ミレッド
明瞭度(ピクチャーコントロール) 156
メモリーカード
モニターの明るさ 286
モノクローム(ピクチャーコントロー
ル)
モノトーン

## ヤ

ゆがみ補正	308
用紙設定(PictBridge)	221
予測駆動フォーカス	80

## ラ

ライブビュー 45, 163, 175
ライブビュースイッチ 45, 50, 163, 175
リサイズ
リセット
リモート
リモートコード 122, 292, 351
リモコン 106, 263, 351
リモコン受光部
リモコン待機時間
輪郭強調(ピクチャーコントロール)
156
レーティング
レディーライト 5, 44, 272, 345
レリーズモード
レンズ
レンズマウント 1,90
連続撮影
連続撮影可能コマ数 410
連番モード
ローアングル撮影

ローキー (スペシャルエフェクト)	. 65
録音設定	181
露出インジケーター 118,	267
露出設定ステップ幅	261
露出ディレーモード	263
露出補正	127

## ワ

ワイヤレスリモートコントローラー..... 108, 292, 351









## ニコンプラザ、サービスセンターのご案内

#### ニコンプラザ

ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合 情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメー ジングの世界を拡げ、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

#### ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータギンザ1・2階 営業時間:10:30~18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

#### ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 28 階 営業時間:10:30~18:30 (年末年始、2月11日:12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

#### ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル 2 階 営業時間:10:30~18:30(日曜日、祝日、年末年始を除く毎日)

#### ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13 階 営業時間:10:30~18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)

### ニコンプラザショールーム (ナビダイヤル) 0570-02-8080

ニコンプラザサービスセンター (ナビダイヤル) 0570-02-8060

\* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

#### ■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、 ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

#### 札幌サービスセンター

〒060-0807 札幌市北区北7条西4-3-1 新北海道ビルヂング2階

#### 福岡サービスセンター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル1階 (各サービスセンター共通)

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日)

### (ナビダイヤル) 0570-02-8050

\* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。

 ● ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
 ● ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577(ニコンカス タマーサポートセンター)におかけください。

## アフターサービスについて

#### ■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」
  にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。 【お願い】
- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容 をご確認の上、お問い合わせください。
   「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示され たメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の 内容をご確認の上、お問い合わせください。
   「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、 「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、
   「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を(会社の場合は会社名と部署名も)明確にお書きください。

#### ■修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関(ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター)、ご購入 店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

• ニコンサービス機関について詳しくは、左ページおよび裏面をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認 ください。
  - ※ 内蔵メモリーがあるカメラでは、内蔵メモリー内に画像データがあるときは、 消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品(その製品の機能を維持するために必要な部品)の保 有年数は、製造打ち切り後7年を目安としています。

・修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経 過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へ お問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認め られる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判 定は、ニコンサービス機関にお任せください。

#### 資料 425

### 製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



営業時間:9:30~18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日) ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけくだ さい。ファクシミリでのご相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

### 修理サービスのご案内

#### 修理品のお引き取りを依頼される場合は

#### <ニコン ピックアップサ<del>ー</del>ビス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修 理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。 ※宅配で収込る大きさや車ごには制限があるため、取り扱いできない製品もさざいます。

0120-02-8155 営業時間:9:00~18:00 (年末年始12/29~1/4を除く毎日)

\*\*上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。 製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

#### 修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけ



機帯OK ます。

営業時間:9:30~18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、 夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

### ■インターネットご利用の方へ

#### <ニコンイメージング/サポートページ>

 http://www.nikon-image.com/support/ 最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
 ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

• http://www.nikon-image.com/support/repair/

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理 を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社ニコン 株式会社 ニコン イメージング ジャパン

© 2015 Nikon Corporation

SB4K01(10) 6MB25710-01